

1995年度

# 学校教育要覧

日野市立図書館 ☎81-7354



1953529

日野市教育委員会

# 目 次

◇ 日野市教育委員会の教育目標と重点 .....	1	
◇ 学校における主な教育推進施策と指導の重点 .....	2	
◇ 東京都教育委員会の教育目標 .....	5	
◇ 日野市の教育目標及び学校における主な教育推進施策と指導の重点 .....	9	
◇ 日野市教育委員会学校教育部関係及び日野市立幼・小・中学校(園)行事予定表 .....	10	
◇ 日野市教育委員会指導室の年間事業計画 .....	22	
◇ 日野市教育委員会研修事業 .....	28	
◇ 日野市教育委員会の学校訪問 .....	34	
◇ 日野市教育委員会事務局組織 .....	36	
◇ 指導主事事務分担 .....	44	
◇ 日野市立教職員研究室 .....	46	
◇ 日野市心身障害教育推進協議会 .....	49	
◇ 日野市立小学校科学教育センター .....	51	
◇ 日野市公立学校・幼稚園一覧 .....	54	
◇ 校長・教頭事業担当一覧 .....	56	
◇ 管理運営規則第八条に基づく主任一覧表 .....	60	
◇ 日野市立小・中学校主任及び担当一覧 .....	62	
◇ 研究奨励事業 .....	68	
◇ 都教育研究員等一覧 .....	72	
◇ 日野市立小・中学校使用教科書 .....	73	
◇ 就職・進学状況の推移 .....	74	
◇ 園児・児童・生徒・学級数 .....	75	
◇ 幼稚園児・小学校児童・中学校生徒数の推移 .....	77	
◇ 日野市公立小中学校施設一覧 .....	78	
◇ 避難場所と地区割当表 .....	80	
日野市立第一幼稚園 .....	81	日野市立高幡台小学校 .....
" 第二 " .....	82	" 日野第七 " .....
" 第三 " .....	83	" 南 平 " .....
" 第四 " .....	84	" 程久保 " .....
" 第五 " .....	85	" 旭が丘 " .....
" 第六 " .....	86	" 平山台 " .....
" 第七 " .....	87	" 東光寺 " .....
日野市立日野第一小学校 .....	88	" 三沢台 " .....
" 日野第二 " .....	91	" 仲 田 " .....
" 日野第三 " .....	94	日野市立日野第一中学校 .....
" 日野第四 " .....	97	" 日野第二 " .....
" 日野第五 " .....	100	" 七 生 " .....
" 日野第六 " .....	103	" 日野第三 " .....
" 潤 徳 " .....	106	" 日野第四 " .....
" 平 山 " .....	109	" 三 沢 " .....
" 日野第八 " .....	112	" 大 坂 上 " .....
" 百 草 台 " .....	115	" 平 山 " .....
" 滝 合 " .....	118	

# 日野市教育委員会の教育目標と重点

## 教育目標

日野市民一人一人が、いきいきとして心豊かに、生涯を通じて学び続けることを目指し、教育・文化

- ・ スポーツの発展・充実に努める。
  1. 自他を尊重する心豊かな人間性を育む。
  2. たくましく生きる健やかな体を育む。
  3. 自ら学び続ける意欲と能力を育む。
  4. 自然や文化を大切にする態度を育む。
  5. 国際社会に生きる能力と態度を育む。

教育目標を達成するために、次のことを重点とする。

1. 教育条件の整備並びに学校教育の内容・方法の改善・充実に努め、幼児・児童・生徒一人一人の個性や能力を伸ばし、豊かな人間性を育むなど、生涯にわたる学習の基礎を培う教育活動を一層推進する。
2. 教育施設・設備を充実し、その有効な活用と保全に努め、地域社会の人々へ積極的に開放する。
3. 学校・家庭・地域社会の連携に努め、学校週5日制の主旨を生かし、幼児・児童・生徒が自ら考え、意欲的に活動する機会を拡充する。
4. 学習組織や施設活用の充実に努め、市民の多様な学習活動を支援するとともに、地域における青少年教育を進める。
5. 公民館活動並びに図書館・ふるさと博物館の資料等の充実とその機能を生かし、市民の学習の機会を拡充する。
6. スポーツ・レクリエーション施設の整備・活用並びに指導體制の充実に努め、地域の活動組織を育成し、市民の健康づくりを支援する。
7. 家庭教育、学校教育、社会教育の緊密な連携を図り、地域の自然や文化を大切にする態度の育成に努める。

# 学校における主な教育推進施策と指導の重点

## 【主な教育推進施策】

日野市教育委員会は、先の教育目標を達成するため、次のことを学校教育において推進する。

### 1. 人権尊重の教育の推進

日本国憲法に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するために、学校の教育活動全体を通して、人権尊重の教育を行い、あらゆる偏見や差別の根絶に努める。

各学校においては、全教育活動を通して人権尊重の精神を培い、一人一人の児童・生徒の個性と創造性を伸ばし、互いに認め合い、支え合い、励まし合うなど人権を尊重する態度を育む。

また、道徳教育や人間としての在り方生き方にかかわる指導を充実するとともに、男女平等の教育を推進する。

### 2. 社会性を育む教育の推進

児童・生徒を健全な社会人として育成するために、郷土を愛する心を培い、地域社会の一員としての自覚を促し、地域社会の形成者としての資質を育てる。

各学校においては、家庭・地域・関係諸機関等との連携を一層深め、地域に根ざした学校教育を推進し、児童・生徒が地域の自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を育む。

また、社会人講師の活用や、地域の自然・文化を積極的に教育活動に取り入れるなど、指導内容・方法を改善し、社会性を育む教育を推進する。

### 3. 環境教育の推進

地球上の全ての生命の生存と尊厳に重大な影響をもたらす事象に関心をもちその保全に配慮した望ましい働きかけのできる技能や思考力、判断力を身につけ、よりよい環境の創造活動に主体的に参加する態度を育てる。

各学校においては、児童・生徒が全教育活動を通して、自然をいつくしむ心を育てるとともに、環境の保護や改善に主体的に働きかける行動力や実践的な意欲、能力、態度を育む。

また、日常の教育活動において、環境副読本「美しいまち日野」の活用を図るなど、環境教育を推進する。

### 4. 国際理解教育の推進

国際的な視野をもち、世界の平和に貢献できる児童・生徒を育成するために我が国と諸外国との生活や文化の相違を理解し、これを尊重する態度を育むとともに、コミュニケーション能力の育成に努め、進んで国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てる。

各学校においては、我が国の風土、生活様式、人々の生き方や考え方などの学習を通して、自国の文化や伝統について理解することや、国際協力に果たす個人や国家の役割について主体的に学ぶ態度

を育む。

また、全教育活動を通して異文化理解の機会や、国際的な交流の機会を生かして、さまざまな人々とのふれあいを通して、国際社会に生きる力を育む教育を推進する。

## 【指導の重点】

各学校では、教育研究・研修を充実し、教師一人一人が識見や指導力を高め教育活動を充実するとともに、家庭・地域社会との連携を一層深め、開かれた学校としての教育活動を展開する。

さらに、次のことを日常の教育における指導の重点として、学校教育の一層の充実・向上に努める。

### 1. 学習指導の改善・充実

各学校においては、次の点に重点をおいて、個に応じた指導や体験的な活動を重視するなど、指導内容・方法並びに評価の改善を進め、各教科等の基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、柔軟な思考力や創造力、表現力を育成するなど、生涯を通して学び続ける意欲と態度を育む。

- (1) 学校評価を年間を通して計画的に実施し、自校の年間指導計画を生かして計画的・組織的に教育活動を展開する。
- (2) 小集団による個を生かす学習活動、ティーム・ティーチングによる学習指導、体験を基にした学習活動、地域の素材を生かした指導など、児童・生徒の学習過程に視点をおいた実践・研究を行う。
- (3) 指導内容・方法、指導形態を創意工夫し、児童・生徒の側に立った学習指導を行うなど、各教科等の特性を生かし、自ら学ぶ意欲や生涯を通じて学び続ける基礎を培う学習指導を積極的に行う。
- (4) 積極的に教育機器や、学校図書館を活用し、情報を選択し活用する能力を高める学習活動を行う。

### 2. 生活指導・進路指導の充実

各学校においては、次の点に重点をおいて児童・生徒が生き生きと意欲的に生活することができるよう、教育相談を積極的に進め、一人一人の児童・生徒のよさを深く理解し指導・援助するなど、全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う。

- (1) 学級経営の充実に努め、一人一人の児童・生徒の自己存在感を高める指導を計画的・継続的に行い、互いに認め合い、励まし合い、支え合う態度を育成する。
- (2) 学級活動等の指導内容・方法を創意工夫し、児童・生徒が自己理解を深めて、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力と望ましい勤労観・職業観を育成する。
- (3) 児童・生徒の奉仕的な活動など、社会活動への参加を一層促進し、地域社会の一員としての自覚を高める。
- (4) 家庭・地域・関係諸機関との連携を密にして、人と人との関わりを重視した指導の徹底に努め、健全な児童・生徒を育成する。

### 3. 健康・安全指導の充実

各学校においては、計画的・組織的に、生命の大切さを十分指導し、健康・安全についての理解を

徹底させ、自ら進んで健康の保持・増進や体力の向上を図る能力と態度を育成する。

- (1) 児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ態度を身につけ、心身を鍛え、生涯にわたってスポーツを継続することができるよう指導内容・方法を工夫し、体育活動の充実に努める。
- (2) 全教育活動を通して、性教育を組織的・計画的に行い、児童・生徒が人間の性やエイズに関する理解を深め、成長過程における課題に適切に対応できるよう指導・援助する。
- (3) 計画的・組織的に安全指導や安全管理を徹底し、事故防止に努める。
- (4) 多様な事態を想定した避難訓練等を計画的に実施し、学校における震災等に対する安全指導を徹底するとともに、学校の防災計画の周知徹底を図る。

#### 4. 心身障害教育の充実

各学校においては、交流教育や理解教育を積極的に進めるとともに、個別の教育プログラムによる指導の展開等の研究を深め、心身障害教育を充実する。

- (1) 心身障害理解教育を推進し、児童・生徒・保護者並びに全教職員の理解を深める。
- (2) 障害の種類や程度に応じた適切な教育計画と指導内容・方法について創意工夫するとともに、児童・生徒の実態に即した交流教育を推進する。
- (3) 家庭、医療機関及び関係諸機関との連携を深めるとともに、継続的な教育相談活動を一層充実する。
- (4) 児童・生徒理解を基に個別教育プログラムを作成し、小集団による指導や個別の指導など、指導内容・方法を創意工夫し、一人一人の発達課題に即した指導を行う。

#### 5. 幼児教育の充実

各幼稚園においては、幼児教育にかかわる研究・研修を充実し、幼児一人一人の発達にともなう課題を適切にとらえ、豊かな人間性を育む教育内容・方法の改善・充実に努め、人間形成の基礎となる心情、意欲、態度を育む。

- (1) 幼児の生活実態や心身の発達の筋道をふまえ、教育内容・方法を工夫・改善し、幼児一人一人が十分に自己を発揮して活動できるようにする。
- (2) 身近な人と積極的にかかわる活動などを通して、基本的な生活習慣や社会性を育み、人間としての在り方生き方の基礎を育成する。
- (3) 地域の特性を生かした教育活動を充実することや、幼児の興味や関心、意欲を大切に十分遊び込める環境を用意して、豊かな感性を育み、表現力や人とかわる力を高める。
- (4) 小学校や関係諸機関、保護者、地域社会との連携を図り、家庭や地域社会に開かれた幼稚園教育を展開し、幼児の健全な育成に努める。

※学校を、園・学校に、児童・生徒を、幼児・児童・生徒に読み代える。

## 東京都教育委員会の教育目標

東京都教育委員会は、人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな児童・生徒の育成を目指し、都民が生涯を通じて主体的に学ぶことのできる生涯学習社会の実現を図り、もって、普遍的で個性豊かな文化の創造・発展と豊かな社会の形成に貢献することを期して、次の視点を基本として教育を推進する。

1. 高齢化、情報化、国際化など社会の変化に伴う学習需要の増大に対応し、家庭教育、学校教育、社会教育を充実し、相互の緊密な連携を図り、都民の生涯にわたる学習を支援する。
2. 学校教育においては、自他の生命を尊び、勤労と責任を重んじ、自主性と創造性に富み、社会連帯意識をもち、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる都民の育成を目指し、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。
3. 社会教育においては、多様な教育機関と連携し、都民が、生涯を通じ、自らの課題に即して、あらゆる機会、あらゆる場を利用し、生活上、職業上の資質を高め、文化的教養を深め、スポーツに親しむことのできる環境を醸成し、生涯学習の振興を図る。

## 学校教育の課題と指導の重点

東京都教育委員会は、先の教育目標を達成するため、学校教育において推進すべき課題を明らかにし、そのために必要な、日常の教育における指導の重点を設定する。

各学校においては、教師一人一人の識見や能力を高め、校内の指導体制を確立し、家庭や地域社会との連携を一層深め、開かれた学校としての教育経営を展開して、学校教育の一層の充実、向上に努めることが大切である。

## 学校教育の課題

### 人権尊重の教育の推進

日本国憲法の精神に基づき、教育基本法に示された教育の目的を達成するため、また児童の権利に関する条約等の趣旨を尊重して、学校の教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくし、人権尊重の教育を徹底することが重要である。

特に、各学校においては、人権尊重の精神を培い、一人一人の児童・生徒の成長・発達と自己実現の達成を図る同和教育の推進に努める必要がある。

また、障害のある人に対する理解を深めるとともに、連帯感の育成に努めることが大切である。

さらに、人種、民族、性別等を異にすることによって、児童・生徒の人権が損なわれることのないよう十分配慮することが大切である。

### 社会性を育む教育の推進

児童・生徒を健全な社会人として育成するためには、地域の人々や自然、文化との接触の機会を通して、人間と環境とのかかわりについて理解を深めるとともに、地域社会の一員としての自覚を促し、郷土を愛する心を培い、地域社会の形成者としての資質を養うよう努めることが重要である。

特に、各学校においては、地域の自然や文化を積極的に学校教育に取り入れることにより、自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、地域への帰属意識を培う必要がある。

また、学校のもつ教育機能や施設・設備を地域社会の人々に広く開放し、生涯学習・生涯スポーツの充実と振興を図るとともに、児童・生徒の奉仕的な活動への参加を一層促進することが大切である。

### 国際理解教育の推進

常に国際的な視野をもち、世界の平和と人類の幸福に貢献することのできる国民を育成するためには、国際社会の中に生きる日本人としての自覚を促し、進んで国際社会に参加、協力できる能力と態度を養うことが重要である。

特に、各学校においては、我が国の風土、生活様式、人々の生き方や考え方などの学習を通して自国

の文化や伝統についての理解を一層深めさせる必要がある。

また、国際都市東京の実態に即し、国際的な交流の機会等を生かして相互理解の基本となるコミュニケーション能力の育成を図り、教育活動全体を通して、世界の人々の生活や文化に対する理解を深め、これらを尊重する態度を育成するとともに、国際協力に果たす個人や国家の役割を正しく認識させることが大切である。

なお、外国人児童・生徒については、充実した学校生活を送ることができるよう配慮することが大切である。

## 指導の重点

### 学習指導の改善・充実

自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応できる児童・生徒を育成するためには、一人一人の個性や能力を生かす指導の徹底を図り、学ぶことの楽しさや成就感を体得させることが重要である。

各学校においては、体験的な活動を重視するなど指導内容・方法及び評価の改善を図り、児童・生徒が各教科等の基礎的・基本的な内容を確実に身に付け、柔軟な思考力や豊かな創造力・表現力を育成するとともに、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を養う必要がある。

特に、学習の遅れがちな児童・生徒や心身に障害のある児童・生徒に対しては、一人一人の実態を適切に把握し、能力、適性が十分伸長されるよう指導の徹底に努めることが大切である。

また、情報化社会の進展に対応するため、児童・生徒の発達段階に即して、情報を主体的に選択し、活用していく能力と態度を養うことが大切である。

### 生活指導・進路指導の充実

豊かな心をもち、たくましく生きる児童・生徒を育成するためには、個性を生かし、社会の一員としての自覚を高め、社会規範を守る態度を育て、自己実現を図る能力と態度を身に付けさせることが重要である。

各学校においては、児童・生徒が生き生きと意欲的に学校生活を送ることができるよう、一人一人の児童・生徒に対する理解を深め、保護者の要望を十分把握するとともに、教育相談を重視するなど全校的な指導体制を一層充実して、組織的・計画的に生活指導・進路指導を行う必要がある。

特に、生活指導については、家庭、地域社会及び関係諸機関との連携を密にして、問題行動の要因を把握し、人と人とのかかわりを重視した指導の徹底に努め、児童・生徒の健全な育成を図ることが大切である。

また、進路指導については、児童・生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進

路を選択する能力と望ましい勤労観・職業観を身に付けることができるよう指導内容・方法の改善・充実に努めるとともに、進路選択に当たっては、生徒の能力・適性や進路希望等に基づいて適切に助言・援助することが大切である。

## 健康・安全指導の充実

児童・生徒が、生命を尊び健康で明るく活力のある生活を送ることができるようにするためには、児童・生徒の健康づくりに努めることが重要である。

各学校においては、教育活動全体を通して、生命の大切さを十分指導し、健康・安全についての理解を徹底して、自ら進んで健康の保持増進や体力の向上を図る能力と態度を育てる必要がある。

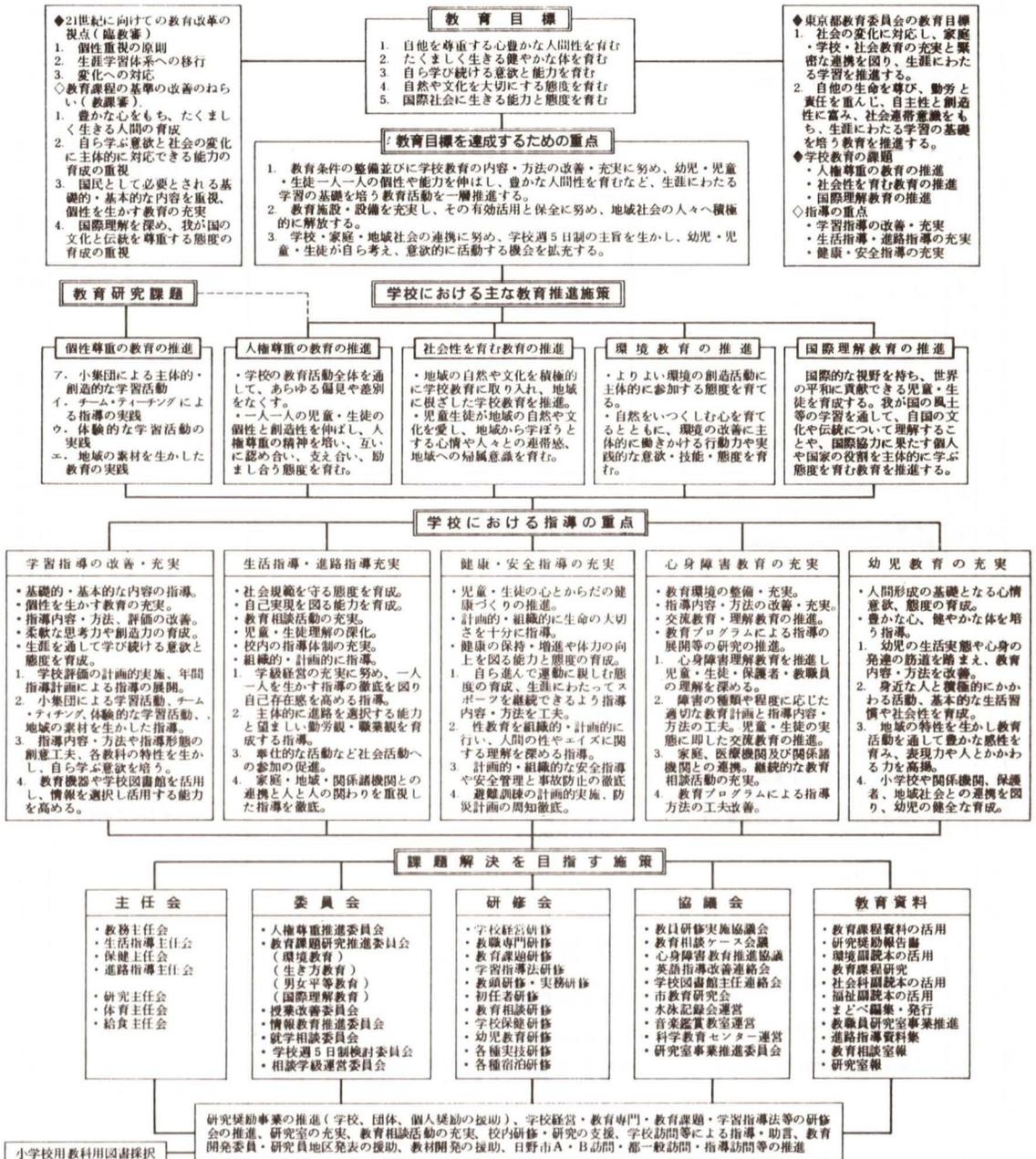
特に、児童・生徒が自ら進んで運動に親しむ態度を身に付け、心身を鍛え、生涯にわたってスポーツを継続することができるよう体育の充実を図る必要がある。

また、性にかかわる指導においては、人間の性やそれとのかかわりの深いエイズなどに関する理解を十分深めさせ、成長過程における課題に適切に対応できるよう援助・指導することが大切である。

さらに、体育活動や日常生活における事故及び交通事故の防止に努めるとともに、地震などの災害に対して児童・生徒の安全を確保することが大切である。

(注) 「児童・生徒」とは、幼児・児童・生徒・学生をいう。

# 日野市の教育目標及び学校における主な教育推進施策と指導の重点





日 曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日
1 月			開園記念日(三幼)	1
2 火	△校長会( ) ▲第二地区指導主事連絡会(町田市)	○学校経営研修会②(研究室)		2
3 水	(憲法記念日)			3
4 木	(休日)			4
5 金	(子供の日)			5
6 土				6
7 日				7
8 月	▲同和教育指導推進委員会( )	○生活指導主任会( )		8
9 火	□日光移動教室実地踏査(日光市)	○心身障害教育推進協議会(日野五小) ●新任指導主事研修会( )	開校記念日(一中)	9
10 水	□日光移動教室実地踏査(日光市)	○日野市教育研究会総会( ) 中学校教育研究会総会( )	開園記念日(二幼) 開校記念日(平山小)	10
11 木	△小学校教科用図書調査委員長会( ) ■区市指導主事研究会議( )	○研究主任会+教職専門研修会①(研究室) ◆教育委員会定例会(506)		11
12 金	■区市指導主事研究会議( ) △園長会( )		開校記念日(潤徳小)	12
13 土	(休業日)			13
14 日				14
15 月	▲生活指導担当指導主事連絡会・世話人会( )	○教育相談研修会(研究室)		15
16 火	▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会( ) ▲人権尊重教育推進委員会	○小学校教科用図書調査委員会総会( )	□修学旅行(七生中)	16
17 水	□都一般訪問・市学校訪問B(第二幼稚園)			17
18 木		○情報教育推進委員会( ) ●多摩地区生指研協・世話人会 ○初任者研修指導教員連絡会( )	□移動教室(仲田小)	18
19 金	△教頭会( ) ▲国際理解教育+在日外国人児・生教育連協( )	○進路指導主任会( ) ○初任者研修③+学習指導研修会①(研究室)	□移動教室(第一小)	19
20 土	□運動会(四中)	○科学教育センター(五小)	□	20
21 日	□運動会(六小、三中)			21
22 月		○中学校生活指導主任会( ) ○学校経営研修会③(研究室)	□移動教室(第二小)	22
23 火	□市学校訪問A(百草台小学校)		□移動教室(第四小)	23
24 水		○幼児教育研修会( )	□移動教室(第五小)	24
25 木	▲幼稚園担当指導主事連絡協議会( )	○教務主任会( ) ●多摩地区健全育成行政連絡会議( ) ○教育課題研究推進委員会+教育課題研修会②(研究室)	開園記念日(一幼) □移動教室(程久保小)	25
26 金	▲消費者教育・環境教育推進委員会( )		□移動教室(八小)	26
27 土	(休業日)		□	27
28 日				28
29 月	□市学校訪問A(日野第七小学校)		開園記念日(六幼) □移動教室(潤徳小)	29
30 火	□男女平等教育推進委員会( )	○授業改善委員会+研究奨励受給者説明会( ) ○小学校体育主任会( )	□移動教室(百草台小)	30
31 水	□市学校訪問A(日野第一小学校)		□移動教室(三沢台小)	31
備 考	・日光移動教室実地踏査(5/9~5/10) ・小5、八ヶ岳移動教室(仲田小:5/18~19)、(第一小:5/19~20)、(第二小:5/22~23)、(第四小:5/23~24)、(第五小:5/24~25)、 (第八小:5/26~27)、(程久保小:5/25~26)、(潤徳小:5/29~30)、(百草台小:5/30~31)、(三沢台小:5/31~6/1) ・運動会(5/20:四中、5/21:六小、三中)			
	・5/24(水)地区協定期大会			

日 曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日
1 木		○学校経営研修会④(研究室)	開校(滝合、百草台、七生) □移動教室(平山中)	1
2 金	▲第二地区指導主事連絡会(日野市)	○教育相談研修会②(研究室)	□修学旅行(一中、三中) □移動教室(滝台小)	2
3 土	□運動会(平山中)	○科学教育センター(第五小)	□	3
4 日	□運動会(三小)		□	4
5 月		○生活指導主任会+教職専門研修会②( )	□移動教室(高幡台小)	5
6 火	△校長会( )	○心身障害教育推進協議会(日野第三小)	□修学旅行(大坂上中) □移動教室(第七小)	6
7 水		○日野市教育研究会( )	□移動教室(南平小)	7
8 木	▲生活指導担当指導主事連絡協議会( ) □中学校音楽鑑賞教室(日野市民会館)	○実技研修会<水泳指導>(七生養護学校屋内プール)	□修学旅行(三沢中) □移動教室(六小)	8
9 金	△園長会( )	○保健主任会( )+教職専門研修会③( )	□開校(五小) □修学旅行(二中)	9
10 土	(休業日)		□開校(三小)	10
11 日			□	11
12 月	□進路指導主任宿泊研修会( )		□移動教室(旭が丘小)	12
13 火	□ ▲東京都市指導主事会・定例会(日野市)	○教育課題研究推進委員会( )	□移動教室(平山台小)	13
14 水	□都一般訪問・市学校訪問B(第二小学校)	○中学校教育研究会( )	□移動教室(東光寺小)	14
15 木		○学校経営研修会⑤(研究室)	□	15
16 金	△教頭会( )	○初任者研修④+学習指導研修会②( ) ○多摩地区生活指導研究協議会( )		16
17 土		○科学教育センター(第五小)		17
18 日	□運動会(一中、大坂上中)		□日光移動教室(第1班)	18
19 月				19
20 火		○授業改善委員会( ) ○教育課題研修会③(研究室)	□日光移動教室(第2班)	20
21 水				21
22 木		○教務主任会+教職専門研修会④( )	□日光移動教室(第3班)	22
23 金	▲在日外国人児童・生徒教育連絡協議会( )			23
24 土	(休業日)		□開校(二小、高幡台小)	24
25 日				25
26 月	□市学校訪問B(第六幼稚園)	○実技研修会<打楽器の指導>( )		26
27 火	▲教員研修担当指導主事連絡協議会( )	○福祉副読本改訂委員会( )		27
28 水	□一般訪問・市学校訪問B(三沢台小学校)	○幼児教育研修会③(研究室)	□修学旅行(平山中)	28
29 木	▲福祉教育推進委員会( ) □生活指導主任宿泊研修会( )	○実技研修会<理科隣地研修>(浅川流域)		29
30 金	□ ▲進路指導担当指導主事連絡協議会( )	○初任者研修⑤( )+○教育課題研修会④(研究室)	□開園(七幼) □開校(六小)	30
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 小5、八ヶ岳移動教室(三沢台:5/31~6/1)、(平山小:6/1~2)、(滝合小:6/2~3)、(高幡台小:6/5~6)、(第七小:6/6~7)、(南平小:6/7~8)(第六小:6/8~9)、(旭が丘小:6/12~13)、(平山台小:6/13~14)、(三沢台小:6/15~16)、(東光寺小:6/16~17)</li> <li>• 小6、日光移動教室・第1班(6/18~20) 第二小、調壁小、平山小、高幡台小、程久保小、旭が丘小、三沢台小。 第2班(6/20~22) 第二小、調壁小、平山小、高幡台小、程久保小、旭が丘小、三沢台小。 第3班(6/22~23) 第三小、百草台小、滝合小、第七小、平山台小、東光寺小、仲田小。</li> <li>• 中3、修学旅行(第一中、第三中:6/2~4)、(大坂上中:6/6~8)、(三沢中:6/7~9)、(第二中:6/8~11)、(平山中:6/28~30)</li> <li>• 運動会(6/3:平山中、6/4:三小、6/18:一中、大坂上中)</li> <li>• 6/21(水)日野地区協(婦人部大会)</li> </ul>			

7 月 【各種会議・主任会・委員会等、△：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日 曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日
1 土		○科学教育センター(第五小)		1
2 日				2
3 月	▲男女平等教育推進委員会( )	○生活指導主任会( )		3
4 火	△校長会( )	○心身障害教育推進協議会(百草台小) ○小学校体育主任会( )		4
5 水	□都一般訪問・市学校訪問A or B( )	○日野市教育研究会( ) ○中学校教育研究会( )		5
6 木	▲人尊校委員会( ) ▲都市指導主事会( ) □教務主任宿泊研修会( )	○相談学級運営委員会( ) ○1～2年次教頭研修会( )		6
7 金	□ ▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会 △園長会( )	○初任者研修( )		7
8 土	(休業日)	○科学教育センター(第五小)		8
9 日				9
10 月		○就学相談委員会( )		10
11 火	△教頭会( ) ▲同和教育指導推進委員会( )	○英語指導法改善委員会( )		11
12 水	△人権尊重教育推進委員会役員会( )	●新任指導主事研修会( )		12
13 木				13
14 金	▲指導主事連絡協議会(都立教育研究所)	●第二地区指導主事連絡会(多摩市)		14
15 土				15
16 日				16
17 月				17
18 火				18
19 水				19
20 木			△小・中学校終業式	20
21 金			(夏季休業日・始)	21
22 土				22
23 日				23
24 月	△初任者研修会⑦( ) △実技研修会〈運動会・ダンス〉( )	○初任者研修会⑧( )		24
25 火	□初任者研修・宿泊研修会①+2年次宿泊研 (清里)	○教育相談研修会③(研究室)		25
26 水	□初任者研修・宿泊研修会②+2年次宿泊研 △教育相談研修会④(研究室) (清里)	□科学教育センター夏季講座Ⅰ(大成荘)		26
27 木	□初任者研修・宿泊研修会③(清里) △教育相談研修会⑤(研究室)	□科学教育センター夏季講座Ⅱ(大成荘)		27
28 金	□初任者研修・宿泊研修会④(清里) △教育相談研修会⑥(研究室)	□科学教育センター夏季講座Ⅲ(大成荘)		28
29 土				29
30 日				30
31 月	□教頭一日研修( )			31
備 考				

8 月

【各種会議・主任会・委員会等 △：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日
1	火				1
2	水				2
3	木				3
4	金				4
5	土				5
6	日				6
7	月				7
8	火				8
9	水				9
10	木				10
11	金				11
12	土				12
13	日				13
14	月				14
15	火				15
16	水				16
17	木	□研究員・御岳研究集会(小学校)			17
18	金	□研究員・御岳研究集会(小学校) □校長一日研修( )			18
19	土	□研究員・御岳研究集会(小学校) □研究員・御岳研究集会(中学校)			19
20	日	□研究員・御岳研究集会(中学校)			20
21	月	□研究員・御岳研究集会(中学校) △園長会( )			21
22	火				22
23	水				23
24	木	△初任者研修⑨( )	○初任者研修⑩( )		24
25	金	△教育課題研修会⑥+初任者研修⑪( )	○初任者研修⑫( )		25
26	土				26
27	日				27
28	月				28
29	火				29
30	水	△実技研修会<社会科隣地研修>(日野地区)			30
31	木		●東京都市指導主事会・定例会( )	(夏季休業日・終)	31
備 考					

日	曜	午	前	午	後	備考(学校関係)	日
1	金					・2学期始業式 (防災訓練)	1
2	土						2
3	日						3
4	月		▲同和教育指導推進委員会( )		○小・水泳記録会(川北)		4
5	火		△校長会( )		○小・水泳記録会(川南)		5
6	水		▲学校訪問協議会( )		○中・水泳記録会		6
7	木		▲人権尊重教育推進校委員会( ) ▲多摩地区指導主事連絡協議会( )		○研究主任会( )	□修学旅行(四中)	7
8	金		△園長会( ) ▲第二地区指導主事連絡会( )		○進路指導主任会( ) ○学習指導研修会⑨+初任者研修⑩( )		8
9	土		(休業日)			□	9
10	日						10
11	月		▲消費者教育・環境教育推進委員会( )		○生活指導主任会( ) ○就学相談委員会( )		11
12	火				○心身障害教育推進協議会(大板上中) ○授業改善委員会( )		12
13	水		□都一般訪問・市学校訪問B(大板上中学校)			□移動教室(三小)	13
14	木		▲生活指導担当指導主事連絡協議会( ) ▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会( )		○多摩地区生活指導研究協議会( ) ○初任者研修実施協議会+現職研修実施検討委員会( )	□	14
15	金		(敬老の日)				15
16	土					開校記念日(三沢中)	16
17	日						17
18	月		□市学校訪問B(平山小学校)				18
19	火		▲東京都市指導主事会・定例会( )		○教育課題研究推進委員会( ) ○小学校体育主任会( )		19
20	水		□都一般訪問・市学校訪問B(日野第一中学校)				20
21	木		▲進路指導担当指導主事連絡協議会( )		○教務主任会( )		21
22	金		△教頭会( ) □運動会(二中) ▲国際理解教育+在日外国人児・生教育連協( )				22
23	土		□運動会(百草台小、旭が丘小、三沢中) (秋分の日)				23
24	日		□運動会(七生中)				24
25	月				○中学校生活指導主任会( )	□修学旅行(四中)	25
26	火						26
27	水		□市学校訪問B(日野第三中学校)			□	27
28	木		▲男女平等教育推進委員会( )				28
29	金		▲体育保健給食担当指導主事連絡協議会( )				29
30	土						30
備	考	・運動会(9/22:二中、9/23:百草台小、旭が丘小、三沢中、9/24:七生中)					

10月

【各種会議・主任会・委員会等 △：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日	曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日
1	日	□運動会 (都民の日)			1
2	月	□市学校訪問A(日野第三小学校)		開校記念日(三中、平山中)	2
3	火	△校長会( )	○心身障害教育推進協議会(七生中) ○授業改善委員会( )		3
4	水			□合唱祭(平山中)	4
5	木	▲東京都市指導主事会・定例会( )	○実技研修会く理科臨地研修(浅川流域)	□合唱祭(大坂上中)	5
6	金		○情報教育推進委員会( ) ○学習指導研修会④+初任者研修⑨( )		6
7	土				7
8	日	□運動会(幼稚園)			8
9	月	□市学校訪問A(三沢中学校)	○生涯学習研修会く動物の子育て(研究室)		9
10	火	(体育の日)			10
11	水		○日野市教育研究会( )、○中学校教育研究会( )		11
12	木	□市学校訪問A(日野第八小学校)			12
13	金	△園長会( ) ▲教員研修担当指導主事連絡協議会( )	○実技研修会く社会科臨地研修(高幡地区)		13
14	土	(休業日)	○科学教育センター(第五小)		14
15	日				15
16	月	▲生活指導担当指導主事連絡協議会世話人会 ( )	○生活指導主任会( )		16
17	火	□市学校訪問A(日野第五小学校)			17
18	水	□市学校訪問B(日野第四小学校)		□合唱祭(三中)	18
19	木		○教務主任会( ) ●多摩地区健全育成行政連絡会議( )		19
20	金	△教頭会( )	○進路指導主任会( ) ○保健主任会( )	開校記念日(程久保小)	20
21	土		○就学相談委員会( ) ○科学教育センター開閉講式(第五小)		21
22	日				22
23	月	□市学校訪問A(程久保小学校)			23
24	火	△人権尊重教育推進委員会( ) ▲幼稚園担当指導主事連絡協議会( )	○教育課題研修会⑥( ) ○英語指導法改善委員会( )	□合唱祭(一中)	24
25	水	□市学校訪問B(第四幼稚園)			25
26	木	△小学校音楽鑑賞教室(日野市民会館) ■同和教育指導推進委員会・地域視察( )	○音楽鑑賞教室( )	□音楽鑑賞教室	26
27	金	■同和教育指導推進委員会・地域視察( ) ▲在日外国人児童・生徒教育連絡協議会( )		□合唱祭(三沢中)	27
28	土	(休業日)			28
29	日				29
30	月				30
31	火	▲男女平等教育推進委員会( )			31
備 考		・運動会(10/1:一小、二小、四小、五小、潤徳小、平山小、八小、滝合小、高幡台小、七小、南平小、程久保小、平山台小、東光寺小、三沢台小、仲田小) (10/8:一幼、二幼、三幼、四幼、五幼、六幼、七幼)			
		・10/25(水)日野地区協(教研集会)			

日	曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日	
1	水	□都一般訪問・市学校訪問B(仲田小学校)		開園・校(四幼・五幼・四小八小)□合唱祭(七生中)	1	
2	木	▲東京都市指導主事会・定例会(多摩市)		開校記念日(大坂上中) □合唱祭(七生中)	2	
3	金	(文化の日)			3	
4	土		○科学教育センター(第五小)		4	
5	日				5	
6	月	▲消費者教育・環境教育推進委員会( )	○生活指導主任会+教職専門研修会⑥( )		6	
7	火	△校長会( ) ▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会( )	○心身障害教育推進協議会(七生義護学校)		7	
8	水		○日野市教育研究会( ) ○中学校教育研究会( )	□合唱祭(七生中)	8	
9	木	□市学校訪問A(東光寺小学校)			9	
10	金	△園長会( ) ▲人権尊重教育推進校委員会( )	○保健主任会( ) ○学校図書主任連絡会( )		10	
11	土	(休業日)			11	
12	日				12	
13	月		○家庭裁判所連絡会( )		13	
14	火		○授業改善委員会( )		14	
15	水	□市学校訪問B(日野第二中学校)			15	
16	木	▲生活指導担当指導主事連絡協議会( )	○教務主任会( )+教職専門研修会⑥( ) ○相談学級運営委員会( )		16	
17	金	□市学校訪問A(第五幼稚園)			17	
18	土		○科学教育センター(第五小) ○就学相談委員会( )		18	
19	日				19	
20	月	□市学校訪問A(平山中学校)	○生涯学習研修会<日野の教育史>(研究室)		20	
21	火				21	
22	水	□市学校訪問B(滝合小学校)		開校記念(南平、旭が丘、東光寺、平山台、仲田、四中)	22	
23	木	(勤労感謝の日)			23	
24	金	△教頭会( ) ▲進路指導担当指導主事連絡協議会( )	○進路指導主任会( ) ○学習指導研修会+初任者研修⑨( )		24	
25	土	(休業日)	○科学教育センター(第五小)		25	
26	日				26	
27	月	□市学校訪問A(潤徳小学校)			27	
28	火	▲体育保健給食担当指導主事連絡協議会( )			28	
29	水	□市学校訪問B(日野第四中学校)			29	
30	木				30	
備 考		<ul style="list-style-type: none"> <li>・展覧会(11/17~18:一小、四小、平山小、百草台小、高幡台小、旭が丘小、三沢台小、11/17~19:東光寺小)</li> <li>・学芸会(11/17~18:二小、三小、五小、六小、潤徳小、仲田小、11/18~19:八小、南平小、平山台小)</li> <li>・音楽会(11/17~18:滝合小、程久保小、11/18~19:七小)</li> </ul>				

日	曜	前	午	後	備考(学校関係)	日
1	金	△園長会( )				1
2	土			○科学教育センター(第五小)		2
3	日					3
4	月			○生活指導主任会( )		4
5	火	△校長会( )		○心身障害教育推進協議会(平山台小)		5
6	水			○日野市教育研究会( )		6
7	木	▲福祉教育推進委員会( )		○教務主任会( )		7
8	金	□市学校訪問B(平山台小学校)		○初任者研修⑩( )		8
9	土	(休業日)		○科学教育センター(第五小)		9
10	日					10
11	月					11
12	火	△教頭会( ) ▲同和教育指導推進委員会( )		○教育相談ケース会議(相談室)		12
13	水	▲指導主事連絡協議会(都立教時研究所)		○中学校教育研究会( )		13
14	木	△人権尊重教育推進委員会( )				14
15	金			○初任者研修実施協議会( ) ○1～2年次教頭研修会(研究室)		15
16	土			○科学教育センター(第五小) ○就学相談委員会( )		16
17	日					17
18	月			○中学校生活指導主任会( )		18
19	火					19
20	水					20
21	木					21
22	金					22
23	土	(天皇誕生日)				23
24	日					24
25	月				△小・中学校修業式	25
26	火				(冬季休業日・始)	26
27	水					27
28	木					28
29	金					29
30	土					30
31	日					31
備						
考						

1 月

【各種会議・主任会・委員会等 △：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日 曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日
1 月	(元 旦)			1
2 火				2
3 水				3
4 木				4
5 金				5
6 土	(休 業 日)			6
7 日			(冬季休業日・終)	7
8 月			△小・中学校始業式	8
9 火	△校長会( )	○心身障害教育推進協議会(第三小学校) ●第二地区指導主事連絡会(多摩市)		9
10 水	▲国際理解教育+在日外国人児・生教育連協( )			10
11 木	▲幼・小・中教育課程届出説明会( )	◆教育委員会定例会(506)		11
12 金	△園長会( )	○保健主任会( ) ○進路指導主任会( )		12
13 土	(休 業 日)			13
14 日				14
15 月	(成 人 の 日)		□スキー教室(平山中)	15
16 火	▲幼稚園担当指導主事連絡協議会( )	○小学校体育主任会( ) ○授業改善委員会( )		16
17 水	□都一般訪問・市学校訪問A or B(幼稚園)	○日野市教育研究会( ) ○中学校教育研究会( )	□	17
18 木	▲多摩地区指導主事連絡協議会( ) ▲人権尊重教育推進校委員会( )	○教務主任会( )	□スキー教室(二中)	18
19 金	△教頭会( )	○初任者研修○( ) ○教育課題研究推進委員会( )		19
20 土		○就学相談委員会(相談室) ○科学教育センター(第五小) □書き初め展(市民会館)	□	20
21 日		□書き初め展(市民会館)		21
22 月	□市学校訪問A(第三幼稚園) ▲進路指導担当指導主事連絡協議会( )	○生活指導主任会( )		22
23 火	▲心身障害教育担当指導主事連絡協議会( )			23
24 水	□市学校訪問B(南平小学校)			24
25 木	▲東京都市指導主事会・定例会( )	○研究主任会( ) ○相談学級運営委員会( )		25
26 金	□市学校訪問A(日野第六小学校)	●多摩地区生活指導研究協議会( )		26
27 土	(休 業 日)			27
28 日			□スキー教室(四中)	28
29 月	□市学校訪問A(七生中学校) ▲第二地区指導主事連絡会(稲城市)			29
30 火	▲男女平等教育推進委員会( )	●多摩地区生活指導研究協議会( )	□	30
31 水	□市学校訪問B(高幡台小学校)			31
備 考				

2 月

【各種会議・主任会・委員会等 △：午前 ○：午後 □：全日】 【指導主事会議 ▲：午前 ●：午後 ■：全日】

日 曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日
1 木	<input type="checkbox"/> 市学校訪問A(第七幼稚園)			1
2 金	△園長会( ) <input type="checkbox"/> 初任者研修宿泊研修会( )			2
3 土	<input type="checkbox"/> 初任者研修宿泊研修会( )			3
4 日			<input type="checkbox"/> スキー教室(七生中)	4
5 月	▲消費者教育・環境教育推進委員会( )	○生活指導主任会( )		5
6 火	△校長会( )	○心身障害教育推進協議会(百草台小)	<input type="checkbox"/>	6
7 水	<input type="checkbox"/> 教頭研修会(研究室)		<input type="checkbox"/> スキー教室(三沢中)	7
8 木	▲教員研修担当指導主事連絡協議会( )	○教育課程届出説明会:心障2:00~、小・中3:00~。	<input type="checkbox"/> スキー教室(三中)	8
9 金		○教育課程届出説明会:幼稚園3:00~。	<input type="checkbox"/>	9
10 土	(休業日)		<input type="checkbox"/> 開校(一小、三沢台小)	10
11 日	(建国記念の日)			11
12 月	(振替休日)			12
13 火				13
14 水		○中学校教育研究会・研究発表会( )		14
15 木	▲生活指導担当指導主事連絡協議会( )			15
16 金	△教頭会( ) ▲在日外国人児童・生徒教育連絡協議会( )	○学習指導研修会⑥+初任者研修○( ) ○学校図書主任連絡会( )		16
17 土				17
18 日			<input type="checkbox"/> スキー教室(一中)	18
19 月		○中学校生活指導主任会( )		19
20 火	▲東京都市指導主事会・定例会( )	○授業改善委員会( )	<input type="checkbox"/>	20
21 水		○日野市教育研究会・研究発表会( )		21
22 木	▲同和教育指導推進委員会( )	○教育相談ケース会議( ) ○英語指導法改善委員会( )		22
23 金		○教育課題研究推進委員会( )		23
24 土	(休業日)			24
25 日				25
26 月	▲体育保健給食担当指導主事連絡協議会( )	○研究室事業推進委員会・報告会(研究室)		26
27 火		○情報教育推進委員会( ) ○多摩地区教育推進委員会・研究発表(多摩教育センター)		27
28 水				28
29 木		○相談学級運営委員会( )		29
備 考	○中学校移動教室<スキー教室>( 中学:2/ ~ )、( 中学:2/ ~ )、( 中学:2/ ~ )			

日	曜	午 前	午 後	備考(学校関係)	日
1	金	△園長会( ) ▲第二地区指導主事連絡会(八王子)	○授業改善委員会+研究奨励受給者発表会( ) ○初任者研修○( )	開校記念日(七小)	1
2	土	.			2
3	日			□スキー教室(大坂上中)	3
4	月	▲生活指導担当指導主事連絡会・世話人会( )	○生活指導主任会( )		4
5	火	△校長会( )	○心身障害教育推進協議会・発表会(日野五小) ○教職研修実施協議会( )	□	5
6	水	△人権尊重教育推進委員会( )	○日野市教育研究会( ) ○中学校教育研究会( )		6
7	木	▲人権尊重教育推進校委員会( )	○教務主任会( )		7
8	金	▲指導主事連絡協議会(都立教育研究所)	○保健主任会( ) ○進路指導主任会( )		8
9	土	(休業日)			9
10	日				10
11	月	▲進路指導担当指導主事連絡協議会( )	○就学相談委員会( )		11
12	火	△教育課程届出受付( )( )( )	○教育課程届出受付( )( )( )		12
13	水	△教育課程届出受付( )( )( )	○教育課程届出受付( )( )( )		13
14	木	△教育課程届出受付( )( )( )	○教育課程届出受付( )( )( )		14
15	金	△教頭会( ) ▲東京都市指導主事会・定例会( )	○教育課程届出受付( )( )( )		15
16	土	△幼稚園修了式( )			16
17	日				17
18	月	△教育課程届出受付( )( )( )	○教育課程届出受付( )( )( )		18
19	火	△教育課程届出受付( )( )( )	○教育課程届出受付( )( )( )		19
20	水	(春分の日)			20
21	木	△中学校卒業式			21
22	金	△教育課程届出受付( )( )( )	○教育課程届出受付( )( )( )	△小学校卒業式	22
23	土	(休業日)			23
24	日				24
25	月	△小学校卒業式		△中学校卒業式	25
26	火			(春季休業日・始)	26
27	水				27
28	木				28
29	金		○初任者研修( )		29
30	土				30
31	日				31
備					
考					

## 日野市教育委員会指導室の年間事業計画

### A 主任会・委員会等

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務主任会	教務主任の立場から円滑な学校運営の在り方について研修するとともに、当面する教育課題について研究協議し自校の教育活動の改善・充実に役立てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務主任の職務</li> <li>・円滑な学校運営を図る教務主任の在り方</li> <li>・当面する教育課題</li> </ul>	市役所 又は 研究室	教務主任
小・中生活指導主任会	生活指導についての共通理解を深め、それぞれの学校における生活指導上の問題を解決するため情報交換と研修を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活指導上の臨時的対策</li> <li>・学校生活に喜びを感じ、能力を十分に生かす生活指導の在り方</li> </ul>	市役所 又は 研究室	生活指導主任
中学校生活指導主任会	中学校の生活指導及び学校間の協力体制を推進し、生活指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生と生徒、生徒間の人間関係の在り方</li> <li>・学校生活に生きがいを感じる生活指導の確立</li> </ul>	市役所 又は 学校	中学校生活指導主任
保健主任会	心身ともに健全な児童・生徒の育成を図るための保健教育の在り方について研究し、健康・安全教育の推進について研究する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校保健の在り方</li> <li>・保健指導の実態と望ましい在り方</li> <li>・分科会研究</li> <li>・研究発表</li> </ul>	市役所 又は 研究室	保健主任

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
進路指導主任会	中学校の進路指導の基本的な在り方について研修するとともに進路指導を交換する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全体的な指導体制の確立</li> <li>• 進路指導上の問題点の整理と検討</li> </ul> 進路指導の全体計画 各学年の指導の重点 進路指導を推進するための組織運営 指導資料の作成	市役所 及び 学校	進路指導主任
福祉定副委員長会	小学校福祉副読本「ふれあい」中学校福祉副読本「寿」を作成する。	日野市小中学校の福祉副読本の改訂	市役所 又は 学校	改定委員
健全育成委員会資料	小・中学校における各学校の生活指導上の取り組みを日野市全体のものとし有効活用できるようにする。	小・中学校における各学校の取り組みを集約し資料としてまとめる。	市役所 又は 学校	作成委員
進路成指導員資料	進路指導資料の活用および手引書の作成	進路学習副読本「明日への展望」を活用し、問題点、課題点を探る。	市役所 又は 学校	作成委員
教推進課題研究会	人権尊重教育推進の視点から、4課題を設定し、今後のあり方について研究する	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 環境教育推進部会</li> <li>• 生き方教育推進部会</li> <li>• 男女平等教育推進部会</li> <li>• 国際理解教育推進部会</li> </ul>	市役所 又は 学校	委員

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教科採 択委 員 書会	東京都教育委員会の指導・助 言を得て、各学校の意見を反映 させ、地域の実態に即した採択 を行なう	平成8年度よりの小学校使用 教科書の採択	市役所 及 び 学 校	委 員
就 学 相 談 委 員 会	心身に障害のある幼児・児童 ・生徒の障害と発達の状態に応 じた適切な教育措置をするため の相談等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都教育委員会、教育相談 所及び児童相談所等との連絡 と就学に関する継続相談</li> <li>各種専門家による就学相談</li> </ul>	学 校 又 は 幼 稚 園	就 学 指 導 委 員 員
授 業 改 善 委 員 会	日野市の教育研究課題の解決 を目指し、個性重視の教育や創 造性を育てる教育の具体化を図 る研究を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究奨励事業の推進</li> <li>「児童、生徒の願いを生かし、 育てる学習活動」の研究と公 開授業・研究協議。</li> <li>研究集録の作成</li> <li>先進校等の管外視察</li> </ul>	市役所 及 び 学 校	委 員
教 育 ケ ー ス 相 会 談 議	事例研究を通して、望ましい 教育相談技術を探る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事例研究</li> </ul>	研究室	教 兼 育 任 相 相 談 員 員
体 育 主 任 会	児童の健康・運動能力の実態 を把握し、その増進を図るため の具体的方策を考え、学校教育 活動全体を通じた体育指導の実 践化と生活化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>体位・体力向上をめざした学 校教育活動全体の検討</li> <li>体育科の教科指導の充実を図 る研究・研修</li> <li>「体力づくりの日」の効果的 実践</li> <li>水泳記録会、陸上記録会の企 画</li> </ul>	市役所 又 は 学 校	体 育 主 任

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
週検 5討 日委 制員 会	学校週5日制の月2回実施に おける教育課程の編成実施評価。 完全実施へ向けての課題と方 策	教育課程の編成と実施につい て、調査・研究する。	市役所 又 は 学 校	委 員
一編 ま集 ど委 べ員 会	教育委員会と学校とを結ぶ機 関紙を発行する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「まどべ」の企画、原稿依頼、 編集、校正</li> </ul>	学 校	作 成 委 員
研 究 主 任 会	児童・生徒が自ら考え主体的 に判断し、行動したりすること ができる資質や能力の育成を目 指した教育活動をさらに充実・ 発展するための校内研究の進め 方等について研修を進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業研究の推進</li> <li>各校の校内研究の敷衍</li> </ul>	市役所 及 び 現 地	研 究 主 任 会
水運 泳営 記委 録員 会	水泳記録会で、児童・生徒が 日ごろの学習の成果を競い、体 力の向上を図るとともに、学校 間の交流を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳記録会の企画、連絡、調 整、運営</li> </ul>	市役所 及 び 現 地	運 営 委 員
日運 光営 移委 動員 教室 会	日光移動教室を連合で行うに 際し、円滑な運営が行われるよ う連絡、調整にあたる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日光移動教室の企画、実地踏 査、連絡、調整、運営</li> </ul>	市役所 及 び 現 地	運 営 委 員

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
人権推進委員会 教育会	<p>人権尊重教育の推進の方法について検討し、学校における人権尊重教育の在り方について連絡協議する。</p> <p>また「子どもの人権読本作成委員会」と連携をはかり教師向けの指導資料を作成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 人権尊重教育の推進方法の協議</li> <li>• 研修会の開催及び人権尊重教育推進校の成果の活用</li> </ul>	市役所 又は 学校	推進委員
情報推進委員会 教育会	<p>社会の情報化への対応をめざし、学校教育でのコンピュータ活用について研究、協議する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校におけるコンピュータの活用について協議</li> <li>• 教育方法としてのコンピュータの活用について研究</li> </ul>	市役所 又は 学校	推進委員

B 宿泊研修会（一日研修を含む）

名称	ねらい・方針	内容・方法	会場	対象
教務主任宿泊研修会	児童・生徒の実態と地域に即した教育課程の編成と実施をめざし、他地域を参観したり、情報交換等をととしての資質を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育課程の趣旨を生かし主体的学習を促す学習指導</li> <li>・学級指導を実践している学校の参観</li> <li>・研究協議</li> </ul>	千葉県	教務主任
生活指導主任宿泊研修会	児童・生徒の実態を把握し、生活指導の充実を図るため他地域の学校を参観し、情報交換をととしての生活指導主任の資質を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他域の学校の生活指導組織とその実践について学ぶ</li> <li>・研究協議</li> </ul>	静岡県	生活指導主任
進路指導主任宿泊研修会	全校的な指導体制の強化・充実を図るため、他地域を参観し情報交換をととしての進路指導主任の資質を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導の指導計画並び指導組織とその実践</li> <li>・研究協議</li> </ul>	群馬県	進路指導主任
新任者・新採教員宿泊・新採教員研究会	一学期の教職経験を話し合い指導上の課題について協力して解決し教職の専門性を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講話「児童・生徒理解の方法と生活指導」</li> <li>・研究討議「一学期の反省と指導上の問題点」</li> <li>・自然観察の指導 「動物・植物・星・川」</li> </ul>	山梨県清里他	新規採用教諭

日野市教育委員会研修事業（Ａ）

№	研 修 会 名	回	主 題	期 日(曜)
1	学 校 経 営 研 修 会	1	学校改善とインフォームド・コンセント	4月24日(月)
2	”	2	学校組織運営の改善と新しい授業の創造	5月 2日(火)
3	”	3	心の時代の学校経営	5月22日(月)
4	”	4	危機管理体制で臨む学校教育	6月 1日(木)
5	”	5	生涯学習の一環としての学校教育	6月15日(木)
6	”	6	欧米教育事情と我が国の教育の展望	7月13日(木)
7	教 職 専 門 研 修 会	1	新しい学力観に立った校内研究の実践的研究	5月11日(木)
8	”	2	子供社会の規範を生かした生活指導	6月 5日(月)
9	”	3	これからの学校保健の在り方	6月 9日(金)
10	”	4	学校選択、学校参加時代の教育課程の編成	6月22日(木)
11	”	5	学校不適應の早期発見と効果的な対応	11月 6日(月)
12	”	6	三者の視点に立った学校評価と教育課程編成	11月16日(木)
13	教 育 課 題 研 修 会	1	「児童の権利に関する条約」と学校教育	4月27日(木)
14	”	2	教室の中からの男女平等教育の現状と課題	5月25日(木)
15	”	3	国際化への対応と人間理解の指導	6月20日(火)
16	”	4	心身障害教育の現状と課題	6月30日(金)
17	”	5	発達課題を踏まえた進路指導	8月25日(金)
18	”	6	豊かな人間関係を育む指導	10月24日(火)
19	学 習 指 導 法 研 修 会	1	子供の内面に根差した道徳指導の展開	5月19日(金)
20	”	2	「関心・意欲」を引き出し高める指導の展開	6月16日(金)
21	”	3	視聴覚機器を活用した指導の展開	9月 8日(金)
22	”	4	感性を育てる指導の展開	10月 6日(金)
23	”	5	チームティーチングを生かした指導の展開	11月24日(金)
24	”	6	表現力を育てる指導の展開	2月16日(金)

講 師	会 場	備 考
帝京大学 教授 亀井 浩明	教職員研究室	午後2時～
新宿区立余丁町小学校長 下山 伸一	教職員研究室	午後2時～
調布市立布田小学校長 山中 義男	教職員研究室	午後2時～
府中市立府中第五小学校長 岩木 弘勝	教職員研究室	午後2時～
前千代田区立今川中学校長 五十嵐邦亭	教職員研究室	午後2時～
三菱商事人事厚生部海外子女教育アドバイザー 張江 幸男	教職員研究室	午後2時～
青山学院大学 講師 神田 辰己	教職員研究室	午後2時～
東京女子体育大学 教授 伊藤 堯	教職員研究室	午後2時～
教育庁体育部体育健康課指導主事 山村幸太郎	教職員研究室	午後2時～
帝京大学 講師 尾崎 政二	教職員研究室	午後2時～
玉川大学 教授 甲斐 隆	教職員研究室	午後2時～
元東邦音楽大学 教授 池沢 正夫	教職員研究室	午後2時～
法務省人権擁護委員 平 清太郎	教職員研究室	午後2時～
国分寺市第三小学校長 安達 知子	教職員研究室	午後2時～
元ペルー日本人学校長 森川 亮	教職員研究室	午後2時～
指導部心身障害教育指導課主任指導主事 池田 敬史	教職員研究室	午後2時～
多摩教育事務所指導課指導主事 原 雅夫	教職員研究室	午前9時～
八王子市教育センター教育研究所長 久家 義久	教職員研究室	午後2時～
昭島市教育委員会指導主事 松本多加志	日野第五小学校	授業者 折笠玉典教諭 午後1時45分～
稲城市教育委員会指導主事 有馬 守一	仲田小学校	授業者 佐藤民男教諭 午後1時45分～
東京都立多摩教育研究所指導主事 嶋 治行	潤徳小学校	授業者 清水義路教諭 午後1時45分～
多摩市北諏訪小学校長 船田 信昭	平山台小学校	授業者 小山田ひろみ教諭 午後1時45分～
東久留米市教育委員会指導主事 増田 吉史	日野第四小学校	授業者 田村直樹教諭 午後1時45分～
国分寺市教育委員会指導主事 高橋 和雄	日野第五小学校	授業者 蔵元由貴乃教諭 午後1時45分～

日野市教育委員会研修事業（Ｂ）

№	研 修 会 名	回	主 題	期 日(曜)
1	教育相談研修会	1	いじめ問題とその対応	5月15日(月)
2	”	2	子ども理解と教育相談的配慮	6月2日(金)
3	”	3	子どもの性格と行動の理解	7月25日(火)
4	”	4	学級経営に生かす教育相談的手法	7月26日(水)
5	”	5	現代の子どもの心の理解	7月27日(木)
6	”	6	思春期の心身の発達と健康	7月28日(金)
7	一・二年度教頭研修会	1	学校における危機管理と教頭の役割	7月6日(木)
8	”	2	教育効果を高める教頭の事務管理	12月15日(金)
9	学校保健研修会	1	生活科の中の保健指導	10月20日(金)
10	”	2	保健室における子どもへの対応	11月10日(金)
11	学校給食研修会	1	学校給食の役割	11月9日(木)
12	”	2	輸入食品と子どもの健康	1月18日(木)
13	幼児教育研修会	1	子どもへの語りかけ	4月26日(水)
14	”	2	楽しい植物の栽培	5月17日(水)
15	”	3	幼児の怪我と病気の処置	6月21日(水)
16	各種実技研修会	1	楽しく安全な水泳指導	6月8日(木)
17	”	2	運動会に活用できるダンス	7月24日(月)
18	”	3	社会科臨地研修Ⅰ（日野地区）	8月30日(水)
19	”	4	社会科臨地研修Ⅱ（高幡地区）	10月13日(金)
20	”	5	理科臨地研修Ⅰ（浅川の流れ）	6月29日(木)
21	”	6	理科臨地研修Ⅱ（浅川原の生物）	10月5日(木)
22	”	7	打楽器の指導	6月26日(月)
23	生涯学習研修会	1	動物の子育てに学ぶ	10月9日(月)
24	”	2	日野の教育史余話	11月20日(月)

講 師	会 場	備 考
東京学芸大学 教授 江川 玻成	教職員研究室	
日野市立七生中学校相談学級 嘱託 鈴木 清司	”	
日本女子体育大学 教授 石川 尚子	”	午後1:00~3:00
東京学芸大学 教授 松村 茂治	”	午前9:30~11:30
目白学園女子短期大学 教授 真仁田 昭	”	
都立梅ヶ丘病院 医師 海老島 宏	”	
前日野市立平山小学校 校長 内藤 康	”	
前日野市立滝台小学校 校長 草刈 喜一	”	
日本体育大学 講師 坂入 博子	”	兼保健主任会
都中部総合保健センター 心理技術員 星 一郎	”	兼保健主任会
前中野区立学校給食会 会長 石原 美子	”	
日本子孫基金 世話人 三宅 征子	”	
埼玉大学 講師 光永 久夫	”	
元日野市立日野第八小学校 校長 渋谷 義一	第七幼稚園	午後1:30~3:30
立川市立第三小学校 養護教諭 上山美智子	教職員研究室	
目黒区立五本木小学校 教諭 飯島俊之他	東 部 会 館	
立川市立第五小学校 板橋区立大谷口小学校 教諭 高杉 裕子 教諭 鈴木千鶴穂	潤徳小学校体育館	午前9:30~ 午後3:30
元日野史談会 会長 谷 春雄他	日 野 町	午前9:30~11:30
元日野市史編纂室 室長 森久保忠雄他	高 幡	
日野市立南平小学校 日野市立日野第五小学校 校長 馬場 武 校長 畑石 重輝	教職員研究室	
日野市立日野第二小学校 日野市高幡台小学校 校長 秋山 憲一 校長 兼島 政邦	”	
中野区立沼袋小学校 教諭 大湊 勝弘	日野第五小学校	
元都立多摩動物公園 園長 矢島 稔	教職員研究室	
日野市史編集委員会 委員 沼 謙吉	”	

※備考欄に時間の記載のないものは、午後2時から4時までとなります。

## 日野市教育委員会研修事業（C）

### (1) 初心者コース

研修会コース名	研修会番号	内 容
A. 初心者コース	A-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの動かし方、扱い方。</li> <li>・パソコンの仕組みを知る。</li> <li>・キーボードになれる。</li> <li>・簡単な命令でパソコンを動かしてみる。</li> </ul>
	A-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・BASICで簡単なプログラムを作ってみる。</li> <li>・汎用ソフト（ハイパーキューブ）の紹介。</li> </ul>

### (2) 初級コース-1

研修会コース名	研修会番号	内 容
B. ハイパーキューブコース	B-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワープロ パソコンで文書を作成、編集、保存をする。</li> </ul>
	B-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算 電卓として活用し、グラフを簡単に作成、文書に挿入する。</li> </ul>
	B-3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフィックス 図や絵を描く。また、絵や写真をパソコンに取り込む。描いた絵や写真を作成済みの文書に取り込む。</li> </ul>
	B-4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・データベース データベースの作り方。 登録したデータの並べ換えや検索を体験する。</li> </ul>

### (3) 初級コース-2

研修会コース名	研修会番号	内 容
C. 一太郎コース	C-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーボード練習</li> <li>・文字入力</li> </ul>
	C-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書の編集・印刷</li> <li>・機能キーの活用</li> </ul>

回数	日 時	研修会場
1 講座	5/16 2:00 ~ 4:00	日野市立平山中学校
1 講座	5/23 2:00 ~ 4:00	日野市立平山中学校

回数	日 時	研修会場
1 講座	5/30 2:00 ~ 4:00	日野市立平山中学校
1 講座	6/6 2:00 ~ 4:00	日野市立平山中学校
1 講座	6/13 2:00 ~ 4:00	日野市立平山中学校
1 講座	6/20 2:00 ~ 4:00	日野市立平山中学校

回数	日 時	研修会場
2 講座	8/3 9:00 ~ 3:00	日野市立平山中学校
2 講座	8/4 9:00 ~ 3:00	日野市立平山中学校

# 日野市教育委員会の学校訪問

## 1. 趣 旨

学校訪問は、教育委員、教育長、学校教育部長、教育庶務課長、学務課長、指導室長、指導主事が学校を訪問し、学校の教育活動の実態に直接触れることを通し、下記の事柄について、理解を深め、日野市の教育の充実・発展に資する。

- ① 学校の当面する教育指導上の諸問題への対応を図る
- ② 学校の施設・設備上の諸条件の整備、活用状況を把握する
- ③ 日野市の教育活動の全体を把握し、教育行政上の参考にする
- ④ 各学校の教職員との協議・懇談を行い相互の理解を深める
- ⑤ 学校訪問の成果を日野市の教育内容・方法の充実・発展に資する

### (1) A訪問

2年に一度、教育長、学校教育部長、教育庶務課長、学務課長、指導室長、指導主事が訪問し、学校経営全般にわたって実態を把握し、教育内容の充実・発展のために協議する。

- ①学校概況、②授業参観、③施設・設備の活用状況、④諸帳簿閲覧、⑤協議・懇談

なお、教育委員長、教育委員も時間の許す範囲で、訪問する。

### (2) B訪問

市教育委員会訪問Aのない学校に指導主事が訪問し、教育指導上の課題について、協議・懇談する。

- ①教科・道徳・特別活動の指導に関すること、②教育課題に関すること、③生活指導・進路指導に関すること、④授業研究に関すること、⑤学級・学年経営に関すること、⑥指導要録等に関すること、⑦教育研究・研修に関すること、⑧教育課程に関すること。

### (3) 一般訪問

各学校、各幼稚園の要請に応じ、東京都教育委員会指導主事並びに日野市教育委員会指導主事が訪問し、それぞれの学校(園)の置かれている条件に応じ、教職員とともに学校(園)のもっている問題について、実際に解決する方途を見いだすなど、隔意のない協議・懇談を行う。

ただし、一般訪問は、A訪問のない学校にB訪問と合わせて行う。

訪問日程

学校・園名	訪問日(曜)	種別
日野第一小学校	5月31日(水)	A
日野第二小学校	6月14日(水)	都
日野第三小学校	10月2日(月)	A
日野第四小学校	10月18日(水)	B
日野第五小学校	10月17日(火)	A
日野第六小学校	1月26日(金)	A
潤徳小学校	11月27日(月)	A
平山小学校	9月18日(月)	B
日野第八小学校	10月12日(木)	A
百草台小学校	5月23日(火)	A
滝合小学校	11月22日(水)	B
高幡台小学校	1月31日(水)	B
日野第七小学校	5月29日(月)	A
南平小学校	1月24日(水)	B
程久保小学校	10月23日(月)	A
旭が丘小学校	11月30日(木)	A
平山台小学校	12月8日(金)	B
東光寺小学校	11月9日(木)	A
三沢台小学校	6月28日(水)	都
仲田小学校	11月1日(水)	都

学校・園名	訪問日(曜)	種別
日野第一幼稚園	7月5日(水)	A
日野第二幼稚園	5月17日(水)	都
日野第三幼稚園	1月22日(月)	A
日野第四幼稚園	10月25日(水)	B
日野第五幼稚園	11月17日(金)	A
日野第六幼稚園	6月26日(月)	B
日野第七幼稚園	2月1日(木)	A

学校・園名	訪問日(曜)	種別
日野第一中学校	9月20日(水)	都
日野第二中学校	11月15日(水)	B
七生中学校	1月29日(月)	A
日野第三中学校	9月27日(水)	B
日野第四小学校	11月29日(水)	B
三沢中学校	10月9日(月)	A
大坂上中学校	9月13日(水)	都
平山中学校	11月20日(月)	A

(種別) A;市学校訪問A  
 B;市学校訪問B  
 都;都一般訪問+市学校訪問B

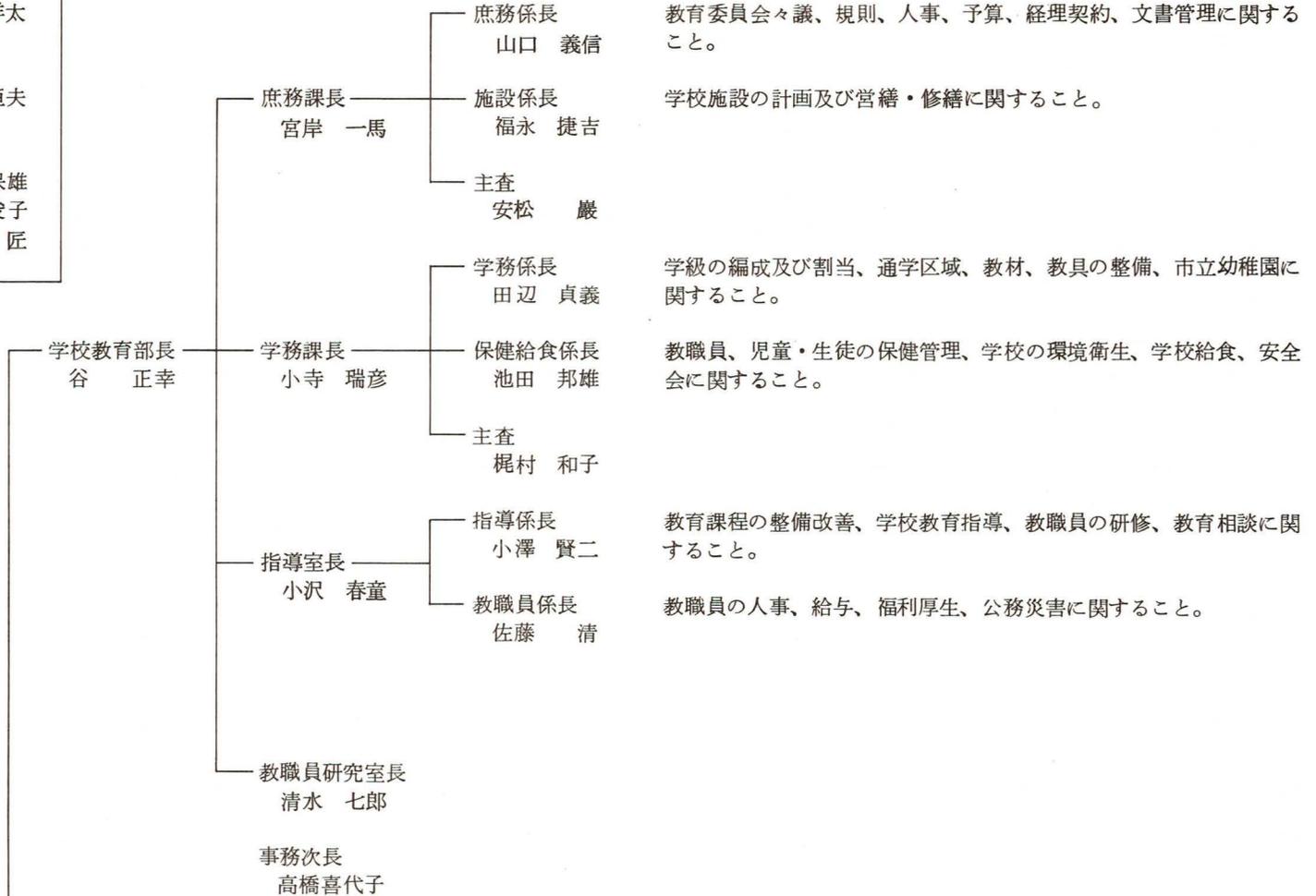
# 日野市教育委員会事務局組織

(1995年6月1日現在)

教育委員会  
委員長  
古谷 洋太

職務代理  
小松 恒夫

委員  
黒澤 保雄  
中田 俊子  
園田 匠



教育長  
園田 匠

社会教育部長  
加藤侃一郎

社会教育課長  
青山 武

社会教育係長  
鷹取 孝

社会教育の総合計画、社会教育団体の指導育成、芸術、文化の振興に関すること。

文化財係長  
藤井 和夫

文化財の調査、保護に関すること。

副主幹  
中野 修

体育課長  
奥住 文男

体育係長  
(課長補佐事務取扱)

社会体育事業及び市民プール、南平体育館、市営陸上競技場等の管理、運営、学校開放、体育、レクリエーション団体の育成に関すること。

課長補佐  
殿内 正彦

主査  
関 逸男  
井上 秀樹

市立図書館長  
斎藤 隆夫

庶務整理係長  
(副主幹事務取扱)

文書管理、人事、予算、物品及び施設管理に関すること。

奉仕係長  
藤沢 和男

図書館奉仕網の整理、分館の運営、奉仕計画及び蔵書構成の調整に関すること。

副主幹  
神山 正志  
小川 幸子

業務係長  
中尾 順一

図書の貸出し及び図書館運営の調査研究及び企画に関すること。

主査  
若林 康子  
榊田 昌盛

西村久美子  
浅野 茂

中央公民館長  
斉藤 好美

管理係長  
高橋 國夫

予算、文書管理、施設の維持管理、物品の保管、施設の利用に関すること。

指導係  
(管理係長兼務)

公民館活動の企画運営、成人、青年、婦人教育関係行事の実施に関すること。

主査  
斉藤 秀明

小泉 尚武

ふるさと博物館長  
(部長事務取扱)

庶務係  
(事務次長事務取扱)

予算、経理、施設の維持管理に関すること。

事務次長  
梅崎満洲夫

学芸係  
(事務次長事務取扱)

資料の収集、展示、整理、保管に関すること。

## 教育庶務課事務分担表

課長 宮岸 一馬

係名	職名	氏名	分担事務内容
庶務係	係長	山口 義信	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育委員会の会議に関する事。</li> <li>2. 教育委員会の条例、規則の制定・改廃に関する事。</li> <li>3. 労働安全衛生に関する事。</li> <li>4. 給料運搬。</li> </ol>
	主事	佐藤ミツ子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育委員の報酬の支払い及び出張に関する事。</li> <li>2. 教育委員会の対外関係に係る事務及び予算執行に関する事。</li> <li>3. 教育委員会事務局の予算・決算に関する事。</li> <li>4. 教育委員会職員の休暇等に関する事。</li> <li>5. 教育委員会事務局及び学校の購読物・帳票類に関する事。</li> <li>6. 学校職員の職務免除に関する事。</li> <li>7. 学校の臨時職員に関する事。</li> <li>8. その他、部及び課内庶務</li> </ol>
	主事	山下 義之	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小中学校委託業務に関する事。</li> <li>2. 特別整備用備品の購入・管理事務。</li> <li>3. 小中学校の校庭整備及び警備に関する事。</li> <li>4. 学校配当予算に関する事。</li> <li>5. 予算・決算に関する事。</li> <li>6. 用務員の被服貸与・研修に関する事。</li> <li>7. 学校臨時職員に関する事。</li> <li>8. 給料運搬</li> <li>9. 学校の交換便に関する事。</li> </ol>
	主事	佐藤謙太郎	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小中学校のザイムス処理に関する事。</li> <li>2. 小中学校の公共料金の執行管理事務。</li> <li>3. 決算に関する事。</li> <li>4. 施設の修繕・工事等のザイムス処理。</li> <li>5. 児童・生徒の派遣に関する事。</li> <li>6. 学校の交換便に関する事。</li> </ol>
	主事	松田江身子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小中学校のザイムス処理に関する事。</li> <li>2. 決算に関する事。</li> <li>3. 施設の修繕・工事等のザイムス処理。</li> <li>4. 教育委員会事務局の文書収受に関する事。</li> <li>5. 学校の交換便に関する事。</li> </ol>
	主事	宮澤 優子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学校物品購入に係る契約事務及び単価契約に関する事。</li> <li>2. 高校生奨学金・私立高校入学生貸付斡旋に関する事。</li> <li>3. 学校の備品管理に関する事。</li> <li>4. 特別整備用備品の購入・管理事務。</li> <li>5. 決算に関する事。</li> <li>6. 課内庶務</li> <li>7. 学校の交換便に関する事。</li> </ol>

係名	職名	氏名	分担事務の内容
施設係	係長	福永 捷吉	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 系の統括・調整に関すること。</li> <li>2. 教育施設の整備計画に関すること。</li> <li>3. 中学校、幼稚園の営繕・施設整備に関すること。</li> <li>4. 渉外調整に関すること。</li> </ol>
	主査	安松 巖	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文部省の学校施設補助に関すること。</li> <li>2. 新規事業の統括・調整に関すること。</li> <li>3. 予算・決算に関すること。</li> <li>4. 契約業務に関すること。</li> </ol>
	主事	小平 裕明	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 文部省の学校施設補助に関すること。</li> <li>2. 小学校の営繕・修繕・施設整備に関すること。</li> <li>3. 学校用地の補助に関すること。</li> </ol>
	主事	小峯 克之	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 防衛庁関係補助に関すること。</li> <li>2. 中学校の修繕・施設整備に関すること。</li> <li>3. 委託業務に関すること。</li> <li>4. 系の備品・消耗品の購入に関すること。</li> </ol>

## 学務課事務分担表

学務課長 小寺 瑞彦

係名	職務名	氏名	事務分担内容
学務係	係長	田辺 貞義	① 学務係の予算・決算に関すること ② 学校配当予算に関すること ③ 課予算・決算の取りまとめに関すること ④ 幼稚園に関すること ⑤ 新設校、園設置届けに関すること
	主事	管野 尚美	① 課内の庶務に関すること ② 幼稚園使用料の徴収に関すること ③ 幼稚園就園奨励費に関すること ④ 幼稚園臨時職員の雇用、賃金支払に関すること ⑤ 幼稚園、学校配当予算の財務会計執行事務に関すること ⑥ 学務係の決算に関すること
	主事	宮本 喜芳	① 就学援助費に関すること ② 特殊教育就学奨励費に関すること ③ 学校の備品等に関すること ④ 幼稚園の設備・備品等に関すること ⑤ 幼稚園、学校災害賠償補償に関すること ⑥ 小・中学校予算編成に関すること
	主事	佐藤 文昭	① 入学事務に関すること ② 転出、転入学に関すること ③ 学齢簿に関すること ④ 学級編制に関すること ⑤ 学区域に関すること ⑥ その他就学事務に関すること

係名	職務名	氏名	事務分担内容
保健 給食係	係長	池田 邦雄	① 保健給食の全般に関する事 ② 学校保健会、給食会等の関係団体に関する事 ③ 学校(園)医等に関する事 ④ 給食関係視察等の対応に関する事 ⑤ 通学路に関する事 ⑥ 学校給食関係の各種委員会に関する事
	主事	國栖 光男	① 給食関係委託事務に関する事 ② 給食備品に関する事 ③ 給食関係予算に関する事 ④ 学校給食会に関する事 ⑤ 給食関係の統計調査報告等に関する事 ⑥ その他給食関係の庶務に関する事
	主事	宮澤 功一	① 幼稚園、学校の環境衛生に関する事 ② 園児・児童・生徒及び教職員の各種健康診断に関する事 ③ 日本体育・学校保健センターに関する事 ④ 学校医等に関する事 ⑤ 学校保健会に関する事 ⑥ 養護教諭会に関する事 ⑦ 保健関係予算に関する事 ⑧ 通学路に関する事
	主査	梶村 和子	① 栄養士、調理員の庶務事務に関する事 ② 幼稚園教諭、栄養士、調理員の研修に関する事 ③ 児童・生徒の就学猶予、免除、措置等に関する事 ④ 栄養士、調理員等の臨時職員の雇用及び派遣に関する事 ⑤ 幼稚園、給食関係職員の被服貸与に関する事

## 指導室事務分担表

指導室長 小沢 春童

係名	職名	氏名	事務分担内容
指導係	係長	小澤 賢二	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 校長会・教頭会に関する事。</li> <li>2 指導室関係予算の調整及び執行に関する事。</li> <li>3 学校図書館事務嘱託員に関する事。</li> <li>4 帰国児童生徒講師及び外国人英語指導補助員雇用に関する事。</li> <li>5 庁内調査等に関する事。</li> <li>6 その他連絡調整に関する事。</li> </ol>
	主事	楢本 昭	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 児童生徒用教科書に関する事。</li> <li>2 クラブ活動謝礼金に関する事。</li> <li>3 奨学金に関する事。</li> <li>4 教育相談・就学相談に関する事。</li> <li>5 特殊学級編成に関する事。</li> <li>6 心身障害児教育関係の予算、各種事業、援助に関する事。</li> </ol>
	主事	梅田 時万	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 移動教室・修学旅行の実施及び援助に関する事。</li> <li>2 水泳記録会に関する事。</li> <li>3 プール指導謝礼金に関する事。</li> <li>4 社会科見学、遠足・移動教室の届出に関する事。</li> </ol>
	主事	細野 智子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教科用図書採択、教師用教科書・指導書、教材に関する事。</li> <li>2 教員の研修及び研修関係の都費の支出に関する事。</li> <li>3 社会人講師に関する事。</li> <li>4 各種事業委託及び補助事業に関する事。</li> <li>5 バス補助金に関する事。</li> <li>6 学校訪問の届出に関する事。</li> <li>7 教育実習に関する事。</li> <li>8 音楽鑑賞教室に関する事。</li> <li>9 都立高校入学選抜書類に関する事。</li> <li>10 指導関係文書の取受、整理及び配布に関する事。</li> </ol>

係名	職名	氏名	事務分担内容
教職員係	係長	佐藤 清	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 校長及び教職員（以下「学校教職員」という）の任免、服務、分限その他人事に関する事。</li> <li>2 学校教職員の勤務評定・業務評定に関する事。</li> <li>3 学校教職員の叙位・叙勲・表彰に関する事。</li> <li>4 学校教職員の職員団体に関する事。</li> <li>5 事務・栄養士の研修に関する事。</li> <li>6 その他学校職員に関する事。</li> </ol>
	主事	赤久保洋司	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校教職員の旅費に関する事。</li> <li>2 学校教職員の福利厚生に関する事。</li> <li>3 臨時的任用教職員（産休・育休代替教職員）及び再雇用嘱託員の社会保険に関する事。</li> <li>4 日野市教職員互助会に関する事。</li> <li>5 講師の報酬支給に関する事。</li> <li>6 学校教職員の公務災害に関する事。</li> <li>7 学校共通帳票に関する事。</li> </ol>
	主事	旗野 亨	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校教職員の定数、講師授業時数の割当に関する事。</li> <li>2 臨時的任用教職員（産休・育休代替教職員）及び講師の採用に関する事。</li> <li>3 学校教職員の履歴の整理・保管に関する事。</li> <li>4 学校教職員の任免、服務、分限その他人事に関する事。</li> <li>5 再雇用嘱託員に関する事。</li> </ol>
	主事	中谷美枝子	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校教職員の給与に関する事。</li> <li>2 学校教職員の扶養親族の認定に関する事。</li> <li>3 学校教職員の住民税の整理・保管に関する事。</li> <li>4 学校教職員の給与簿の整理・保管に関する事。</li> <li>5 学校教職員の退職手当に関する事。</li> <li>6 学校配当予算の執行に関する事。</li> <li>7 帰国児童生徒講師・外国人英語指導補助員・巡回指導員の賃金支払に関する事。</li> <li>8 室内の庶務に関する事。</li> </ol>

## 指導主事事務分担

### 1. 教科・領域担当

国語、書写	長谷川	生活	長谷川	体育、保健体育	間瀬
社 会	長谷川	音楽	長谷川	外国語	間瀬
算数、数学	間瀬	図画工作、美術	間瀬	道 徳	長谷川
理 科	間瀬	家庭、技術家庭	間瀬	特別活動	長谷川

### 2. 市教育委員会事業

校 長 会	長谷川	幼稚園長会	長谷川
教 頭 会	間瀬	教務主任会	長谷川
生活指導主任会	間瀬	進路指導主任会	長谷川
保健主任会	間瀬	中学校生活指導主任会	間瀬
研究主任会	間瀬	体育主任会	間瀬
給食主任会	長谷川	研修（初任者研修、A研修）	間瀬
就学相談委員会	長谷川	人権尊重推進委員会	長谷川
心身障害教育推進協議会	長谷川		
授業改善委員会	長谷川	情報教育推進委員会	間瀬
環境教育推進委員会	長谷川	学校図書館主任連絡会	長谷川
日野市小学校教育研究会	長谷川	相談学級運営委員会	長谷川
日野市中学校教育研究会	間瀬	英語指導改善委員会	長谷川
科学教育センター運営委員会	間瀬	初任者研修実施協議会	間瀬
音楽鑑賞教室運営委員会	間瀬	日光移動教室運営委員会	間瀬
情報公開検討委員会	長谷川	水泳記録会運営検討委員会	間瀬
進路指導問題協議会	（進指主任会）	日光移動教室資料作成委員会	（日光運営委）
学校週5日制検討委員会	（教務主任会）	健全育成資料作成委員会	（生指主任会）

### 3. 指導事務分担

都教委指導部・都研・多摩研	長谷川	都教育研究員・開発委員会委員	間瀬
国・都研究奨励、市研究奨励	長谷川	学校訪問・指導訪問	間瀬
教育課程届出	長谷川	教育課程・年間指導計画	長谷川
研究集録、副読本	間瀬	教材届出承認	間瀬
遠足、移動教室、修学旅行届出	間瀬	まどべ編集・発行	間瀬
就学・措置替指導	長谷川	東京都市指導主事会、第二地区会	長谷川
行事予定作成、委員会等開催通知	間瀬	教育資料・情報	長谷川

### 4. 施設・行事

教職員研究室	長谷川	教科書センター	間瀬
文化行事	長谷川	体育行事	間瀬

### 5. 東京都教育委員会指導事務担当

学校訪問協議会	長谷川	同和教育指導推進委員会	長谷川
生活指導担当指導主事連絡協議会	間瀬	道徳教育担当指導主事連絡協議会	長谷川
区市指導主事研究会議	長谷川	幼稚園教育担当指導主事連絡協議	長谷川
心身障害教育担当指導主事連協議	長谷川	安全教育担当指導主事連絡協議会	長谷川
消費者教育推進委員会	間瀬	男女平等教育推進委員会	間瀬
在日外国人児童・生徒教育連絡会	間瀬	国際理解教育推進委員会	間瀬
外国人児童・生徒教育担当連絡会	間瀬	福祉教育推進委員会	長谷川
教員研修担当指導主事連絡協議会	間瀬	体育・保健・給食担当指導主事連	間瀬
環境教育推進委員会	間瀬	人権尊重教育推進校委員会	間瀬
健全育成推進校委員会	間瀬	進路指導担当指導主事連絡協議会	長谷川
中学校生徒指導総合推進校連絡会	長谷川	勤労生産体験学習研究指定校連絡	間瀬
病弱児教育研究協力校連絡会	間瀬		

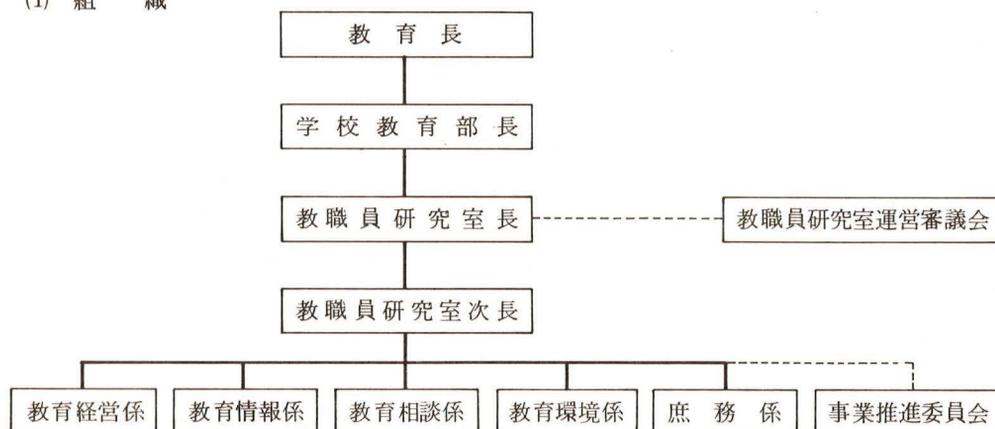
# 日野市立教職員研究室

日野市立教職員研究室は、教育に関する専門的・技術的事項の研究を通じ、その成果を敷衍し、教育内容の向上を図るとともに、教育関係職員の研修を積極的に進め、その資質の向上を図り、日野市における教育の充実と振興を図る教育機関として位置する。

## 1. 日野市立教職員研究室の組織及び運営

日野市立教職員研究室に、室長、次長、事務職員、専門職員、顧問を置く。それぞれの職は、教育委員会がこれを任命する。

### (1) 組織



教育経営主任	教育情報主任	教育相談室主任	教育環境主任	事務主任
教育経営担当	教育資料担当	教育相談担当	健全育成担当	(次長兼任)
研修担当	教育方法担当	心障教育相談担当	図書館教育担当	事務担当
	(幼児教育を含む)	子供の人權電話	国際理解教育担当	
	情報教育担当	相談担当	科学教育担当	
			適応指導担当	
			文化スポーツ担当	

### (2) 職務

- ① 室長は、日野市教育委員会の命を受け、教職員研究室を管理し、教職員研究室が行う事業を企画、運営、実施する。また、その他の事務を掌理するとともに、所属職員を指揮監督する。
- ② 次長は、室長を補佐し、担当事務を処理する。
- ③ 指導主事は、研究室の専門職員の指導及び助言に当たる。
- ④ 主任は、各係を統括し、事業を遂行する。
- ⑤ 専門職員は、上司の命を受け、担当する事項の研究及び所掌事務に従事するとともに、指導主事の助言を得て、事業の実施に当たる。  
専門職員は、教育相談員、教育指導員(嘱託員)並びに教育委員会が任命する専門職員をいう。
- ⑥ 事務職員は、上司の命を受け、担当事務を処理する。
- ⑦ 顧問は、教育委員会が任命する学識経験者で、教育研究等の推進のための助言に当たる。

### (3) 日野市立教職員研究室運営審議会

教職員研究室の運営について必要な事項を審議する。委員は、教育委員会が委嘱する、学校関係者、教育行政機関関係者、学識経験者を持って充てる。

### (4) 日野市立教職員研究室事業推進委員会

教職員研究室の事業計画・推進について検討する。委員は、教育委員会が委嘱する、学校関係者、教育行政機関関係者、教職員研究室員を持って充てる。

## 2. 日野市立教職員研究室の事業内容と分担

### (1) 教職員研究室の事業

- ① 幼児・児童・生徒についての研究調査及び教育関係職員の研修等に関すること。
- ② 教育に関する専門的・技術的事項の研究及び教育環境に関すること。
- ③ 教育に関する資料の整備及び活用に関すること。
- ④ 教育相談に関すること。
- ⑤ 前各号に掲げるもののほか必要な事業。

### (2) 教職員研究室事務分掌

- ① 教育経営係
  - ・教育経営の研究及び調査に関すること。
  - ・教育関係職員の研究及び研修に関すること。
- ② 教育情報係
  - ・教育資料の収集及び提供に関すること。
  - ・教育方法の研究及び改善充実に関すること（幼児教育を含む）
  - ・情報教育の研究及びその活用に関すること
- ③ 教育相談（室）係
  - ・教育相談に関すること。
  - ・教育相談に関する研究及び学校への援助に関すること。
  - ・心身障害児の相談及び援助に関すること
  - ・子供の人権電話の相談に関すること。
- ④ 教育環境係（第一分室：日野市立日野第二中学校内に置く）
  - ・健全育成に関する研究及び資料提供に関すること。
  - ・児童・生徒の適応指導及び学習促進に関すること。
  - ・学校図書館の機能の活用に関すること。
  - ・自然科学教育の研究及び振興に関すること。
  - ・学校施設の活用に関すること。
- ⑤ 庶務係
  - ・教職員研究室の事務に関すること。
  - ・他の係に属さないこと。

## 3. 教職員研究室職員

室 長 清 水 七 郎  
次 長 事務長事務代理 高 橋 喜代子

- |           |                     |        |         |
|-----------|---------------------|--------|---------|
| (1) 教育経営係 | ・教育経営担当             | 高木 宏文  |         |
|           | ・研修担当               | ○山口 武彦 | 小泉 宣夫   |
| (2) 教育情報係 | ・教育資料担当             | ○村田 志信 | (星野 晴一) |
|           | ・情報教育担当             | 古厩 清夫  | 星野 晴一   |
|           | ・教育方法担当             | 志村 桂次  | 影山 健    |
|           | (幼児教育を含む)           | 石川 耀子  |         |
| (3) 教育相談係 | ・一般教育相談担当           | 渡邊 満子  | 木村あかね   |
|           |                     | 三宅 真美  | (片岡千壽子) |
|           | ・心身障害教育相談担当         | 御子柴万里子 | 片岡千壽子   |
|           | ・子供の人権電話相談担当        | ○波多野 坦 | 大野 隆久   |
|           |                     | (石川 耀子 | 片岡千壽子)  |
|           | ・顧問 日本女子体育大学教授(心理学) |        | 石川 尚子   |
|           | 東京学芸大学教授(心理学)       |        | 松村 茂治   |
|           | 都立梅が丘病院児童神経科部長      |        | 海老島 宏   |

- |           |                    |        |         |
|-----------|--------------------|--------|---------|
| (4) 教育環境係 | •健全育成担当            | 阿部 忠志  | 北原 景昭   |
|           | •図書館教育担当           | ○草刈 和志 | (草刈 喜一) |
|           | •国際理解教育担当          |        |         |
|           | •科学教育担当            | 江口 耕一  | 草刈 喜一   |
|           | •適応指導担当<br>(日本語教室) | 有泉 徹郎  | (内藤 康)  |
|           | •文化スポーツ担当          | 内藤 康   |         |
| (5) 庶務係   | •次長                | 高橋喜代子  |         |
|           | •主事                | 佐藤 眞   |         |
|           | •事務                | 小松あさ江  | 鈴木ゆみ子   |
|           |                    | 若林 正治  |         |

#### 4. 日野市戦後教育史編さん室

室長 石井 三 士  
次長 清水 春 海

#### 5. 教育相談事業

日野市立教職員研究室教育相談室係は、日野市に在住する幼児・児童・生徒（高校生を含む）及びその保護者を対象とする教育相談に応ずるとともに、学校が行う教育相談への協力・援助を行い、教育相談活動の促進と充実を図る。

なお、教育相談は、相談員の指導の下、兼任教育相談員が分担・協力して行う。

##### (1) 相談内容・方法

###### 【一般教育相談】

幼児・児童・生徒の学習、行動、特徴、性格、進路適正等にかかわる相談に応じ、個性や社会性を伸長するための助言・援助を行う。

###### 【心身障害教育相談】

心身に障害のある幼児・児童・生徒の発達・成長にかかわる相談に応じ、その適性や能力を伸ばし、積極的に社会参加できるように相談・援助する。また、一人一人の幼児・児童・生徒の特性に側した適切な教育を実現するための相談・援助を行う。

###### 【学校教育相談】

幼児・児童・生徒の学校（園）生活への適応、問題行動等にかかわる相談に応じ、学校、保護者、関係機関等との協力を得て、幼児・児童・生徒の個性や社会性を伸長するなどの指導、助言・援助を行う。

###### 【電話相談】（92-0505）

電話による相談を行う。

###### 【子供の人権電話相談】（92-2782）

幼児・児童・生徒のいじめにかかわる相談に応じ、適切な人間関係を培う助言・援助を行う。また、学校・家庭・地域・関係機関との連携を図る。

##### (2) 兼任相談員

第三幼稚園園長	坂口 嘉津子	潤徳小学校教諭	川原田 和子
日野第一小学校教諭	土方 久枝	平山小学校養護教諭	佐藤 ヒサ子
日野第二小学校教諭	矢野 良枝	日野第八小学校教諭	若林 真砂子
日野第四小学校養護教諭	丸山 幸江	平山台小学校教諭	中原 正毅

# 日野市心身障害教育推進協議会

## 目 的

本協議会は、日野市教育委員会から研究委託を受けて、心身障害教育の充実を図ることを目指し、心身に障害のある幼児・児童・生徒に適切な教育を保障するための教育条件の整備、指導内容・方法の改善・充実並びに社会的な自立を促す教育の在り方等について研究するとともに、心身障害児理解教育を具体的に進め、啓発活動や教職員を対象とした研修、交流教育等の諸事業を企画し実践する。

## 事業の内容

上記の目的を達成するため、本協議会の事務局を協議会々長校に置き、次の主たる事業を行う。

- ①心身障害教育の在り方の検討、②固定学級及び通級学級における指導と学級経営の在り方の検討、③心身障害教育に関する啓発資料の作成及び交流教育の推進、④就学相談の充実と相談活動への協力と援助、⑤幼児・児童・生徒の適応状況及び発達状況の把握、⑥学校における相談組織と機能の充実⑦進路指導の充実

## 組 織

- (1) 本協議会は、次に掲げる者をもって組織する。

日野市教育委員会教育長、学校教育部長、指導室長、学務課長、指導主事、指導係長、顧問医、日野市中心身障害学級設置校長、心身障害学級担任、各幼・小・中学校（園）の教員（心身障害教育担当）、教育相談室専任相談員、本協議会々長が指名した者。

- (2) 本協議会は、次の専門部を置き、上記の事業を推進する。

- |       |  |
|-------|--|
| ア．研究部 | 心身障害教育の在り方、心身障害学級の適正配置及び将来構想等に関する研究    |
| イ．研修部 | 心身障害教育に関する研修の推進、啓発資料の作成等に関する取り組みと調査    |
| ウ．相談部 | 相談活動への協力、幼児・児童・生徒の適応状況及び発達状況の把握と担任への援助 |

## 委託の内容

### 1. 心身に障害のある児童・生徒の教育内容・方法の研究

一人一人の幼児・児童・生徒の障害の特性に応じた適切な指導内容・方法及び評価の工夫・改善を進める。そのために、個に応じた教育プログラムを作成し、個別指導や小集団指導を進め、授業実践を通して個性を育むとともに基礎基本の徹底を図る教育の在り方について検討願いたい。

### 2. 固定学級及び通級学級における指導のあり方の検討

固定学級のあり方並びに通級学級の指導と在籍する学級での指導との関連や役割を明確にする。特に通常の学級に在籍する児童・生徒の聴覚・言語障害への指導について通級による指導の関連や役割を明確にするとともに、聴覚・言語障害の指導のための学級の設置について調査研究願いたい。

### 3. 心身障害教育に関する啓発資料の作成及び交流教育の推進

日野市全体を視野に入れた心身障害教育に関する啓発資料並びに広報活動を具体的に検討し、実施願いたい。

### 4. 就学相談の充実と相談活動への協力と援助

学校、医療、福祉、保健の各機関の専門性を生かし相互に連携を図り、一人一人の発達を保障するために、きめ細かな教育相談を進めるための相談活動のあり方の研究を願いたい。

### 5. 進路指導の充実

心身に障害のある生徒の個性や能力、適性を最大限に伸ばし将来社会的に自立して生活していくことができるように、職業安定所、商工会議所などの協力を得て、職業体験を通して社会参加ができる子どもを育てることができるよう、実践を踏まえた指導のあり方の研究を願いたい。

# 日野市立小学校科学教育センター

## 1. 目 的

児童の課題意識を基に観察・実験などを通して、意欲的に探究し、自然の事物・現象についての特性や決まりをとらえ、自然についての科学的な見方や考え方を養うとともに自然を愛する豊かな心情を涵養し、自ら学ぶ意欲を高め、生涯を通じて学び続ける児童を育むことを目指すものとする。

このことによって、これから先の高度情報化社会や産業構造、生活様式の変化に主体的に対応し、こころ豊かに逞しく生きていく児童を育成する。

## 2. 内 容

児童の自然科学に対する興味・関心を喚起し、課題意識を持って意欲的に探究することのできる内容とする。

指導員は、可能な限り教えることを少なくし、児童が問題の発見から結論に至る一連の問題解決の過程を大切にしたい援助・指導に重点を置き、児童の自ら学ぶ楽しさ、追求する楽しさ、調べる楽しさなどを実感できるものとする。

こうした内容とすることによって、児童の自然に対する豊かな心情や自己効力感を高めることのできるものとする。

## 3. 運 営

(1) 設 置 科学教育センター校として、当分の間、日野市立日野第五小学校に置く。

(2) 講 座 ア. 1年間を前期、後期の二期制とし、期を通して児童の課題意識を基に、問題の発見から結論に至る一連の研究活動を行うものとする。

さらに、夏季講座を開講する。夏季講座は、「日野市立八ヶ岳高原大成荘」を拠点として、自然観察を中心とした内容とする。

①前期(5月～9月)、②後期(10月～2月)、③夏季講座(7月下旬)

イ. 各講座の単位時間と単位数

①1単位時間を概ね2時間(土曜日午後)とする。

②単位数を概ね8単位とする。

③夏季講座は、5単位とする。

ウ. 夏季講座の移動用バス借上料以外の諸費用は、参加者の自己負担とする。

(3) 対象児童と定員

各講座の定員を40名とする。ただし、前期は6年生児童、後期は5年生児童を対象とする。夏季講座は、前期講座終了者を主たる対象とする。

## 4. 運営組織

### (1) 科学教育センター長、センター次長、主任を置く

- ①科学教育センター長は、科学教育センターの設置校長とする。
- ②科学教育センター次長は、科学教育センターの設置教頭とする。
- ③主任は、東京都嘱託職員を充てるものとする。

### (2) 科学教育センター運営委員会を置く

①次の運営委員による協議を基に科学教育センターを運営する。

- ア. 委員長（小学校長） 1名
- イ. 副委員長（科学教育センター長） 1名
- ウ. 副委員長（小学校教頭） 1名
- エ. 科学教育センター次長 1名
- オ. 科学教育センター主任及び担当 2名
- カ. 指導員（小学校教諭） 4名
- キ. 日野市教育委員会学校教育部指導室長 1名
- ク. 日野市教育委員会指導主事 1名

②運営委員会は委員長が召集する。

### (3) 指導組織

- ①科学教育センター長、次長の指導の下、主任と指導員が協力してセンター生の指導に当る。
- ②指導員は、センター生の小集団を形成し、これを責任を持って援助・指導に当る。

### (4) 指導員を置く

- ①小学校教諭を持って充てる。
- ②学習内容に即した社会人講師を充てる。ただし、科学教育センター長の要請によるものとする。

### (5) 指導計画作成委員会を置く

- ①指導計画作成委員会を設置し、各期及び夏季講座の指導計画を作成する。
- ②指導計画作成委員会は、科学教育センター長の指導のもと、センター主任が中心となり、指導員の協力のもとに指導計画を作成する。

## 運営費・その他

### (1) 科学教育センター委託費

授業委託費を運営費（消耗品、備品、印刷費、夏季講座バス借上料等）並びに指導員等の報酬に当てる。

### (2) センター生（児童）の通学

- ①科学教育センターへの通学のための諸費用はセンター生の自弁とする。
- ②通学途中における交通事故等による災害補償は、児童の在籍校が日本体育・学校健康センターへの手続きを行い、給付を受けるものとする。
- ③自転車による通学は禁止し、センター主任を中心として、適宜交通安全指導を行うものとする。

## 5. 科学教育センターの運営組織

委員長	馬場 武（南平小学校長）	センター長	畑石 重輝（日野第五小学校長）
次 長	吉野美智子（日野第五小学校教頭）	主 任	草刈 喜一（教職員研究室）
担 当	江口 耕一（教職員研究室）		
指 導 員	丸茂 洋子（日野第一小学校教諭）	指 導 員	山中 康生（高幡台小学校教諭）
指 導 員	飯塚 昭（日野第二小学校教諭）	指 導 員	豊田 光（日野第七小学校教諭）
指 導 員	後藤 健夫（日野第二小学校教諭）	指 導 員	丸貫 政博（南平小学校教諭）
指 導 員	井上 充（日野第三小学校教諭）	指 導 員	矢野百合子（程久保小学校教諭）
指 導 員	丸山由紀夫（日野第四小学校教諭）	指 導 員	樋口 邦男（程久保小学校教諭）
指 導 員	鈴木 節子（日野第五小学校教諭）	指 導 員	根岸 朋代（程久保小学校教諭）
指 導 員	清水 良夫（日野第六小学校教諭）	指 導 員	秋野美津子（旭が丘小学校教諭）
指 導 員	牧野 豊（潤徳小学校教諭）	指 導 員	倉津 節子（平山台小学校教諭）
指 導 員	前澤 正治（平山小学校教諭）	指 導 員	会田 尚子（東光寺小学校教諭）
指 導 員	大成 鐸夫（日野第八小学校教諭）	指 導 員	茂木 敏光（三沢台小学校教諭）
指 導 員	松本 善秀（百草台小学校教諭）	指 導 員	八木 正子（仲田小学校教諭）
指 導 員	遠田 弘（滝合小学校教諭）	指 導 員	雨宮 宣夫（仲田小学校教諭）

# 日野市立公立学

学校名	第一幼稚園	第二幼稚園	第三幼稚園	第四幼稚園	第五幼稚園	第六幼稚園	第七幼稚園	第一小学校	第二小学校	第三小学校	第四小学校	第五小学校	第六小学校	潤徳小学校	平山小学校	第八小学校	百草台小学校
校(園)長名	槇島 静子	平向 邦江	坂口 嘉津子	山本 智恵子	酒匂 瑠美子	高野 真由美	上野 美津枝	岩下 和夫	秋山 憲一	三津山 要	小原 良雄	畑石 重輝	小幡 建	香川 善平	畑野 元一	鈴木 利恵子	小笠原 久雄
学級数	四	二	二	二	二	二	四	一四	一九	一二 (一)	一五	一七 (一)	一五	一二	一二	一八	一二 (一)
児童(生徒)数	一〇四	六二	五八	六〇	六一	四六	九七	四六九	五九二	三六九 (六)	四六八	五八六 (三)	四九三	三三〇	三七二	六〇三	三四六 (一〇)
教員数	六	五	五	四	四	四	六	二二	二六	二〇	二二	二五	二二	一七	一八	二四	一九
電話	81 4124 4105	91 4125	81 7127	83 3903	92 0432	92 6330	86 3770	81 0073 0061	81 0070 0851	81 0101 0850	81 0038 3076	81 0407 0445	81 0366 4686	91 0409 0410	91 4123 0512	91 2411 2412	91 0997 0998
所在地	多摩平四一三	平山四一五一四	日野本町二一四一	石田四三一六	三沢一七五	程久保八七六一二	旭が丘二一四二	日野本町二一四一	東豊田二一四一	日野台二一一一	石田四三〇	多摩平六二二一	多摩平三一一	高幡四〇二	平山四一八一六	三沢二〇〇	百草九九九
交通機関	中央線豊田駅下車、徒歩十分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十分	中央線日野駅下車、徒歩七分	高幡不動駅より京王バス四小前下車、徒歩四分 日野駅より都バス日野橋南詰下車徒歩七分、立川駅北口	京王線高幡不動駅下車、徒歩十二分	徒歩五分 高幡不動駅下車、百草団地行バス高幡台団地下車	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩六分	京王線南平駅下車、徒歩十五分 中央線豊田駅下車、徒歩十分	中央線日野駅下車、徒歩十分	立川駅北口・高幡不動駅より京王バス四小前下車二分 日野駅より都バス日野橋南詰下車、徒歩七分	中央線日野駅下車、バス日野自動車前下車 中央線豊田駅又は日野駅下車、バス日野五小前下車	京王バス小西六裏門下車、徒歩三分 中央線豊田駅下車、徒歩十二分	京王線高幡不動駅下車、東北へ徒歩五分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩八分	京王線高幡不動駅下車、徒歩十五分	徒歩五分 高幡不動駅より百草団地行バス百草センター下車

校・幼稚園一覽

1995年5月1日現在

滝合小学校	高幡台小学校	第七小学校	南平小学校	程久保小学校	旭が丘小学校	平山台小学校	東光寺小学校	三沢台小学校	仲田小学校	第一中学校	第二中学校	七生中学校	第三中学校	第四中学校	三沢中学校	大坂上中学校	平山中学校
西田敦子	兼島政邦	品田敏男	馬場武	小林繁人	信夫清彦	増賀従男	鍋田良子	飯田國代	中村孝一	松澤茂久	日食和雄	名塚三雄	福島良樹	松原勇	山崎妙子	谷合明雄	中根勉
一六	一〇	一七	一二	一二	二一	八〇	一一	一一	一二	一七	一六	一二	一七	一八	一四	一七	一一
四八三	二八八	五九六	四一九	三四二	七五七	二〇三	三五五	二八五	二九二	六三四	五六三	四〇九	六〇四	六七九	五四八	六四一	四〇四
二二	一五	二三	一八	一八	二七	一七	一七	一七	一七	三一	二八	二七	三〇	三二	二七	三三	二四
83 5172 5173	91 7011 7012	83 3907 3908	92 2021 2022	92 5014 5015	83 3733 3748	92 6381 6382	84 6200 6201	93 2351 2352	81 8511 8512	81 0009 0261	81 0056 0262	91 0174 0175	91 2228 2229	83 3905 3906	92 5017 5018	83 9755 9756	93 3015 3016
西平山二―三―一	程久保五五〇	神明三―二	南平四―一八―一	程久保一―一四―二	旭が丘五―二一―一	平山二―一―一	新町三―二四―一	百草八九六―一	日野本町六―一―七四	日野本町七―七―七	多摩平四―五―三	南平六―七―一	程久保六五〇	旭が丘二―四―二	三沢二五	大坂上四―一七―一	平山四―二一―三
京王線平山城址公園・長沼駅下車、徒歩十分	高幡台団地下車、徒歩五分 京王線高幡不動駅から百草団地行又は桜ヶ丘行バス	中央線日野駅下車、徒歩十五分	京王線南平駅下車、徒歩十二分	徒歩二分 高幡不動駅より多摩動物公園行バス中程久保下車	中央線豊田駅下車、徒歩二十五分	京王線平山城址公園駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、豊田方面徒歩十三分	京王線百草駅下車、徒歩十五分	中央線日野駅下車、徒歩十分	中央線日野駅下車、立川方面徒歩十分	中央線豊田駅北口下車、徒歩十分	京王線南平駅下車、徒歩七分	高幡不動駅より百草団地行バス高幡台団地下車徒歩七分	中央線豊田駅下車、徒歩十五分	京王線高幡不動駅又は百草園駅下車、徒歩十二分	中央線日野駅下車、徒歩十二分	京王線南平駅・平山城址公園駅下車、徒歩八分 中央線豊田駅下車、徒歩十八分

( )内は心障学級数

# 校長・教頭事業担当一覽

## 1. 学校教育部

### (1) 指導室関係

分類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
主任会	教 務 主 任 会	馬場 武	松原 勇	雨宮 充	石川 光男
	生活指導主任会	西田 敦子	松澤 茂久	斎藤 正子	酒井 徳行
	中学校生活指導主任会		松澤 茂久		酒井 徳行
	進路指導主任会		谷合 明雄		片倉 俊秀
	保 健 主 任 会	小笠原久雄	日食 和雄	宇野有斐子	辻野 良子
	研 究 主 任 会	秋山 憲一	福島 良樹	青木 友晴	太田 俊彌
	体 育 主 任 会	信夫 清彦		武内 忠雄	
委員会	人権尊重教育推進委員会	中村 孝一	松原 勇	高橋 茂子	深山 睦弘
	教育課題研究推進委員会				
	環境教育推進部会	秋山 憲一			
	生き方教育推進部会		谷合 明雄	青木 友晴	
	男女平等教育研究推進部会	香川 善平			
	国際理解教育推進部会		松原 勇	宇野有斐子	
	情報教育推進委員会	馬場 武	名塚 三雄	青木 友晴	深山 睦弘
	学校週五日制検討委員会	馬場 武 中村 孝一 三津山 要		雨宮 充 佐藤 静雄	石川 光男
	情報公開検討委員会	岩下 和夫	日食 和雄	難波 和子	深山 睦弘
	科学教室検討委員会	畑石 重輝 馬場 武			
教科用図書調査委員会	岩下 和夫				
教科用図書採択委員会(国語)	増賀 従男		逸見 明男		
(社会)	香川 善平		佐藤 静雄		
(算数)	三津山 要		田中 晴美		
(理科)	兼島 政邦		宇野有斐子		
(音楽)	飯田 國代		光地 幸子		
(生活)	品田 敏男		上條 茂		
(図工)	畑野 元一		高橋 茂子		
(家庭)	鈴木利恵子		西森 恵子		
(体育)	信夫 清彦		武内 忠雄		

運 営	音楽鑑賞教室運営委員会 小・日光移動教室運営委員会  小・水泳記録会運営委員会  中・水泳記録会運営委員会 相談学級運営協議会 学校図書館主任連絡会	三津山 要 畑石 重輝 畑野 元一 品田 敏男 信夫 清彦 飯田 國代	山崎 妙子   日食 和雄 山崎 妙子 山崎 妙子	高橋 茂子 西森 恵子 逸見 明男 佐藤 静雄 武内 忠雄  田中 晴美	鈴木 渉   石川 光男 片倉 俊秀
委 託	授業改善委員会  心身障害教育推進協議会  科学教育センター	秋山 憲一 小原 良雄 増賀 従男 小笠原久雄 三津山 要 畑石 重輝 畑石 重輝	福島 良樹  名塚 三雄 谷合 明雄	八木 文夫  高橋 茂子 小杉 博司 上條 茂  吉野美智子	酒井 徳行
推 進	就学相談委員会  英語指導改善委員会 教員現職研修実施協議会 日野市教育研究会 書初展運営委員会	小笠原久雄 三津山 要  小原 良雄 小林 繁人 鍋田 良子 鈴木利恵子	名塚 三雄  福島 良樹 谷合 明雄 日食 和雄  山崎 妙子	高橋 茂子 小杉 博司 上條 茂  木内 秀雄 田中 晴美 斎藤 正子	深山 睦弘 太田 俊彌 辻野 良子
資 料	福祉副読本改定委員会 健全育成資料作成委員会 子供の人権読本作成委員会 進路指導資料作成委員会 「まどべ」編集委員会	鈴木利恵子 西田 敦子 中村 孝一  品田 敏男	中根 勉 松澤 茂久 松原 勇 谷合 明雄	西森 恵子 太田由起夫 田中 晴美  難波 和子	辻野 良子 酒井 徳行  片倉 俊秀

(2) 庶務課関係

分類	名称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
	戦後教育史編纂委員会 中学校体育連盟・研究会	小林 繁人	中根 勉 日食 和雄		

## (3) 学務課関係

分類	名称	校長会		教頭会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
給食関係	給食主任会	鍋田 良子	中根 勉	光地 幸子	鈴木 渉
	学校給食会	鍋田 良子	中根 勉	光地 幸子	鈴木 渉
保健関係	学校保健会	小笠原久雄	日食 和雄	宇野有斐子	辻野 良子
	養護教諭会	小笠原久雄	日食 和雄		

## (4) 研究室関係

分類	名称	校長会		教頭会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委員	運営審議会委員会	小幡 建	名塚 三雄	逸見 明男	鈴木 渉
	事業推進委員会	香川 善平 西田 敦子			

## 2. 社会教育部

## (1) 社会教育課関係

分類	名称	校長会		教頭会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委員	社会教育委員 市PTA連絡協議会理事	小幡 建	松澤 茂久 福島 良樹		
		秋山 憲一 畑石 重輝 鈴木利恵子			

## (2) 体育課関係

分類	名称	校長会		教頭会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委員	学校体育施設解放運営委員	信夫 清彦		佐藤 静雄	片倉 俊秀

## (3) 図書館関係

分類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	図書館運営審議委員	増賀 従男			

## (4) 公民館関係

分類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	公民館運営審議委員	馬場 武			

## (5) ふるさと博物館関係

分類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	ふるさと博物館運営委員	兼島 政邦	松澤 茂久		

## 3. 都校長会・都教育委員会関係

分類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	青少年健全育成委員 環境週間行事運営委員	兼島 政邦			

## 4. その他

分類	名 称	校 長 会		教 頭 会	
		小学校	中学校	小学校	中学校
委 員	環境緑化協会評議委員 市教職員互助会理事 保健所事業運営委員	兼島 政邦	名塚 三雄	宇野有斐子	

## 管理運営規則

	学 校 名	学 校 長	教 務 主 任	生 活 指 導 主 任	保 健 主 任	進 路 指 導 主 任
1	日野一小	岩下 和夫	志賀 由具	黒川 和彦	矢口由美子	
2	日野二小	秋山 憲一	平島 孝夫	小島 義範	渡辺 敏子	
3	日野三小	三津山 要	橋本 清明	長澤 範重	渡辺三枝子	
4	日野四小	小原 良雄	矢野 優	安西 利江	丸山 幸江	
5	日野五小	畑石 重輝	鈴木 節子	馬場 富男	常盤 町子	
6	日野六小	小幡 建	市川 光男	和田 雅実	金野 峰子	
7	潤 徳 小	香川 善平	清水 義路	間島 春美	川原田和子	
8	平 山 小	畑野 元一	渡辺 学	田中 延子	佐藤ヒサ子	
9	日野八小	鈴木利恵子	林 亀三	沼田恵美子	森藤百々代	
10	百草台小	小笠原久雄	宮崎 亘	松本 善秀	船山 陽子	
11	滝 合 小	西田 敦子	染谷 定昭	西尾 京子	戸塚美由記	
12	高幡台小	兼島 政邦	銭廣 芳子	千葉 正美	古越 富子	
13	日野七小	品田 敏男	河野 千秋	岩松 親和	國崎 桑子	
14	南 平 小	馬場 武	吉田 弘	山田 栄子	村山 栄子	
15	程久保小	小林 繁人	竹内 勝美	粕谷 吉弘	吉川 美幸	
16	旭が丘小	信夫 清彦	窪田 正子	栗原 茂	小島 典子	
17	平山台小	増賀 従男	中村 康成	山田 謙一	荒居 和子	
18	東光寺小	鍋田 良子	小林むつみ	佐藤 幸夫	渡辺 知子	
19	三沢台小	飯田 國代	鷹尾富貴江	小林 和子	太島真知子	
20	仲 田 小	中村 孝一	雨宮 宣夫	岩崎 英夫	小林八重子	
1	日野一中	松澤 茂久	千葉 英明	吉田 俊明	高橋 恵子	清水 肇
2	日野二中	日食 和雄	濱本 敏朗	野口 英一	三瓶 法子	田中 厚
3	七 生 中	名塚 三雄	瀬川 昭英	真仲 祐一	酒井 智子	柳沢 宣子
4	日野三中	福島 良樹	熊谷 仁一	成田 義信	小林 浄子	平山 方茂
5	日野四中	松原 勇	鎌田 義男	石川 晴一	松岡 由香	河手 達治
6	三 沢 中	山崎 妙子	長友 良嗣	清水 明	小野田恵子	鳥居恵美子
7	大坂上中	谷合 明雄	木嶋 健	池田 誠喜	奥住貴美代	三浦 利信
8	平 山 中	中根 勉	井ノ上節子	北野 一也	阿部貴美子	吉野 豊生

## 第八条に基づく主任一覧表

学 年 主 任					
1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年
花田 僚子	風野 敏子	本多 和美	乾 ひさ子	土方 久枝	丸茂 洋子
西志村二三子	小口 澄代	田中 和子	久保田由子	榎 圭子	高橋 孝子
前田佐和子	北島あけみ	古家 静子	廣嶋とし子	由比ヶ濱慶子	小峯みゆき
安西 利江	陶山 葉子	田村 直樹	名取 明代	玉置 順子	福田 功
斉藤 弥生	酒匂由美子	越村あや子	赤井 光子	鈴木知英子	御木 茂
高木千恵子	佐々木隆雄	逸見 黎子	野村 治子	渡辺 友子	清水 良夫
清水 義路	志村 道子	秋葉 秀茂	川原田和子	清水 絢子	高橋 健
田中 延子	駒形 富子	茅野とめ子	池田 雅子	橋本美枝子	金子 直子
土井 公子	加藤 征子	加藤 暉子	横山 昌司	斎藤 悦子	三浦理恵子
宮崎 亘	遠藤佐知子	中村みどり	中島 志郎	木附 隆三	松本 善秀
藤澤 恵子	小山 隆	五十嵐容子	栗原 典子	後藤 絢子	上條かなゑ
富田 郁子	伊藤 奈穂	国領美那子	高橋 智子	銭廣 芳子	千葉 正美
国崎 桑子	小畑由美子	外山 理佳	藤本はるみ	井浦 弘	小坂 克信
宗近 孝子	芝田 理恵	西原美枝子	溝江恵美子	村山 栄子	永原 愛子
竹内 勝美	矢野百合子	後藤 欣子	吉川 美幸	粕谷 吉弘	三木 滋
田代 久子	相原 早苗	窪田 弥生	赤松 昭子	秋野美津子	入田 純子
針田 和子	小山田ひろみ	山田 謙一	若松富紀子	中村 康成	吉尾真理子
三枝 光子	小林むつみ	会田 尚子	笹本 竹司	笠井 祐子	藤井 義啓
鷹尾富貴江	桑田 悦子	松田 真弓	山浦 幸子	茂木 敏光	中江 智明
宇土 悦子	植松久美子	和田いさを	相川 隆子	八木 正子	雨宮 宣夫
寺澤 義雄	浅野 和也	荒 延江			
三條 正善	山田 雄次	橋本 幹雄			
鈴木 茂	真柴 哲子	今井 正喜			
山口 俊浩	荒川 善敏	服部 圭助			
荒川 歌津	高麗 隆治	村上 敏雄			
柄沢都世子	原田 康司	福地 和子			
倉田 和俊	佐藤 勇	成瀬 誠			
坂井 悦子	堤 信博	池田 純二			

## 日野市立小・中学校主任

	学 校 名	研究・研修	人権尊重	国 語 科	社 会 科	算数・数学科
1	日野一小	丸茂 洋子	乾 ひさ子	花田 僚子	土方 久枝	山田 治枝
2	日野二小	田中 和子	寺本恵久子	芹川 廣子	後藤 健夫	矢野 良枝
3	日野三小	樋口 俊子	橋本 清明	前田佐和子	廣島とし子	由比ヶ濱慶子
4	日野四小	坂本 有子	田村 直樹	橋爪 憲子	玉置 順子	安西 利江
5	日野五小	鈴木知英子	折笠 玉典	高橋真知子	馬場 富男	越村あや子
6	日野六小	高木千恵子	靈山 邦夫	渡辺 友子	鶴間 紀子	和田 雅美
7	潤 徳 小	高橋 健	小野 勝政	清水 絢子	川原田和子	松崎しのぶ
8	平 山 小	茅野とめ子	橋本美枝子	駒形 富子	田中 延子	渡辺 学
9	日野八小	海老原眞知子	斎藤 悦子	安斎美代子	横山 昌司	海老原眞知子
10	百草台小	遠藤佐知子	松本 善秀	中村みどり	中島 志郎	大鳥ルミ子
11	滝 合 小	小山 隆	小山 隆	栗山 洋子	田野倉むつゑ	五十嵐容子
12	高幡台小	高橋 智子	千葉 正美	伊藤 奈穂	高橋 智子	五味 小波
13	日野七小	小坂 克信	川井田和子	神 匡子	小坂 克信	岩松 親和
14	南 平 小	依田 逸夫	宗近 孝子	村山 栄子	生井 恵子	溝江恵美子
15	程久保小	矢野百合子	樋山 千秋	竹内 勝美	鎌田 由美	田中 悦子
16	旭が丘小	和栗 悦子	和栗 悦子	伊藤 紀子	田代 久子	吉川 都子
17	平山台小	針田 和子	中原 正毅	仲本 雅代	山田 謙一	宇留賀眞理子
18	東光寺小	笹本 竹司	秋葉 榮一	笠井 祐子	高木 宏	富澤 和子
19	三沢台小	中江 智明	松田 真弓	小林 和子	中江 智明	山浦 幸子
20	仲 田 小	植松久美子	植松久美子	植松久美子	和田いさを	相川 隆子
1	日野一中	山田 智之	山田 智之	岸 隆男	杉本 恵志	清水 肇
2	日野二中	松元 郁子	倉橋 延男	田中 厚	三浦 英昭	小鷹 文一
3	七 生 中	大坪久美子	櫻井 圭子	柳沢 宣子	船田 伸一	大坪久美子
4	日野三中	平山 方茂	細谷 敏昭	杉本 洋子	荒川 善敏	新井 教旦
5	日野四中	菊池 基文	高麗 隆治	嘉向三樹男	森 紀子	市川 尚春
6	三 沢 中	阿部信一郎	柄沢都世子	清水 良子	中野 秀樹	添田田鶴子
7	大坂上中	高橋 陽子	金子 公雄	横山砂知子	木嶋 健	田熊 裕
8	平 山 中	常松 悦子	中里 久子	林 範夫	石村 繁樹	中嶋健一郎

及び担当一覧表（その1）

理 科	生 活 科	音 楽 科	図工・美術科	体 育 ・ 保健体育科	技 術 ・ 家庭科（女）
志賀 由具	田中ユミ子	栖原 太郎	関 賀穂留	菊池 修	
飯塚 昭	磯田 洋子	須山ひとみ	川名 勝紀	赤木はるか	
井上 充	北島あけみ	森 菜摘	宗像ゆき子	宮坂 裕子	
塚本 純子	陶山 葉子	立花せつ子	小野絵美子	福田 功	
鈴木 節子	菊地 和子	岡田 恵子	北野 義昭	山北 雅史	
市川 光男	佐々木隆雄	村上 悦子	霊山 邦夫	清水 良夫	
牧野 豊	志村 道子	饗庭 仁美	小俣 靖江	小野 勝政	
前澤 正治	比嘉 道子	千秋 香	服部たかし	秦 弘教	
大成 鐸夫	神 幸子	鶴蘭美千代	高橋 英子	林 亀三	
松本 善秀	宮崎 亘	福田 栄子	丸 カズ子	菱田美恵子	
遠田 弘	小山 隆	鳥山 悦子	岩崎 裕	佐藤 睦	
銭廣 芳子	井上 洋美	作山 秀樹	宇留賀公夫	富田 郁子	
豊田 光	国崎 桑子	椎名 圭子	尾関いずみ	井浦 弘	
山田 栄子	山口 嘉恵	稲葉 重樹	依田 逸夫	九貫 政博	
樋口 邦男	矢野百合子	川上 一枝	木村 令子	吉野 宏	
岡田 充生	和栗 悦子	田中千枝子	梅田 勝裕	山崎 富子	
倉津 節子	針田 和子	二宮 弘美	大久保睦子	小山田ひろみ	
笹本 竹司	三枝 光子	洲崎 明美	秋葉 榮一	藤井 義啓	
鈴木 茂子	桑田 悦子	征矢ちづる	倉林 晴夫	茂木 敏光	
小俣三佳子	宇土 悦子	櫻川 順子	鶴田久美子	佐藤 民男	
千葉 英明		和田ゆき子	田和 菜穂	斉藤 光人	横山 勝行
飯嶋 生正		田中 幸美	斉藤まりえ	石川 恵子	秋庭 英子
犬東 正敏		櫻井 圭子	常松 瑞穂	今井 正喜	鈴木 茂
細谷 敏昭		大野 滢子	服部 圭助	横溝 雅之	井上 義孝
辰己 恵子		村上 敏雄	大澤 由紀	村野 浩史	遠藤 博
長友 良嗣		森重 晃英	及川 克裕	井原千恵子	田畑 恵子
関 順子		山田よし子	高橋 陽子	堀田 智暁	佐藤 至正
吉野 豊生		松野 智子	中里 久子	金田 広美	小杉 智代

## 日野市立小・中学校主任

	学 校 名	技 術 ・ 家庭科(男)	英 語 科	道 徳	特 別 活 動	学 校 行 事
1	日野一小	山本 順子		丸茂 洋子	風野 敏子	志賀 由具
2	日野二小	小林恵久子		小島 義範	内田 知子	平島 孝夫
3	日野三小	樋口 俊子		小峯みゆき	諏訪 英樹	宗像ゆき子
4	日野四小	中根 京子		丸山由紀夫	名取 明代	小野絵美子
5	日野五小	寺岡千恵子		折笠 玉典	折笠 玉典	山北 雅史
6	日野六小	森田 隆子		野村 治子	小川浩太郎	市川 光男
7	潤 徳 小	澤崎きよみ		秋葉 秀茂	牧野 豊	清水 義路
8	平 山 小	金子 直子		渡辺 学	利根川 薫	渡辺 学
9	日野八小	三浦理恵子		斎藤 悦子	横山 昌司	林 亀三
10	百草台小	岡島 美代		遠藤佐知子	遠藤佐知子	宮崎 亘
11	滝 合 小	後藤 絢子		加藤 美樹	上條かなゑ	上條かなゑ
12	高 幡 台 小	越智 久子		千葉 正美	高橋 智子	銭廣 芳子
13	日野七小	来間 志信		川井田和子	有馬佳代子	河野 千秋
14	南 平 小	永原 愛子		磯島 章	溝江恵美子	吉田 弘
15	程久保小	森 幸子		三木 滋	田中 悦子	竹内 勝美
16	旭が丘小	佐藤 智子		赤松 昭子	青柳香保留	窪田 正子
17	平山台小	吉尾真理子		若松富紀子	仲本 雅代	中村 康成
18	東光寺小	小林むつみ		会田 尚子	富澤 和子	小林むつみ
19	三沢台小	佐々木幸恵		松田 真弓	真野 功	鷹尾富貴江
20	仲 田 小	八木 正子		雨宮 宣夫	櫻川 順子	雨宮 宣夫
1	日野一中	横山 勝行	浅野 和也	山田 智之	杉本 恵志	千葉 英明
2	日野二中	秋庭 英子	岡部 隆男	松元 郁子	藤塚 康子	小鷹 文一
3	七 生 中	鈴木 茂	横田 恵子	松原 清	真仲 祐一	瀬川 昭英
4	日野三中	井上 義孝	長澤 利尚	富沢 隆	熊谷 仁一	熊谷 仁一
5	日野四中	遠藤 博	内藤佐喜子	河手 達治	辰己 恵子	鎌田 義男
6	三 沢 中	田畑 恵子	松尾 由木	長友 良嗣	長友 良嗣	長友 良嗣
7	大坂上中	佐藤 至正	林田 千野	成瀬 誠	池田 誠喜	成瀬 誠
8	平 山 中	小杉 智代	升川 綾子	中里 久子	中里 久子	井ノ上節子

及び担当一覧表（その２）

視 聴 覚	学校図書館	給 食	安 全 教 育	養 護
井口 幸恵	風野 敏子	田中ユミ子	花田 僚子	清水 妙子
川名 勝紀	西志村二三子	楨 圭子	小島 義範	渡辺 敏子
井上 充	宗像ゆき子	小峯みゆき	井上 充	渡辺三枝子
福田 功	玉置 順子	立花せつ子	陶山 葉子	丸山 幸江
蔵元由貴乃	酒匂由美子	岡田 恵子	馬場 富男	常盤 町子
飴家 純	垣内奈緒美	森田 隆子	和田 雅実	金野 峰子
牧野 豊	秋葉 秀茂	饗庭 仁美	川原田和子	反町麻佐子
前澤 正治	池田 雅子	金子 直子	田中 延子	佐藤ヒサ子
中山 勉	加藤 暉子	加藤 征子	神 幸子	森藤百々代
木附 隆三	廣瀬 逸子	丸 カズ子	宮崎 亘	船山 陽子
染谷 定昭	栗原 典子	高橋 紀子	遠田 弘	戸塚美由紀
作山 秀樹	井上 洋美	富田 郁子	千葉 正美	古越 富子
小畑由美子	藤本はるみ	神 匡子	小林 良江	中山 伸子
芝田 理恵	宗近 孝子	山口 嘉恵	磯島 章	竹野 久乃
三木 滋	森 幸子	木村 令子	粕谷 吉弘	田島 佳子
入田 純子	赤松 昭子	田代 久子	栗原 茂	小島 典子
山田 謙一	若松富紀子	中原 正毅	山田 謙一	荒居 和子
高木 宏	笠井 祐子	三枝 光子	佐藤 幸夫	渡辺 知子
倉林 晴夫	桑田 悦子	征矢ちづる	小林 和子	太島真知子
佐藤 民男	藤森 睦美	宇土 悦子	岩崎 英夫	小林八重子
葛岡 明子	田和 菜穂	臼井由美子	和田ゆき子	高橋 恵子
橋本 幹雄	鈴木 晶子	岡部 隆男	田中 厚	三瓶 法子
小菅 房子	杉山 典子	佐藤 壽枝	松井 保子	根岸 智子
阿部 圭助	須藤 美穂	鈴木恵理子	成田 信義	小林 浄子
竹田 和彦	森 紀子	塩谷 直子	石川 晴一	松岡 由香
磯部 博子	岡辺 稔	柄沢都世子	及川 克裕	小野田恵子
倉田 和俊	刀彌 孝司	山田よし子	奥住貴美代	奥住貴美代
林 範夫	田中 順子	升川 綾子	鈴木 浩	阿部貴美子

## 日野市立小・中学校主任

	学 校 名	心身障害教育推進協議会委員	日光移動教室運営委員	水泳記録会運営委員	科学教育センター指導員	音楽鑑賞教室運営委員
1	日野一小	井口 幸江	菊池 修	菊池 修	丸茂 洋子	栖原 太郎
2	日野二小	小島 義範	小林恵久子	平島 孝夫	飯塚 昭 後藤 健夫	須山ひとみ
3	日野三小	長澤 範重	長澤 範重	由比ヶ濱慶子	井上 充	森 菜摘
4	日野四小	塚本 純子	鈴木 淳	福田 功	丸山由紀夫	立花せつ子
5	日野五小	蔵元由貴乃	折笠 玉典	常盤 町子	鈴木 節子	岡田 恵子
6	日野六小	野村 治子	清水 良夫	垣内奈緒美	清水 良夫	村上 悦子
7	潤 徳 小	盛 恭子	高橋 健	高橋 健	牧野 豊	饗庭 仁美
8	平 山 小	駒形 富子	金子 直子	秦 弘教	前澤 正治	千秋 香
9	日野八小	海老原眞知子	酒井 誠	林 亀三	大成 鐸夫	鶴蘭美千代
10	百草台小	丸石 淳一	松本 善秀	松本 善秀	松本 善秀	福田 栄子
11	滝 合 小	岡部ひとみ	高橋 紀子	佐藤 睦	遠田 弘	鳥山 悦子
12	高幡台小	国領美那子	越智 久子	千葉 正美	山中 康生	作山 秀樹
13	日野七小	藤本はるみ	川井田和子	川井田和子	豊田 光	椎名 圭子
14	南 平 小	宗近 孝子	永原 愛子	磯島 章	九貫 政博	稲葉 重樹
15	程久保小	矢野百合子	森 幸子	吉野 宏	矢野百合子 樋口 邦男 根岸 朋代	川上 一枝
16	旭が丘小	秋野美津子	栗原 茂	山崎 富子	秋野美津子	田中千枝子
17	平山台小	針田 和子	吉尾真理子	吉尾真理子	倉津 節子	二宮 弘美
18	東光寺小	笹本 竹司	市川 博子	黒木 桂子	会田 尚子	洲崎 明美
19	三沢台小	真野 功	中江 智明	佐々木幸恵	茂木 敏光	征木ちづる
20	仲 田 小	小林八重子	雨宮 宣夫	小山しおり	八木 正子 雨宮 宣夫	櫻川 順子
1	日野一中	田和 奈穂	/	鈴木 直也	/	横溝 明子 和田ゆき子
2	日野二中	小島 俊子		石川 恵子		田中 幸美
3	七 生 中	常松 瑞穂		小菅 房子		櫻井 圭子
4	日野三中	荒川 善敏		磯崎百合子		大野 滯子 村上 敏雄
5	日野四中	高津 良幸		市川佐和子		鈴木 園生 田中知恵子
6	三 沢 中	阿部信一郎		石田 匡志		植松 幸子
7	大坂上中	篠塚 浩幸		堀田 智暁		山田よし子
8	平 山 中	坂井 悦子		鈴木 浩		松野 智子



# 研究奨励事業

## 1. 趣旨

これからの学校は、児童・生徒が社会の変化に主体的に対応でき、生涯を通して学び続ける力と意欲を育むなど、個性を生かす教育を充実し、豊かな心をもちたくましく生きる児童・生徒を育成することが期待されている。

そのためには、各学校がこれまで以上に自ら学ぶ意欲、主体的に学ぶことのできる学習方法などを身につけられるよう援助・指導することが大切である。

児童・生徒が、学び方を学び、自ら考え、主体的に判断し行動できるようにするためには、児童・生徒自らが見たり、聞いたり、調べたりする体験的な学習を通し、生きてはたらく知識を身に付けられるようにすることである。

よって、各学校では、学習指導の改善・充実という視点から、児童・生徒が基礎的・基本的な内容を身に付ける過程を通して、さらにそれらを基盤としながら一人一人の個性を生かし、それを伸ばす学習指導の在り方など、授業実践を通して研究する必要がある。

研究奨励は、これから先の学校教育を創造し、児童・生徒の個性尊重の教育の推進を目指して、新しい時代の要請に合った教育方法の開発を行うなど意欲的に研究にとり組む学校、学年や教科、御仁の研究実践を求めるものである。そして、日野市立小・中学校における豊かな教育実践をより一層充実し、生涯を通じて学び続けようとする児童・生徒の育成を図ろうとするものである。

なお、平成7年度からは、従来の授業研究委託事業と研究奨励事業をまとめ、新たに授業研究奨励事業として発足させ、21世紀に生きる子供の生涯学習の推進を目指し、教育内容・指導方法の改善を積極的に進めるための研究や、各学校の教育推進上の課題解決を目指した校内研究・研修を充実するためのものへ改善する。

## 2. 研究の種別及び補助金

① 校内研究補助費	120 千円	
② 研究指定補助費		
• 学校研究	450 千円	
• グループ研究	100 千円	
• 個人研究	30 千円	
③ 授業改善研究補助費		1,000 千円

## 3. 研究期間

(1) 学校研究は、2年間の継続研究とする。ただし、研究の内容により単年度の研究も認めるものとする。

(2) グループ研究及び個人研究は、単年度の研究とする。

なお、各研究奨励は、その研究と実践の成果を広く公開することを原則とする。特に、学校研究は、公開発表を条件とし、2年間継続研究する学校は、1年次に中間発表を実施し、2年次に本発表を実施するものとする。ただし、単年度で研究を進める学校は、その年度内に公開発表するものとする。

#### 4. 研究主題

21世紀に生きる子供の生涯学習の推進を目指し、児童・生徒一人一人の個性を生かす教育の視点に立った指導の内容・方法の工夫・改善を図る研究として相応しいものとする。

#### 5. 研究内容

下記のいずれかの事項に重点を置いて研究を推進する。

##### (1) 研究指定補助

- ア 小集団による主体的・創造的な学習指導に関する研究であること
- イ ティーム・ティーチングなどの指導方法・形態に関する研究であること
- ウ 体験的な学習活動に関する研究であること
- エ 地域素材を生かした教育活動に関する研究であること

##### (2) 校内研究補助

教育内容・指導方法の改善を積極的に進めるための研究や、各学校の教育推進上の課題解決を目指した校内研究・研修。

#### 6. 研究奨励の申請

学校研究、グループ研究、個人研究、校内研究ともに、各学校長が日野市教育委員会に別紙の申請書により、必要事項を記載し、日野市教育委員会に申請する。申請書には、研究計画書を添付するものとする。

なお、研究奨励受給者の決定は、日野市教育委員会が授業改善委員会委員長に諮問し、決定する。

#### 7. その他

経費の収支決算については、別途報告書を学校長の確認を経て期日までに日野市教育委員会学校教育部指導室宛に提出する。

## 研究奨励受給者一覧

### ① 学校奨励

学 校 名	代表者名	研 究 主 題 ・ 内 容
三 沢 中 学 校	山 崎 妙 子	<p><b>自ら学び心豊かな生き方を培う生徒指導</b>                      (個性を生かして育てる学習指導を基本にして、いじめや不登校、問題となる行動を改善し、豊かな人間関係を育む指導のあり方などについて学校、家庭、地域社会、関係機関などとの連携をもとに研究する。)</p>

### ② 団体奨励

日野第一小学校	志 賀 由 具	<p><b>ティームティーチングを取り入れた授業の改善</b>                      (①ティームティーチングにおける教師の役割を明らかにする。②教科の特性や教材の特色を生かした指導方法を工夫する。③児童の個人差に応じるティームティーチングによる指導方法を工夫する。)</p>
日野第二小学校	渡 辺 敏 子	<p><b>発達課題をふまえた「命の学習」のカルキュラムづくり</b>                      (発達課題をふまえた目標を作成し、それに合わせて立案した年間計画が自校の実態に合うかどうかを指導を通して検討する。)</p>
日野第五小学校	越 村 あや子	<p><b>教育相談的手法を取り入れた学習指導の研究</b>                      (日々の諸活動を観察していく中で、一人一人の個性を見つけ、教育相談的手法を取り入れた学習形態に視点を当て児童一人一人が仲良く楽しく活動できる授業の質的改善を図る。)</p>
日野第六小学校	清 水 良 夫	<p><b>児童が主体的に学ぶための資料室の活用</b>                      (①地域素材を生かした資料づくり ②資料室を活用した主体的な学習活動のあり方 ③資料室の整備)</p>
潤 徳 小 学 校	牧 野 豊	<p><b>地域の自然に興味関心を持ち主体的にかかわろうとする態度の育成</b>                      (自校周辺の動植物の調査を行い、調査結果の整理を通して自然環境へのかかわりについて考えさせていく。)</p>
南 平 小 学 校	山 田 栄 子	<p><b>ティームティーチングによる個に応じた指導及び課題別指導の研究</b>                      (理科学習を通して、児童自らが課題を見つけ、問題解決していく能力を育てる主体的学習の開発。)</p>
日野第一中学校	山 田 智 之	<p><b>道徳教育を効果的に進める方法</b>                      (生き方指導としての進路指導から、生きるべき姿を教育する道徳指導を、生徒会活動、学級活動を通して探り、そのマニュアルの作成をする。)</p>
日野第四中学校	菊 池 基 文	<p><b>学校嫌いな子をなくす相談活動のあり方</b>                      (相談活動における系統的指導のあり方や綿密な計画の確立を図る。)</p>
三 沢 中 学 校	染 葉 博 文	<p><b>コンピュータを活用した指導法の改善</b>                      (コンピュータ利用の拡大の方策を得るとともに、コンピュータを活用した授業を通して指導法の改善を図る。)</p>

③ 個人

学 校 名	代表者名	研 究 主 題 ・ 内 容
日野第一小学校	小 川 賀世子	適切に自己表現をするための指導法の工夫 (①考えをつくる筋道を大切にする。②表現の基礎的・基本的な技能を身につけさせる。③進んで表現しようとする意欲を高める。)
潤 徳 小 学 校	川原田 和 子	一人一人の自己実現を図る指導方法の研究—自由研究の発表を通して— ( 合科的な自由研究の発表に取り組みせ、個と集団の真理の追究力を高める。そのために、自分らしいレポートの発表に取り組みさせるための個に応じた援助の仕方を工夫する。)

④ 校内研究

学 校 名	代表者名	研 究 主 題 ・ 内 容
日野第一小学校	岩 下 和 夫	一人一人の児童が意欲的に学習にとり組むための指導法の工夫 — 体育科を通して —
日野第二小学校	秋 山 憲 一	自ら学ぶ力を育てる指導法の研究
日野第三小学校	三津山 要	教材教具の整備・活用による指導法の改善
日野第四小学校	小 原 良 雄	自分の思いや考えを豊かに表現できる子を育てる指導法の工夫
日野第五小学校	畑 石 重 輝	豊かな心をもち、楽しく学び合う児童の育成
日野第六小学校	小 幡 建	自ら学ぶ子どもを育てる生活科・社会科の学習 — 体験学習を通して —
潤 徳 小 学 校	香 川 善 平	主体的な学習態度を育てる指導法の研究
平 山 小 学 校	畑 野 元 一	楽しくわかる算数の学習指導法の工夫
日野第八小学校	鈴 本 利恵子	児童の主体性を高める指導法の研究
百草台小学校	小笠原 久 雄	考える力を育てる指導法の工夫
滝 合 小 学 校	西 田 敦 子	子どもが意欲的に学ぶ指導法の研究
高幡台小学校	兼 島 政 邦	子供の意欲を伸ばす算数授業
日野第七小学校	品 田 敏 男	児童一人一人が自ら考え、自ら学ぶ学習活動の工夫 — 地域教材の活用と教材内容の精選 —
南 平 小 学 校	馬 場 武	児童の主体性を生かす学習活動の研究
程久保小学校	小 林 繁 人	子どもの意欲が生きる学習指導
旭が丘小学校	信 夫 清 彦	子どもによく考えさせる授業のあり方
平山台小学校	増 賀 従 男	子どもの表現力を豊かにする指導法の工夫
東光寺小学校	鍋 田 良 子	一人ひとりが生き生きと学習に取り組む指導法
三沢台小学校	飯 田 國 代	豊かな心をもち進んで実践できる児童の育成
仲 田 小 学 校	中 村 孝 一	お互いを認め合い、高め合う子の育成
日野第一中学校	松 澤 茂 久	1. 進路指導と関連した道徳教育のあり方 2. 生徒の活力を生かす指導のあり方
日野第二中学校	日 食 和 雄	教育相談
七 生 中 学 校	名 塚 三 雄	「生活指導」の在り方
日野第三中学校	福 島 良 樹	主体的・創造的な学習の展開を求めて
日野第四中学校	松 原 勇	豊かな人間形成を目指した指導のあり方
大坂上中学校	谷 合 明 雄	生き生きと魅力ある学校をめざして — 一人一人の生徒に目を向けた指導 —
平 山 中 学 校	中 根 勉	生徒の主体性を育てる指導の工夫・改善

## 東京都教育研究員・教育開発委員会委員

### 〈教育研究員〉

日野第一小学校	教諭	山本順子	家庭
日野第五小学校	教諭	折笠主典	道徳
潤徳小学校	教諭	清水絢子	国語
平山小学校	教諭	千秋香	音楽
程久保小学校	教諭	三木滋	教育課題
平山台小学校	教諭	杉坂昌子	心身障害教育
仲田小学校	教諭	小山しおり	社会
日野第二中学校	教諭	田中幸美	音楽
日野第三中学校	教諭	黒須恵子	学校給食
日野第四中学校	教諭	石川晴一	道徳

### 〈教育開発委員会〉

#### ・委員長

日野第一小学校	校長	岩下和夫	体育
---------	----	------	----

#### ・委員

日野第一小学校	教諭	風野敏子	生活
日野第一中学校	教諭	山田智之	美術
日野第二中学校	教諭	秋庭英子	技術・家庭

## 日野市立小・中学校使用教科書

### 1. 小学校

国語科	「わたしたちの小学国語」	(日本書籍)
	「わたしたちの小学書写」	(日本書籍)
社会科	「新しい社会」	(東京書籍)
	「楽しい小学校社会科地図帳 最新版」	(帝国書院)
算数科	「小学校算数」	(学校図書)
理科	「新しい理科」	(東京書籍)
生活科	「小学校 せいかつ」	(学校図書)
音楽科	「小学生の音楽」	(教育芸術社)
図画工作科	「図画工作」	(日本文教出版)
保健科	「新しい保健」	(東京書籍)
家庭科	「新しい家庭」	(東京書籍)

### 2. 中学校

国語科	「国語」	(光村図書)
	「中学書写」	(日本書籍)
社会科	「社会科中学生の地理 世界の人々と日本の国土最新版」	(帝国書院)
	「中学社会 歴史的分野」	(日本書籍)
	「中学社会 公民的分野」	(日本書籍)
	「中学校社会科地図 最新版」	(帝国書院)
数学科	「新しい数学」	(東京書籍)
理科	「新しい科学(1.2分野)」	(東京書籍)
音楽科	「中学生の音楽」	(教育芸術社)
	「中学生の器楽」	(教育芸術社)
美術科	「美術」	(日本文教出版)
保健体育科	「新しい保健体育」	(東京書籍)
技術家庭科	「技術・家庭 上・下」	(開隆堂出版)
外国語科	「NEW TOTAL ENGLISH」	(秀文出版)

就職・進学状況の推移（1989年～1993年）

（ ）はパーセント

年 度	性 別	高 等 学 校 本 科													職業教育 機関等 専修・各種 訓練校校	就業・その他			卒 業 者 総 数		
		総 計	高等学校全日制課程						高等学校定時制課程				高等 専門 学校	高等 学校 通信 制		盲 ・ 養 護 ろ う 学 校	計	就 職 者		無 （ 在 家 庭 者 ）	
			計	国 公 立			私 立			計	普 通 科	職 業 科									就 職 進 学 者
				普 通 科	職 業 科	小 計	普 通 科	職 業 科	小 計												
元	計	2,108 (95.1)	2,002 (95.0)	871 (41.3)	183 (8.7)	1,054 (50.0)	864 (41.0)	84 (4.0)	949 (45.0)	67 (3.2)	39 (1.9)	28 (1.3)	13 (0.6)	4 (0.2)	30 (1.4)	4 (0.2)	59 (2.8)	47 (2.2)	31 (1.5)	16 (0.8)	2,216
	男女	1,117 991	1,032 970	449 422	83 100	532 522	448 416	52 32	500 949	49 18	27 12	22 6	8 5	4 0	29 1	3 1	28 31	26 21	19 12	7 9	1,173 1,043
2	計	1,983 (94.5)	1,886 (89.9)	830 (39.6)	195 (9.3)	1,025 (48.9)	802 (38.2)	59 (2.8)	861 (41.0)	67 (3.2)	32(私6) (1.8)	28(私1) (1.4)	10 (0.5)	10 (0.5)	18 (0.9)	8 (0.4)	63 (2.8)	52 (2.5)	30 (1.4)	22 (1.0)	2,098
	男女	1,018 965	939 947	440 390	89 106	529 496	375 427	35 24	410 451	57 10	24(私6) 8	26(私1) 2	8 2	10 0	12 6	6 2	28 35	44 8	26 4	18 4	1,090 1,008
3	計	1,782 (95.1)	1,718 (91.7)	782 (41.7)	172 (9.2)	954 (50.9)	674 (36.0)	90 (4.8)	764 (40.8)	38 (2.0)	32(私2) (1.7)	3(私1) (0.2)	9 (0.5)	15 (0.8)	7 (0.4)	4 (0.2)	48 (2.6)	44 (2.3)	32 (1.7)	12 (0.6)	1,874
	男女	961 821	911 807	409 373	108 64	517 437	339 335	55 35	394 370	28 10	22(私2) 10	3(私1) 0	6 3	14 1	5 2	3 1	24 24	35 9	26 6	9 3	1,020 854
4	計	1,882 (95.2)	1,813 (91.8)	798 (40.4)	234 (11.8)	1,032 (52.2)	699 (35.4)	82 (4.1)	781 (39.5)	32 (1.6)	26 (1.3)	6 (0.3)	1 (0.05)	9 (0.5)	22 (1.1)	6 (0.3)	63 (3.2)	30 (1.6)	11 (0.5)	20 (1.0)	1,976
	男女	1,027 855	973 840	449 349	128 106	577 455	349 350	47 35	396 385	23 9	18 8	5 1	1 0	8 1	19 3	4 2	24 39	22 9	11 0	11 9	1,073 903
5	計	1,663 (95.8)	1,618 (93.2)	755 (43.5)	183 (10.5)	938 (54.0)	602 (34.7)	77 (4.4)	679 (39.1)	27 (1.6)	21 (1.2)	6 (0.3)	10 (0.6)	2 (0.1)	10 (0.6)	3 (0.2)	40 (2.3)	31 (1.8)	18 (1.0)	13 (0.7)	1,736
	男女	850 (95.2)	817 (91.5)	381 (42.7)	88 (9.9)	469 (52.5)	296 (33.1)	51 (5.7)	347 (38.9)	17 (1.9)	12 (1.3)	5 (0.6)	6 (0.7)	2 (0.2)	10 (1.1)	1 (0.1)	18 (2.0)	23 (2.6)	15 (1.7)	8 (0.9)	893
		813 (96.4)	801 (95.0)	374 (44.4)	95 (11.3)	469 (55.6)	306 (36.3)	26 (3.1)	332 (39.4)	10 (1.2)	9 (1.1)	1 (0.1)	4 (0.5)	0 (0)	0 (0.2)	22 (2.6)	54 (6.4)	3 (0.3)	5 (0.6)	5 (0.6)	843

# 園児・児童・生徒、学級数

〈1995年5月1日現在〉

上段1995年度 ( )学級数  
下段1994年度

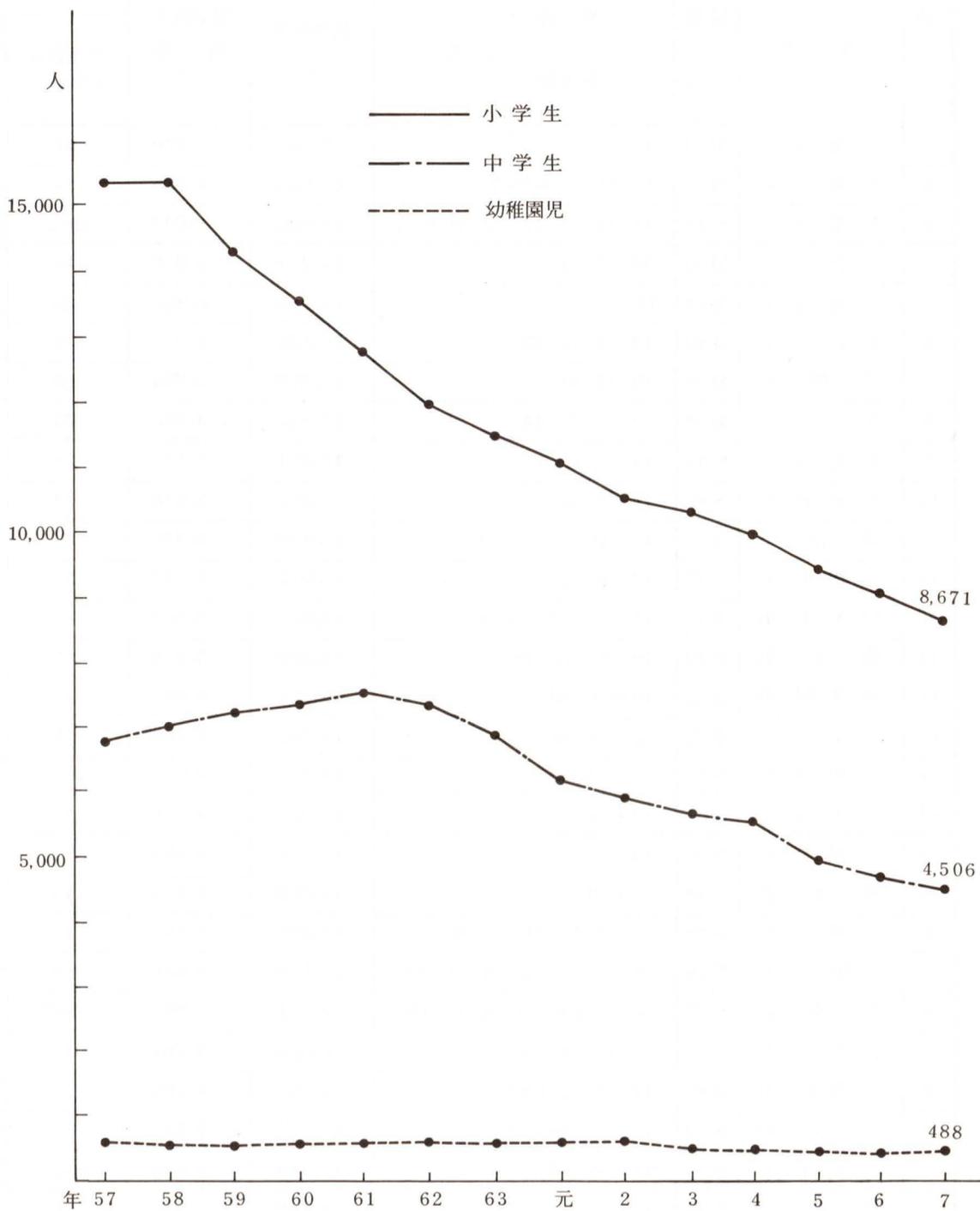
№	小学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	心障
1	日野第一小学校	87 (3) 81 (3)	83 (3) 72 (2)	71 (2) 83 (3)	77 (2) 74 (2)	74 (2) 74 (2)	77 (2) 79 (2)	469 (14) 463 (14)	
2	日野第二小学校	90 (3) 100 (3)	95 (3) 83 (3)	84 (3) 115 (3)	110 (3) 98 (3)	92 (3) 123 (4)	121 (4) 109 (3)	592 (19) 628 (19)	
3	日野第三小学校	44 (2) 55 (2)	54 (2) 68 (2)	67 (2) 72 (2)	71 (2) 65 (2)	65 (2) 68 (2)	68 (2) 78 (2)	369 (12) 406 (12)	6(1) 7(2)
4	日野第四小学校	78 (2) 67 (2)	65 (2) 75 (2)	74 (2) 80 (2)	85 (3) 79 (2)	81 (3) 80 (2)	85 (3) 77 (2)	468 (15) 458 (12)	
5	日野第五小学校	92 (3) 96 (3)	92 (3) 113 (3)	109 (3) 112 (3)	104 (3) 83 (3)	77 (2) 108 (3)	112 (3) 91 (3)	586 (17) 603 (18)	3(1) 5(1)
6	日野第六小学校	63 (2) 106 (3)	102 (3) 88 (3)	84 (3) 84 (3)	79 (2) 86 (3)	85 (3) 78 (2)	80 (2) 82 (3)	493 (15) 524 (17)	
7	潤徳小学校	48 (2) 48 (2)	51 (2) 62 (2)	67 (2) 50 (2)	60 (2) 58 (2)	61 (2) 48 (2)	43 (2) 55 (2)	330 (12) 321 (12)	
8	平山小学校	61 (2) 62 (2)	63 (2) 58 (2)	58 (2) 65 (2)	67 (2) 63 (2)	64 (2) 59 (2)	59 (2) 78 (2)	372 (12) 385 (12)	
9	日野第八小学校	94 (3) 100 (3)	99 (3) 91 (3)	106 (3) 99 (3)	99 (3) 99 (3)	101 (3) 101 (3)	104 (3) 109 (3)	603 (18) 599 (18)	
10	百草台小学校	46 (2) 46 (2)	46 (2) 53 (2)	55 (2) 63 (2)	56 (2) 69 (2)	69 (2) 76 (2)	74 (2) 65 (2)	346 (12) 372 (12)	10(1) 5(1)
11	滝合小学校	49 (2) 79 (2)	73 (2) 91 (3)	87 (3) 103 (3)	95 (3) 91 (3)	83 (3) 102 (3)	96 (3) 109 (3)	483 (16) 575 (17)	
12	高幡台小学校	48 (2) 42 (2)	40 (1) 57 (2)	52 (2) 42 (2)	32 (1) 63 (2)	59 (2) 60 (2)	57 (2) 63 (2)	288 (10) 327 (12)	
13	日野第七小学校	111 (3) 95 (3)	105 (3) 71 (2)	72 (2) 105 (3)	110 (3) 94 (3)	96 (3) 102 (3)	102 (3) 116 (3)	596 (17) 583 (17)	
14	南平小学校	63 (2) 56 (2)	61 (2) 72 (2)	74 (2) 61 (2)	64 (2) 74 (2)	79 (2) 77 (2)	78(2) 80(2)	419 (12) 420 (12)	
15	程久保小学校	38(1) 57(2)	54 (2) 44 (2)	41 (2) 65 (2)	65 (2) 62 (2)	62 (2) 82 (2)	82 (3) 65 (2)	342 (12) 375 (12)	
16	旭が丘小学校	131 (4) 142 (4)	141 (4) 131 (4)	121 (3) 124 (4)	120 (3) 130 (4)	120 (3) 130 (4)	124 (4) 140 (4)	757 (21) 797 (24)	
17	平山台小学校	24 (1) 30 (1)	29 (1) 27 (1)	27 (1) 45 (2)	46 (2) 42 (2)	42 (2) 36 (1)	35 (1) 40 (1)	203 (8) 220 (8)	14(2) 9(2)
18	東光寺小学校	55 (2) 51 (2)	53 (2) 61 (2)	62 (2) 67 (2)	67 (2) 43 (2)	45 (2) 72 (2)	73 (2) 62 (2)	355 (12) 356 (12)	
19	三沢台小学校	37 (1) 48 (2)	49 (2) 48 (2)	49 (2) 42 (2)	43 (2) 53 (2)	57 (2) 48 (2)	50 (2) 70 (2)	285 (11) 309 (12)	
20	仲田小学校	43 (2) 61 (2)	58 (2) 42 (2)	42 (2) 44 (2)	43 (2) 55 (2)	54 (2) 54 (2)	52 (2) 61 (2)	292 (12) 317 (12)	
計		1,302 (44) 1,422 (47)	1,413 (46) 1,407 (46)	1,402 (45) 1,521 (49)	1,493 (46) 1,481 (48)	1,466 (47) 1,578 (47)	1,572 (49) 1,629 (47)	8,648(277) 9,038(284)	23(5) 21(6)

№	中学校名	1 年	2 年	3 年	計	心 障
1	日野第一中学校	200 (5) 218 (6)	217 (6) 216 (6)	217 (6) 212 (6)	634 (17) 648 (18)	
2	日野第二中学校	161 (5) 212 (6)	211 (6) 190 (5)	191 (5) 208 (6)	563 (16) 610 (17)	
3	七生中学校	139 (4) 129 (4)	128 (4) 140 (4)	142 (4) 185 (5)	409 (12) 454 (13)	13 (3) 15 (4)
4	日野第三中学校	184 (5) 208 (6)	206 (6) 216 (6)	214 (6) 260 (7)	604 (17) 684 (19)	
5	日野第四中学校	233 (6) 225 (6)	224 (6) 224 (6)	222 (6) 253 (7)	679 (18) 702 (19)	
6	三沢中学校	198 (5) 158 (4)	160 (4) 184 (5)	190 (5) 191 (5)	548 (14) 533 (14)	
7	大坂上中学校	223 (6) 228 (6)	229 (6) 185 (5)	189 (5) 218 (6)	641 (17) 631 (17)	11 (2) 10 (2)
8	平山中学校	131 (4) 128 (4)	125 (4) 153 (4)	148 (4) 176 (5)	404 (12) 457 (13)	
計		1,469 (40) 1,506 (42)	1,500 (42) 1,508 (41)	1,513 (41) 1,703 (47)	4,482 (123) 4,717 (130)	24 (5) 25 (6)

№	幼稚園名	4 歳 児	5 歳 児	計
1	第一幼稚園	60 (2) 46 (2)	44 (2) 47 (2)	104 (4) 93 (4)
2	第二幼稚園	30 (1) 30 (1)	32 (1) 26 (2)	62 (2) 56 (3)
3	第三幼稚園	28 (1) 20 (1)	30 (1) 34 (2)	58 (2) 54 (3)
4	第四幼稚園	29 (1) 30 (1)	31 (1) 28 (1)	60 (2) 58 (2)
5	第五幼稚園	26 (1) 30 (1)	35 (1) 29 (1)	61 (2) 59 (2)
6	第六幼稚園	24 (1) 20 (1)	22 (1) 23 (1)	46 (2) 43 (2)
7	第七幼稚園	41 (2) 59 (2)	56 (2) 60 (2)	97 (4) 119 (4)
計		238 (9) 235 (9)	250 (9) 247 (11)	488 (18) 482 (20)

# 公立幼稚園児、小学校児童、中学校生徒の数の推移

(1995年5月1日現在)



市立小・中学

番号	校名	開校 年度	建築 年度 増改築	校地面積 $m^2$	校舎保有 面積 $m^2$	普通教室 (保有)
1	日野一小	M 6	37. 38. 39	20,947	4,370	20
2	日野二小	M 7	42. 43. 48. 53~54	11,640	4,705	24
3	日野三小	S 23	41. 42. 47. 49~50 H.6	16,806	6,018	20(3)
4	日野四小	M 6	40. 44. 49.	15,292	3,839	16
5	日野五小	S 34	H 2	16,765	6,295	23
6	日野六小	S 40	38. 40. 43. 48.	19,833	6,025	30
7	潤徳小	M 6	39. 40. 45	15,376	4,784	26
8	平山小	M 6	39. 40. 41. 44	15,845	4,388	22
9	日野八小	S 44	44. 47. 49.	17,601	5,102	24
10	百草台小	S 45	44. 48. 50	15,482	5,248	24
11	滝合小	S 46	45~46 H.6	20,458	5,548	26
12	高幡台小	S 47	46. 48. 52	16,017	4,983	25
13	日野七小	S 48	47~48. 52~53. 57	13,509	4,806	22
14	南平小	S 49	48~49. 53. 56	16,020	5,254	25
15	程久保小	S 52	49~50. 50~51	16,988	4,092	17
16	旭が丘小	S 52	51~52. 56	16,642	5,463	26
17	平山台小	S 53	52~53. 54	18,536	4,939	18(2)
18	東光寺小	S 54	53~54	19,586	4,356	18
19	三沢台小	S 55	54~55	15,170	4,463	17
20	仲田小	S 59	58~59	15,660	3,434	12
1	日野一中	S 22	37. 38. 40. 41. 50. 58	19,386	6,113	22
2	日野二中	S 29	34. 35. 38. 41. 49~50. 60~61	21,150	6,596	25
3	七生中	S 22	36. 38. 44. 45. 50~51. 59~60	20,367	5,934	18(2)
4	日野三中	S 45	45. 47. 49. 58~59	21,520	7,287	26
5	日野四中	S 48	47. 49. 52. 61~62	18,955	6,486	24
6	三沢中	S 52	51~52. 58~59	23,623	7,147	24
7	大坂上中	S 55	54~55. 57	19,389	6,630	23(3)
8	平山中	S 56	55~56. 3	18,200	5,991	20

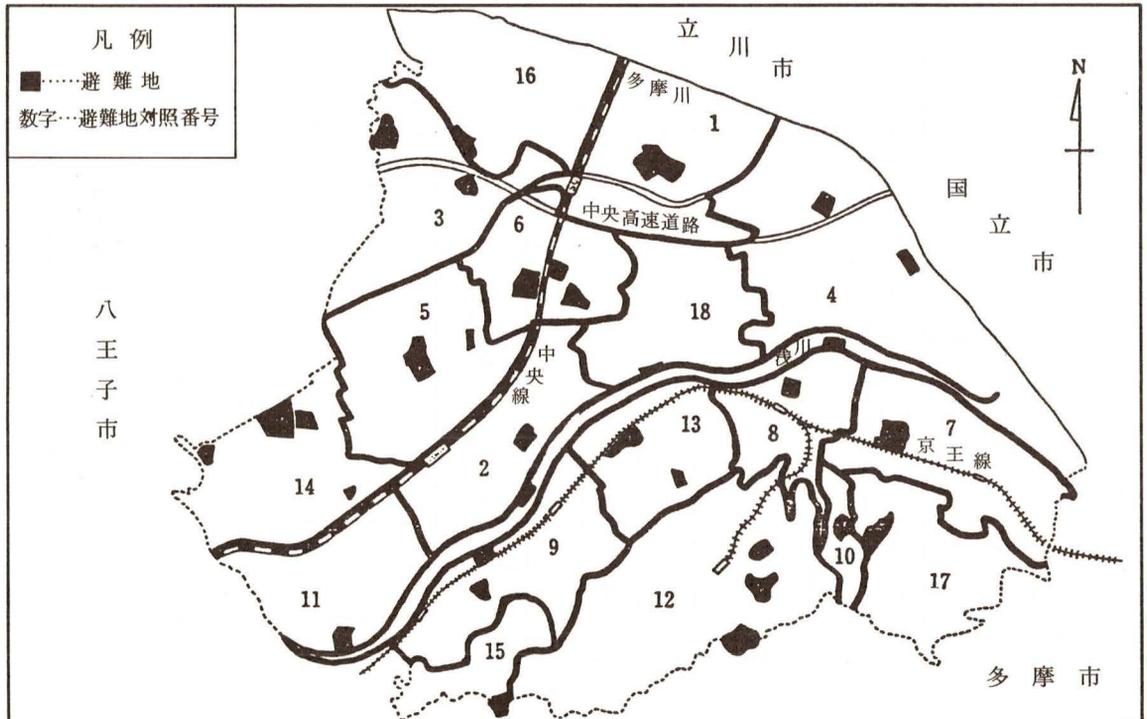
# 校 施 設 一 覧

1995年5月1日現在

教 室											体育館 m <sup>2</sup>	プー ル 大(25×11m) 小(10×5m)	給食室 m <sup>2</sup>	学 級 数 ( )心障学級
特 別 教 室														
理 科	音 楽	工 美 術	技 術	家 庭	視 覚	図 書	食 堂	特 別 活 動	教 育 相 談	コ ン ピ ュ ー タ 室				
1	1	2		1		1		1			760	大・小	179	14
1	2	1		1	1	1		1			761	〃	192	19
1	2	3		2	1	1		2			814	〃	144	12(2)
1	1	1		1		1					765	〃	130	12
2	2	1		1		1					809	〃	349	18(1)
1	1	1		1		1		1			795	〃	213	17
1	1	1		1		1					779	〃	191	12
1	1	1		1		1		1			545	〃	157	12
1	1	1		1		1					710	〃	231	18
1	1	1		1		1					752	〃	188	12(1)
1	2	1		1		1					751	〃	256	17
1	1	1		1		1		1			714	〃	226	12
1	1	1		1		1					736	〃	219	17
1	1	2		1		1					734	〃	188	12
1	1	1		1		1					760	〃	216	12
1	1	1		1		1					760	〃	213	24
1	1	1		1		1		1			760	大・小12×5m	268	8(2)
1	1	1		1		1					760	大・小	214	12
1	1	1		1		1					757	〃	215	12
1	1	1		1		1					760	〃	224	12
2	2	2	2	2		1	1		2	1	842	大	310	18
2	2	1	2	2		1	1			1	1,075	〃	290	17
2	2	2	2(1)	2(1)		1	1	1		1	765	〃	290	13(4)
3	3	2	3	2		1	1			1	1,067	〃	435	19
2	2	2	2	2		1	1			1	1,136	〃	355	19
2	2	2	2	2		1	1			1	1,118	〃	293	14
2	2	1	2(1)	2(1)		1	1		1	1	1,118	〃	233	17(2)
2	2	2	2	2		1	1	1	1	1	1,189	〃	197	13

## 避難場所と地区割当表

番号	避難場所	収容人口	避難地区	番号	避難場所	収容人口	避難地区
1	第一中学校・市民の森スポーツ公園	人 28,000	日野の一部、神明4丁目の一部、日野本町1～7丁目	11	滝合小学校	人 8,500	東平山1.2.3.4丁目 西平山1.2.3.4丁目
2	豊田児童公園 第二小学校	11,000	東豊田1.2.4丁目 豊田1～4丁目	12	高幡台小学校 第三中学 明星大	22,000	程久保の大部分 高幡台団地
3	第三小学校 日野自動車グラウンド	23,000	新町1.2.4.5丁目 日野台1.2.3.4.5丁目	13	鹿島台公園 小学校 南平体育館	12,500	南平1～5丁目
4	多摩川グラウンド 第四小学校	22,500	日野の一部、新井、石田、万願寺、下田の一部	14	旭が丘小、第四中 都立科学技術大学 旭が丘東公園	30,000	旭が丘の全部 西平山5丁目
5	多摩平団地自然公園 第二中学校 多摩平第一公園	21,000	多摩平1～6丁目 東豊田3丁目 多摩平7丁目の一部	15	平山台小学校	7,500	平山1.2.3丁目 平山苑
6	第七小学校 日野中央公園 実践女子大	23,000	多摩平7丁目、神明1～4丁目、大坂上1～4丁目	16	東光寺小学校	8,600	栄町1～5丁目 新町3丁目
7	第八小学校 第三沢中学校	16,000	百草、落川、三沢の一部	17	三沢台小学校 百草台自然公園	13,000	百草、三沢の一部 日本信販百草園住宅
8	新井橋際河川敷 潤徳小学校	11,000	高幡、新井の一部 三沢の一部	18	駒形公園	10,000	日野の一部、堀之内 上田、宮の全部
9	平山小学校 平山中学校	13,000	平山4.5.6丁目 南平6.7.8.9丁目	計	18箇所	286,600	
10	百草台小学校	6,000	百草団地、百草、程久保の一部				





園 名 日野市立第一幼稚園  
所 在 地 日野市多摩平4-3  
電 話 0425-81-4124・4105  
順 路 豊田駅より北へ徒歩約10分  
園 児 数 男47名 女58名 計105名

園長氏名 榎 島 静 子

### 1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第一幼稚園として設置される。  
4.10 第1回入園式挙行（5歳児・4歳児含む7学級 園児280名）  
5.30 園章制定  
昭41. 5.25 開園記念日とする。  
昭43. 9. 6 プール工事（第1次）終了  
12.20 遊戯室増築工事完了  
昭44. 3.10 プール工事（第2次）完了  
昭45. 7.15 運動場拡張工事完了  
昭48. 3.14 東京都交通安全教育園第1次研究発表会開催  
10.23 東京都交通安全教育園第2次研究発表会開催  
昭50. 3.10 創立10周年記念研究発表会開催  
園歌制定  
10.31 プールシャワー取付  
12.20 園舎（鉄筋・鉄骨）増改築工事完了  
昭51. 4. 1 4歳児（2年保育）募集中止  
昭57. 8.31 運動場整備  
昭58. 9. 1 幼児教育センター開設に伴い、2保育室提供  
昭60. 4.10 4歳児（2年保育）募集再開、2学級60名  
12.17 幼稚園外周緑化工事完了  
11.29 遊戯室の屋根改装工事完了  
昭62. 9.15 玄関隣接の便所の改装（男女別大人用）工事完了  
昭63. 4. 1 1学級減、4学級となる  
平 3. 4. 1 毎月第2土曜日週休となる  
10.31 隣接たまだいら保育園との通路工事完了、物置移設、温水シャワー設置  
平 4. 3.31 遊戯室内の改修工事完了  
3.31 幼児教育センター廃止  
4. 1 毎月第2土曜日・第4土曜日が週休となる。  
6.10 プール改修工事完了

### 2. 歴代の園長

氏 名	
江 角 正 子	昭40.4. 1～昭56.3.31
光 永 久 夫	昭56.4. 1～昭57.3.31
田 中 光 一	昭57.4. 1～昭60.3.31
上 山 洋一郎	昭60.4. 1～昭62.3.31
高 橋 千鶴子	昭62.4. 1～平 3.1. 9
三 上 道 子	平 3.1.10～平 5.3.31
榎 島 静 子	平 5.4. 1～現在

### 3. 地域の環境

住宅団地の中心に位置し道路の角地にあるため騒音や交通量が多い反面、近くには公園があり緑に囲まれ自然環境に恵まれている。

### 4. 教育目標

#### (1) 幼稚園の教育目標

人間形成の基礎を培い、一人一人の個性を伸ばし、主体的で、心豊かな幼児の育成を目指す。  
仲良く遊べる子ども  
明るく元気な子ども  
よく考えやりぬく子ども

### 5. 指導の重点

#### (1) 教育課程編成、実施にかかわる指導の重点

幼児一人一人の発達にともなう課題を適切にとらえ、保育形態を配慮するとともに、教育内容・方法の改善・充実に努める。さらに教師間での連携を図り、子どもの良さを認め、相互に尊重しあえるよう、指導や援助を進める。  
四歳－教師との信頼関係を基盤とし、安定した園生活の中で、基本的な生活習慣や態度を育て、遊びを通して自己を表現することの楽しさを味わわせ、多様な経験を積み重ねる。

五歳－友達と遊びを考えたり、工夫しながら自分の思いや願いを実現していくことを通し、一人一人が自己を十分に発揮し、満足感や充実感をえさせる。

### 6. 本年度の研究主題

遊びを十分に楽しむ子どもを育てる。

### 7. 本園の特色

- 隣接する「たまだいら保育園」との保育交流を密にして、地域の幼児教育という広い視点に立ち改善を図る。



園 名 日野市立第二幼稚園  
 所 在 地 日野市平山4-5-4  
 電 話 0425-91-4125  
 順 路 京王線平山城址公園下車徒歩10分  
 園 児 数 男30名 女32名 計62名

園長氏名 平 向 邦 江

1. 沿革の概要

- 昭40. 4. 1 日野市立第二幼稚園として平山小学校校庭内に設置される。
- 4. 10 第1回入園式挙行 入園児131名 学級数4、(一年保育2学級、二年保育年少2学級)
- 5. 10 開園記念日と定める
- 5. 30 園章制定
- 昭41. 4. 1 学級数3、(二年保育年長1学級、一年保育年長1学級 二年保育年少1学級)以後3学級運営
- 昭46. 3. 10 日野市研究協力園として研究発表を行う
- 昭48. 4. 1 一年保育児で3学級の編成
- 昭49. 2. 21 東京都交通安全教育推進学校研究発表会(第一年次)
- 10. 22 東京都交通安全教育推進学校研究発表会(第二年次)
- 12. 14 創立10周年記念式典開催
- 昭55. 10. 18 都立教育研究所幼児教育研究室調査協力のため幼児運動能力調査を行う
- 昭57. 4. 1 二年保育再開
- 昭59. 8. 30 現在地に園舎防音改築工事が開始される
- 昭60. 4. 1 新園舎完成移転
- 平 4. 5. 屋上プールサイドの塗装、及び人工芝の張り替え
- 平 6. 11. 30 遊戯室、舞台壁面改修

2. 歴代園長

氏 名	
後 藤 正 太	昭40.4 ~ 昭42.3
安 積 利 治	昭42.4 ~ 昭47.3
小 野 晃	昭47.4 ~ 昭51.3
深 澤 真 人	昭51.4 ~ 昭55.3
林 元 美	昭55.4 ~ 昭58.3
伊 藤 智 章	昭58.4 ~ 昭61.3
蓮 池 守 一	昭61.4 ~ 昭62.3
坂 口 嘉 津 子	昭62.4 ~ 平元.3
榎 島 静 子	平元.4 ~ 平 5.3
平 向 邦 江	平 5.4 ~ 現在

3. 地域の環境

市の南西部に位置し、平山小学校に隣接している。南に多摩丘陵、北に浅川、西に八王子に囲まれた東西に長く起伏に富んだ地域である。近年団地や都営住宅の建設及び、農地、丘陵の宅地化が急速に進んでいる。園の周辺は道路や下水道の整備が行われつつあり、市街地の様相

をみせている。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基盤に、心身共に健康で豊かな心情をもち、主体的に生活しようとする人間性豊かな幼児の育成を目指す。

- 元気で明るい子ども
- 進んでとりくみやりぬく子ども
- 豊かな心をもつ子ども

5. 本年度の指導の重点

幼児が目的意識を持って登園し、様々な自己表現する体験を通して、遊びの充実を図る。

- へ ○日々の生活の中での具体的な場面をとらえて、基本的な生活習慣や社会的な集団生活のルールが身につくように援助する。
- 4 歳 児 ○幼児が、新しい経験となるような活動や興味関心の持てる活動に進んで取り組み、自ら生活する喜びを感じられる機会を多くする。
- 同年齢の幼児と交わって遊ぶ中で友達と一緒に遊ぶ楽しさを知らせ、自分の感じたことや考えたことをまわりに伝えようとする気持ちを育てる。
- へ ○集団遊び・行事の準備・ごっこ等の遊びの機会をとらえ、友達の大切さや相手に対する思いやりの気持ちが育つようにする。
- 4 歳 児 ○自分たちで遊びを進める楽しさを味わう中で、自分で判断し行動する力を身につけたり、協力してやりとげることの大切さに気付くようにする。
- 製作活動や表現遊びなど、生活の中で感じたことや考えたこと・遊びの中でのイメージを自由に表現する機会を充実させ、友達と伝え合ったり表現したりする喜びを感じられるようにする。

6. 本年度の研究主題

「遊びこめる子を育てる」  
 幼児の遊びの記録を基に「遊び込んでいるとき」の要因を分析し、物的環境の構成との関連から考察することにより、より適切な環境構成や教師の援助のあり方を追求する。

7. 本園の特色

○平山城址公園や河原など、園周辺や市内の自然環境を利用し、四季を通じて自然に親しめる野外活動を、多くとり入れている。

8. その他(教職員の研究歴)

属内訳	研究員	開発委員
1	平向邦江(49年)	平向邦江(58年)
2	井上宏子(H2年)	井上宏子(H4年)
3	富尾真須子(H5年)	



園 名 日野市立第三幼稚園  
 所 在 地 日野市日野本町 2-14-1  
 電 話 0425-81-7127  
 順 路 JR日野駅下車 東へ10分  
 園 児 数 男31名 女23名 計54名

園長氏名 坂 口 嘉津子

1. 沿革の概要

- 昭 41. 4. 1 日野市立第三幼稚園として日野第一小学校内に設立
- 4. 11 第一回入園式を挙行  
学級数(4) 4歳児 2. 5歳児 2. 入園児数 143名
- 5. 4 開園記念日と定める
- 昭 42. 5. ブロック塀完成
- 11. 観察池設置
- 昭 46. 4. 市研究協力園
- 昭 47. 3. 屋外飼育舎新設
- 昭 49. 4. 1 全学級1年保育となる。
- 昭 51. 2. 区画整理のため、正門移動  
園庭整備 10周年記念研究発表
- 昭 53. 8. ホール、保育室床改装
- 昭 54. 8. 廊下床改装
- 昭 56. 3. 園歌制定
- 昭 56. 4. 2年保育再開
- 昭 60. 8. 保育室内装
- 昭 63. 8. ホール屋根改装
- 平 2. 3. 正門扉改装

2. 歴代園長

氏 名	年 月 ~ 年 月
吉 田 辰 次	昭 41. 4 ~ 昭 41. 5
永 野 林 弘	昭 41. 6 ~ 昭 42. 3
吉 田 辰 次	昭 42. 4 ~ 昭 44. 3
下 田 忍	昭 44. 4 ~ 昭 50. 3
溝呂木 桂 次	昭 50. 4 ~ 昭 55. 3
村 田 安 正	昭 55. 4 ~ 昭 58. 3
古 谷 洋 太	昭 58. 4 ~ 昭 62. 3
平 向 邦 江	昭 62. 4 ~ 昭 63. 3
沖 山 英 代	昭 63. 4 ~ 平 3. 3
山 本 智 恵 子	平 3. 4 ~ 平 5. 3
坂 口 嘉 津 子	平 5. 4 ~ 現在

3. 地域の環境

交通量の多い甲州街道、川崎街道、市道に囲まれている。急速に宅地化が進み周囲の自然も失われ、子ども達の遊び場は限られてきている。しかし、市役所、市民会館、図書館、公民館、生活保健センター、公園など文化的な環境に恵まれた場所になりつつある。

4. 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、いきいきと活動する心豊かな幼児の育成をめざして

- 丈夫な体で元気に遊ぶ子
- 思いやりをもったやさしい子
- 最後までやりぬく子

5. 本年度の指導の重点

一人一人の幼児の良さを生かし、適切な援助をすることにより、自ら遊びをつくりだす幼児を育てる。

多様な活動に興味、関心を示し、自ら取組んでいこうとする態度や意欲、創造性、表現力を育てる。

4歳児 集団の中で自分の力を十分に発揮したり、友達とのかかわりを楽しみ、集団生活に必要な基本的な生活習慣を身につける。

5歳児 互いの思いを表現し、良さを認めあうなどの経験を通して社会生活に必要な習慣やルールを身につける。

6. 本年度の研究主題

「いきいきと遊ぶ子どもを育てる」  
 幼児の実態はあくをするために記録をとり指導のあり方を探る。

7. 本園の特色

- 保護者の保育参加や地域の人とのふれあいを通して人に親しむ機会が多い。
- 地域の自然環境を園外保育や親子での共通体験の活動に取り入れている。

8. その他教職員研究歴

No.	内 訳	研 究 員	開 発 委 員
	1		坂口嘉津子(44年)



園 名 日野市立第四幼稚園  
 所 在 地 日野市石田 431-6  
 電 話 0425-83-3903  
 順 路 立川—高幡不動 京王バス四小前下車 徒歩 5分  
 園 児 数 男 27 名 女 33 名 計 60 名

園長氏名 山 本 智恵子

1. 沿革の概要

- 昭 48. 4. 1 日野市立第四幼稚園として開園  
学級数 2、園児数 41 名
- 10. 9 落成式挙行
- 11. 1 開園記念日と定める
- 昭 51. 8. 30 各保育室前、テラス完成
- 昭 54. 9. 8 廊下床、足洗い場改装完成
- 昭 56. 9. 30 各保育室、教材整理棚完成
- 昭 57. 11. 11 創立 10 周年記念式典挙行  
園歌制定
- 昭 60. 8. 31 職員室床木製改装完了
- 昭 62. 8. 26 廊下改修、屋根、外装塗装
- 平 2. 8. 30 各保育室床、遊戯室床、壁塗装
- 平 3. 8. 31 水道管のとりかえ工事
- 平 4. 11. 18 創立 20 周年記念式典
- 平 5. 9. 13 屋根部分改修
- 平 6. 8. 23 雨どい改修

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
内 藤 達 夫	昭 48. 4. 1 ～ 昭 52. 3. 31
釜 池 博	昭 52. 4. 1 ～ 昭 57. 3. 31
竹 永 秀 雄	昭 57. 4. 1 ～ 昭 60. 3. 31
田 中 光 穂	昭 60. 4. 1 ～ 昭 62. 3. 31
梶 村 和 子	昭 62. 4. 1 ～ 平 元 3. 31
上 野 美 津 枝	平 元 4. 1 ～ 平 5. 3. 31
山 本 智 恵 子	平 5. 4. 1 ～ 現 在

3. 地域の環境

日野橋より東へ約 1km 入った多摩川の土手近くにあって、日野第四小学校に隣接している。田畑や梨園、農業用水路等自然環境にめぐまれているが、宅地化が進み、子どもの遊べる場所は少ない。

4. 教育目標

一人一人を大切にし、豊かな人間性を育み、心身共に健康で自ら進んで生活できる幼児を育成する。

- 心身共に健康で、元気に遊べる子ども。
- 意欲をもって取り組むことができる子ども。
- 人と関わる中で思いや願いを伝えられる子ども。
- 自然や文化の良さを感じる子ども。

5. 本年度の指導の重点

- 幼児の実態や発達に即した指導計画及び、個々の幼児の実態に即した個別の指導計画を立案し指導と評価の一体化を図り日々の評価の充実に努める。
- 教師一人一人が保育に対するとらえ方や能力を高め、共通理解のもとに幼稚園教育の一層の充実に努める。
- 地域の自然に親しむ機会をできるだけ多くもち、体験的活動を通して豊かな感性を育て、心身共に健康な発達を促す。

4 歳 ○いろいろなことに興味をもって、思いきり遊び、楽しく園生活を送る。

- 基本的生活習慣の自立を図り、自分から進んでものごとに取り組む。

5 歳 ○意欲をもって主体的に遊び、充実した園生活を送る。

- 相手の立場になって考え、良さを認め合う友達関係を育てる。
- 友達と一緒に、遊びをより楽しくするために試したり工夫したりする。

6. 本年度の研究主題

「幼児の発達段階に即した遊び」

7. 本園の特色

- 幼小の連携、異年齢との交流を密にし、互いに学び合うようにする。
- 自然環境を生かし、園外保育を通して、四季折々の動植物への関心と親しみを持たせ、自然の中で存分遊ぶようにする。
- ひまわり号の活用や、音楽などを積極的に取り入れ、教師と子どもが共感しあい、自己発揮できる環境の設定に配慮している。



園 名 日野市立第五幼稚園  
 所 在 地 日野市三沢 175  
 電 話 0425-92-0432  
 順 路 京王線 高幡不動駅下車 東へ徒歩 13 分  
 園 児 数 男 28 名 女 33 名 計 61 名

園長氏名 酒 匂 瑠美子

### 1. 沿革の概要

- 昭 49. 4. 1 日野市立第五幼稚園として設置される。  
 学級数 2、定員 80 名  
 教諭 3 名、用務員 1 名
4. 15 第一回入園式挙行 園児数 62 名
11. 1 落成式を挙行 同日を開園記念日とする。
- 昭 53. 4. 1 1 学級増のためプレハブ教室増築、学級数 3、定員 120 名
- 昭 56. 4. 1 学級数 2、定員 80 名
- 昭 59. 2. 25 創立 10 周年記念式挙行  
 3. 31 プレハブ教室撤去
- 昭 60. 4. 1 2 年保育開始 学級数 2  
 定員 70 名
- 昭 61. 3. 15 教材室増設
- 平 3. 10. 6 ホール屋根取替・トイレ改修
- 平 3. 4. 1 学級数 2 定員 65 名
- 平 3. 8. 31 保育室流し台改修・ホール床改修
- 平 5. 1. 18 外灯設置、園舎職員室・保育室屋根改修

### 2. 歴代園長

氏 名	年月 ~ 年月
岡本省吾	昭 49. 4. 1 ~ 昭 53. 3. 3
古谷洋太	昭 53. 4. 1 ~ 昭 58. 3. 31
渋谷義一	昭 58. 4. 1 ~ 昭 61. 3. 31
櫻田鈴子	昭 61. 4. 1 ~ 平 3. 3. 31
高野英男	平 3. 4. 1 ~ 平 3. 4. 30
酒匂瑠美子	平 3. 5. 1 ~ 現在

### 3. 地域の環境

京王線高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の位置にあり、周囲は開発途上にあるがまだ自然に恵まれており、小学校、中学校に隣接している。近くには、高幡不動尊、多摩動物公園、百草園などがあり、四季折々の野外活動を楽しむことができる。

### 4. 教育目標

- 心身共に健全で主体性を持ち、人間性豊かな子どもを育成するために、次の目標を設定する。
- 元気な子ども・健康で明るく意欲的な子ども
    - ・たくましい子ども
  - やさしい子ども・周囲の人々に感謝の気持ちをもつ子ども
    - ・自然や生命を大切にする子ども
  - 考える子ども・よく見て、気づく子ども
    - ・自ら試し、工夫する子ども

### 5. 本年度の指導の重点

幼児の実態を捉え発達段階に即した目標を設定し、次のことに留意して、学級経営を行う。

- 4 歳児 ○ 基本的な生活習慣を身につけるとともに、幼児期にふさわしい生活を展開し、幼児の心情を育てながら一人一人の個性や可能性を伸ばす。
- 友だちとのかかわりの中で自己表現したり、集団で遊ぶ楽しさを十分味わわせ、園行事や園外保育などの生活体験にも積極的にかかわる。
- 5 歳児 ○ 自ら目的や課題をもって環境にかかわり、多様な経験や体験を繰り返し行う中から、健康で充実した生活を主体的に創り出せるようにする。
- 幼児が互いを認め合い育ち合える望ましい人間関係を育み、友だちとのかかわりを深めていく中で力を発揮し、社会性を身につけていく。

### 6. 本年度の研究主題

「集団での造形活動」について指導内容、方法等の改善・充実に努める。

### 7. 本園の特色

- 広い園庭を十分活用し、幼児にいろいろな体験を通して幅広い戸外活動を楽しませる。
- 園内外の施設や教材・環境を利用した遊びを通して、友だちと遊ぶ楽しさを見つけ、互いに刺激し合い、育ち合える場とする。



園 名 日野市立第六幼稚園  
 所 在 地 日野市程久保 876-2  
 電 話 0425-92-6330  
 順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスで  
 高幡台団地下車 徒歩 5分  
 園 児 数 男 23 名 女 20 名 計 43 名

園長氏名 高 野 真由美

1. 沿革の概要

- 昭50. 9. 6 園舎新築工事起工
- 昭51. 3.19 園舎完成、鉄筋平屋建
- 4. 1 日野市立第六幼稚園として開園  
学級数 2、定員 80 名  
園長 1 名、教諭 3 名、用務員 1 名
- 4.10 入園式挙行、園児数 73 名
- 5.29 開園記念式典挙行  
開園記念日とする
- 昭52. 5.30 プール(ヤマハ・キューティメ  
イトDX)設置
- 昭53. 3.12 1 学級増設のためプレハブ教室  
増設、学級数 3、定員 120 名
- 昭55. 4. 1 学級数 2、定員 80 名
- 昭58. 8. 5 プールのフェンス、園庭フェ  
ンス防球ネット完成
- 昭60. 4. 1 2 年保育開始、定員70名、学級  
数 2、4 歳児30名、5 歳児 40 名
- 11. 1 園歌制定
- 12.14 創立 10 周年記念式挙行
- 昭61. 9.10 園庭拡張、園舎外壁塗装
- 平 1. 8.31 南側テラスに屋根をかける
- 平 3.11.15 教室、ホールのストープ改修
- 平 4. 8.31 廊下床張り替え、門柱、防球ネ  
ット設置、登り棒新設
- 平 5. 8.20 ホール、保育室の床改修

2. 歴代園長

氏 名	年月～年月
手代木 和 夫	昭 51. 4.1～昭 54. 3. 31
近 内 信 輝	昭 54. 4.1～昭 58. 3. 31
津野田 昭 二	昭 58. 4.1～昭 62. 3. 31
上 野 美津枝	昭 62. 4.1～平成. 3. 31
坂 口 嘉津子	平成. 4.1～平 5. 3. 31
高 野 真由美	平 5. 4.1～現 在

3. 地域の環境

日野市の東南部にある多摩丘陵に造成された高幡台団地と百草団地との境に位置し、園舎は緑の森林に囲まれ、起伏に富んだ所である。

近くには多摩動物公園、百草園、高幡不動尊などがあり、野外遊びのできる場所も多く、自然に親しむことができる。

4. 教育目標

人間尊重の精神に基づき、主体的に生きようとする心身共に健康で、感性に富み、人間性豊かな幼児の育成を目指す。

- 思いやりのある子
- 自分で考え最後までやりぬく子
- 元気な身体で仲よく遊べる子ども

5. 本年度の指導の重点

○幼児の特性を理解し一人一人の発達を捉えて個性を生かすことのできる指導計画の作成、実践、反省を通して、連続性のある指導をする。

4 歳児 ● 基本的な生活習慣の自立を促し集団生活の中で、望ましい態度を身につけさせる。

● 教師と幼児、幼児相互の信頼関係を深め、自己を十分に発揮させるために幼児の実態把握と記録の充実を図り、心身の調和のとれた発達を促す。

5 歳児 ● 主体的に取り組む態度を身につけさせるために一人一人の発達段階に応じた保育を進める。

● 友達と協力して遊びを進めるために相手の存在を認め互いに尊重しあう心を育てる。

○ 地域の環境や人々とのかかわりを通して、幼児が積極的に行動する意欲、態度を育成し生活経験の幅に広がりを持たせる。

○ 身近な自然や社会事象に興味、関心を持たせ様々な経験を積み重ねることによって、思いやりの心や表現する力を育てる。

6. 本年度の研究主題

「地域に開かれた幼稚園をめざして」

7. 本園の特色

○ 動植物の飼育栽培を子ども達が行い、育てることの喜びを味わわせている。

○ 園周辺の自然環境を利用した園外保育を多く取り入れ、思う存分に体を動かし、自然に親しませている。

○ 地域に親しみ愛する心を育てると共に、人とかかわる力の育成に努めている。



園 名 日野市立第七幼稚園  
 所 在 地 日野市旭が丘 2-42  
 電 話 0425-86-3770  
 順 路 J R 豊田駅下車 京王バス 都立科学技術大学前  
 園 児 数 男 43 名 女 54 名 計 97 名

園長氏名 上 野 美津枝

### 1. 沿革の概要

- 昭 59. 10. 6 園舎新築工事起工
- 昭 60. 4. 1 日野市立第七幼稚園として設置  
鉄筋コンクリート 2階建  
学級数2 定員70名  
教職員3名 園地面積 2599 m<sup>2</sup>
- 昭 60. 4. 10 第1回入園式挙行園児数 49名
- 昭 60. 6. 30 開園記念日とする
- 昭 62. 4. 1 4歳児1クラス増、定員100名  
(年少2、年長1)
- 昭 63. 3. 11 園舎増築工事完成
- 昭 63. 4. 11 学級数4 (4歳児2、5歳児2)  
定員140名
- 平 2. 2. 20 園歌制定
- 平 6~7. 文部省委託研究「幼稚園教育の  
在り方についての実践的調査研究」

### 2. 歴代園長

氏 名	年月 ~ 年月
石 井 三 士	昭 60. 4. 1 ~ 昭 62. 3. 31
沖 山 英 代	昭 62. 4. 1 ~ 昭 63. 3. 31
平 向 邦 江	昭 63. 4. 1 ~ 平 5. 3. 31
上 野 美津枝	平 5. 4. 1 ~ 現在

### 3. 地域の環境

市の西端に位置し、地域の約半分が工業地区職住近接による公団や社宅により若年層の人口が増加している。周辺道路の交通量が多いが道路は整備され、街路樹やグリーンベルトが四季折々に美しい。大学、中学校、保育園、児童館障害者や老人のための施設が隣接し、文化福祉ゾーンとして地域のかなめとなっている。

### 4. 教育目標

人間尊重の精神を基調にし、主体的で心豊かな幼児の育成をめざす。

- 心の豊かな子ども
- 明るく元気な子ども
- 一生懸命とりくむ子ども

### 5. 本年度の指導の重点

- 日々の個人記録をもとに、幼児一人ひとりの発達や特性を把握し、幼児自身が自己のよさに気づくことや、相手の良さを認め合える関係を育てる。
  - 園の畑に親しんだり、園外保育等で地域の自然を活用し、幼児自身の発見、感動できる直接体験を大切にし、感性豊かな子を育てる。
- (2) 環境の構成
- 人間関係を広げるため、親子の会(保育参加)祖父母参観における人とのふれ合いや、未就園児・小学生との交流の機会を計画的に持つ。
  - 幼児の成長や季節に応じて動植物の飼育、栽培や地域の自然に親子、教師と共にかかわる等の直接体験を通して、収穫の喜び・発見・驚き・愛護の気持ち等を味わうことのできる機会を作る。
  - 発達段階に応じた教材・教具・遊具を提示し自ら進んで遊びに取り組み、充実感、満足感の味わうことのできる環境構成に努める。
  - 移動図書館の活用、絵本童話の読み聞かせ、歌の会等を通して豊かな心を育てる。

### 6. 本年度の研究主題

「豊かな人間関係を育てる」

— 家庭・地域とのかかわりを通して —

### 7. 本園の特色

- 通園区域は広く、高層住宅、社宅等が多い
- 飼育物の世話や菜園、園庭での草花の栽培等の直接体験を通して情操豊かな心を育てている。

### 8. その他(教職員の研究歴)

内訳 No.	研究員	開発委員
1	上 野 美津枝	上 野 美津枝
2		渡 辺 明 子



学 校 名 日野市立日野第一小学校  
 所 在 地 日野市日野本町 2-14-1  
 電 話 0425-81-0073・0061  
 順 路 中央線日野駅下車 徒歩6分  
 児 童 数 男241名 女228名 計469名

校長氏名 岩 下 和 夫

教頭氏名 木 内 秀 雄

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 5 土淵山普門寺の本堂をあて開校。第一大学区第八中学区第五十四番小学日野学校と称す。(現在の中央公民館のとなり。)
- 明 45. 2.11 校歌、校章制定、校舎増改築、校地拡張
- 昭 11. 4.29 校旗寄贈(古谷剛次郎氏)
- 昭 15. 日野2800番地(現在地)に土地900余坪、新校舎建築開始。(戦時中、軍徴用)
- 昭 23. 4.25 新校舎に移転完了
- 昭 25. 4. 1 東京都指定実験学校となり、教育課程の研究発足
- 昭 27. 3. 5 上記の研究発表
- 昭 28. 8.22 80周年記念プール竣工
- 昭 38.11. 3 日野市制施行により日野市立日野第一小学校と校名を変更
- 昭 43. 4. 1 日野市研究協力校として「教育環境の整備」を主題として研究発足
- 8. 1 日野市集会場を屋内運動場 兼講堂として移管
- 昭 44. 2.21 日野市研究協力校として「教育環境の整備について」発表
- 5. 1 東京都学校花壇協力校となる
- 昭 46. 4. 1 日野市小学校訪問学級設置 5月17日開校
- 昭 47. 2. 都市計画神明上区画整理事業開始 校庭南側一部縮少
- 昭 48.11. 創立百周年記念祭
- 昭 55. 8. 排水溝改修、受水槽設置
- 昭 57. 6. 体育館新設
- 昭 58. 8. 校内塗装、窓アルミサッシ化
- 昭 58.11. 開校110周年記念集会、式典
- 昭 59. 3. 仲田小分離
- 昭 59. 8. 屋上全面防水、プレハブ撤去

- 昭 60. 3. 体育倉庫新設
- 昭 60.11. 南・北側ブロックべい撤去、植込とする
- 昭 62. 2. 東京都教育委員会「健康づくり推進校」として公開発表
- 平成. 8. 校庭整備工事
- 平成. 11. 校舎建具等改修、建築工事
- 平成. 11. 温度保持設備工事新設
- 平 2. 8. 放送室改修工事
- 平 3. 1. 日野市研究協力校として「一人一人の読みの力を育てるための指導法の工夫」を副主題として研究発表
- 平 3. 8. 校庭改修  
給食配膳室扉改修  
職員玄関前排水管改修
- 平 4. 8. 教室の出入口扉一部改修
- 平 4.10. 第二図工室焼き窯設置
- 平 5. 8. ランチルーム全面改修  
教室出入口扉の改修  
駐輪場設置
- 平 6. 3. 飼育小屋設置
- 平 7. 8. 東校舎廊下塗装工事

2. 歴代校長

	氏 名	年 月～年 月
1	日野 義順	明 6. 5～明 9. 7
2	国府田 学	明 9. 7～明 11. 3
3	小川 則要	明 11. 4～明 15. 3
4	鈴木 宗也	明 15. 4～明 16. 8
5	上野 兼松	明 16. 9～明 18. 3
6	二見友三郎	明 18. 4～明 19. 4
7	八木岡寛制	明 19. 5～明 21. 10
8	佐野 鶴松	明 21. 11～大 5. 3
9	古谷剛次郎	大 5. 4～大 12. 1
10	河合 平作	大 12. 2～大 15. 3
11	古谷剛次郎	大 15. 4～昭 11. 1
12	宮川 海三	昭 11. 2～昭 18. 3
13	貫井 半蔵	昭 18. 4～昭 23. 8
14	小池 嘉一	昭 23. 9～昭 34. 3

	氏名	年月～年月
15	尾崎半次郎	昭34. 4～昭37. 3
16	五十嵐 光	昭37. 4～昭38. 3
17	木村 清	昭38. 4～昭41. 3
18	吉田 辰次	昭41. 4～昭44. 3
19	下田 忍	昭44. 4～昭50. 3
20	溝呂木桂次	昭50. 4～昭55. 3
21	村田 安正	昭55. 4～昭58. 3
22	古谷 洋太	昭58. 4～昭62. 3
23	山口 武彦	昭62. 4～平 4. 3
24	岩下 和夫	平 4. 4～

### 3. 地域の環境

校区は広く、農地、工場、商店、住宅により構成される地域である。本校は日野駅より徒歩6分の所に位置する。駅周辺は開発も進み、かつての日野宿のおもかげも失われつつある。しかし、まだ随所に歴史をとどめる史跡も残り、自然も美しく、心やすまる環境も残されている。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会において尊敬と信頼の得られる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指し、次のように学校教育目標を設定する。

##### ① 科学性を身につける子ども

事実を正しく見る目を養い、正しい判断力・順序だった思考力・意欲的な創造力等の知性を育てる。

##### ② 豊かな心情を持った子ども

真・善・美に対する感受性を養うとともに、自然や動植物愛護、他人に対する思いやりの心を育てる。

##### ③ 強い意志を育てる子ども

困難にあってもくじけない耐性を育て、目標に向かって最後までやりとげる実践力を培う。

##### ④ じょうぶな体をつくる子ども

健康に関心を持ち、進んで運動に取り組み、健康・体力の維持向上を目指す態度を育てる。本年度は、第三項目及び第四項目の「強い意志を育てる子ども」「じょうぶな体をつくる子ども」を重点の教育目標とし、これの具現化のために全教育活動を通して全力を傾けていく。特に重点教科を体育科とし、校内研究の中心に据える。

### 5. 指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア 各教科

生涯にわたって主体的に学び続ける意欲や能力・態度の基礎基本を身に付ける。また、児童が主体的に学習することに重点をおいた授業を創造する。そのため、

- ・指導内容の重点化を図り、体験を通して考える・調べる・確かめる等の時間を十分にとり、考える力・問題解決の力・情報活用能力・表現力・創造性の育成を図る。
- ・新しい学力観に立つ学力を育成することを重視して、T・T等を含めた指導法の改善に努める。
- ・児童が健康、体力に関心を持ち、体育科の学習活動を通して、進んで心と体の健康づくりに取り組むよう指導の工夫に努める。

##### イ 道徳

社会規範・生活規範のもととなる道徳的価値の高揚・内面化を図り、道徳的実践力を高める。そのため、

- ・道徳の時間の充実を図り、意図的・計画的な指導に努める。
- ・全教育活動を通じて、根気強さや耐性、自然環境の大切さ、生命の尊重・他を思いやる心等の育成を重視した指導を進める。

児童の協同・協力活動を通して、助け合い・学び合い・支え合う心を育てる。また、児童の自主的・自治的活動を通して個性や社会性・国際性を培う。そのため、

- 児童の主体的・体験的活動を促し、縦割り活動等望ましい集団活動を行う中で連帯感や豊かな人間関係を育てるとともに、地域の一員として望ましい生き方ができるように指導する。
- 多様な教育活動を行う中で、個人の持つ特性の発見に努め、一人一人のよい面が伸長するように指導する。
- 体育的な活動を通して、ねばり強さや耐性、健康・体力の向上等心と体の健康づくりを推進する。

(2) 特色ある教育活動

- ア 研究活動の中で定着してきたふれあいタイム、教師の読み聞かせ、体験学習活動等を通して、児童理解を深め、心と体の健康づくりに努める。
- イ 幼稚園、中学校との交流の場を設定し、幼・小・中の触れ合いを通して異年齢の相互理解を深める。
- ウ 学級活動、学校裁量の時間を通して、調別指導の充実、学級経営の推進を図り、児童一人一人が、いじめのない楽しくゆとりのある学校生活を送れるよう指導する。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 全教職員の共通理解のもとに基本的行動様式の定着を推進する。そこで「五つの約束」を重点とし、集団の秩序と安全保持の立場から指導を徹底する。
- ② 校内の教育相談を通して、児童の不安や悩みを聞き、学校生活への適応・学習の適応を図り、明るく楽しい学校生活が送れるように指導する。
- ③ 学校週五日制に伴う休日の過ごし方について、学校と家庭・地域の連携を深め健全なる生活ができるように指導する。

イ 進路指導

児童一人一人の個性・能力の開発・伸長をめざす。そのため、児童のよい面の発見に努め、認め・誉め或いは児童のもつ悩みや願いの相談にのり、励まし力づける。また、各教科・道徳・特別活動等さまざまな学習活動の場を通して、児童がめあてを持ち健康でたくましい生き方ができるよう指導に努める。

6. 本年度の研究主題

これからの社会を生き生きと過ごすには、健康・体力は重要な資質である。しかし、本校の児童の実態をみると、必ずしも健康・体力等の面で充実しているとはいえない。そこで、研究主題は「一人一人の児童が意欲的に学習に取り組む指導法の工夫」を継続し、体育科及び体育的な活動を校内研究の中心に捉え、児童の主体的な活動と教師の支援のあり方を実践的に実証していく。

7. その他（教職員の研究歴）

№	内訳	中央研	研究員	開発委員	研究生、他
1		志賀 由具(平成4)	岩下 和夫 49 (体育)	岩下 和夫 52 (体育・現代化)	
2			木内 秀雄 54 (社会)	志賀 由具 59 (体育)	
3			志賀 由具 59 (体育)		
4			小川賀世子 平成6 (国語)		
5			清水 妙子 47 (学校保健)		



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 二 小 学 校  
 所 在 地 日 野 市 東 豊 田 2-14-1  
 電 話 0425-81-0070・0851 FAX 0425-81-0851  
 順 路 J R 豊 田 駅 南 口 下 車 徒 歩 10 分  
 京 王 線 南 平 駅 下 車 徒 歩 15 分  
 児 童 数 男 324 名 女 271 名 計 595 名

校長氏名 秋 山 憲 一

教頭氏名 太 田 由 紀 夫

1. 沿革の概要

- 明 7. 3. 神奈川県 9 大区小 4 区豊田村尋常小学校として創設、戸長山口平大夫氏長屋を仮校舎にする  
 年月不詳 善生寺本堂を校舎とし、上下 2 等級に分ける。  
 明 12. 2. 豊田 1320 番地、善生寺の西隣に新校舎建築  
 明 26. 4. 東京府に編入される  
 明 41. 3. 日野小学校豊田分教場となる  
 昭 17. 豊田 218 番地に新校舎建築、平屋建 6 教室  
 昭 21. 6. 南多摩郡豊田国民学校として再び独立  
 昭 27. 12. 第 1 次増築、2 階建 8 教室、日野町立日野第二小学校と校名変更  
 昭 31. 4. 第 2 次増築、2 階建 6 教室  
 昭 38. 11. 日野市立日野第二小学校と校名変更  
 昭 43. 6. 第 1 次防音、4 階建校舎完成  
 昭 44. 3. 第 2 次防音、4 階建校舎完成  
 昭 46. 2. 体育館工事、落成  
 昭 49. 3. 第 3 次防音、4 階建校舎完成  
 11. 創立百周年記念式典を行う  
 昭 55. 3. 1 階建校舎完成  
 昭 56. 5. 新プール完成  
 9. 校庭整備完成  
 昭 57. 8. 普通教室内部塗装完了  
 昭 58. 12. 校庭歩道完成  
 昭 59. 6. 創立百十周年記念式典を行う  
 昭 63. 8. 体育館改装  
 平 元. 8. 高置水槽取替  
 平 2. 8. 校舎大規模改修完了  
 平 3. 9. 給食室・床(4階)天井(3階)改修完了  
 平 5. 2. ランチルーム完成  
 平 5. 2. 生活科広場完成  
 平 5. 3. 第二校庭用地借上げ決定  
 平 5. 8. 校舎、床、天井改修

- 平 6. 8. 各階ろう下内装改修  
 平 7. 3. 保健室シャワー設置

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
小 山 茂 平	昭 21. 6 ～ 27. 9
増 島 光 一	昭 27. 10 ～ 34. 3
小 池 嘉 一	昭 34. 4 ～ 38. 3
森久保 惣 次	昭 38. 4 ～ 42. 3
後 藤 正 太	昭 42. 4 ～ 47. 3
安 積 利 治	昭 47. 4 ～ 50. 3
永 井 雅 夫	昭 50. 4 ～ 53. 3
鈴 木 英 夫	昭 53. 4 ～ 57. 6
篠 宮 忠 男	昭 57. 7 ～ 61. 3
荒 木 健 治	昭 61. 4 ～ 平成元. 3
馬 場 武	平成元 4 ～ 平成 5. 3
秋 山 憲 一	平成 6. 4 ～ 現在

3. 地域の環境

- 本校の学区は、かつては“豊田の里”と呼ばれた静かな農村であったが、近年になって急に宅地造成が進み、農家の割合が激減している。しかし、学区内の至る所に湧水があり、サワガニやカワニナが息づく自然環境が残されている。
- 保護者や地域の方々は、教育に対する関心が深く協力的である。登校時の交通安全指導や各種のサークル活動に積極的に参加している  
 また、浅川を含んだ地域の清掃活動である PTA 主催のクリーン作戦は、14 年目を迎えるなど、環境に対する関心も高い。
- 学校前の都道をはじめとして、学区内の道路はどこも道幅がせまく歩道もない。しかも交通量がしだいに増加し、登下校の安全が憂慮される状況になってきている。
- 現在、豊田南及び東豊田土地区画整理事業が進行し、通学路の変更が度重なっている。

## 1. 教育目標

### (1) 学校の教育目標

人間の尊重の精神に徹し、日本人としての自覚を高め、国際社会に奉仕できる心身共に豊かな子どもの育成を目指して、次の目標を定める。

- からだも心も強く、明るい子
- みんなと仲良く力を合わせられる子
- ◎ よく考え、進んで行動する子(重点目標)
- 責任をもって最後までやり抜く子

### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

教育目標の具現化のために、全教職員の共通理解を大切にし意図的、計画的、組織的、継続的に以下の方針をもって、教育活動を進める。

1. 教育活動全体を通して心豊かな人間性を育み、人権尊重の意識と自他を思いやる実践的行動力を育てる。
2. 児童一人一人の個性、能力を生かした指導により基礎的基本的内容の定着を図り、生涯にわたって学び続ける態度を育成する。
3. 授業研究を重視し指導法の改善に努め、自ら学ぶ意欲、能力を育み、主体的、創造的に学校生活をおくることができるようにする。
4. 基本的な行動様式に対する職員の理解を深め、組織的に生活規範を高揚させ、自主的、自立的な生活態度を育成する。
5. 家庭、地域との連携を基盤におき、地域への愛着を培い、学校週5日制の主旨を生かして地域社会で意欲的に活動できるようにする。
6. 地域の環境に関心を持たせることにより環境を大切にすることを育て、その保全に配慮した望ましい働きかけができる態度を育成する。
7. 教育活動全体を通して、我国の文化や伝統を大切にすると共に、諸外国の生活や文化を理解し、これを尊重する態度を育む。
8. 心身に障害のある児童および外国人児童については、実態に応じ適切な教育計画を創意工夫し、自ら適応できるようにする。

## 2. 指導の重点

### (1) 各教科、道徳、特別活動

#### ア 各教科

生涯にわたって学び続ける意欲や能力・態度(思考力、表現力、情報活用能力、コミュニケーション能力)の土台を築くために、

- 指導内容の重点化を図り、学習時間の確保・多様な指導方法、形態(T、T、の導入など)を創意工夫する。
- 体験的な活動や問題解決的な学習を取り入れる。
- 教材、教具の整備活用などを図り、児童が成就感、満足感をもつ授業を行う。
- 一人一人に学習の目当てをもたせ、学び方を学ぶ授業を創造する。

#### イ 道徳

全教育活動を通して、下記の事項を重点として指導するとともに、道徳の時間を通して、道徳的価値を学び、判断力を高め、道徳的实践力を育てる。

- ◎自分自身……学期始めや終わりに、自己目標について検討させたり、月目標(生活、保健、給食)について反省させるなど、学校生活をみつめ振り返るようにさせる。
- ◎他人……ていねいな言葉使いに心掛け、誰に対しても思いやりの心で接するなど人権意識を大切にす。
- ◎自然、崇高なもの……地域の自然や風物を教材化し、環境保全や生命尊重の意識を深める。
- ◎集団・社会……人間関係を大切にす学級活動を展開し、個と集団の在り方を自覚させ、規則や決まりを大切にす規範意識を高める。

#### ウ 特別活動

望ましい集団活動を通して心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図るとともに、協力してよ

りよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

- 係活動や集会活動を充実させ、自己の存在感を自覚し、他者と豊かに関わる集団を形成する。
- 児童会活動や委員会活動、クラブ活動において、児童の発想や主体性を生かして企画立案をすることにより、自覚と責任ある行動がとれるように支援する。

(2) 特色ある教育活動

- ◇ 児童会活動、児童集会や生活体育の充実。
  - ・なわとび集会、こども祭り。
- ◇ 地域の自然や社会を教材化し、地域から学ぶ。
  - ・体験的な活動を重視する。
  - ・社会人講師の活用。
- ◇ 家庭、地域と連携した環境美化、保全。
  - ・クリーン作戦（PTA、地域との清掃活動、そのポスター、標語作りによる教材学習との関連）
- ◇ ティームティーティングによる学習指導
  - ・指導形態、個別学習の創意工夫

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ・日々の児童の実態を的確につかみ、全職員の共通理解のもと組織的に指導に当たり、基本的生活習慣の確立を図る。
- ・教科指導における適切な言語環境の整備、コミュニケーション能力の育成により調和のとれた人間関係を確立する。
- ・学習環境（掲示、学習用品の整備）を整え、学習への意欲と自ら学ぶ姿勢を高める。
- ・家庭、地域社会および保育園、幼稚園、中学校との連携を図り、児童の健全育成を進める。
- ・児童の健康と安全の確保のために環境を整備充実し、事故防止に努める。

イ 進路指導

- ・教育相談を充実し、児童のよさを引き出し、認め励ますことによって、児童一人一人の個性、能力を開発、伸長する。
- ・地域や教室での学習における人との関わりの中で、児童一人一人に自らのよさを自覚させ、将来への夢や希望をもって生きていく態度を育てる。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研究員	現代化委員・開発委員	研究生・海外研
1	秋山 憲一（51理科）	秋山 憲一58（理科）	秋山 憲一58 研究生（理科）
2	高木 映子（50教育方法）		太田由紀夫（2ヨーロッパ）
3	太田由紀夫（63理科）		
4	榎 圭子（4学校給食）		
5	平島 孝夫（2算数）		
6	小島 義範（4特別活動）		



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 三 小 学 校  
 所 在 地 日 野 市 日 野 台 2-1-1  
 電 話 0425-81-0101・0850  
 児 童 数 男 196 名 女 178 名 計 374 名  
 ( 内 ひ ば り 6 名 )

校長氏名 三津山 要 教頭氏名 岡 田 壽美子

1. 沿革の概要

昭 23. 4. 1 日野小学校日野台分校として設置される。児童1～3年340名、教室4、全学年2部授業  
 昭 25. 6. 10 日野台小学校として独立する児童数696名、教室9、4年生迄2部授業  
 7. 18 校章制定  
 9. 19 4教室増築、教室数13、3年まで2部授業  
 昭 27. 4. 15 4教室増築、教室数17、2年まで2部授業  
 6. 10 校歌制定  
 昭 28. 6. 10 校地850坪拡張、6教室増築、教室数23、2部授業を解消  
 昭 30. 4. 1 日野第三小学校と校名を変更  
 昭 32. 3. 4 旧教室4を取除き6教室を増築教室数25、児童数869名  
 昭 33. 8. 3 給食調理室完成・大小プール落成  
 昭 34. 3. 校地1,100坪拡張  
 昭 35. 4. 1 日野町特殊学級が併置される  
 昭 38. 11. 3 日野市制施行に伴い日野市立日野第三小学校と校名を変更  
 昭 42. 4. 7 防音校舎新築起工式  
 昭 43. 11. 15 校地地番変更、日野市日野台2丁目1番地の1  
 昭 46. 2. 16 体育館落成式、校章制定  
 昭 48. 4. 1 鉄筋新校舎9教室増築落成  
 昭 50. 2. 25 鉄筋新校舎竣工  
 6. 1 校旗制定  
 昭 54. 4. 1 東光寺小と分離  
 昭 58. 4. 2 ひばり学級教室増設  
 昭 58. 4. 20 無人化(夜間・日曜・祝祭日等)機械警備始  
 昭 59. 3. 10 藤だな改修  
 3. 25 給食調理室天井塗装  
 体育館渡り廊下天井改修  
 体育館ステージホリゾン幕改修  
 8. 29 音楽室床全面改修・黒板灯設備  
 用務員室改修  
 12. 20 南校舎非常階段手すり改修  
 昭 60. 3. 20 給食雑排水経路改修・浄化槽整備・プール内シート防水・排水

バルブ改修・消防水利設備  
 昭 60. 3. 31 裏門拡張・門扉改修  
 昭 61. 3. 31 道路側防球ネット生垣完成  
 8. 31 体育館内部塗装  
 10. 31 北校舎屋上改修  
 昭 62. プール更衣室等照明取付  
 ひばり教室改装・体育館外部塗装  
 昭 63. 1. 20 体育館屋根塗装・北校舎外壁修理  
 8. 20 体育館床塗装・渡り廊下外壁修理  
 8. 31 屋外幹線改修・校庭整備  
 平 元. 3. 31 プールフェンス・プールサイド改修  
 平 2. 8. 21 南校舎玄関塗装  
 平 2. 8. 30 理科室床研磨、実験機交換  
 平 3. 9. 30 北校舎改修(1年次)  
 平 3. 9. 30 ランチルーム開設  
 平 4. 北校舎改修(2年次)  
 平 5. 北校舎大規模改修終了  
 プールトイレ改修  
 平 6. 3. 飼育小屋新設  
 平 6 年度 体育館大規模改修  
 南校舎窓枠改修  
 校庭防球ネット延長

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
高野 忠正 (事務取扱)	昭25. 6. 10～26. 3. 12
高野 忠正	昭26. 3. 13～27. 9. 30
尾崎 半次郎	昭27. 10. 1～34. 3. 31
五十嵐 葆光	昭34. 4. 1～37. 3. 31
塚本 正	昭37. 4. 1～41. 3. 31
池田 瑞男	昭41. 4. 1～47. 3. 31
岩井 庄三	昭47. 4. 1～50. 3. 31
平松 健太郎	昭50. 4. 1～54. 3. 31
竹永 秀雄	昭54. 4. 1～57. 3. 31
古田 耿介	昭57. 4. 1～62. 3. 31
内藤 康	昭62. 4. 1～平2. 3. 31
増賀 従男	平 2. 4. 1～平6. 3. 31
三津山 要	平 6. 4. 1～ 現在

### 3. 地域の環境

東京都の南西多摩川の南岸、甲州街道沿いに位置し、海拔 80 m の日野台地を中心とした地域である。

日野自動車工場とともに発展した地域であり台地のため公害も少ない。

日野台地（学区）の北部は多摩川をへだてて立川市、南は多摩丘陵、西部は八王子市が眺望できるすぐれた環境に恵まれている。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

教育基本法に基づき、人間尊重の精神を基調に、心身ともに健康で心豊かな児童の育成を目指し、次の目標を定める。

○じょうぶな子ども

◎よく考える子ども

○明るく思いやりのある子ども

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

○児童相互が個性を認め合い、励まし合い、支え合う望ましい人間関係を育む教育を推進し、人間尊重の態度の育成に努める。

○基礎基本を重視し、学年相互の関連した教育内容を精選・組織化するとともに、児童が主体的に学習に取り組むような指導・評価の工夫・改善を図る。

○児童一人ひとりの個性と創造性を伸ばし、社会の変化に主体的に対応できる能力を育み、生涯を通じて学び続ける意欲と力を育成する教育の充実に努める。

○保健・体育的活動を年間を通して計画・実践し、自ら進んで心身をきたえる態度を養うとともに、たくましく生きる子どもの育成に努める。

○学校の教育環境を整備し、効果的で創意ある教育活動が実現できるようにする。

○家庭や地域社会との連携や交流を一層深め、開かれた学校づくりを推進する。

○学校週五日制の月 2 回の実施に伴い、その意義や効果について家庭や地域社会に対してさらに啓発し、各々の教育力を生かしながら自ら判断し行動できる心豊かな児童の育成に努める。

### 5. 指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア. 各教科

○教材教具の工夫・活用を研究し、基礎的・基本的事項の学習の定着を目指した指導を充実させる。

○体験的学習を重視し、気づかせ・発見させる学習を推進することによって意欲的に学習に取り組ませ、柔軟な思考力・的確な判断力を培う。

○成就感・達成感をもてる授業を確立し、主体的に学ぶ学び方を身につけ、意欲的に学習に取り組む態度を育成する。

○個性をとらえ、学習形態や学習過程を工夫し、個に応じた指導に努める。

##### イ. 道徳

○教育活動全体を通じて道徳教育を充実させ、実際の・体験的活動の中で、よく考え、進んで実践していく態度を育成する。

○資料・視聴覚教材の充実を図り、授業の工夫・改善を進めるとともに、道徳的態度の深化、補充、統合に努め、道徳的实践力を高める。

##### ウ. 特別活動

○学級活動や委員会、クラブ活動、集会活動等の自主的・実践的活動を充実させ、望ましい人間関係を形成するとともに、集団の中で自己を生かす力を育てる。

○児童の実態に即応した活動計画をもとに、具体的・弾力的に指導を進め、創意工夫を生かした行事を通して、豊かでうるおいのある心を育てる。

(2) 特色ある教育活動

○地域の自然・人材を生かした多様な教育活動を工夫し、自然・文化・伝統を大切にすることを培う。

○誕生給食、兄弟学級集団での遊び等、縦割り集団での生き生きとした活動場面を通して、児童の連帯感を育て、あわせて体力の向上を図る。

○心身障害学級や養護学校との交流を通して、心身に障害のある友だちや人々との相互理解を深め、思いやりや共に生きることのすばらしさを学ばせる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

○全教職員の共通理解をもとに、体験的活動の中で人間とのふれあいを深めることを通して、集団のきまりとその意義を理解させ、進んで守ろうとする態度を養う。

○児童理解に努め、児童と教師の心のふれあいを大切にしながら指導を充実させる。さらに、家庭・地域との連携を密にして効果的指導に努める。

イ. 進路指導

○児童一人一人のよさを発見し、その個性や特性を生かすことのできる教育活動の場を設定し、将来に希望を持ち、意欲的に生活することができるように援助する。

○学校週五日制月2回実施に伴い、様々な体験的活動を促し、社会の一員としてのかげがえのない自己に気づかせ、社会人となるための基礎となる力を育てる。

6. 本年度の研究主題

教材教具の整備・活用による指導法の改善

7. 本校の特色

(1) 児童は主体性・粘り強さにもう一步というところはあるが、明るく素直で活発である。

(2) 校内研究では“よく考える子ども”の育成のために、教材教具の開発・工夫・整備・活用による指導法の改善を掲げて、授業研究を進める。

(3) 地域に残されている畑や自然を教材として活用し、さらに、地域の農産物を給食に取り入れ、地域との連携も深まってきている。

(4) ひばり学級（心身障害学級）があり、校内における交流教育はもとより、市内心障学級との交流や地域に隣接している八王子東養護学校との交流教育にも力を入れている。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 生	研 究 員	開 発 委 員	中 央 研	海 外 派 遣
1	青木 利夫 6 (心障教育)	三津山 要 53 (算数)		岡田壽美子 平6	
2		青木 利夫 平元 (心障教育)			
3		岡田壽美子 平2 (学校保健)			
4		前田佐和子 平5 (国語)			



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 四 小 学 校  
 所 在 地 日 野 市 石 田 430  
 電 話 0425-81-0038・3076  
 順 路 日 野 駅 から 高 幡 不 動 産 行 バス 下 田 下 車  
 立 川 駅 北 口 から 高 幡 不 動 産 行 バス 四 小 前  
 下 車 徒 歩 3 分  
 京 王 線 高 幡 不 動 産 行 から 立 川 北 口 行 バス 四 小 前  
 下 車 徒 歩 3 分  
 児 童 数 男 227 名 女 243 名 計 470 名

校長氏名 小 原 良 雄

教頭氏名 光 地 幸 子

1. 沿革の概要

明 6. 5. 5 下田学舎  
 明 11. 9. 下田小学校  
 明 41. 3. 日野小学校下田分教場  
 昭 29. 8. 18 校地決定4,259.14坪  
 昭 30. 4. 4 落成式並びに開校式 この日を  
 開校記念日とする  
 12. 22 校章制定  
 12. 25 第二期校舎竣工  
 昭 31. 3. 5 校旗完成  
 昭 35. 7. 20 プール落成式並祝賀会  
 昭 36. 11. 1 校歌発表会、以後この日を開校  
 記念日とする。  
 昭 40. 3. 31 防音校舎9教室完成  
 昭 41. 3. 31 防音校舎第2期工事完了  
 昭 43. 11. 27 統計教育研究指定校として研究  
 発表会をする(都、市指定校)  
 昭 45. 3. 31 体育館落成  
 防音校舎7教室増築完成  
 昭 48. 5. 22 創立百周年記念式典  
 昭 54. 3. 20 受水槽改修、渡り廊下改修  
 3. 25 防火戸改修、非常放送装置設備  
 6. 22 プールサイド全面コンクリート塗装工事  
 昭 55. 2. 2 給食室作業場及び休憩室改修工  
 事  
 6. 20 プール内塗装工事  
 昭 56. 8. 25 新校舎への親子方式TV配線、  
 放送室内のスタジオ形式の改装  
 8. 27 屋上高置水槽改造  
 8. 30 都市ガス化にともなう配管取替  
 昭 57. 3. 27 旧校舎屋上ネットフェンス貼替

昭 57. 4. 4 プール便所の水洗化、更衣室等  
 の改修  
 9. 4 非常階段設置  
 昭 58. 3. 27 自転車置場設置  
 10. 31 創立百周年記念式典  
 昭 59. 3. 31 仲田小学校分離 141名転出  
 9. 28 校庭の体育倉庫新設  
 昭 60. 8. 31 校舎棟工事(窓枠・天井張替等)  
 昭 61. 2. 28 体育館玄関・天井・屋上修理  
 校庭東側フェンス張替工事  
 8. 4 給食調理室、配膳空間壁撤去工  
 事  
 昭 62. 2. 23 プールシャワー、目洗い場等工事  
 昭 63. 3. 27 プール内塗装工事  
 昭 63. 7. 31 小プール排水工事完了  
 8. アスベスト撤去工事  
 8. 3 集水樹工事完了  
 8. 8 放送室調整卓取替工事  
 平元・ 8. 31 校庭改修工事  
 校舎外塗装工事  
 平 2. 3. 17 体育館自動巻き上げバスケット  
 取り付け工事  
 平 2. 7. ~ 10. 体育館内外壁・床工事  
 平 2. 9. ~ 10. 消火栓ポンプ取替工事  
 平 3. 3. 1 保健室エアコン設置工事  
 平 3. 3. 17 体育館消火栓工事  
 平 4. 8 パソコン設置  
 平 4. 8 造形砂場設営工事  
 平 5. 8. 給食調理室改築工事  
 5. 11. 創立120周年記念式典  
 平 6. 3. 生ごみ分解消滅機設置

## 2. 歴代校長

	氏 名	年月～年月		氏 名	年月～年月
1	浦上 増太郎	昭30. 3. 29～36. 3. 31	6	竹永 秀雄	昭57. 4. 1～60. 3. 31
2	田中 善次	昭36. 4. 1～44. 3. 31	7	田中 光穂	昭60. 4. 1～63. 3. 31
3	森 巖	昭44. 4. 1～47. 3. 31	8	波多野 坦	昭63. 4. 1～平3. 3. 31
4	内藤 達夫	昭47. 4. 1～52. 3. 31	9	片岡 千壽子	平 3. 4. 1～平7. 3. 31
5	釜池 博	昭52. 4. 1～57. 3. 31	10	小原 良雄	平 7. 4. 1～

## 3. 地域の環境

市の東端、多摩川と浅川のおちあう三角地帯9地区である。甲州街道から約1km南にへだたった多摩川あたりに位置する。近年、万願荘の集団住宅をはじめ、万願寺、新井地区の区画整理・宅地造成化がすすめられ、田園地域より住宅化しつつある。また、モノレールの工事も着々と進んでいる。

## 4. 教育目標

## (1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、生涯にわたる学習の基礎を培い社会の変化に自ら対応できる心豊かな児童の育成をめざして、次の目標を定める。

- ◎自分の力で考える子（重点目標）
- みんなと協力する子
- じょうぶな体をつくる子
- 最後までやりぬく子

## (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

未来社会をたくましく生き抜く子どもを育てるために「地域に根ざした、開かれた教育」をもって、何事にも意欲的に取り組み、学ぶ力を身に付けた個性豊かな児童の育成をめざし「自分で考える子」を重点目標とする。

- 教育目標を学年・学級で具現化し、全教育活動を通して人間尊重の精神を培い、人としての在り方や生き方を学ばせる。
- 新しい学力観に立った授業の工夫・改善をめざし、個に応じた指導や体験を重視した指導を推進し、主体的な学習態度を育てるとともに、基礎・基本の定着を図る。
- 教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、道徳性の涵養を図るとともに、人々との触れ合いを通して国際人としての良識ある態度の素地を培う。
- 教育活動全般を通して健康安全について理解を深め、自ら生命の保持、生涯にわたって体力の維持向上を図る能力や態度を育成する。
- 開かれた学校をめざし、家庭・地域社会との交流と連携を密にするとともに、学校週五日制の趣旨を生かし、地域の自然・文化及び諸施設を取り入れた教育活動を推進し、地域の一員としての自覚と余暇の充実した活用指導を通して、全人的な児童の育成をめざす。

## 5. 指導の重点

## (1) 各教科、道徳、特別活動

## ア. 各教科

- 児童一人ひとりの考え方や取り組みを大切に、成就感や満足感を味わわせ、学習意欲を喚起する。そのために、授業研究の公開を通して指導内容の重点化・指導法の改善につとめる。
- 表現力・思考力・創造力の育成を図るために、体験的学習・問題解決学習を重視した指導計画の作成及び教材教具の整備活用につとめる。

## イ. 道徳

- 全教育活動を通して児童相互の人間関係・児童と社会、自然とのかかわりを深める中で児童の内面に根ざした道徳性の育成を図り、人としての生き方を学ばせる。

○家庭や地域社会との連携を図る中で日常生活における基本的な生活習慣や望ましい人間関係を育てる実践的な態度を培う。

ウ. 特別活動

○児童会活動・行事等においては、話し合い活動を充実させるとともに、児童相互の協働の場を設定し、協力してよりよい生活を築こうとする連帯意識を育てる。

○クラブ活動では自発的・自治的な活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、自主的・実践的な態度の育成を図る。

○学級活動では一人ひとりの意見を尊重し、自己実現を図らせる。

(2) 特色ある教育活動

○異年齢集団活動（たてわり活動）の場を設定し、児童相互のかかわりを広げ、社会性や思いやりの心を育てる。

○多摩川の自然を取り入れた学習活動、畑における生産学習など、地域を生かした体験的・勤労生産的な学習を取り入れ、自らが触れて学ぶ基本姿勢を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

○話を聞く態度の育成を中心に、集団生活の中で必要な基本的な生活習慣の指導徹底を図る。また、物を大切にすることを習慣の形成に配慮し、環境を維持・改善していく態度の素地を培う。

○児童一人ひとりの良さを理解し指導・援助していくために、家庭・地域との連携をいっそう深めるとともに、教育相談体制の充実を図る。

イ. 進路指導

○児童の発達段階に即して、主体的な学び方を身に付けさせるとともに進級・進学への適切な指導を行う。

6. 本年度の研究主題

『自分の思いや考えを豊かに表現できる子を育てる指導法の工夫』

7. 本年度の特色

(1) 児童の実態をもとに上記の研究主題を設定し、読解をもとに児童一人ひとりが自らの力で考え、主体的に判断し豊かに表現できる指導をめざす。

(2) 異年齢たてわり集団活動により、児童間の心の触れ合い協力の機会をもとに、思いやりのある心豊かな児童を育て、人間性豊かでうおいのある学校づくりをめざす。

(3) 基本的な生活習慣の定着を図るため、生活朝会・生活委員会・児童相談を共通理解の場としていく。又、各学期に生活指導全体会を開き、指導の手だてを得るための事例研究、講師からの指導等幅広い研修の場としていく。更に、児童と教師との関わりを重視し、生活問題の早期発見、早期対応、積極的指導により、児童の健全育成を図る。

(4) 多摩川、近隣農家の畑の借用等により、自然利用、地域性を生かしての体験学習を深めていく。

(5) 環境整備委員会の充実を図り、全教職員による学習環境の整備、校舎内外の安全確保を推進する。

(6) 学校教育活動への保護者の関わり、幼小及び中学との連携、教職員によるPTA活動への積極的な参加により、地域と家庭、学校との連携を一層深めながら本校の教育の充実を図る。

8. その他（教職員の研究歴）

№\内訳	研究員	№\内訳	海外派遣
1	小原 良雄（62・道徳）	5	光地 幸子（平6.海外派遣）
2	玉置 順子（61・給食）		（平2.教材開発、国語）
3	福田 功（平4・体育）		
4	立花せつ子（平4・音楽）		



学 校 名 日 野 市 立 日 野 第 五 小 学 校  
 所 在 地 日 野 市 多 摩 平 6-21-1  
 電 話 0425-81-0407・0445  
 順 路 豊田駅北口より京王バス 日野駅行き  
 五小前にて下車 徒歩3分  
 日野駅より京王バス八王子駅行き  
 日野自動車工場前下車 徒歩5分  
 児 童 数 男 313 名 女 274 名 計 587 名(うち病弱児5名)

校長氏名 畑 石 重 輝

教頭氏名 吉 野 美 智 子

1. 沿革の概要

- 昭 34. 4. 1 日野町立日野第五小学校開校
- 4. 6 日野第二小学校、日野第三小学校の校舎を借用し授業開始
- 6. 8 第1期工事完成 新校舎にて授業開始(現在地)
- 昭 35. 9. 13 第2期工事完成 2部授業解消
- 昭 36. 5. 31 第3期工事完成
- 8. 28 大プール、小プール竣工
- 昭 38. 2. 20 校章制定
- 昭 39. 3. 11 校歌発表会
- 3. 25 校旗制定(卒業記念寄贈品)
- 昭 40. 4. 1 芝山分校日野六小として独立
- 昭 42. 2. 23 都、市研究協力校発表会
- 昭 43. 5. 20 体育館竣工
- 昭 44. 3. 3 創立10周年記念式典
- 昭 50. 4. 1 訪問学級設置
- 昭 51. 3. 31 校舎全面的改修着手
- 昭 54. 3. 31 校舎5教室改修
- 昭 55. 3. 31 校舎5教室改修
- 昭 56. 3. 31 校舎6教室改修(H校舎)
- 昭 59. 3. 31 理科室改修、玄関ドア取付
- 昭 60. 3. 31 体育館床研磨
- 昭 61. 3. 31 渡り廊下屋根取替
- 昭 62. 9. 校舎新築本決まり
- 昭 63. 4. 18 改築設計予算決定
- 平 元. 3. 29 校舎改築工事予算承認
- 平 元. 7. 17 校舎改築工事着工
- 平 2. 3. 26 一年校舎取りこわし工事
- 平 2. 4. 5 さやか学級新校舎に引越し
- 平 2. 7. 24 バスケットゴール設置工事
- 平 2. 7. 30 新校舎へ引越し
- 平 2. 8. 1 旧校舎解体工事

- 平 2. 9. 1 新校舎で授業始
- 平 2. 11. 30 30周年記念・校舎落成記念式典
- 平 2. 12. 1 航空写真撮影
- 平 2. 12. 5 校庭工事検査完了
- 平 4. 2. 25 「さやか学級」公開研究発表
- 平 5. 1. 7 体育館舞台袖幕取替え
- 平 5. 6. 11 体育館舞台吊物昇降機工事完了
- 平 6. 11. 28 さやか学級研究発表(文部省調査研究協力校)
- 平 7. 3. 8 体育館舞台緞帳工事

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
増 島 光 一	昭 34. 4. 1 ~ 昭 36. 3. 31
浦 上 増 太 郎	昭 36. 4. 1 ~ 昭 39. 3. 31
福 寿 文 雄	昭 39. 4. 1 ~ 昭 42. 3. 31
星 野 正 男	昭 42. 4. 1 ~ 昭 47. 3. 31
荒 井 一 男	昭 47. 4. 1 ~ 昭 49. 3. 31
三 井 知 夫	昭 49. 4. 1 ~ 昭 52. 3. 31
多 昌 直 之	昭 52. 4. 1 ~ 昭 56. 3. 31
田 中 光 一	昭 56. 4. 1 ~ 昭 60. 3. 31
上 山 洋 一 郎	昭 60. 4. 1 ~ 平 3. 3. 31
野 村 武 郎	平 3. 4. 1 ~ 平 5. 5. 7
畑 石 重 輝	平 5. 5. 16 ~ 現在

3. 地域の環境

昭和33年日本住宅公団により日野台地が開発され、多摩平団地が建設された。この一角に日野第五小学校が設置された。南は中央線、北は国道20号線(甲州街道)にはさまれ、バス網が発達し交通は便利である。

団地の住宅以外に住宅街、商店街をかかえ、付近には日野自動車など4つの大会社がある。また、自然環境に比較的恵まれ、団地内は公園、

緑地、広場などが整備され立木、芝生に囲まれた空間は静かな住宅地としてよい教育環境となっている。

#### 4. 教育目標

人間尊重の精神を基調に、これからの社会において児童一人一人が心身共に健康で主体的に生き、個性を発揮し、自ら学ぶ意欲と学習の仕方を身に付け、国際社会に貢献できる児童を育成する。

- 児童像として
- ・健康で たくましい子ども
  - ・心豊かで 明るい子ども
  - ・進んで学び 工夫する子ども
  - ・認め合い 助け合う子ども

#### 5. 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 人間尊重の精神を基調に教育活動全体を通して、あらゆる偏見や差別をなくす人権尊重の教育を展開する。
- イ. 自ら進んで健康の保持・増進や体力の向上、ならびに環境の保護・改善を図る能力や態度を教育活動全体を通して育てる。
- ウ. 自ら学ぶ意欲や思考力・表現力・判断力等を学力の基本とし、学ぶことの楽しさや成就感を体得させ、豊かな心を育む教育を推進する。
- エ. 内発的な学習意欲を引出し、主体的に学び合える学習を展開するための指導・支援をする。
- オ. 児童一人一人の特性や個性を認め、自分のもてるものを発揮できるよう考えや思い等を生かす指導を進めるとともに、児童相互の連帯感を育てる。
- カ. 学校教育諸活動についての理解を家庭・地域に図り、児童の健全育成に向けて開かれた学校を推進する。

#### 6. 指導の重点

##### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア. 各教科

- ・重点研究「豊かな心を持ち、楽しく学び合う児童の育成」の実現に向け、学級・学年単位の指導を充実させ、主体的に学ぶ力を育てる。
- ・指導教材を基礎的・基本的な事項に精選し、指導計画のもとに個に応じた指導の工夫を図り、学力の定着に努める。
- ・地域の自然・社会環境の活用や教材・教具の整備活用、体験学習を取り入れるなど積極的にを行い、学ぶ意欲や態度を育む。

##### イ. 道徳

- ・自然や人々とのふれあいを深める体験や動植物を育てる体験を通して、児童の内面に根ざした道徳性を育てる。
- ・資料を整備し、道徳授業の充実を図る。
- ・教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、他への思いやり等の心情を陶冶し、その実践力を育てる。

##### ウ. 特別活動

- ・学級活動、児童会活動、クラブ活動等に異年齢集団の活動を取り入れ、楽しい学校生活を展開する。
- ・児童の興味、関心のある多様な集会活動を主体的に実施させ、自主性を育てる。
- ・身近な環境に目を向けさせ、勤労生産・奉仕的活動等を通して、環境をより良くしていこうとする実践的態度を培う。

(2) 特色ある教育活動

- ・集会活動を企画し、異年齢集団の活動を通し、楽しい学級、学校生活にする。
- ・多目的ホール、多目的教室、視聴覚機器等の施設、設備の活用を通して主体的な活動を促し、学習活動の充実を図る。
- ・子ども祭り等、学校生活に創意ある活動を取り入れ、活力のある活動にする。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・毎月の指導目標を具体的に設定し、毎週土曜日に教職員の共通理解を図り、指導を徹底する。
- ・教師と児童が密度の濃い接触を通し、児童の心身の安定に努め、指導体制を整え、指導の充実を図る。
- ・家庭、地域の連携を深め、基本的な生活習慣を身に付け行動できる児童を育成する。

イ. 進路指導

児童一人一人の特性を十分理解し、その個性や能力を伸ばし、将来の希望等について教育活動全体を通して指導する。

7. 本年度の研究主題

「豊かな心を持ち、楽しく学び合う児童の育成」

8. 本校の特色

住宅公団の進出に伴い、昭和34年新しい建築様式により建設された。当時少ない児童数と広く静かな校域の中で理想的教育活動をめざしていた。しかし児童数の急増により、8回に亘る増改築の後、新しい施設・設備の整った現在の校舎が平成2年に完成した。校地内には手入れの行届いた樹木が多く、静かな環境の中で学習ができるよう環境の整備ができています。本年度は学校の施設・設備を積極的に地域に開放し、開かれた学校としてモデルを示すことになっている。

日々の教育活動では、市の重点・課題のもとに地域・児童の実態に即した創意ある指導の実践に努めるとともに、多目的ホール・多目的教室を生かした学習活動を取り入れている。

校内研究では主体的に学ぶ力を育成するために、本年度も「豊かな心を持ち、楽しく学び合う児童の育成」を研究主題に取り上げ、豊かな心情を育てるとともに、基礎・基本となる内容の指導の徹底を図り主体的に学ぶ力の育成を目指している。

学校行事や特別活動では、兄弟学級の活用を取り入れながら体力づくり、運動会、音楽会、演劇教室、さらには身近な環境に目を向けさせ勤労生産・奉仕的活動等の教育活動を設定している。

- 各学年では発達段階に応じ、学習意欲を高める指導法の研究に努め、自主協力学習を進める。
- 児童相互、児童と教師相互の交流を通じ、教育相談・個別指導・創意ある教育活動を実践する。
- 兄弟学級の活動を通じ、児童の創意や発想を大切に、最後までねばり強い活動を推進する。

9. その他（教職員の研究歴）

内訳 /16	研究員	開発委員	道徳助言研	教育課程委
1	畑石重輝 (S 59 理科)	北野義昭 (S 60 図工)	吉野美智子 (S 63 道徳)	鈴木節子 (平3. 理科)
2		吉野美智子 (S 62 道徳)		



学 校 名 日野市立日野第六小学校  
 所 在 地 日野市多摩平 3-21  
 電 話 0425-81-4686・0366  
 順 路 中央線豊田駅北口下車 徒歩 13分  
 京王バス コニカ裏門下車 3分  
 児 童 数 男 249 名 女 243 名 計 492 名

校長氏名 小 幡 建 教頭氏名 西 森 恵 子

### 1. 沿革の概要

- 昭 39. 1. 1 日野第五小学校芝山分校として  
設置 児童 1 年～3 年  
7 学級 263 名
- 昭 40. 4. 1 日野第六小学校として開校  
14 学級 児童数 515 名  
教職員 21 名
9. 6 プール完成 (6 コース 25 m)
- 昭 42. 2. 21 校歌の発表会
- 昭 43. 2. 22 児童の体力づくりの研究発表会  
6. 17 南校舎 (普通教室 11、職員室、  
校長室) 完成
- 昭 45. 2. 28 屋内体育館完成  
3. 16 落成式挙行 (学校、PTA 共催)
- 昭 47. 2. 28 正門前舗装、北西門取付  
3. 「児童の社会性育成の実践指導」  
発表 (市研究協力校)  
4. 「考えさせる授業への手だて」発足
- 昭 49. 4. 南校舎 3 階増築 (普通教室 5、  
音楽室、管理室 4)  
5. 南門完成
- 昭 50. 3. 18 49 年度都愛鳥モデル校に指定  
6. 28 開校十周年を祝う会  
12. 22 東京都選挙管理委員会より感謝  
状を受ける (永年選挙ポスター  
コンクールに協力したため)
- 昭 52. 1. 10 体育倉庫完成  
4. 1 日野市旭が丘小学校分離
- 昭 54. 9. 北校舎非常階段完成
- 昭 56. 11. 18 六小こどもまつりの実施
- 昭 58. 11. 26 展覧会開催 (昭和 42 年以来 16  
27 年ぶり)
- 昭 58. 3. ～ 体育館屋根等の塗装、大プール  
ビニール張り、南校舎内装改修

- 昭 59. 7. 北校舎廊下の張り替え
- 昭 60. 6. 29 創立 20 周年記念 六小子どもま  
つりを行う 円形花壇完成
- 昭 61. 12. 校庭南側生垣完成
- 昭 63. 8. 体育館の床・壁面改修  
11. 12 第 1 回音楽会開く。この年より、  
学芸会、展覧会、音楽会を順に  
行う
- 平 1. 8. 北校舎玄関、下駄箱新設
- 平 2. 3. 1 ランチルームが新装なる
- 平 5. 3. 31 造形砂場完成
- 平 5. 4. 人権尊重教育の推進校指定
- 平 5. 11. 6～7 展覧会を行う
- 平 6. 11. 5～6 第 3 回音楽会を開く
- 平 7. 3. 17 プール薬品庫完成

### 2. 歴代校長氏名

氏 名	年月～年月
加々美 良 英	昭 40. 4. 1～昭 43. 3. 31
峰 岸 敬次郎	昭 43. 4. 1～昭 46. 3. 31
新 海 圭 三	昭 46. 4. 1～昭 50. 3. 31
安 積 利 治	昭 50. 4. 1～昭 53. 3. 31
光 永 久 夫	昭 53. 4. 1～昭 57. 3. 31
石 井 三 士	昭 57. 4. 1～昭 62. 3. 31
清 水 七 郎	昭 62. 4. 1～平成 4. 3. 31
小 幡 建	平成 4. 4. 1～現在

### 3. 地域の環境

日野市開発の先駆けとなった多摩平団地と静かな住宅地域の中に位置し、近くにコニカ、富士電機、帝人、千代田自動車等の工場がある。飛行機の騒音はあるが教育的環境は比較的良好。

#### 4. 教育目標

##### (1) 学校の教育目標

本校の教育は人間尊重の精神を基調とし、法規に基づき、地域社会の特性をふまえ、民主的  
人として調和のとれた人間形成の基礎づくりを目指し次の目標を定める。

- 考えながら学ぶ子
- 思いやりをもつ子
- がんばりぬく子
- 身体をきたえる子

##### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア. 豊かな心を持ち、たくましく生きる児童をめざす。特に「考えながら学ぶ子」「思いやりをもつ子」を重点目標に掲げ、知・情・意・体の調和のとれた児童の育成を基盤にすえ、自己教育力を高める教育活動の充実を図る。

イ. 児童の自ら学ぶ意欲を育てるために、学習の基礎的基本的な内容を重視するとともに、教師の協業と協働を図り、個性と能力をひき出す教育活動の推進を図る。

ウ. 具体的な学年・学級目標を設定し、その具現化を目指す。学年・学級間の協力体制を強め、効率の高い教育活動の展開と、教師の研修・研究を推進し、学年・学級経営の充実に努める。

エ. 東京都人権尊重教育推進校として、生命尊重、人権尊重の意識を自ら高める児童を育むために、全ての児童の交流を大切に、相互理解と協力の機会を設定して、思いやりの心の育成を図る。

オ. 学校週五日制への移行に伴い、学校・保護者・地域が一体となり交流・連携を図る。

#### 5. 本年度の指導の重点

##### (1) 各教科、道徳、特別活動

###### ア. 各教科

- 研究主題「自ら学ぶ子どもを育てる生活科・社会科学習」について追究する。特に体験的活動を中心に学習指導法の改善充実を図る。
- 研究や日々の授業を通して体験的活動を重視した学習や問題解決の学習を推進する。
- 児童のつまづきをなくし、基礎基本の学力を充実するため、学年を中心とした研究を推進する。
- 個に応じた指導を重視し、チームティーチング指導の充実を図る。

###### イ. 道徳

- 心豊かで、助けあい、認めあう人間関係の育成を目指す。
- 進んで働き、最後までがんばる態度の育成を図る。
- 動植物を愛護することを通して、生命の尊厳についての意識を育てる。
- 資料の整備・活用・指導法の改善を図り、道徳的实践力を高める。

###### ウ. 特別活動

- 学級活動の充実を図るため、児童の自発的・自治的活動を促し、自主的・実践的な態度を身に付けさせる。
- 児童会活動を楽しみ、規律ある生活を目指す児童の自主的な活動の場とし、特に委員会活動、学級活動との関連を強める。
- 楽しいクラブ活動を目指し、児童相互に協力し、助け合う自主的な活動を大切にする。

##### (2) 特色ある教育活動

- 異学年による活動を計画し、助け合いや遊びの機会を多くすることにより、思いやりや責任感を育てる。
- 児童の創意を大切に、自発的に参加できる行事を企画・実践する。

- 福祉副読本の活用や地域の福祉施設との交流を深め、福祉教育の充実を図る。
- 環境副読本の活用を通して、環境教育の素地を養う。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 進んで働く態度とがんばりぬく力を育てるとともに、基本的な生活習慣の定着化を図る。
- 心身に障害のある児童に対し、共通理解を図り、学校全体で見守り、育成にあたる。
- 家庭や地域との連携を深め、協力しあって児童の健全育成にあたる。
- 言語活動の適正化を図り、思いやりをもつ児童の育成にあたる。

イ. 進路指導

- 児童一人一人の個性・特性を理解し、発達段階に応じた指導を図るとともに、自己のよさをいっそう伸長させようとする意欲・態度を育てる。

6. 本年度の研究課題

「自ら学ぶ子どもを育てる生活科・社会科の学習」

- 体験学習のあり方を追求し、豊かな心をもち、たくましく生きる児童像の具現化をめざす。
- 日常の学習態度を育てるために、特に「聞くこと」の指導も全校で取り組んでいく。
- 各学年ごとに分科会を構成し、授業研究を中心にすすめる。

7. 本校の特色

- (1) 児童、教職員一体となって、花壇、自然林、情操池を整備充実し、学校緑化と情操教育に効果をあげている。また、野鳥の愛護にも努め直接体験活動の充実の一環としている。
- (2) 子どもが創る学校づくりの一環として、すすんで働く子の育成を目ざしている。
  - ・ 多摩平団地の造成に伴って新設された団地校である。
  - ・ 児童は細長型、都会型の体位をしめし、ねばり強さに欠け、父母への依頼心が強い。
  - ・ 保護者の教育的関心は高く、保護者会の出席状況はよい。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	道徳助言研	研究員	海外派遣
1	西森恵子(平5)	小幡建(53.理科)	小幡建(57)
2		西森恵子(平4家庭)	和田雅実(平5)
3		村上悦子(45.音楽)	
4		鶴間紀子(平3生活)	
5		清水良夫(54.僻地)	
6		小川浩太郎(平6体育)	



学 校 名 日野市立潤徳小学校  
 所 在 地 日野市高幡 402  
 電 話 0425-91-0409・04110  
 順 路 京王線高幡不動駅下車北へ徒歩 5 分  
 児 童 数 男 179名 女 150名 計 329名

校長氏名 香川善平

教頭氏名 逸見明男

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 三沢医王本堂を仮校舎として開校、潤徳学舎と称す
- 明 11. 11. 三沢 701 番地に移転し、潤徳学校と称し校舎を新築する
- 明 20. 4. 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明 26. 4. 校名を潤徳尋常小学校と変更
- 明 34. 4. 校名を潤徳尋常高等小学校と変更
- 明 42. 5. 分学校昭景尋常小学校を廃止し、落川分校とする
- 昭 16. 4. 校名を潤徳国民学校と変更
- 昭 22. 4. 校名を七生村立潤徳小学校と変更
- 昭 27. 5. 創立 80 周年記念として、白鳥省吾作詩、信時潔作曲の校歌を作成する
- 昭 33. 2. 校名を日野町立潤徳小学校と変更
- 昭 34. 4. 給食調理室完成
- 昭 37. 10. 大・小プールならびに更衣室完成
- 昭 38. 11. 校名を日野市立潤徳小学校と変更（90周年記念式典挙行、記念事業として水棲動物園、河川模型完成）
- 昭 40. 12. 安全教育優良校として都教委及び都学校保健会より表彰される
- 昭 41. 3. 現在地に鉄筋コンクリート三階建防音校舎完成、落川分校廃止
- 昭 44. 2. 屋内体育館落成
- 昭 45. 9. 日野市立日野第八小学校分離開校
- 昭 45. 4. 日野市立百草台小学校分離開校

- 昭 46. 2. 日野市研究協力校として「学級指導の計画と実践」の主題のもとに研究発表協議会を開催
- 昭 48. 4. 普通教室 9 教室、学校図書館増築
- 昭 48. 5. 開校百年記念式典挙行記念碑植樹完成
- 昭 49. 4. 日野市立南平小学校分離開校
- 昭 52. 4. 日野市立程久保小学校分離開校
- 昭 55. 9. 校庭整備完了
- 昭 58. 2. 研究発表会（国語）
- 昭 58. 5. 開校 110 周年記念式典挙行
- 昭 60. 2. 研究発表会（全学級公開、国語）
- 平 4. 7～8. 保健室改修
- 平 4. 7～10. 給食室改修
- 平 5. 1～3. 更衣室改修
- 平 5. 4. 湾処内トンボ池完成
- 平 5. 9. 体育館の緞帳・中幕・バック幕暗幕新調
- 平 5. 11. 開校 120 周年記念式典挙行造形用砂場新設
- 平 6. 3. 校庭西側フェンス改修
- 平 6. 8. 家庭科室壁面塗装・同準備室床研磨、プール倉庫屋根改修

2. 歴代校長

代	氏 名	年 月 ～ 年 月
初	大塚四郎右衛門	創 立
2	覚 井 諦 暁	明 9. 12～明 11. 11
3	和 山 作 太 郎	明 11. 11～明 15. 11
4	土 方 喜 久 太 郎	明 15. 11～明 17. 2
5	宮 倉 保 五 郎	明 17. 2～明 19. 10
6	小 宮 太 之 助	明 19. 10～明 20. 10
7	須 崎 和 藏	明 20. 10～明 31. 3
8	小 宮 彌 一 郎	明 31. 2～明 34. 4

9	加藤 菊次郎	明 34. 4～明 36. 1	20	赤坂 元春	昭 22. 2～昭 27. 9
10	佐藤 良輔	明 36. 1～明 42. 4	21	塚本 正	昭 27. 10～昭 37. 3
11	沖倉 与一	明 42. 4～明 43. 4	22	尾崎 半次郎	昭 37. 4～昭 41. 3
12	荒木田 大夫	明 43. 5～明 45. 3	23	塚本 正	昭 41. 4～昭 43. 3
13	小宮 彌一郎	明 45. 4～大 12. 3	24	溝呂木 桂次	昭 43. 4～昭 47. 3
14	平 杉 蔵	大 12. 4～大 13. 3	25	星野 正男	昭 47. 4～昭 51. 3
15	矢沢 久司	大 13. 3～大 14. 9	26	村田 守正	昭 51. 4～昭 55. 3
16	小泉 栄一	大 14. 10～昭 3. 3	27	黒沢 保雄	昭 55. 4～昭 61. 3
17	広井 博昭	昭 3. 4～昭 7. 9	28	篠宮 忠男	昭 61. 4～昭 62. 3
18	重松 正顕	昭 7. 9～昭 14. 7	29	石黒 健	昭 63. 4～平 4. 3
19	鈴木 慶蔵	昭 14. 7～昭 22. 2	30	香川 善平	平 4. 4～現在

### 3. 地域の環境

南に多摩丘陵が連なり、北は浅川が流れ、東西に田園が広がり、自然環境には恵まれていたが、最近急激に団地や住宅がふえ、ベッドタウンとしての様相を呈するに至った。

東西に走る川崎街道の交通量も激増し、交通事故の心配も多くなっている。また、平日は日野高校、実践女子大学、明星大学、中央大学生の通学に、休日には、高幡不動尊、多摩動物公園、多摩テック等の行楽に高幡不動駅を中心にその乗降客でにぎわっている。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、生涯を通して主体的に学ぶ意欲を持った心身共に健康で心豊かな児童の育成を目指して、次の教育目標を定める。

- |   |   |         |
|---|---|---------|
| 敬 | 愛 | ・考える子   |
| 自 | 由 | ・はたらく子  |
| 勤 | 勞 | ・心ゆたかな子 |
|   |   | ・健康な子   |

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

「主体的に問題に取り組み、やりぬく子どもを育てる」ことを指導の重点として、生涯にわたる学習の基礎を培う教育を推進する。

- ① 児童の主体性を重視した教育活動を通して、一人一人の個性や能力を伸ばし、互いに認め合い、励まし合い、支え合う人権尊重の態度を育てる。
- ② 研究・研修の充実により、各教科等の基礎的・基本的内容の定着を図ると共に、主体的に学習する意欲や態度を育てる。
- ③ 全教科・領域にわたって、体験的な活動を重視し、自然をいつくしむ心や環境を大切にすることを育てる。
- ④ 家庭・地域との連携をより深め、地域の自然や文化を取り入れた教育活動の充実を図ることに より、国際理解の基礎を培うと共に、社会性を育てる。
- ⑤ 年間を見通した指導計画の作成と指導内容・方法の改善により、教育水準の維持・向上を図る。

### 5. 指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア 各教科

- ① 児童一人一人の個性、能力を生かす学習指導法を工夫し、基礎的、基本的な内容の徹底を図る。
- ② 地域の自然や文化を生かした体験的学習をとり入れ、自ら生きる力を育てる。
- ③ 主体的、意欲的な学習態度を育て、生涯にわたって学ぶ力の基礎を培う。

##### イ 道徳

- ① 教育活動全体を通して、生命尊重や思いやりの心を育てるよう指導する。
- ② 道徳の授業の充実を図り、道徳的実践力を育てる。
- ③ 児童相互、児童と教職員との信頼関係を深め、望ましい人間関係を育てる。

ウ 特別活動

- ① 望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達を図り、個性を伸長する。
- ② 主体的な活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してより良い生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ① 水曜日の朝の学級活動や学年をこえた縦割り班集会などでの交流により、社会性や連帯感を育てる。
- ② 野菜作りや学校周辺の清掃活動などの場を通して、すすんで働き、物事を意欲的にやりぬく態度を培う。
- ③ 「読み聞かせ」の時間を設け、豊かな情操を高める。
- ④ 浅川や向島用水親水路、高幡山、不動尊など、地域の豊かな自然や文化にふれる体験活動を通して、自然や文化を大切にする態度を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 教師と児童、および児童相互の心のふれあいを大切にする。
- ② 全教職員の共通理解のもとに、基本的生活習慣の定着を図る。
- ③ 児童の健康と安全を確保し、事故防止に努める。
- ④ 家庭および地域との連携を深め、協力して児童の健全育成に努める。

イ 進路指導

- ① 児童理解に基づき、児童の個性、能力の伸長を図り、生涯にわたって、自己実現の図れる基礎を培う。
- ② 体験的な活動等を通して、望ましい勤労観や職業観を育てる。

6. 本年度の研究主題

主体的な学習態度を育てる指導法の研究

7. 本校の特色

創立120年の歴史と伝統をもつ学校である。潤徳小を母校とする父母、新しく住居を構えた父母、集団住宅に住む父母等があり、教育に対する関心や意識が多様である。

- 保護者、地域との連携を強め、教育力を高め、児童の健全育成につとめている。
- 全職員が交替で読み聞かせをしたり、本の紹介をしたりして、心豊かな児童の育成につとめている。
- 地域の自然（浅川・向島用水親水路など）を生かした学習活動を取り入れている。
- 本年度は、教育目標の「心ゆたかな子」に重点をおいた校内研究及び生活指導を推進し、教育目標の具現化につとめる。

8. その他（教職員の研究歴）

教育研究員	その他
香川善平（49 特活）	香川善平（55. 56. 兵教大大学院留学）
反町麻佐子（2 保健）	香川善平（58. 59. 多摩研推委）
逸見明男（3 道徳）	逸見明男（2. 道徳助言研）
牧野豊（5 特活）	
清水絢子（7 国語）	



学 校 名 日 野 市 立 平 山 小 学 校  
 所 在 地 日 野 市 平 山 4-8-6  
 電 話 0425-91-4123・0512  
 順 路 京 王 線 平 山 城 址 公 園 下 車 徒 歩 7 分  
 児 童 数 男 183 名 女 187 名 計 370 名

校長氏名 畑 野 元 一

教頭氏名 宇 野 有 斐 子

1. 沿革の概要

- 明 6. 5. 宗印寺を仮校舎として開校（真心学舎といい修業年限は8カ年）
- 明 17. 平山 598 番地に新築移転  
校名を平山尋常小学校と改める
- 明 35. 5. 校名を平山尋常高等小学校と改める
- 明 41. 尋常科を6カ年、高等科を2カ年とする
- 昭 16. 4. 国民学校令の施行により七生村立平山国民学校と改める
- 昭 22. 4. 新学校教育制度の実施により七生村立平山小学校と改める
- 昭 32. 2. 日野町、七生村合併により日野町立平山小学校と改める
- 昭 38. 11. 市制施行により日野市立平山小学校と改める
- 昭 42. 5. 平山 4-8-6 に移転する
- 昭 46. 3. 滝合小の新設に伴う学区変更
- 昭 53. 4. 平山台小の新設に伴う学区変更
- 昭 57. 8. 校舎窓、屋上、体育館内部補修
- 昭 58. 5. 開校 110 周年祝賀式典挙行  
8. 本館南側残部 特別教室北側窓取替
- 昭 59. 1. 本館北非常用階段設置  
11. 体育館外壁改修
- 昭 60. 3. 第二幼稚園移転校庭拡張  
8. 教室廊下側窓改修
- 昭 61. 7. 正門改修
- 昭 62. 1. 校庭整地 本館北側アルミサッシに改修工事 本館防火シャッターおよび扉改修工事 本館外壁全面塗装工事
- 昭 63. 体育館屋根塗装工事、保健室校庭出入口増設工事
- 平元. 西門改修、フェンスの生垣化
- 平 3. 西側トイレ改修 生活科室改修
- 平 4. 東側トイレ改修

- 平 5. 開校 120 周年祝賀式典挙行  
新館トイレ、外装工事  
家庭科室、多目的室改修工事
- 平 6. 新館非常階段、体育館屋根塗装
- 平 6. 消防設備、受水模、音楽室 改修工事

2. 歴代校長

代	氏 名	年月～年月
初	梁 義 伯	明 6. 5 ～ 明 12. 1
2	大 沢 教之助	明 12. 1 ～ 明 20. 3
3	石 井 芳 丸	明 20. 4 ～ 明 30. 5
4	吉 永 信 丸	明 30. 6 ～ 明 35. 5
5	小 宮 彌一郎	明 35. 6 ～ 明 45. 3
6	古 屋 障 司	明 45. 4 ～ 大 2. 5
7	勝 又 房太郎	大 2. 5 ～ 大 4. 5
8	平 杉 藏	大 4. 6 ～ 大 9. 3
9	上 田 富 弥	大 9. 4 ～ 大 15. 3
10	杉山 喜知太郎	大 15. 4 ～ 昭 6. 3
11	石 川 雄 丸	昭 6. 4 ～ 昭 11. 2
12	鳥 羽 照 司	昭 11. 2 ～ 昭 13. 3
13	石 谷 倉太郎	昭 13. 4 ～ 昭 21. 3
14	飯 塚 節 三	昭 21. 3 ～ 昭 22. 3
15	田宮五郎右衛門	昭 22. 4 ～ 昭 28. 3
16	森久保 惣 治	昭 28. 4 ～ 昭 34. 3
17	高 橋 本 義	昭 34. 4 ～ 昭 37. 3
18	加々美 良 英	昭 37. 4 ～ 昭 40. 3
19	後 藤 正 太	昭 40. 4 ～ 昭 42. 3
20	安 積 利 治	昭 42. 4 ～ 昭 47. 3
21	小 野 晁	昭 47. 4 ～ 昭 51. 3
22	深 沢 真 人	昭 51. 4 ～ 昭 55. 3
23	林 元 美	昭 55. 4 ～ 昭 58. 3
24	伊 藤 智 章	昭 58. 4 ～ 昭 61. 3
25	蓮 池 守 一	昭 61. 4 ～ 平 2. 3
26	内 藤 康	平 2. 4 ～ 平 7. 3
27	畑 野 元 一	平 7. 4 ～

### 3. 地域の環境

- (1) 浅川と多摩丘陵に挟まれ、西は八王子市に接する平地、田んぼ、畑等の農地もいくらか残り自然に恵まれた環境である。
- (2) 近年は、団地、都営住宅、造成地住宅が建造され、学校周辺は農地の区画整理もすすみ、道路や橋も拡張され市街化されつつあり、他地域からの転住者が多い。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

憲法・教育基本法・学校教育法に基づき（特に人間尊重の精神を基調に）知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成をめざして、次の教育目標を設定する。

##### ○ すすんで学び やりぬく子

- ・自ら学ぶ意欲をもち、主体的に生きる力を育てる。
- ・自分の目標をもち、失敗や障害を乗り越えて最後までがんばりぬく力を育てる。

##### ◎ 思いやりをもち 助け合う子

- ・自他のよさを見つける目を育て、支え合い励ましあう気持ちを育む。
- ・相手を尊重する態度（あいさつ・言動など）が実践できる力を育てる。

##### ○ からだをきたえ 元気な子

- ・すすんでからだを鍛え、たくましく生きる力を育てる。
- ・自他の健康・安全に気をつけ心身共に健全な子を育成する。

なお、本年度は「思いやりをもち、助け合う子」を重点とし、自他のよさを見つける目を育て、支え合い励ましあう気持ちを育み、相手を尊重する態度（あいさつ、言動など）が実践できる力を育てる指導に力点をおく。

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

前記の教育目標達成のため、児童一人一人のめあてを常に明確にし、一人一人の児童が、個性や能力を発揮し、自分で考えて最後まで粘り強くやりぬけるような教育環境を整えることを基本とする。そのため、次のような方策で教育課程を編成する。

- ① こども主体の授業をすすめる。
- ② 教育環境の整備をすすめる。
- ③ 自他の尊重と社会性を育てる教育活動をすすめる。
- ④ たくましく生きる力をつける。

### 5. 本年度の指導の重点

#### (1) 各教科・道徳・特別活動

##### ア 各教科

- ① 基礎・基本を重視し、児童一人一人の発達段階に応じた指導計画をたてる。
- ② 指導内容の精選を図り、系統化と組織化により、楽しく豊かな授業の創造に努める。
- ③ 児童の課題意識を大切にたてた授業計画をたて、表現力を豊かにするとともに主体的探究的学習をすすめる。
- ④ 浅川や南平丘陵公園など地域の特性を生かした様々な体験学習と地域の教育力を導入した活動を展開する。

##### イ 道徳

- ① 豊かな体験を通して児童の内面に根ざした道徳性の育成をはかる。
- ② 日常生活における基本的な生活習慣や望ましい人間関係の育成などとの関わりの中で道徳的実践が促されるよう配慮する。

##### ウ 特別活動

- ① 児童の実態、学年の発達に応じた指導を適切に行い、楽しい学校・学級づくりをめざす。

- ② 児童の主体性、創造性を生かした活動を通して自主的実践的態度を育てる。
- ③ 集団下校班等縦割りの異年令集団を生かし、児童相互の触れ合いを広げ、豊かな人間関係を深める。

(2) 特色ある教育活動

- ① 児童が主体的、創造的に取り組む集会活動を活発化し、学校生活に変化と潤いを持たせる。
- ② 学級・学年の時間を特設し、教師と児童、児童と児童の相互の触れ合いを通して人間関係を深める。
- ③ 地域の特性を生かし、又PTAなどとの連携で通学路クリーン作戦など、環境教育をすすめる。
- ④ 稲作り、野菜づくり、花づくりなどの栽培体験を通して、自然に親しみ、心豊かな児童の育成をはかる。

(3) 生活指導・進路指導

ア 生活指導

- ① 自己を確立し、社会集団の一員として希望を持って明るく強く生きる力を身につけさせる。
- ② 地域や学校での生活のあり方を自ら考え、基本的行動様式と社会規範を守った行動がとれるようにする。
- ③ 自他を尊重し、正しく判断し行動できる児童をそだてる。

イ 進路指導

- ・自己を見つめ、自己実現できる児童を育てる。
- ・生きがいを見つけられる児童を育てる。
- ・常に自分の生き方を考えられる児童を育てる。

6. 本年度の研究主題

「楽しくわかる算数の学習指導法の工夫」

7. 本校の特色

- (1) 本校は開校 122 年の歴史と伝統を持つ学校である。児童の中には、曾祖父母・祖父母・父母と 5 世代にわたって在籍した者もあり、地域の学校に対する愛着が強い。又一方、学校周辺の開発が進み、新しく居住する者も多い。したがって、地域からは多様な要望が多く、また期待も大きい。この中で、伝統として残されてきた古き良きものを大切に、そして新しいものを取り入れることにより、良い校風をつくることに励んでいる。
- (2) 児童は素直であるが、やや自己中心的な行動が目立つ。そこで、今年度は「思いやりを持ち、助け合う子」を教育目標の重点に定め、教育をすすめている。
- (3) 校内には、130 m<sup>2</sup>余りの広い花壇、100 m<sup>2</sup>余りの田んぼと同様の飼育小屋・広場があり、花や稲の栽培、がちょうやあひる等の飼育、又、学校周辺の自然を活用した体験的学習を通して、児童の心と体の育成に努めている。さらに、地域の旧家を移築した「いろいろの部屋（和室）」での古老による「お話会」や、そこに展示してある昔の農耕機具等を使った歴史学習など地域の教育力を生かした活動を行っている。この「いろいろの部屋」はPTA活動にも開放し、地域に開かれた学校づくりを目指している。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 生	研 究 員	中央研・海外派遣	開 発 委 員
1				田 中 延 子 平4 (社会)
2		千 秋 香 1995 (音楽)		宇 野 有 斐 子 平6 (道徳)



学 校 名 日野市立日野第八小学校  
所 在 地 日野市三沢 200  
電 話 0425-91-2411・2412  
順 路 京王線高幡不動駅より東へ徒歩 15 分  
児 童 数 男 300 名 女 299 名 計 599 名

校長氏名 鈴 本 利恵子

教頭氏名 青 木 友 晴

### 1. 沿革の概要

- 昭 44. 1. 2 開設が決定 工事に着手  
4. 1 八小関係の教員並びに児童を分離し、授業を開始  
8. 16 日野第八小学校開校  
9. 1 415名の児童に転入学通知が出されたが、校舎未完成のためそのまま潤徳小で授業を行う  
11. 1 開校式を挙行 開校記念日と決定  
11. 25 校舎落成祝賀式挙行  
昭 45. 1. 15 公募により校章決定  
4. 1 14学級となり、プレハブ2教室増築  
7. 15 校旗がでできる  
7. 16 25m 6 コースのプールが完成し、プール開きを行う  
9. 7 校歌完成 作詩 米津千之、作曲 渡辺浦人  
昭 46. 4. 1 15学級 プレハブ教室増築  
6. 4 社会教育のための校庭開放を実施する  
9. 15 体育館工事着工  
昭 47. 2. 15 体育館落成式を挙行する  
4. 1 プレハブ2教室増築  
プレハブ5教室使用  
6. 20 西武百草団地入居のため250名の児童転入  
昭 48. 3. 本校舎8教室の増築完了  
5. 校地前程久保川の工事完了  
昭 49. 3. 1 校門が完成  
昭 49. 4. 1 学級増のため、プレハブ5教室を使用  
8. 15 プレハブ2教室が増設され、図書室、教材室として使用

9. 10 都水道に切替え  
昭 50. 1. 20 校地拡張 西門整備完了  
2. 20 第3期増築完了 普通教室6、教材室2、非常階段、更衣室、自転車置場、危険物貯蔵庫、投てき板  
7. 15 プール市水切替工事完了  
10. 25 体育館床塗替え  
12. 20 砂防(10×8m)完成  
昭 52. 4. 16 プレハブ教室、調理室改修工事完了  
昭 53. 4. 15 プレハブ2階建工事完了 教室8、図書室、音楽室として使用  
昭 54. 3. 31 プレハブ2階建 2教室増築工事完了  
11. 17 開校十周年記念式典  
昭 55. 3. 31 三沢台小学校を分離  
プレハブ全教室を撤去  
昭 57. 9. 10 運動場全面改修完了  
昭 59. 8. 31 防球フェンス(5×90m)完成  
図書室(2教室打抜き)完成  
昭 60. 9. 26 花壇防球フェンス(5×35m)完成  
花壇増設(5×1.5m, 3ヶ所)  
プール更衣室通路舗装  
昭 61. 3. 24 体育館屋根塗装・雨どい工事完了  
8. 27 体育館照明設備新設  
昭 62. 1. 31 プール機械室改装  
平 元. 8. 31 西校舎屋上改修  
平 元. 11. 25 創立20周年記念式典  
平 3. 10. 7 ランチルーム完成 使用開始  
平 4. 10. 12 体育館改修工事完了使用開始  
平 6. 3. 7 生活科ゾーン整備工事完了  
(砂場、屋外テーブル、ベンチ)

## 2. 歴代校長

氏名	年月～年月	氏名	年月～年月
金子 武夫	昭44.8～48.3	草 莉 和志	昭63.4～平3.3
岡本 省吾	昭48.4～53.3	石川 耀子	平 3.4～平6.3
古谷 洋太	昭53.4～58.3	鈴木 利恵子	平 6.4～現在
澁谷 義一	昭58.4～63.3		

## 3. 地域の環境

学校は、京王線高幡不動駅と百草園駅の中間に位置している。学区は東西に細長く、学校まで徒歩で40分位要する児童もいる。周辺は、開発途上にあり、田をつぶして住宅・商店が建設され、都市化が著しい。通学路の殆んどは、旧農道のため細長く曲りくねっていて危険な所もある。

## 4. 教育目標

### (1) 学校の教育目標

憲法、教育基本法、学校教育法に基づき、人間尊重の精神を基調として、本校の教育を行う。社会の変化に対応して、主体的に判断や行動ができ、個性豊かで、生涯を通して自ら学び続けることのできる国際社会に生きる、人間の育成をめざし、次の教育目標を定める。

- ア. 健康でたくましい子ども
- イ. 美しくゆたかな心の子ども
- ウ. 深く考えやりぬく子ども（重点）
- エ. 力を合わせはげみあう子ども

### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ア. 「深く考えやりぬく子ども」を重点目標とし、生涯を通じて学び続ける児童の育成を図る。
- イ. 自他の生命を尊び、互いに認め合い、支え合い、励まし合う好ましい人間関係を育み、人間尊重の精神を培う。
- ウ. 校内研究・研修を通して、指導内容・方法・評価の改善、充実に努め、発達段階に即し、基礎的内容の定着を図る。また、一人一人の個性、能力を伸長し、生涯を通じて学習を継続する意欲と態度を育む。
- エ. 開かれた学校を目指し、地域の自然や文化を積極的に取り入れた教育活動や体験的な学習活動を工夫する。
- オ. 自然をいつくしむ心や環境を大切にする態度を身に付け、環境の改善に主体的に働きかける実践的態度や技能を育成する。
- カ. 自国の文化や伝統について理解を深め、郷土を愛する心を培い、進んで国際社会に参加・協力できる能力や態度を育成する。
- キ. 心身に障害のある児童の理解を深める指導を充実する。

## 5. 指導の重点

### (1) 各教科、道徳、特別活動

- ア. 各教科
  - 個々の児童に即し、基礎的・基本的内容の指導を徹底する。
  - 多様な指導方法や形態を取り入れ、主体的・創造的な学習活動を工夫し、思考力・判断力・表現力を育成する。
  - 地域の特色を生かした教育の在り方を追究するとともに、体験的な学習を重視し、生きて働く力を育てる。

イ. 道 徳

- 全教育活動を通して、豊かな感性や徳性を滋養し、人間としての生き方、在り方の自覚を一層深める。
- 道徳教育全体計画及び年間計画の改善を図り、道徳の時間を充実し、道徳的実践力を高める。
- 家庭や地域社会との連携・協力を深め、豊かな体験を通して内面に根ざした道徳性を育成する。

ウ. 特別活動

- 児童の主体性、創造性を伸ばす体験活動（八小祭、全校遠足）を通して、一層の自主的、実践的な態度を高める。
- 児童の共働・協力活動（勤労生産的活動・奉仕活動）を通して、助け合い、学び合う心と態度を育み、望ましい人間関係を培う。

(2) 特色ある教育活動

- 「ゆとりの時間」等を積極的に活用し、異年齢集団活動で、豊かな心、生きる力としての知恵、健やかな心と体を育む。
- 地域・家庭・関係諸機関との連携を深め、環境の改善、老人福祉などにも主体的に働きかける態度を培う。
- 心身に障害のある児童の能力・適性の伸長を図るため、関係諸機関との連携を密にしたり、共通理解を図る。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 全教職員共通理解のもと、基本的生活習慣の定着を図る。
- 「八小の約束」をよりどころに、集団の規範を守る態度、互いに認め合い支え合う態度を育む。
- 家庭・地域・関係諸機関と緊密な連携を図り、児童一人一人のよさを深く理解するとともに、個々の課題に的確に対応する。

イ. 進路進導

- よさを認め励まし、一人一人の児童の個性や能力・適性を開発、伸長する。
- 全教育活動を通して、一人一人が目あてを持ち、生涯を通じて主体的に学習を継続する意欲と態度を育成する。

6. 本年度の研究主題

「児童の主体性を高める指導法の研究」 — 自ら調べ学ぶ力を育てる —

7. 本校の特色

- ① 「きれいな学校」「明るいあいさつ」「正しいことば」が、本校の努力目標である。全教育活動を通して、学習・生活・言語環境の整備に努めている。
- ② 恵まれた地域の自然環境や文化財を活用し、フィールドワーク等の体験学習を日常の教育活動に取り入れ、学習に対する興味・関心を高め、郷土を愛する心を育てている。
- ③ 地域と連携のもと、3～6年児童のサッカークラブ員が、放課後、練習に励んでいる。サッカー技術の向上、体力づくり、チームづくりを通して、健全育成の面で大きな成果をあげている。

8. その他（教職員の研究歴）

№	内訳	中 央 研	研 究 員	開 発 委 員	道徳助言研・その他
1		鈴木利恵子（平4）	鈴木利恵子(59.国語)		
2				林 亀三(63.体育)	斎藤 悦子(6.道徳)
3			林 亀三(57.体育)	海老原真知子(5.家庭)	
4			石岡 房子(63.国語)		



学 校 名 日野市立百草台小学校  
 所 在 地 日野市百草999  
 電 話 0425-91-0997・0998  
 順 路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて  
 百草センター下車 徒歩5分  
 児 童 数 男177名 女171名 計348名

校長氏名 小笠原 久 雄

教頭氏名 齋 藤 正 子

1. 沿革の概要

- 昭 44. 8. 2 校舎新築起工
- 12. 1 日野市立潤徳小学校百草台分校  
として潤徳小学校内で授業開始
- 昭 45. 4. 1 日野市立百草台小学校として新  
校舎に移転開校する 学級数8、  
児童数118名、教職員16名、市  
職員3名
- 6. 1 開校式挙行、6月1日を開校記  
念日とする
- 昭 46. 3. 8 校旗、校歌発表会を開き、3月  
8日を制定記念日とする
- 4.30 校舎北側の埋立工事完了
- 7.31 プール工事完了、大プール、小  
プール、シャワー、更衣室、機  
械室竣工
- 昭 47. 2.12 調理室火入れ式、調理開始
- 6.17 体育館完成
- 昭 48. 9.26 校舎新築工事開始
- 昭 49. 3.31 増築7教室竣工
- 昭 51. 3.20 増築校舎完成 普通教室9、図  
工室1
- 昭 54. 5.31 開校10周年記念式挙行 記念  
誌、タイムカプセル作成
- 10.31 校庭南側の階段上に正門落成
- 昭 55. 4. 1 学区変更により、梅が丘団地  
が本校学区に編入される
- 昭 58. 8. 6 屋上フェンス取替完了
- 9. 7 校庭改修工事完了
- 昭 61. 4. 3 小プール底改修工事完了
- 昭 62. 3.19 校庭西門改修工事完了
- 昭 63. 2. 8 本校舎南面外壁修理及び塗装
- 6.25 AV卓設置工事完了

- 昭 63. 9.10 外壁塗装工事完了(本校舎北面)
- 平 1. 2.21 プール管理棟外壁修理塗装完了
- 1.10. 3 体育館、補修、改修工事完了  
(床面、外壁塗装含)
- 平 2. 3.10 新校舎漏水配管修理完了
- 7.21 電動バスケットボール設置
- 8. 3 給食室シャッター取り付け
- 10.26 プール、足洗い場設置、とびこ  
み台撤去
- 11.16 開校20周年記念式挙行 記念  
誌発行
- 平 3. 3.29 クーラー設置(保健室)
- 8.30 給水管改修工事完了
- 平 4. 3.31 飼育舎新設
- 平 5. 1.21 和室新設
- 平 5. 4. 1 つくし学級(情緒・通級)開設
- 平 6. 8. 各教室採光ブロックフィルム貼布  
図工室流し改修工事

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
岡 本 省 吾	45. 4. 1～48. 3. 31
村 田 安 正	48. 4. 1～51. 3. 31
田 中 春 男	51. 4. 1～55. 3. 31
竹 内 音 治	55. 4. 1～58. 3. 31
志 賀 頼 治	58. 4. 1～59. 9. 8
村 松 徹 二	59.10. 1～63. 3. 31
草 刈 喜 一	63. 4. 1～ 3. 3. 31
小笠原 久 雄	3. 4. 1～現 在

3. 地域の環境

日野市の南東部にあって、多摩丘陵に造成された、百草団地と梅が丘団地とが主な学区域である。

団地の内外ともに起伏が多く、まわりには緑豊かな、静かで変化に富んだ高台がある。

眼下には、浅川がゆっくりと流れ、その向うには日野市外に続いて立川まで一望することができる。近くには多摩動物公園や百草園等があり、日曜日には都塵をさけたリクレーションの人々でにぎわう。自然にいだかれたよい環境といえよう。

#### 4. 教育目標

##### (1) 学校の教育目標

憲法・教育基本法に基づき、児童・地域の実態をふまえ、健康な体と、思いやりとたくましさのある心を持ち、自ら判断し主体的に行動する児童の育成をめざし、下記の四つの目標を設定する。

- 元気な子ども
- 考える子ども
- 働く子ども
- 助け合う子ども

##### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

自らよく考え行動できる児童の育成を指導の重点とする。

「よく考える」ことを日常的に児童が意識するように、児童の発達段階に則して、目標を具体化したり、指導場面を設定する等、創意を生かした教育活動の充実を図る。

- ・全教職員の共通理解のもとに組織的計画的に全教育活動をすすめる。
- ・教職員相互が研修、研究を深め、児童に基礎的基本的内容を身につけるとともに、自ら学ぶ力を培うために、体験的学習を取り入れる等の授業の創造に努める。
- ・自ら、健康の保持、体力の向上をはかる能力・態度を児童一人ひとりに育てるとともに、思いやりとたくましさを持った心を育むため、特に体育、道徳、特別活動の指導の充実を図る。
- ・児童の個性や特性を教師、児童相互が認め、更によりよい伸長をめざして、励まし協力していく姿勢を大切にする。
- ・児童の学びの場として、学校や地域の自然を大切にし、落ち着いた、整理整頓された環境の美化整備に努める中で、環境教育の充実を図る。
- ・開かれた学校をめざし、家庭、地域、学校の連携を密にし、相互の理解と協力のもとに児童の教育にあたる。学校五日制の休業日に当たっては、児童自身や家庭の計画による過ごし方を尊重し、各児童の体験を通した学びを大切にする。

#### 5. 指導の重点

##### (1) 各教科、道徳、特別活動

###### ア. 各教科

児童自らが考え、主体的に取り組む学習をめざす。

- ・教材・教具の工夫、視聴覚機器の活用等を基に、基礎的基本的事項を児童一人ひとりに身につけさせるとともに、児童の興味、関心を大切にし、児童の学習過程や学ぶ姿勢に視点をあてた授業の展開に努める。
- ・指導に体験的学習を取り入れ、その体験に基づく児童一人ひとりの学習への関わりを大切にする。

###### イ. 道徳

豊かな体験を通し、自他の生命の尊さや人と人の心のつながりを大切にする実践的態度や行動を、道徳の時間の指導だけでなく全教育活動を通して育み、人権を尊重し平和を希求することの大切さを自覚させる。

###### ウ. 特別活動

児童の個性・特性、体験、創意が生かされ、児童が喜びをもって主体的に参加する望ましい集団活動をめざす。また、活動を通して、心身の健康や安全、豊かな情操、望ましい人間関係等、人として調和のとれた発達を図る。

(2) 特色ある教育活動

- ・読書指導を更に充実させ、児童に豊かな情操や思考力を育む。
- ・草花の栽培、ミニ動物園の飼育活動を通し、自然をいつくしみ、愛する心を育て、環境の改善に主体的に働きかける行動力や実践的な意欲、能力、態度を育む。
- ・本校通級学級や都立七生養護学校との交流教育の発展、充実をはかり、互いに認め合い、支え合い、励まし合う、豊かな人間性を培う。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・「よく考えて行動できる子」を重点目標とし、主体的に生活していく力を培う。各学年、学級の児童の実態に基づき、「考える」をキーワードとして、目標を具体化し、児童に意識化を図る。また、児童の達成感、達成感を大切にしたい指導を基に、基本的な生活習慣や集団生活におけるきまりの遵守、安全な行動等を児童が主体的に身につけるよう努める。
- ・教育相談に関わる問題には、正しい児童理解の基に組織的にあたる。

イ. 進路指導

- ・生活全般の体験を通して、児童自らが自分の長所を発見し、その長所を伸ばし、自己を向上発展させる意欲や態度を育てる。

6. 本年度の研究課題

「考える力を育てる指導法の研究」

—— 教科指導を通して ——

7. 本校の特色

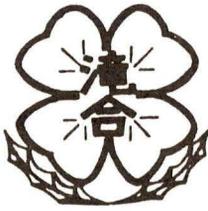
在学児童のおよそ85パーセントが、住宅公団百草団地から通学する児童であり、いわゆる団地学校である。そのため通学路は整備され、専門の遊歩道が通学路となり、安全性は極めて高いが、学区域は狭い。多摩丘陵の一画にあり、自然には恵まれている。

特色ある行事

- 毎週木曜日を児童集会とし、勤労体験的内容（草とり集会、石ひろい集会他）も加味した児童主体の活動をする。
- 心身障害理解教育推進協力校として、近隣の養護学校との交流に力を入れている。

8. その他（教職員研究歴）

内訳 No	研究員	開発委員
1	小笠原 久 雄（49. 特活）	小笠原 久 雄（55. 特活）
2	齋 藤 正 子（63. 書写）	丸 カズ子（4. 図工）
3	丸 カズ子（52. 図工）	
4	木 附 隆 三（63. 社会）	



学 校 名 日 野 市 立 滝 合 小 学 校  
 所 在 地 日 野 市 西 平 山 2-3-1  
 電 話 0425-83-5172・5173  
 順 路 京 王 線 平 山 城 址 公 園 下 車 徒 歩 10 分  
 児 童 数 男 252 名 女 234 名 計 486 名 ( 4 月 7 日 現 在 )

校長氏名 西 田 敦 子

教頭氏名 小 杉 博 司

### 1. 沿革の概要

- 昭 44. 12. 26 敷地購入 ( 仮称第 11 小学校 )
- 昭 46. 3. 31 南校舎 ( A 棟 ) 完成。プレハブ校舎仮設使用
- 4. 1 日野市立滝合小学校開校  
20 学級編成、教職員 27 名  
市職員 6 名
- 4. 6 第 1 回入学式、始業式
- 4. 30 運動場体育固定施設の設置
- 5. 30 北校舎 ( B 棟 ) 完成
- 6. 1 開校記念日
- 6. 5 掲揚塔、水飲場、足洗場完成
- 6. 30 給食室竣工
- 7. 20 プール竣工
- 10. 1 校庭鉄柵竣工、花壇・池完成
- 12. 1 校章、校歌制定
- 昭 47. 1. 21 エル・サルパドル国教育局次長視察
- 2. 20 体育館・校内通路完成
- 2. 25 落成式
- 3. 25 第 1 回卒業式 ( 卒業生 78 名 )
- 昭 50. 2. 18 体力作り研究発表
- 4. 校庭植樹 250 本
- 昭 51. 3. 旭が丘小分離 ( 児童 201 名 )
- 8. 動物園完成
- 4. 校地内に学童保育所完成
- 昭 53. 9. 26 校庭全面整備完成
- 昭 58. 8. 中庭舗装排水工事完了
- 昭 59. 8. 30 給食室タイル・壁修理完了
- 昭 61. 5. 6 体育館内工事完了
- 昭 62. 1. 29 プールシート防水加工工事完了
- 2. 6 シューティングボード工事完了
- 8. 31 A 棟外装工事完了
- 昭 63. 8. 31 B 棟外装工事完了、校庭南側フ

ェンス移設工事完了

- 平 元. 8. 31 給食室ダム、ウエータ工事完了
- 平 2. 8. 校舎北側舗装
- 平 3. 8. 外部水飲場改修、A 棟 1 階廊下塗装
- 平 4. 1. AV 調整卓交換
- 8. A 棟 2.3 階廊下塗装、A 棟 3 階教室内装
- 平 5. 8. A 棟廊下改修、2 階教室内装
- 平 6. 8. 体育館全面改修工事完了

### 2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
峰 岸 敬次郎	昭 46. 4 ～ 50. 3
鈴 木 英 夫	昭 50. 4 ～ 53. 3
梅 田 茂	昭 53. 4 ～ 56. 3
鈴 木 敏 郎	昭 56. 4 ～ 59. 3
野 口 昭 平	昭 59. 4 ～ 62. 3
有 泉 徹 郎	昭 62. 4 ～ 平 3. 3
草 刈 喜 一	平 3. 4 ～ 平 7. 3
西 田 敦 子	平 7. 4 ～ 現在

### 3. 地域の環境

本校は、日野市の南西にあって、校庭の南側に浅川が流れ、その向こうに緑の多摩丘陵が続く。周囲に田畑が多く、屋敷森等も残る田園の中に位置している。小鳥のさえずりも聞かれ、冬には浅川周辺に数多くのわたり鳥がみられる。

しかし、学校周辺には数多くの住宅が建ちつつある。学区域は、中央線の南側まで広がっており、通学時間で 30 分ぐらいの児童もいる。

近年、学校前の道路を通過する自動車が増え交通事故の危険は増大しつつある。

#### 4. 教育目標

本校の教育は、日本国憲法、教育基本法、学校教育法に基づき東京都教育委員会並びに日野市教育委員会の基本方針である人間尊重の精神を基調とし、児童が生涯にわたって主体的に学ぼうとする意欲の育成に努める。

地域の特性や児童の実態を踏まえ、社会の変化に対応して主体的に判断し、行動できる能力、自ら進んで人格の形成に努めることのできる児童を育成する。

- ア. 健康でたくましい子ども（心と体の健康）
- イ. 勉強に努力する子ども（意欲とねばり強さ）
- ウ. 進んで協力し、実行する子ども（心のふれあいと友情）
- エ. 生きものをたいせつにする子ども（思いやりと生命の尊重）

#### ・学校の教育目標を達成するための基本方針

知・情・意・体の調和のとれた児童の育成を目指し、自己教育力の育成、基礎・基本の重視と個性・能力を尊重した指導を意図的、計画的に行う。

ア. 教育目標を具現化するために、学年・学級の実態及び児童の発達段階に即した具体目標を設定し、学校の教育活動全体を通じて実践活動をすすめる。

イ. 各教科及び各学年相互間の関連を図り、各教科の目標と各指導事項との関連を十分研究し、児童一人一人に基礎的・基本的な内容が確実に身につくよう授業の工夫改善を図る。

ウ. 道徳の時間が各教科及び特別活動における道徳教育と密接に関連を図りながら、自他の生命を尊ぶ児童の育成を目指し、計画的、発展的に指導する。

エ. 全教育活動を通じて、生涯にわたり健康で安全な生活を営むために必要な能力や態度が身につくように指導の充実を図る。

オ. 我が国の文化や伝統を大切に育てると同時に外国の文化にも目を向けさせ、国際社会に生きる力を育む教育を推進する。

カ. 学校行事等の計画を立てる際には、各教科との関連を考慮し、授業時数の確保に努め、児童に過重な負担を与えぬよう配慮する。

#### 5. 指導の重点

##### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア. 各教科

- 1) 学習内容の焦点化し、体験的な学習や問題解決的な学習をすすめるなかで、柔軟な思考力・判断力・表現力等の能力を育てる。
- 2) 各教科の内容においては、基礎的・基本的な事項を精選し、個に応じた学習を重視した授業の改善に努める。
- 3) 児童が主体者となる学習指導を展開していくために、学習材を適切に活用し、自らすすんで学ぶ態度の育成を図る。

##### イ. 道徳

- 1) 年間指導計画を見直し、道徳の時間の充実を図ると同時に、家庭や地域社会における生活体験を通して培われた道徳的実践力に基づき行動できるようにする。
- 2) 教育活動全体を通して、教師と児童及び児童相互の人間関係を深め、豊かな体験を通して児童の内面にある道徳性を伸長し人としての生き方を学ばせる。

##### ウ. 特別活動

- 1) 学校生活における集団活動を通して調和のとれた心の発達と個性の伸長を図り、活動を充実させるための、企画力・実行力を養う。
- 2) 学校生活がよりよくおくれるよう、集団の一員としての自覚を更に高め、協力する態度を養

い、自主的・実践的態度を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- 1) 地域行事への参加、地域人材を積極的に活用し、創意ある活動を充実させる。学校園での栽培活動、地域の学習を通じて豊かな心を育てる体験学習を進める。
- 2) 学校をとりまく環境に注目し、美化に努める奉仕活動を重視し、自然をいつくしむ心や環境を大切にすることを育てる。
- 3) 学校行事、委員会活動、クラブ活動、集会活動の企画、実施にあたっては、異年齢集団での活動・交流を重視し互いに認め合う心を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 1) 児童理解に基づき、一人一人の児童の人格を尊重し、個性を生かしながら、社会的資質や行動力を高め、学校生活を有意義で充実したものにさせる。
- 2) 基本的な生活行動様式や規律ある生活態度を築き上げるために、地域及び家庭と密接に連携しながら指導する。

イ. 進路指導

- 1) 生涯にわたって主体的に学ぶ学び方を身につけさせ、進級・進学についての適切な指導を行う。
- 2) 趣味・特技等児童が持っている能力が発揮できる場への参加をすすめ、個性や特性を伸ばし将来に希望をもたせる。

6. 本年度の研究主題

子どもが意欲的に学ぶ指導法の研究

環境教育・性教育の2つの分科会を設け、授業研究を通して研究を進めていく。今年度は三年目のため、更に研究を深め成果をまとめる。

7. 本校の特色

校地面積 20,458 m<sup>2</sup> という恵まれた敷地内に1周200mのトラック、バスケットコート2面二の字形にならんだ校舎、周辺部に飼育小屋、プール、体育館があり落ち着いた空間をつくっている。

児童は一般的に素朴・純情・素直などの美点を持ち、活発に行動する元気な子が多い。保護者の学校教育に対する理解は深く、極めて協力的である。学校行事にも積極的に参加し、大いに内容を盛り上げてくれる。通学路の点検も協力的である。

- 稲作、野菜の栽培など勤労生産学習の充実
- 児童会主催、学区オリエンテーリング
- 児童が係で活躍する運動会
- 児童の希望を生かしたクラブ活動

8. その他(教職員の研究歴)

内訳 No.	研究員	開発委員	その他
1	小杉博司(57.社会)	西田敦子(60.家庭)	西田敦子(58.海外派遣)
2		小杉博司(61.社会)	小杉博司(63.教材開発・社会)
3			



学校名 日野市立高幡台小学校  
 所在地 日野市程久保 550  
 電話 0425-91-7011・7012  
 順路 京王線高幡不動駅より百草団地行きバスにて  
 5分 高幡台団地下車  
 児童数 男153名 女134名 計287名

校長氏名 兼 島 政 邦

教頭氏名 上 條 茂

1. 沿革の概要

- 昭 46. 8. 7 校舎新築工事起工
- 昭 47. 3. 10 日野市立高幡台小学校として開校  
鉄筋3階建校舎  
普通教室 12 特別室 9  
特別教室 4  
学級数 12
- 5. 27 高幡台小学校PTA設立総会
- 6. 24 開校式  
本日を開校記念日とする
- 8. 1 プール完成、プール開き挙行
- 昭 48. 2. 24 校旗・校歌制定
- 10. 6 体育館落成式
- 昭 49. 4. 1 第一期増築工事完成  
普通教室9・図書室1・職員室  
改造工事
- 昭 51. 10. 13 高幡台小学校の位置標識  
標高 118 m
- 昭 53. 3. 31 第二期増築工事完成
- 昭 54. 1. 24 防火シャッターを全部防煙シャッターへ取替完了
- 昭 54. 3. 4 玄関脇造園工事完了
- 昭 55. 7. 5 校庭南門工事完了
- 昭 56. 2. 7 校舎南側に学級園完成
- 8. 30 給食配膳室改修工事完了
- 昭 57. 11. 11 開校 10 周年記念式典
- 昭 59. 8. 30 屋上高置水槽取替（新・旧館）
- 昭 60. 8. 25 プール際防球ネット取付
- 昭 61. 8. 1 丸木遊具製作（職員）
- 昭 63. 7. 27 校庭改修工事
- 7. 30 新館階段天井アスベスト改修
- 3. 15 体育館バスケットゴール取付
- 平 2. 7. 23 校庭および屋上フェンス改修

- 平 4. 3. 5 プール改修工事完了
  - 3. 18 和室（いこいの間）完成
  - 7. 29～10.1 外壁改修工事（第一期）
  - 12. 5 開校 20 周年記念式典
  - 平 5. 5. 11 すべり台補修
  - 5. 30 東階段（校庭）手摺取付け工事
  - 8. 11 放送室AV調整卓新設
  - 9. 16 職員室クーラー取付
  - 9. 28 屋上全面防水工事完了
  - 10. 13 東校舎外壁改修工事第二期完了
  - 平 6. 6. 4 大プール排水パブル交換工事完了
2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
平 松 健太郎	昭 47. 4. 1 ～ 50. 3. 31
手代木 和 夫	昭 50. 4. 1 ～ 54. 3. 31
近 内 信 輝	昭 54. 4. 1 ～ 58. 3. 31
津野田 昭 二	昭 58. 4. 1 ～ 62. 3. 31
小 泉 宣 夫	昭 62. 4. 1 ～ 平 4. 3. 31
兼 島 政 邦	平 4. 4. 1 ～

3. 地域の環境

日野市の南東部の多摩丘陵に造成された高幡台団地が、おもな学区である。高幡台団地は、5階から11階の高層鉄筋住宅で、歩行者通路と車道が分けられていたり、郵便局、ショッピングセンターが住宅内にあるなど住み良く作られている。団地のまわりには緑の森林をめぐらし、西方には丹沢、関東山地の山々を越えて富士が望まれ、北西方には日野市街、日野台、八王子市街から遠く秩父の山々が連っている。学校から眺める景観はまことに美しくかつ壮大である。近くには、多摩動物公園、百草園、高幡不動があり、都民に親しまれている。

#### 4. 教育目標

##### (1) 学校の教育目標

個性豊かで調和のとれた人間形成をめざして次のような児童を育成する。

- ① たすけあう子ども …………… あたたかい心で助け合う子ども
- ② かんがえる子ども …………… よく考えて自分から進んでやりぬく子ども
- ③ はたらく子ども …………… 働くことのすばらしさを身に付けた子ども
- ④ たくましい子ども …………… 健康で明るい子ども

##### (2) 学校教育目標を達成するための基本方針

- ① 人間愛・自然愛に根ざした教育を推進し、人や環境にやさしくそして環境の保護に主体的に働きかける行動力や実践力の育成をめざす。
- ② 社会の変化に主体的に対応できる能力の育成や創造性の基礎を培うことを重視するとともに自ら学ぶ意欲や態度を養う。
- ③ 生涯にわたる学習の基礎的・基本的事項を確実に身に付けさせるとともに国際社会に生きる日本人としての資質を育てる。
- ④ 全教育活動を通して道徳的心情を培い、自主的・自立的な態度や勤労を尊ぶ実践的な態度を養う。
- ⑤ 健康安全への関心を高め、健康作りと体力の向上に努めるとともに心身ともに健康で明るい子どもを育成する。
- ⑥ 社会人講師の活用により地域の自然や文化を教育活動に生かし、郷土を愛する心を培うとともに社会性を育む教育を推進する。
- ⑦ 学校・家庭・地域社会の連携に努め、学校週5日制の趣旨を生かし子どもが地域の中で意欲的に活動できるように支援していく。
- ⑧ 個々の教師の特性を生かし、協力的で創意ある学年学級経営の充実を図る。
- ⑨ 校内研究を充実させ、子どもの意欲を伸ばす指導法の研究を推進する。

#### 5. 本年度の指導の重点

##### (1) 各教科、道徳、特別活動

###### ア. 各教科

- ・指導内容を精選し、児童自ら学習意欲や態度を高める指導法や学習形態を工夫し基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせる。
- ・地域の自然や人材など身近な教材を活用し、体験的な活動を通して日本の文化や伝統にふれるとともに豊かな心情を育てる。
- ・教育機器の活用、学校図書館の活用を図り、情報を主体的に選択し、活用したり表現したりする能力や態度を育てる。
- ・学校評価を意図的・計画的に実施し、年間指導計画に則った教育活動の充実を図る。特に学校週5日制2回実施による授業時間の確保や授業の質の維持・向上に努める。

###### イ. 道徳

- ・集団行動の決まりや望ましい行動の習慣化を図り、公德心の内面化を図る。
- ・相手の立場を認め合い、力を合わせて物事をやりぬく態度や思いやりの心を涵養する。
- ・人や自然を大切にする態度や公共心の育成を図り、ものを大切にする実践的な態度を身に付けさせる。
- ・人権尊重の教育を推進し、子どもにとって今日が楽しく明日が待たれる学校づくりを推進する。

###### ウ. 特別活動

- ・児童の共同・協力活動を通して、助け合い・学び合い・支え合う心を育てる。
- ・異年齢集団や地域のボランティア活動などの具体的な体験活動を通して、自主的・自治的態度

を育て社会性や国際性を培う。

- 望ましい集団活動を通して、高幡台小の児童相互の連帯感や好ましい人間関係・豊かな人間関係を育て、地域社会でも望ましい生き方ができるようにする。
- 勤労生産・奉仕活動を通して友達や地域社会のために役立とうとする心を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- 学年を越えた異年令集団活動（ミニ遠足・集団遊び・子ども祭り等）と校外地区班の連帯を図り、地区児童の連帯意識を高める。あわせて、学校生活における望ましい人間関係を培う。
- 花作り（菊・菜の葉・ひまわり等）や動物の飼育を通して豊かな心を育むとともに、生命尊重の精神を培う。
- 和室を有効に活用し、日本の文化や伝統に触れるとともに尊重する態度を養う。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ① 全教職員の共通理解のもとに基本的行動様式の定着を図り、集団の秩序と安全保持の立場から指導を徹底する。
- ② 全教育活動を通して、温かい人間関係を培い、学校が望ましい自己実現の場になるよう、児童一人一人の個性や能力・特性を相互に尊重し合う態度を育成する。
- ③ 学校週5日制にともなう休日の過ごし方について、学校・家庭・地域の連携を深め健全なる生活ができるように指導する。

イ. 進路指導

児童が正しい勤労感・職業感を身につけ、自己の個性を生かし自己実現に向かって努力する態度を育てる。

6. 本校の研究主題

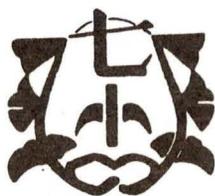
進んで考えることができる児童の育成

7. 本校の特色

団地校であるから家庭の生活は平均し、児童の知能程度も比較的高く格差が少ない。反面閉鎖的傾向が見られ、連帯意識に弱さがある。このような実態を考え子どもが相互の縦横のつながりを深めたり、隣接地域の風にふれさせることによりより広い視野を育てることを重点にして実践する。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 /No	都・文部省委員	研究員	その他
1	兼島 政邦(61.科学研B)	兼島 政邦(58. 理科)	千葉 正美(H4・5 道徳助言研)
2		上條 茂(H5. 社会)	千葉 正美(H6・7 同和資料作成)
3		溝口 美枝(60. 給食)	
4		高橋 智子(63. 保健)	
5		宇留賀公夫(H2. 図工)	
6		千葉 正美(H4. 道徳)	
7		作山 秀樹(H4. 音楽)	
8		古越 富子(H5. 保健)	



学 校 名 日野市立日野第七小学校  
 所 在 地 日野市神明3-2  
 電 話 0425-83-3907・3908  
 F A X 0425-83-3908  
 順 路 JR 中央線日野駅下車 徒歩約10分  
 児 童 数 男320名 女277名 計597名

校長氏名 品田 敏 男

教頭氏名 難波 和 子

1. 沿革の概要

- 昭48. 4. 開校 12学級 児童384名  
トラックを除く運動場全面に洋芝の植付け
- 6. 校章制定
- 9. 校旗制定
- 12. 校歌制定
- 昭49. 3. 「校舎体育館落成記念式」及び「校歌発表会」挙行  
3月1日を開校記念日に制定  
第1回卒業式 卒業児童45名
- 4. 開校2年め 入学児童77名
- 昭52. 4. 開校5年め 入学児童79名  
13学級となる。教室不足のため、プレハブ教室2増設
- 10. 校舎の増築工事着工
- 昭53. 4. 学級数14となる。
- 5. 増築工事竣工 普通教室6  
図書室1
- 昭54. 4. 第7回入学児童93名  
15学級となる。
- 昭55. 4. 第8回入学児童111名  
17学級となる。
- 昭56. 4. 第9回入学児童128名  
転入児童第2学年以上82名  
18学級となる。
- 昭57. 4. 第10回入学児童128名  
19学級となる。
- 昭58. 4. 増築工事竣工、普通教室4、教材室等3、昇降口、便所  
開校十周年記念式典
- 昭62. 4. 第15回入学児童103名
- 昭63. 4. 第16回入学児童115名
- 平元. 4. 第17回入学児童120名
- 平 2. 4. 第18回入学児童102名

- 平 3. 4. 第19回入学児童 96名
- 平 4. 4. 第20回入学児童108名
- 平 5. 4. 第21回入学児童 73名  
17学級となる。
- 平 5. 10 開校二十周年記念式典及び祝賀会
- 平 6. 4. 第22回入学児童 95名
- 平 7. 4. 第23回入学児童 111名

2. 歴代校長

	氏 名	年月～年月
初代	星野 武之	48. 4. 1～52. 3. 31
2代	上部 正彦	52. 4. 1～56. 3. 31
3代	梅田 茂	56. 4. 1～58. 7. 27
4代	和田 国平	58. 9. 1～63. 3. 31
5代	小幡 建	63. 4. 1～ 4. 3. 31
6代	小林 繁人	4. 4. 1～ 7. 3. 31
7代	品田 敏男	7. 4. 1～ 現 在

3. 地域の環境

本校は、中央線日野駅から西へ線路ぞいに徒歩で約10分。日野台地に設置されている。

校地の周囲は、住宅が増え、昔ほどの緑は少なくなっているが、屋上に上ると、南には多摩丘陵、西には秩父山地や丹沢山地を隔てて富士の秀麗が眺められる。また、この日野台地には遺跡が発掘されている等、教育的には環境に恵まれた場所と言える。

本校の児童の約60%は中央線の線路を隔てた西側の住宅地に居住している。この地域はここ10数年の間に、旧甲州街道ぞいに増設されてきた新興住宅地帯で、都営住宅・分譲住宅がある。なお、本校の周囲には、大学、市庁舎、日野ふるさと博物館、消防署等があり、児童が学習するに最適の地域であると思われる。

しかし、最近、南側を東西に走る道路の交通

量のピークが、児童の登校時間帯と合致し、しかも中央線をまたぐ陸橋を利用する児童数が圧倒的に多いことから、交通事故発生の心配がある。

#### 4. 教育目標

##### (1) 学校の教育目標

生命及び人権尊重の精神にみちた、心豊かでたくましく生きる心身共に健康な児童の育成を目指し、次の教育目標を定める。

◎ 自分の力で考える子（本年度の重点目標）

- 思いやりのある子
- 力いっぱいやりとおす子
- じょうぶな体をつくる子

##### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 学校の教育目標に基づき学年・学級の目標を定め、人間としての在り方生き方に関わる指導を重視した学年学級経営をすすめ、児童一人一人の自己表現を図る。
- ② 児童一人一人が自ら主体的に学習できるよう、指導計画を充実し、課題解決学習や体験的な活動あるいは表現活動など多様な学習方法の工夫及び評価法の改善などを行い、日々の授業を充実させる。
- ③ 教育活動全体を通して児童の基本的な生活習慣を培い、互いに認め合い支え合い励まし合う思いやりの気持ちを育てるとともに、人権尊重の精神を養いあらゆる偏見や差別の根絶に努める。
- ④ 児童が自らすすんで健康と安全の保持と増進及び体力の向上を図る態度と能力の育成を目指し、生命の尊厳を基盤とした教育をすすめる。
- ⑤ 身の回りの環境の保護や改善についての関心や問題解決の能力、実践力を育てる。
- ⑥ 健全な地域社会の形成者の育成を目指し、保護者及び地域の人々との連携のもとに学校週五日制を児童の自己教育力育成の機会とし、「ふるさと」意識を育てる。

#### 5. 本年度の指導の重点

本年度の重点目標「自分の力で考える子」

##### (1) 各教科、道徳、特別活動

###### ア. 各教科

- 児童自ら考え、主体的に判断したり表現することを重視し、多様な学習活動や評価を工夫する。
- 地域の素材を効果的に生かし、児童が自ら課題を見つけ追究することの喜びを味わえる指導を工夫する。
- 日々の授業の充実を目指し、指導計画の整備と活用に努める。

###### イ. 道徳

- 全教育活動を通して、生命と人権を尊重するとともに、主体的によりよく生きようとする精神を養う。
- 道徳の時間には、一人一人のよさを認め、豊かな心情を育てることにより、道徳の実践力の育成を図る。
- 資料や教具の整備と、保護者との連携を図る。

###### ウ. 特別活動

- 充実した学級活動を基盤とし、児童会活動やクラブ活動への参加意識を高め、自主的自律的態度を培い、主体的に行動できる力を育てる。

##### (2) 特色ある教育活動

- ① 異学年の班活動を重視し、児童の連帯意識と高学年児童のリーダー性を培う。

- ② 環境教育副読本や老人福祉副読本等を活用し、体験的な活動を通して、主体的な実践力を育てる。
  - ③ 読み聞かせや金管バンド活動を通して、心の豊かさを深める。
- (3) 生活指導・進路指導
- ア. 生活指導
- 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、人権尊重の精神にたって行動できる児童を育てる。
  - 健康と安全への関心を高め、互いの生命を大切にす態度を育てる。
  - 多面的で共感的な児童理解に努め、学校生活に主体的に取り組む力を養う。
  - 保護者や地域の人々と連携し、学校内外の児童の健全な生活の充実を図る。
- イ. 進路指導
- 児童の自己実現を図るために、児童の自主的・自立的な態度や行動を認め励まし、児童自ら目標を決め、その達成を目指して努力する力を育てる。

6. 本年度の研究主題

(1) 研究主題名

「児童一人一人が自ら考え、自ら学ぶ学習活動の工夫」

——地域教材の活用と教科内容の精選（生活科・社会科）——

(2) 研究内容の概要

- ◎重点教科を、生活科・社会科とし、基礎的・基本的研究を充実させるとともに応用・発展を図る。
- 地域において活用できると思われる教材について探索・調査・収集を一層深化するとともに収集した教材について検討し、授業に活用できる資料作成をする。
- 資料を授業に活用し、実証する。
- 講師を招聘し、地域教材の活用の工夫や指導方法の改善・授業の質の向上を図る。
- 学校週五日制に対応した教科内容の精選について検討する。
- 研究内容を集録としてまとめる。

7. 本校の特色

- (1) 中規模校の特性を生かした知・徳・体の調和のとれた児童の育成を進める。そのために、①異学年班活動を通して児童の連帯意識を育てる。②児童・教師の相互の交流を創意ある活動を通して深める。③個性尊重の教育を通して自ら学ぶ意欲を高める。
- (2) 自然に学び、自然に働きかける学習を通して、自分の力で考える子を育てる。そのために、①自然を取り入れた全体学習計画の作成・実施。②校外・校庭・屋上等の活用により勤労生産学習意欲を高める。③池・学級園の整備、動物との触れ合いを通して自然への関心を高める。

8. その他（教職員の研究歴）

№	内訳	研 究 員	開発委員会委員
1		品 田 敏 男（ 62. 社会）	品 田 敏 男（ 2. 社会）
2		小 坂 克 信（ 元. 社会）	難 波 和 子（ 63. 家庭）
3		川井田 和 子（ 2. 道徳）	
4		小 畑 由美子（ 5. 理科）	



学 校 名 日 野 市 立 南 平 小 学 校  
 所 在 地 日 野 市 南 平 4-18-1  
 電 話 0425-92-2021・2022  
 順 路 京 王 線 南 平 駅 より 徒 歩 15 分  
 児 童 数 男 213 名 女 206 名 計 419 名

校長氏名 馬 場 武

教頭氏名 高 橋 茂 子

1. 沿革の概要

- 昭 48. 12. 27 日野市教育委員会において、南平小学校を設置決定
- 昭 49. 3. 25 仮設校舎完成、プレハブ教室11職員室1、校長・事務室1、特別教室1、他に潤徳小新館に4教室、更に保健室、用務員室をクラブハウスに設置
- 4. 1 日野市南平小学校開校  
学級数15、児童数535名、教職員22、市職員4名
- 4. 5 仮設校舎校地整理完了
- 5. 4 本校舎工事着工  
総工費220,166万円  
敷地面積26,535 鉄筋コンクリート四階建防音校舎4,456㎡
- 5. 22 南平小学校PTA設立
- 11. 15 本校舎完成  
普通教室20、特別教室5、保健室、給食室、校長室、職員室、事務室、用務員室等
- 11. 22 校樹として「スズカケの木」を決定。校旗・校章の図案のもととし、校歌・校旗・校章の制定および発表会を挙行  
当日を本校開校記念日として制定する。
- 11. 29 本校舎へ移転
- 11. 30 校庭整備完了、進入路舗装、正門・フェンス取付完了
- 12. 31 体育館完成
- 昭 50. 4. 30 大・小プール完成
- 昭 53. 3. 15 校舎3教室増築
- 昭 54. 12. 21 体育倉庫（プレハブ）完了
- 昭 56. 3. 27 校舎3教室・図書室増築

- 昭 56. 9. 15 NHK全国学校音楽コンクール  
東京地区において優良校として受賞
- 昭 57. 2. 4 体育科「児童が主体的に取りくむ学習指導法の改善」研究発表会を全都にむけて行う
- 昭 58. 3. 31 学校園整備を行う
- 昭 59. 11. 22 十周年記念式典、祝賀会を行う
- 昭 61. 8. 25 校庭南側金網フェンス工事完成
- 昭 62. 11. 4 体育館照明器具設置
- 昭 63. 1. 23 体育館屋根塗装
- 3. 19 体育館緞帳改修
- 3. 19 校舎北側万年べいの改修工事
- 8. 31 家庭科室机新設
- 12. 20 体育館北側防音壁完成
- 平元. 8. 30 体育館床面、家庭科室改修工事  
陶芸釜設置完了
- 10. 16 ランチルーム開設
- 平 2. 1. 24 ランチルーム机・椅子新設
- 平 3. 2. 13 プール槽塗装、更衣室屋根塗装
- 平 4. 3. 17 ランチルーム床、壁面、窓等全面改修
- 4. 6. 1 生活科ゾーン完成（田んぼ2枚、井戸2基、水路、池等）
- 平 4. 7. 2 校庭南東フェンス改修
- 平 5. 6. 4 校庭西側移動式フェンス取り付け
- 平 6. 12. 3 開校20周年記念式典・祝賀会
- 平 7. 3. 31 校庭設備改修

2. 歴代校長

氏 名	年月 ~ 年月
黒 沢 保 雄	昭 49. 4. 1 ~ 55. 3. 31
松 日 楽 敬 治	昭 55. 4. 1 ~ 59. 3. 31
鈴 木 敏 郎	昭 59. 4. 1 ~ 62. 3. 31
石 井 三 士	昭 62. 4. 1 ~ 平 3. 3. 31
有 泉 徹 郎	平 3. 4. 1 ~ 平 6. 3. 31
馬 場 武	平 6. 4. 1 ~ 現在

### 3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の南部に位置し、前面に多摩丘陵をきりひらいた南平台（なんべいだい）みなみが丘、鹿島台、川崎街道をはさんだ南平中下（昔からの唯一の集落）京王線と浅川ぞいにはさまれた向島の六地区で構成されている。比較的まとまった学区域であり、地区の把握がしやすい。

南平中、下をのぞき何れも新興の分譲住宅地であり、父母の社会的、経済的地位は比較的安定している。従って学校教育によせる関心も高く、学校に協力的である。

学区域には、自然林あり、田畑、果樹園等、自然条件にめぐまれている。西方に丹沢連峰から秀麗富士を仰ぎ見、施設、設備、校庭等の整備と相まって、教育的環境としては、大変恵まれている。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

憲法、教育基本法の精神に基づき、児童・地域の実態をふまえ心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を旨とし、次の教育目標を設定する。

##### ◎自ら考え学ぶ子

- 目あてをもってやりぬく子

##### ◎思いやりのある子

- 健康でたくましい子

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

教育目標の具現化を図るため、全教職員の協力・協働体制のもと、意図的・計画的・組織的に体験的活動を重視し、児童の興味・関心・意欲を高め、児童一人ひとりの良さや可能性を生かした教育活動を進める。

- ・人間尊重の精神を根幹に据え、自分と異なるものに対する理解を深めると共に、互いに認め合い高め合う学年・学級経営に努める。
- ・基礎的・基本的内容を身につけさせると共に、自ら学ぶ力を育成するために、児童一人ひとりの思いや願いを大切に、チーム・ティーチング等を通して、授業改善を図る。
- ・健康安全の保持増進、体力の向上を図る能力・態度、思いやりとたくましさを持った心を育むため、体育・道徳・特別活動の指導の充実を図る。
- ・教育活動全体をとおして、地域や我が国及び諸外国の文化・伝統を理解し、尊重する態度を育み、国際社会に参加、協力できる態度や能力を培う。
- ・地域の環境に関心を持たせ、環境を大切にすると環境保全を図る態度・能力を育て、環境教育の充実を図る。
- ・家庭・地域・関係諸機関との連携を密にし、地域の自然・人材や社会事象の活用を図り、地域に根差した教育の推進を図る。

### 5. 指導の重点

#### (1) 各教科

- ・授業の改善を推進し、児童自らの思考力・判断力・表現力等の育成を図る。
- ・学習活動に体験的活動をできるだけ取り入れると共に、指導方法や指導形態の工夫をし、児童の興味・関心・意欲を高め、基礎的・基本的学習内容の定着を図る。
- ・児童一人ひとりのよさと可能性を生かし、目当てを持って粘り強く、課題を追求しようとする態度を育てる。
- ・心身の健やかな成長を図るため、水泳・縄跳び・持久走等の活動をとおして、生涯にわたって、健康な生活を営むための素地を養う。
- ・地域に根差した教育活動をとおして、環境への理解と保全に努める態度・能力を育てる。

(2) 道 徳

- ・人間尊重・生命尊重の精神を基調とする道徳的实践力を学校教育全体の中で育成する。
- ・道徳の時間は、多様な指導資料を活用すると共に、指導方法を工夫し、児童の道徳的心情を豊かにし、道徳的判断力を高める。

(3) 特別活動

- ・小集団活動をとおして、自己実現を図らせると共に、協力してより良い学校生活を築こうとする自主的・実践的態度を育てる。
- ・学校行事等への主体的関わりをとおして、集団への連帯感・所属感を育てる。

(4) 特色ある教育活動

- ・「なかよし広場」での野菜・草花作り、米作りやワラ細工、生活科等の体験活動をとおして、自然の恵みや勤労の尊さ、地域の文化・伝統等を理解し、尊重する態度を育てる。
- ・ティーム・ティーチングによる効果的な教育活動を推進する。
- ・草取り、石拾い等の日常活動をとおして、環境美化への意識を育てる。

(5) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・児童一人ひとりの成長への意欲や願いを的確に把握し、自己確立を援助する。
- ・人と人との関わりをとおして進んで生活を改善していこうとする意欲を持たせる。
- ・家庭、地域と連携し、望ましい基本的生活習慣を身につけさせる。

イ. 進路指導

- ・児童一人ひとりの実態を的確に把握し、長所を認め援助し、生涯にわたって学び続けることの楽しさに気づかせる。
- ・自己の特性、長所に気づかせ、意欲的に自己実現を図ろうとする態度を育てる。

6. 本年度の研究主題

“児童の主体性を生かす学習活動の研究”

- ・様々な体験を積み重ねることによって見通しを持って学習できる能力を育てる。
- ・生活科ゾーンを活用して、創造的学習を組み立てていく。

7. 本校の特色

- ・児童は比較的素直で、礼儀正しい。知的好奇心も強く、与えられた課題に対しては、熱心に取り組み、理解力もある。反面、指示待ち的傾向も見られる。
- ・米作り、野菜・草花作りを中心にした勤労・生産的体験学習を重視し、地域の教育力も積極的に取り入れている。

8. その他

№	内訳	研 究 員	現代化委員・開発委員	海 外 派 遣
1		馬場 武(48 理科)	馬場 武(50.理科・開発)	馬場 武(54 ヨーロッパ)
2		吉田 弘(元.教育方式)		
3		高橋 茂子(3.特別活動)		
4			山田 栄子(6.特別活動)	



学 校 名 日野市立程久保小学校  
 所 在 地 日野市程久保 1-14-2  
 電 話 0425-92-5014・5015  
 順 路 京王線高幡不動駅より動物園行きバスにて5分  
 中程久保下車徒歩3分  
 児 童 数 男172名 女170名 計342名

校長氏名 小林 繁 人

教頭氏名 田 中 晴 美

1. 沿革の概要

本校は潤徳小学校の規模の過大化を解消するためと、高幡台小学校の学区の変更に伴って程久保地区に新設された学校である。

- 昭52. 2. 1 程久保小学校開設 潤徳小学校に開設準備室を設置  
初代 渋谷義一校長就任
4. 1 日野市立程久保小学校開校  
学級数18 児童数652  
教職員26 市職員8
- 7.15 体育館竣工
- 10.20 落成式挙行、この日を開校記念日とする。校歌・校章発表会を開く
- 昭53. 4. 4 学級増によるプレハブ教室設置（1教室）19学級
- 昭55. 1.18 体育倉庫竣工  
11.11 飼育舎竣工
- 昭56.12.17 受水槽竣工
- 昭57. 5.13 校庭フェンス側散水栓着工
- 昭58. 6. 1 校庭砂場新設着工  
6.15 校庭砂場新設竣工  
11. 4 球技場（テニスコート）工事着工  
12.20 同上工事竣工
- 昭59. 2.15 プール改修工事着工  
2.29 同上工事完了  
7.27 校庭除石工事を行う  
8.14 体育館ステージ照明設備工事
- 昭60. 7.21 校庭整地着工  
8.29 校庭整地完了
- 昭62.10. 4 第11回開校十周年記念運動会を行う  
11. 6 開校十周年記念式典を行う

- 11.14 第4回開校十周年記念展覧会を行う。

- 昭63. 8. 普通教室黒板改修
- 平元. 6.30 エアコン設置（事務室）
8. 1 放送室AV卓取替え
11. 7 市の研究奨励を受け研究発表を行う テーマ「豊かな心を育てる体験学習」
- 平 2. 6. エアコン設置（校長室）
8. 花壇防球フェンス完成  
職員室流し台移動・修繕
10. プール道路側フェンス（目かくし用）完成
- 平 3. 1. ランチルーム用テーブル椅子購入  
2. 球技場（テニスコート）フェンス改修
- 平 4. 8. 職員トイレ中間壁工事完了
- 平 4.10. ランチルーム完成
- 平 5. 3. 飼育舎完成
8. 保健室流し全面改修
9. 体育館白蟻駆除工事終了
6. 2. 市の研究奨励を受け研究発表を行う テーマ「子どもの意欲が生きる学習指導」
3. 屋上鉄柵塗装工事完了
8. 放送室改修工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
渋谷 義 一	昭52. 2. 1～昭58. 3. 31
大 島 昭 子	昭58. 4. 1～昭62. 3. 31
三 浦 勝 也	昭62. 4. 1～平 2. 3. 31
倉 重 利 恵	平成2. 4. 1～平 7. 3. 31
小 林 繁 人	平 7. 4. 1～現 在

### 3. 地域の環境

日野市の南東部にあって八王子市と接しており、明星・三井・電建の新興住宅地が主な学区域である。住宅は多摩動物公園の両側の起伏に富んだ傾斜地に建てられている。西側には動物公園の園舎も見られ、遠足時には子どもの集団が遠望できる。東側は高幡台団地に接している。緑が多いわりに、子どもの遊び場が大へん少ない。

最近では、住宅地域内を通過する車が増加し、児童の登下校時の安全対策も急務となっている。

### 4. 教育目標

本校の教育は、教育基本法・学校教育法に基づき、生命・人権の尊重を基調とし、個性豊かで主体的に学び国際性を身につけた児童の育成を期して次のように教育目標を定める。

- |       |                                    |
|-------|------------------------------------|
| 一、元 気 | ○健康で生き生きした子ども                      |
| 二、本 気 | ○自ら考え進んで行動する子ども<br>○心豊かで思いやりのある子ども |
| 三、根 気 | ○目標に向かって努力する子ども                    |

### 5. 本年度の指導の重点

#### (1) 各 教 科

前項の基本方針を受け、指導計画の作成、指導内容・方法の改善につとめながら、次のことを重点として指導していく。

- 児童の関心・意欲・態度の育成をめざし、指導と評価の一体化を図る。
- 教材研究を深め、自己学習力を育成するとともに個性・能力に応じた授業を追求していく。
- 地域教材を開発し、その活用を図る。

#### (2) 道 徳

- 教師と児童、児童相互の人間関係を深め、日常生活における基本的行動様式を身につける。
- 体験学習を通して人間性豊かで、思いやりの心をもった児童の育成に努める。
- 道徳教育の全体計画のもとに、各教科、特別活動等、全領域のなかで指導するとともに、家庭、地域と連携して、道徳的実践力を高める。

#### (3) 特別活動

- 体験学習を通して主体的な態度を養い、協力して楽しい学校生活を計画実践できるようにする。
- 学級活動の充実をはかり、実践的な態度を育てる。
- 学校行事に自主的に参加できる児童を育て、学校生活にうるおいと変化をもたせる。
- 地域と連携して体験的な活動を行い、日常生活の中で実践する態度を養う。

#### (4) 特色のある教育活動

- 朝の5分間運動の時間を設定して体力づくりに力を入れる。
- 異年齢集団を編成して集会活動や清掃活動等を行い、児童相互の社会性を培う。
- 「やまゆり」の時間を設けて、児童一人一人の個性能力に応じた指導を工夫し、諸々の体験学習を計画実践していく。
- 隣接校との交流を深めるための諸活動を計画し、実践していく。
- 教師、児童、保護者の一体となった実践活動を通して、相互理解と心の交流を図る。
- 自然環境を愛護・保全する態度を育てる。

#### (5) 生活指導・進路指導

##### ア 生活指導

- みんな仲良く個性を認め合って助け合い、楽しい学校づくりに努めさせる。
- 目的意識をもって、主体的に活動できる児童を育てる。

- 学校・家庭・地域が連携を深める中で、基本的な生活習慣を身につけて行動できる児童を育てる。
- 児童の発達段階に即して安全教育の徹底を図る。
- 児童の発達段階に即して安全教育の徹底を図る。
- 特に配慮を要する児童には、研修を深め、組織的に指導を行う。

イ 進路指導

- 児童の個性、能力の伸長を図り、将来にわたって自己実現の図れる態度を培う。
- 家庭・地域社会での勤労の実態を学習し、望ましい勤労観・職業観を育てる。

6. 本年度の研究主題

「子どもの意欲が生きる学習指導」

本校の児童は、課題に対して興味・関心をもって意欲的に学ぼうとする。その一人一人の意欲をより伸ばし、主体的に学ぶ態度をさらに育成するために、算数科を通して学習指導法の研究を進める。

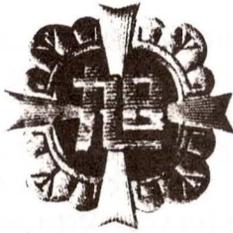
7. 本校の特色

学校生活全般を通して、児童一人一人の個性と創造性を伸ばし、自ら学ぶ態度と主体的に取り組む態度を育てるとともに、人の気持ちや立場を考えて行動できる心情、実践力を養うことに努める。このため教師の指導力を高め、計画的に研究・研修の充実を図り、指導に創意工夫をしていく。

- ① 学校の教育目標に基づく学年・学級の目標を設定し、児童の実態に即した学年・学級経営の充実を図り、集団のモラルと質を高めていく。
- ② 全教科・領域にわたって学習指導要領の趣旨にそい、体験的な活動を重視し、児童の主体性や感性の育成に努める。
- ③ 児童自らが体力づくりにはげむよう、全校的な取り組みを行い、健康安全に関する理解を深め、日常的に実践する態度を養う。
- ④ 特別活動の充実を図り、体験や実践を通して自主的な集団活動を育てるとともに個性の伸長を図る。
- ⑤ 地域に根ざした教育推進のため、地域の自然・文化・人材の活用を積極的に教育計画に取り入れる。
- ⑥ 道徳教育の充実を図るとともに、地域の人々・心身障害児・高齢者・帰国児童等多くの人々との相互理解を図り、豊かな心の教育を推進する。
- ⑦ 学習指導と評価の一体化を図り、個に応じた指導の充実と生涯にわたって学び続けるための自己学習力を身につけさせる。
- ⑧ 教師相互が研究・研修を深め、複数の教師による指導など取り入れ学習指導の改善に努める。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳	研 究 員	研 究 生
1	小 林 繁 人（53. 教育課題）	小 林 繁 人（44. 経 営）
2	丸 山 まり子（57. 給 食）	
3	田 島 佳 子（平3. 保 健）	
4	竹 内 勝 美（平5. 書 写）	
5	樋 口 邦 男（平6. 理 科）	
6	三 木 滋（平7. 教育課題）	



学 校 名 日野市立旭が丘小学校  
 所 在 地 日野市旭が丘5-21-1  
 電 話 0425-83-3733・3748  
 順 路 中央線豊田駅北口下車徒歩25分 京王・西東京  
 バス(石川入口)下車10分  
 児 童 数 男402名 女352名 計754名

校長氏名 信 夫 清 彦

教頭氏名 八 木 文 夫

1. 沿革の概要

- 昭51. 8. 18 起工式  
 市議会は、日野市立旭が丘小学校の設置を決定
- 昭52. 2. 1 初代校長 小野寺東雄発令  
 3. 31 教頭、教諭等25名、市職員8名計33名発令  
 4. 6 第1回入学式149名 4学級  
 全校18学級 707名  
 5. 20 校舎完成  
 6. 30 プール完成  
 7. 20 校章制定  
 8. 15 体育館完成  
 11. 21 校歌制定 開校式典
- 昭53. 3. 25 第1回卒業式110名
- 昭55. 10. 13 体育館ボーダーライト
- 昭57. 2. 27 「雑木林の小道」完成式
- 昭58. 2. 7 音楽室廊下防音ドア完成  
 8. 11 給食室排水工事完成
- 昭59. 12. 10 堆肥小屋とプール塗装工事開始
- 昭60. 1. 20 プールフェンス工事開始
- 昭61. 1. 13 プール排水工事・シューティングボード工事  
 6. 4 理科室天井工事  
 8. 31 AV調整卓が入る  
 理科室・図書室の暗幕取替え
- 昭62. 1. 7 プールの平板工事  
 11. 22 開校10周年記念式典
- 昭63. 1. 7 体育館屋根塗装  
 10周年記念日時計工事  
 1. 30 故大熊校長献花式  
 8. 25 放送室・図書室工事・洗浄機取り付け完了  
 12. 23 故大熊校長遺稿集発行

- 平元. 5. 26 給食室クーラー設置  
 平 2. 6. 25 校長室エアコン設置  
 7. 28 体育館バスケットゴール取付  
 平 3. 1. 16 学区変更説明会  
 8. 7 体育館床張り替え工事  
 平 4. 2. 29 旭小15年を語る会  
 9. 12 備蓄倉庫設置  
 平 5. 2. 15 生活科用畑工事  
 5. 30 第17回運動会  
 6. 5 プールタオルがけ工事  
 6. 10 プールフェンス張り替え  
 8. 1 校庭改修工事開始  
 8. 31 給食室床工事完了  
 11. 10 子供議会出席  
 平 6. 7. 11 外壁工事

2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
小野寺 東 雄	昭52. 2～昭58. 3
大 熊 喜 一	昭58. 4～昭62. 12
飯 沼 宏	昭63. 1～平 4. 3
信 夫 清 彦	平 4. 4～現在

### 3. 地域の環境

本校は、日野市西南部八王子市との境に位置している。学区は、浅川の第一河岸段丘と第二段丘の二段にまたがっている。東西2km南北1.5kmと広く、学校が西に偏在しているため、通学時間30分以上かかる児童もいる。

学区の中心部は、東芝や帝人などの大工場が占め、その周辺に個人住宅や集合住宅が混在する。主要道路には歩道があるが、通学路の交通安全施設は整備中である。また、工場が多く車公害が多くなってきた。学校の周辺には、畑や雑木林が多く、公園もあり、自然に恵まれている。父母は会社員が多く、学校教育への関心は深い。集合住宅が増加中で、学区変更が策定されている。学級増の傾向がある。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で、知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

よく考える子ども

なかよくする子ども

がんばりぬく子ども

からだをきたえる子ども

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

① 「よ・な・が・か」を地域ぐるみの合い言葉とし、旭が丘小17年の成果をふまえ、今日的視点から教育活動を見直し、教育目標の達成を目指す。

② 学校教育目標の第1項「よく考える子ども」を重点目標とし、全教育活動を通して教育目標の達成を目指す。

そのために

- ・一人一人の児童の個性と創造性をのばし、人権尊重の精神を培う。
- ・体験的な学習・問題解決的な学習を重視し、児童の主体的な学習を促す。
- ・豊かな学校環境を活用し、自然をいつくしみ、環境を改善する心と態度を育てる。
- ・地域に根ざした教育を推進し、地域を愛し、地域の一員としての自覚を育てる。
- ・自ら進んで運動に親しむ態度を身につけ、生涯にわたって体力の向上とスポーツを継続する心と身体の健康づくりをすすめる。

③ 共感的児童理解のもとに、人間尊重の精神を培い、豊かな感性と人間性を育てる心の教育を推進する。

④ 発達段階に応じた指導の手立てを工夫し、一人一人にゆきとどいた教育を推進する。

⑤ 保護者、地域から信頼される学校をめざし、教職員の研究・研修活動を充実する。

⑥ 学校週五日制への移行に伴い、保護者や地域との連携のもとに、児童の学習・生活環境の充実を図るとともに、児童が自ら考え、判断し、行動する態度を育てる。

### 5. 指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア. 各教科

- ・基礎的・基本的な学習内容を確実に身につけ、個性を生かす教育活動を進める中で学ぶ意欲と学習の仕方を習得させ、思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ・児童の主体的な学習活動を促すため、体験的な活動を取り入れ、学習活動の多様化を図る。また、地域を生かした教育活動を大切に、地域の人々や地域の環境を教育活動に生かしていく。

#### イ. 道 徳

- 児童の実態に即してねらいを重点化し、教育活動全体を通して自ら考え、正しく判断し、行動する主体的な道徳的実践力の向上に努める。
- 道徳の時間は指導計画に基づき多様な指導資料を活用するとともに指導方法を工夫する。

#### ウ. 特別活動

- 集団活動に積極的に参加し、望ましい人間関係を築き、自ら考え、行動する児童の育成に努める。
- 学校行事では体験的な活動、個性を生かす活動を重視し、日常の学習の総合的発展の場とする。
- 日常生活への適応、健康・安全指導では教師の意図的・計画的指導を強める。
- 「全校活動」の時間を通して、異年齢集団の中で生き生きとしたまとまりのある交流を図る。

#### (2) 特色ある教育活動

- 創活の時間を確保し、栽培活動、飼育活動、雑木林の活用、資源の節約など環境教育を全校で取組み、自然愛護、物を大切に作る心、勤労意欲を高める。
- 全学年を通して、性教育を計画的に行い、人間尊重・男女平等の精神を培う。
- 「学年・学級の時間」「交流の時間」等により、児童一人一人におもいやりの心を育て、連帯感を強める。

#### (3) 生活指導・進路指導

##### ア. 生活指導

- 基本的な生活習慣を身に付け、自立心・自律心を高める力を育てる。
- 教育相談の機能を高め、問題をもつ児童への組織的対応を進める。

##### イ. 進路指導

- 体験的な活動を通して、成就感・達成感を味わわせ、自ら考え、判断し、決定する能力を育成する。

#### 6. 本年度の研究課題

- 子どもによく考えさせる授業のあり方

#### 7. 本校の特色

- (1) 「よく考える子ども」の育成を重点目標に設定。
- (2) 授業の活性化をめざす校内研究体制づくり。〈「よく考える子」の育成を大テーマとして〉
- (3) 雑木林を宝として、その保存と活用への指向。雑木林の付加価値を高める思考。
- (4) 体験的学習の場の充実を目指して。一人一鉢の菊づくり、椎茸栽培・茶摘み用苗木の育成、小動物との交流の場づくり等への指向。
- (5) 地域教育力との大いなる連携。スポーツ保険を軸として学校と地域が一体化し、元旦マラソン・八ヶ岳ジャンボリー・旭が丘少年野球リーグなど学校創立以来の組織的な健全育成への着実な展開。

#### 8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	信夫 清彦（54・体育）		信夫 清彦（57・体育）
2	八木 文夫（59・体育）		



学 校 名 日野市立平山台小学校  
 所 在 地 日野市平山2-1-1  
 電 話 0425-92-6381・6382  
 順 路 京王線平山城址公園下車徒歩 15 分  
 児 童 数 男 110 名 女 107 名 計 217 名  
 (内わかくさ学級 14 名)

校長氏名 増 賀 從 男

教頭氏名 雨 宮 充

1. 沿革の概要

昭 53. 1. 7 現在地に建設着工  
         4. 1 日野市立平山台小学校として開校、平山小学校の学区から新たに平山 1, 2, 3, 6 丁目を平山台小学校の学区と定める。児童数男 268 名、女 282 名 計 550 名 17 学級(心障 2 学級含)の規模で開校する。  
         10. 24 校舎落成式 校章発表  
         11. 22 開校記念展覧会 開校記念日  
 昭 54. 3. 9 開校記念校歌発表会  
         11. 10. 心障学級作業学習コーナー設置  
 昭 55. 3. 20 校舎増築 8 教室完成  
         8. 15 中庭排水溝、飼育舎完成、遊戯室床張替え、ガス配管一期完成  
         10. 20 野焼きの授業展開、テレビ放映  
 昭 56. 3. 18 屋上フェンス(音楽室上)完成  
         4. 1 男 385 女 367 計 752 名、22 学級(心障 3 含む)  
 昭 57. 4. 1 男 356 女 348 計 724 21 学級(心障 2 含む)  
         8. 30 図書館改装 ガス配管工事完了  
 昭 58. 4. 1 男 335 女 337 計 672 20 学級(心障 2 含む)  
         10. 30 屋上バスケットボール施設完了  
 昭 59. 4. 1 男 290 女 312 計 602 16 学級(心障 1 含む)  
         3. 屋上フェンス完成・校舎増築完成  
 昭 60. 4. 1 男 276 女 273 計 549 17 学級(心障 2 含む)  
         12. 9 プール全面塗装  
 昭 61. 4. 1 男 236 女 245 計 481 名 15 学級(心障 1 含む)

昭 61. 12. 8 研究公開(体育を中心とする)  
 昭 62. 3. 30 体育館どん張取替  
         4. 1 男 215 女 208 計 423 名 14 学級(心障 1 含む)  
 昭 63. 2. 5 研究発表公開(心障)  
 昭 63. 4. 1 男 191 女 175 計 366 名 13 学級(心障 1 含む)  
         8. 体育館照明装置取付け  
         11. 19 開校十周年記念式典挙行  
 平 元. 3. 体育館バスケットゴール取付け  
         4. 1 男 167 女 171 計 338 名 14 学級(心障 2 含む)  
         4. 日野市研究奨励校  
         5. 2 文部省心身障害児理解推進校指定  
         8. 30 多目的教育工事完成  
 平 2. 4. 1 男 151 女 146 計 297 名 13 学級(心障 2 含む)  
         10. 26 文部省心身障害児理解推進校研究発表  
         10. 30 ふれ合い広場完成  
 平 3. 4. 1 男 135 女 138 計 283 名 12 学級(心障 2 含む)  
         10. 30 屋上防水工事  
 平 4. 4. 1 男 131 女 121 計 252 名 12 学級(心障 2 含む)  
 平 5. 4. 1 男 115 女 122 計 237 名 10 学級(心障 1 含む)  
         5. 7. 3 堀之内 3 号トンネル全校生見学  
 平 6. 4. 1 男 115 女 113 計 228 名 10 学級(心障 2 含む)  
         男 110 女 107 計 217 名 10 学級(心障 2 含む)

## 2. 歴代校長

氏名	年月～年月	氏名	年月～年月
小川 格	昭53. 2～昭57. 3	増賀 従男	平 6. 4～現在
蓮池 守一	昭57. 4～昭61. 3		
野村 武郎	昭61. 4～昭63. 9		
馬淵 金男	昭63. 10～平 3. 3		
波多野 坦	平 3. 4～平 6. 3.		

## 3. 地域の環境

本校は日野市の南端、多摩丘陵の頂ぎに開発して建設。北側は、日野市はもちろん八王子、立川も一望でき、巨大島瞰図を眺めるようである。また、南側は、多摩テックから平山城址公園に連なる雑木林が四季折々の風物を語る。

このような、景観だけでなく、体験学習をする上での生きた教材を得た学校である。学区は京王電鉄が造成、分譲した平山1,2,3丁目に加えて、平山6丁目を含んだ、まとまりのある地域である。また、この地に住む人々は相互に環境の美化、浄化に努めているため、静かで落ちつきのある雰囲気が維持されている。

## 4. 教育目標

憲法・教育基本法の示す国民の育成に努めるために、地域・児童の実態を基に、学校の教育目標をさだめる。

本校の教育は、生命の尊重を基底とし、自らを考え正しく判断し実践できる力をもつ児童を育成する。

- よく考え くふうする子
- 力を合わせて やりぬく子
- 心豊かな やさしい子（本年度重点目標）
- 明るく たくましい子

### 〈目標達成のための基本方針〉

教育目標の具現化を目指して、教育課程の編成と実践に努める。

- ① 「心豊かな やさしい子」を重点に掲げ、全教育活動を通じて生命及び人権を尊重する態度を育成する。
- ② 教師と児童、児童相互の心の交流を深め、明朗で協力的に活動する児童を育成する。
- ③ 学習の過程を重視した指導法を工夫し、豊かな表現力を身につけた児童を育成する。
- ④ 行事の精選や週時程の工夫、また、年間指導計画の見直しを行い、児童がゆとりをもって学習できるようにする。
- ⑤ 家庭・地域との連携を密にするとともに、地域の教育力を活用し、開かれた学校を目指す。

## 5. 本年度の指導の重点

### (1) 各教科、道徳、特活の指導の重点

#### ア. 各教科

学習指導要領の主旨をふまえ、児童が意欲的に取り組む授業の創造を目指す。

- ① 基礎・基本の定着と豊かな表現力の育成を図る。そのため、一人一人の個性・能力を生かす指導を心がけ、体験的学習、他学年他学級との合同学習・小集団による学習などを工夫する。
- ② 課題解決的学習をとり入れ、児童の主体的な学習を通して、学ぶ喜びを味わわせ自ら学ぶ力を育成する。
- ③ 生命の大切さを学びとらせる。そのため、生命に関連する各教科及び各領域の結びつきを明らかにして指導にあたる。
- ④ 郷土や諸外国についての認識を深めるとともに、地球環境保全への関心を高める。

## イ. 道 徳

- ① 児童一人一人が自己を見つめる道徳の授業を工夫し、心豊かでよりよく生きようとする児童を育成するとともに、他領域との密接な関連のなかで道徳実践力を高める。
- ② 生命尊重の精神をもとに、全教育活動を通じて自分、及び他人を大切にす態度を培う。

## ウ. 特別活動

集団の一員としての自覚を高め、楽しく落ち着きのある生活を目指す。

- ① 児童一人一人の個性を尊重し、創意を生かした学級活動を心がけ、自己を生かす力を育てる。
- ② 児童が学校生活に関する諸問題を、自発的・自治的に解決する力を高めるとともに、帰属意識を育む。
- ③ 小規模校の特色を生かした異学年集団の交流を通して、全児童の心の結びつきを深める。
- ④ 高学年の活動の場を設定し、リーダーとしての自覚と指導力を高める。

## (2) その他の活動

- ① 学校生活に潤いや充実感を与える活動を計画し、豊かな心情を育てる。(花づくり、子供祭り、オリエンテーリング、たて割り清掃や班遊び)
- ② わかくさ学級との交流を通して、障害児者への理解を深め、ともに生きようとする態度を培う。
- ③ 地域の教育力を活用し、児童に社会の一員としての認識をもたせるとともに、日常の学習が一層深まるようにする。(ほほえみ給食、夕涼み会、ふれあいマラソン)

## (3) 生活指導・進路指導

### ア. 生活指導

児童が生活の中で生き生かされる喜びの場を通して、力を合わせ、ねばり強くやりぬく児童を育てる。

- ① 児童一人一人の個性・特性の把握に努め、よりよく伸ばしていく指導を工夫する。
- ② 児童が相互に生命や人権を尊重する態度を身につけさせる。
- ③ 集団生活に必要な基本的態度や健康・安全を心がける態度を身につけさせる。
- ④ 家庭・地域社会及び関連諸機関との連携を密にし、児童の健全育成に努める。

## 6. 本年度の研究主題

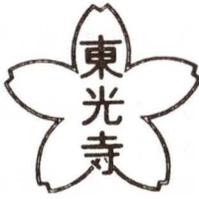
「子どもの表現力を豊かにする指導法の工夫」

## 7. 本校の特色

- 開校 18 年目。市内全域がほぼ見渡せる。恵まれた自然環境の教材化を図っている。
- 小規模校の特徴を生かし、和やかな雰囲気と、全校たてわり活動による協働、共学を図っている。
- 心障児と健常児との交流をすすめたり、地域の老人クラブとふれ合う体験を通して「心豊かな心やさしい子の育成を目指す」心の教育を推進している。
- 地域の要請に応える教育力の提供について、青少年育成会等と協力したり、地域行事への参加をしたりしてその具体化を図っている。

## 8. その他(教職員の研究歴)

内訳 No	研 究 員	開 発 委 員
1	増 賀 従 男(56.国)	
2	中 村 康 成(55.体、61道)	
3	兩 宮 充(60.道)	



学 校 名 日野市立東光寺小学校  
所 在 地 日野市新町 3-24-1  
電 話 0425-84-6200・6201  
順 路 中央線日野駅下車 徒歩 10分  
児 童 数 男 188 名 女 167 名 計 355 名

校長氏名 鍋 田 良 子

教頭氏名 武 内 忠 雄

### 1. 沿革の概要

- 昭 52. 9. 30 学校用地買取り算市議会議決  
昭 53. 3. 30 学校建設校舎予算市議会議決  
6. 2 学校開設準備委員会開催  
8. 21 校舎建設工事着工～54. 5. 31  
昭 54. 3. 10 体育館建設工事着工  
～54. 10. 31  
4. 1 日野市立東光寺小学校として開校。日野第三小学校の学区から、新町 3 丁目と栄町 1, 2, 3, 4, 5 丁目を東光寺小学校の学区域と定める。児童数 545 名（男 287 名 女 258 名）15 学級の規模で開校する。  
7. 18 校樹決定「さくら」  
11. 17 PTA 創立総会  
11. 20 校章・校旗・校歌制定  
校舎・体育館・プール落成記念式典、校章・校旗披露、校歌発表  
昭 57. 2～3 校地緑化、小鳥舎新設  
昭 62. 11. 20 東京都図画工作研究会南多摩研究大会会場となる。  
平元. 11. 18 開校十周年記念式典を挙行  
平 4. 3. 31 飼育舎（ログハウス）新設  
平 7. 3. 31 卒業生総数 1,245 名となる。

### 2. 歴代校長

氏 名	年月～年月
高 田 智	昭 54. 2. 1～58. 3. 31
近 内 信 輝	昭 58. 4. 1～60. 3. 31
志 村 桂 次	昭 60. 4. 1～平 4. 3. 31
鍋 田 良 子	平 4. 4. 1～現 在

### 3. 地域の環境

本校は、日野市北西部にあって学区の一部は多摩川と八王子市に接している。学区は新町 3 丁目、栄町 1, 2, 3, 4, 5 丁目で、東西 1.8 km、南北 0.8 km と東西に長く、学校は学区の中央、南側に位置している。通学時間は、遠い児童で 15 分である。

学区には、天正 16 年、僧永海が旧東光寺のあと地に建てた万松山成就院がある。また、多摩川と日野用水にはさまれた低地には農家が点在していたが、都市化したがつて兼業農家がふえ、まわりには宅地造成が進み、個人住宅や集団住宅が混在している。

学校の裏側には自然林、正門近くには田畑や果樹園等があり、自然条件にめぐまれている。

また、施設、設備、校庭が完備され、教育的環境は優れている。

父母の学校によせる関心も高い。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

本校の教育は、憲法及び教育基本法の精神に基づき、「心身ともにたくましく、主体的・創造的に生きる児童の育成」を目指し、次のように教育目標を設定する。

- 明るい子ども
- 考える子ども（本年度重点目標）
- 強い子ども

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 主体的に学ぶ意欲の高揚を図り、自ら考え、正しく判断し、行動できる児童の育成に努める。
- ② 人間として必要とされる基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせ、児童一人一

人の個性を生かした教育の推進に努める。

- ③ 児童が、自ら進んで健康の増進や体力の向上を図ることができるように、健康・安全教育を計画的・組織的に推進する。
- ④ 学級経営の充実を図り、教師と児童、児童相互の望ましい人間関係を築き、豊かな体験活動や触れ合い活動を通して、互いに認めあい、学び合い、他を思いやる心を育てる。
- ⑤ 家庭・地域との連携を深め、より開かれた学校を目指すとともに、地域の文化や伝統及び環境問題への理解を深め、国際社会に生きる日本人としての自覚と責任感を養う。
- ⑥ 教師一人一人が研修に努め、より緊密な協働体制を確立する。
- ⑦ 学校週5日制の拡大にあたり、児童がより主体的に自己の生活時間を見直す一方、人や自然との体験的関わりを深め、より豊かな感性と高い自律性を培うことができるよう支援する。

## 5. 本年度の指導の重点

### (1) 各教科、道徳、特別活動

#### ア. 各教科

- 地域素材の教材化・活用等を行い、児童一人一人の学習への興味・関心を高め、自ら進んで学習に取り組むことができるよう、自主的な学習態度を育てる。
- 一人一人の個性や能力に応じた学習の指導法を工夫し、各教科の基礎的・基本的な内容を身に付けさせるとともに、発表の場を確保し表現力の向上に努める。
- 地域や学校の特性を生かし、生活科をはじめ、各教科を通して豊かな体験的学習・問題解決的学習を系統的に行い、学ぶことの楽しさや達成感を体得させる。

#### イ. 道徳

- 思いやりの心を持ち、相手の立場に立って考え、行動できるなど道徳的实践力を全教育活動を通して育てる。
- 各教科の指導や生産体験学習、生き物との触れ合い等を通して、自他の生命や人格を尊重し、自然を愛し、美しいものに感動する豊かな心を育成する。
- 勤労の尊さを理解させ、学校や地域への奉仕の気持ちを深め、進んで働く態度を育成する。

#### ウ. 特別活動

- 児童の発想や創意を生かし、自ら進んで活動し、集団の一員としての自覚を持ち学校生活を充実・向上させていこうとする態度を育てる。
- 自分の生活を見つめ、進んで考え、自ら責任を果たそうとする態度を育てる。
- 地域社会や自然と関わり、触れ合える活動を多く経験させ、進んで学校や地域に奉仕する態度を育成する。
- 自分の特性を知り、学校生活で進んでそれを生かし、更に伸ばそうとする積極的な態度を育てる。

### (2) 特色ある教育活動

- 地域の豊かな自然や広い校地を活用し、児童の創意を生かした異学年活動を行い、地域の人々や児童相互の好ましい人間関係を育み、児童が自ら進んで考え行動できる教育活動を推進する。
- PTAや地域の人々との協力のもと、休耕田・花壇等を活用した生産体験活動や奉仕活動に進んで取り組ませ、生き物を育てる楽しさ、大切さを知らせ、勤労意欲や豊かな心を育成する活動を積極的に進める。

### (3) 生活指導・進路指導

#### ア. 生活指導

- 全教育活動を通して、進んで学校生活のきまりを守り、話を聞く態度を育てるとともに、児童が安全で明るく健康な活力ある学校生活を送ることができるように努める。

- 組織的な指導体制を確立し、一人一人の児童の生活上の問題点を把握し、きめ細かい指導を行うとともに、他の教育機関との連携・協力を推進する。
- 児童各自に生活時間を見直させ、より計画的で有効な時間の使い方を指導する。

4. 進路指導

- 児童一人一人が自分の個性を自覚し、進んでそれを生かし、将来への高い目標を持って学校生活を送れるよう努力する。

6. 本年度の研究主題

「一人ひとりが生き生きと学習に取り組む指導法の研究」

7. 本校の特色

- (1) 地域の学校としての立場を強く自覚し、その期待にいつそう応え得る学校の創造を目指す。
- (2) 本年度の重点目標である「考える子ども」の育成を目指し、教職員はもちろん、家庭との相互理解による連携を強め、PTA・地域との協力などを密にして教育を推進する。
- (3) 児童一人ひとりが個性を発揮し、生き生きと積極的に活動する活力に満ちた教育が行われるように充実した校内研究を推進する。

8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No.	研 究 員	開 発 委 員
1	武内 忠雄（52・体育）	武内 忠雄（59・体育）
2	高木 宏（63・特活）	
3	渡辺 知子（平5・学校保健）	



学 校 名 日 野 市 立 三 沢 台 小 学 校  
 所 在 地 日 野 市 百 草 896-1  
 電 話 0425-92-2351・2352  
 順 路 京 王 線 百 草 園 駅 下 車 徒 歩 15 分  
 児 童 数 男 150 名 女 133 名 計 283 名

校長氏名 飯 田 國 代

教頭氏名 佐 藤 静 雄

1. 沿革の概要

- |       |       |   |       |        |                              |
|-------|-------|---|-------|--------|------------------------------|
| 昭 55. | 4. 1  | 開校 日野第八小より分離<br>児童数 666 名(男 319 名 女<br>347 名)、教職員 34 名で発足 | 昭 63. | 3. 25  | 第 8 回卒業式 104 名卒業             |
|       | 4. 7  | 第 1 回入学式 111 名入学  |       | 4. 6   | 第 9 回入学式 55 名入学<br>学級数 13    |
|       | 6. 10 | プール完成   |       | 9. 1   | 体育館舞台照明設備工事完了                |
|       | 8. 4  | 体育館完成   | 平元    | 3. 25  | 第 9 回卒業式 79 名卒業              |
|       | 9. 1  | 校庭使用開始(芝生、アンツー<br>カーの運動場)                                 |       | 4. 6   | 第 10 回入学式 67 名入学<br>学級数 12   |
|       | 9. 10 | 市主催による落成式   | 平 2.  | 3. 24  | 第 10 回卒業式 89 名卒業             |
| 昭 56. | 2. 10 | 校歌・校章発表会<br>開校記念日とする                                      |       | 4. 6   | 第 11 回入学式 52 名入学<br>学級数 12   |
|       | 3. 25 | 第 1 回卒業式 126 名卒業  |       | 8. 24  | 体育館床張替え工事完了<br>AV 放送器機設置     |
|       | 4. 6  | 第 2 回入学式 114 名入学<br>学級数 18                                | 平 3.  | 2. 1   | ランチルーム設備充実                   |
|       | 9. 22 | 校庭改修工事完了(ダスト舗装に)  |       | 2. 9   | 創立十周年記念式典<br>父母の会より記念品贈呈(遊具) |
| 昭 57. | 3. 25 | 第 2 回卒業式 125 名卒業  |       | 3. 25  | 第 11 回卒業式 79 名卒業             |
|       | 4. 6  | 第 3 回入学式 90 名入学<br>学級数 17                                 |       | 4. 6   | 第 12 回入学式 50 名入学<br>学級数 12   |
| 昭 58. | 3. 25 | 第 3 回卒業式 110 名卒業  | 平 4.  | 3. 25  | 第 12 回卒業式 77 名卒業             |
|       | 4. 6  | 第 4 回入学式 66 名入学<br>学級数 16                                 |       | 3. 31  | 鳥小屋・砂場・畑新設                   |
| 昭 59. | 3. 24 | 第 4 回卒業式 110 名卒業  |       | 4. 6   | 第 13 回入学式 41 名入学<br>学級数 12   |
|       | 4. 6  | 第 5 回入学式 82 名入学<br>学級数 16                                 | 平 4.  | 8. 31  | ランチルーム改修工事完了                 |
| 昭 60. | 3. 25 | 第 5 回卒業式 117 名卒業  |       | 8. 31  | 音楽室防音工事完了                    |
|       | 4. 6  | 第 6 回入学式 68 名入学<br>学級数 15                                 |       | 9. 3   | 生ごみ分解消滅機使用開始                 |
|       | 6. 28 | 音楽室冷房設備工事完了   | 平 5.  | 3. 20  | 桜、梅の苗木を植樹                    |
| 昭 61. | 3. 25 | 第 6 回卒業式 131 名卒業  |       | 3. 25  | 第 13 回卒業式 56 名卒業             |
|       | 4. 7  | 第 7 回入学式 79 名入学<br>学級数 14                                 |       | 4. 6   | 第 14 回入学式 47 名入学<br>学級数 12   |
| 昭 62. | 3. 25 | 第 7 回卒業式 119 名卒業  | 平 5.  | 9. 30  | 暖房機工事完了                      |
|       | 4. 6  | 第 8 回入学式 60 名入学<br>学級数 13                                 |       | 12. 24 | 雨水利用設備工事完了                   |
|       |       |   | 平 6.  | 3. 25  | 第 14 回卒業式 61 名卒業             |
|       |       |   |       | 4. 6   | 第 15 回入学式 48 名入学<br>学級数 12   |

平 7. 2. 4 開校 15 周年記念コンサート  
3. 25 第 15 回卒業式 69 名卒業

4. 6 第 16 回入学式 37 名入学  
学級数 11

## 2. 歴代校長

氏 名	年月～年月	氏 名	年月～年月
初代 深尾 眞	昭 55. 2 ～昭 59. 3	四代 西田 敦子	平 2. 4 ～平 7. 3
二代 松日楽敬治	昭 59. 4 ～昭 62. 3	五代 飯田 國代	平 7. 4 ～現 在
三代 福地 保	昭 62. 4 ～平 2. 3		

## 3. 地域の環境

本校は日野市東南端に位置し、多摩丘陵の頂きを開発した住宅街（西武・日本信販）の中心にあり、北は日野市、立川市方面、南は八王子市、多摩市及び多摩ニュータウンが一望できる。東は百草園の雑木林に囲まれ、自然に恵まれているうえ、静かな住宅環境でおちついている。

## 4. 教育目標

### (1) 学校の教育目標

人間尊重の精神を基調に、国際社会において心豊かにたくましく生きる人間の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

一、すすんで学ぶ子

一、明るく思いやりのある子（重点目標）

一、よく考え行動する子

一、からだをきたえる子

### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア、自ら学ぶ意欲を高め、柔軟な思考力、豊かな創造力・表現力を育てるとともに学ぶことの楽しさや喜びを体得させる。

イ、自尊と敬愛の心を育て、明るい希望をもち、心豊かに生活できるよう指導・援助する。

ウ、自ら考え正しく判断し、行動できるよう主体性と実践する力を育てる。

エ、生命を尊重し、自ら進んで健康の増進と体力の向上をめざすとともに、運動に親しむ態度や能力を育てる。

オ、安全で美しい教育環境を整え、家庭や地域との連携を深め、学校相互の連携や交流を図る。また、教師自ら研修に励むとともに校内研究を充実させ識見と指導力を高め、創意ある教育を推進する。

カ、学校週 5 日制の導入により、子どもの学習負担が増大したり、教育水準が低下しないよう指導計画及び指導方法を工夫する。

## 5. 本年度の指導の重点

### (1) 各教科、道徳、特別活動

#### ア、各教科

児童が自ら考え、課題に向かって主体的に取り組めるよう指導法の開発に努め、生涯にわたって学ぶ力の基礎を培う。

○児童の学習への意欲や関心を高めるために、体験的な活動を重視した学習指導の工夫に努める。

○学習のねらいと評価の観点をはっきりさせ、計画的な学習をすることにより児童の基礎学力の定着を図る。

○教材、教具の効果的な活用を図り、学習効果の向上に努める。また、地域の素材を教材化し学習の中に生かす。

○複数の教員がチームをつくり個に応じた指導の充実をめざす。

イ. 道徳

- 生命の尊重を基調に明るく思いやりの心もち、たくましく生きる子を育てる。
- 望ましい行動様式を身につけさせ、節度と協調性のある子を育てる。

ウ. 特別活動

- 児童の主体的な活動を重んじ、個性や能力の発見と育成に努める。
- 異年齢組織などを活用して児童相互の交流を深め、協力して落ち着いた活力のあるよい校風づくりにはげむ態度と実践力を育成する。

(2) 特色ある教育活動

- 異年齢児童のふれあいの場を多くし、児童相互、児童と教師の交流をさかんにする。
- 校内、校外での奉仕活動を通し、勤労の大切さを育み、併せて学校と地域との連携を深める。
- 自然をいつくしむ心を育てると共に、環境の改善に働きかける実践力を育てる。
- 児童の遊びを豊かにし、創造性を育み心身の調和のとれた発達の基礎を培う。
- 我が国の文化や伝統についての理解を深めるとともに、世界の人々の生活や文化に対する理解を深め、尊重する態度を育てる。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 楽しい学校生活が送れるように、全教育活動を通じて、人間として調和のとれた豊かな心を育てる。
- 集団としての規律を理解させ、基本的生活習慣の徹底を図る。
- 児童の豊かな人間性を培うために 正しい、美しい、温かい 言葉で話すことができるようにする。
- 家庭・地域との連携を深め、安全指導、健全育成の手立てに万全を期す。
- 心身に障害のある人たちとの交流を深め障害に対する理解を図る。

イ. 進路指導

- 児童一人一人の特性を生かし、個別指導を一層徹底し生涯学習を指向する基礎作りを目指す。
- 各教科、道徳、特別活動との関連を密にして、職業や勤労に対する正しい理解と判断力を育て、労働や奉仕することの大切さを体得させる。
- 海外から帰国した児童については、学校生活への適応を図るとともに、外国における経験を生かすなど適切な指導に努める。

6. 本年度の研究主題

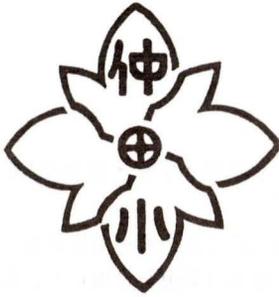
「豊かな心を持ち、進んで実践できる児童の育成」を目指す指導法の研究 教科 国語

7. 本校の特色

子どもたちの「心のふるさと」となる地域と一体化した学校づくりをめざす。このため全教職員の創意を生かし、子どもと共に遊び、働き学ぶ教職員の後姿から教育実践の効果を高めていく。

8. その他（教職員の研究歴）

№	内訳	都・文部省委員	研 究 員
1		飯田 國代（61. 都研究奨励費）	飯田 國代（60. 特活）
2			佐藤 静雄（H2. 社会）
3			茂木 敏光（H6. 教育課題）



学 校 名 日野市立仲田小学校  
 所 在 地 日野市日野本町6-1-74  
 電 話 0425-81-8511・8512  
 順 路 中央線日野駅下車 徒歩12分  
 児 童 数 男153名 女139名 計292名

校長氏名 中村孝一

教頭氏名 森野豊

### 1. 沿革の概要

本校は、日野第一小学校及び日野第四小学校の教室不足の解消、危険な道路を横断しない安全通学と、当地域の将来の発展を見越して、日野第一中学北側の国有地「日野第一桑園」跡地と一部買収私有地に新設された学校である。

- 昭58. 3. 30 仲田小学校新設のための市条例一部改正を市議会が可決
6. 22 現在地に建設着工
- 昭59. 2. 1 初代校長 山口武彦就任
4. 1 開校
4. 6 第1回入学式
5. 23 校庭・プール竣工
7. 31 体育館竣工
10. 12 市主催落成式挙行
11. 12 校歌・校章披露式挙行
- 昭60. 3. 25 第1回卒業式
- 昭61. 3. 25 第2回卒業式
- 昭62. 3. 25 第3回卒業式
4. 1 2代校長 岩下和夫就任
- 昭63. 3. 25 第4回卒業式
11. 21 開校五周年記念式典
- 平成. 3. 25 第5回卒業式
- 平 2. 3. 25 第6回卒業式
- 平 3. 3. 25 第7回卒業式
- 平 4. 3. 25 第8回卒業式
4. 1 3代校長 中村孝一就任
4. 6 第9回入学式
- 平 5. 3. 25 第9回卒業式
4. 6 第10回入学式
3. 25 第10回卒業式
- 平 6. 4. 6 第11回入学式
- 平 7. 3. 25 第11回卒業式
- 平 7. 4. 6 第12回入学式

### 2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
山 口 武 彦	昭59. 2. 1 ~ 62. 3. 31
岩 下 和 夫	昭62. 4. 1 ~ 平4. 3. 31
中 村 孝 一	平 4. 4. 1 ~ 現在

### 3. 地域の環境

本校の学区域は、日野市の北部に位置し、東と南に甲州街道(国道20号線)、西にJR中央線、北に多摩川にかこまれた、ほぼ長方形に近い地域である。

この地域は、江戸時代以来甲州街道日野宿として栄えてきた。近年、多摩川沿いの水田を埋め立てて宅地化が進行している。したがって、古くから居住している人々、比較的新しく移住してきた人々などが混在している。

本校は、この地域の中央部北寄りの旧農林省蚕糸試験場(日野第一桑園)跡地にたてられ、周囲は、仲田緑地や多摩川という自然の美しい環境が残されている。

仲田は、この付近の古い字名で、本校名もこれによったものである。

### 4. 教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身ともに健康で知性と感性に富み、人間性豊かな児童の育成を目指し、次のように教育目標を設定する。

#### ○すすんで学ぶ子

自ら学ぶ意欲を高め、社会の変化に対応できる力を育てる。

#### ○からだをきたえる子

自ら進んで健康の保持・増進や体力の向上を図る能力と態度を育てる。

#### ◎思いやりのある子

生命尊重を基盤とし、人間性を尊重し、人格を尊重する、豊かな心を育てる。

#### ○最後までやりぬく子

困難や障害を乗り越えて自己実現を目指す、たくましく生きる力を育てる。

## 5. 本年度の重点

### (1) 各教科、道徳、特別活動

#### ア. 各教科

- 「思いやりのある児童」の育成を目指し、全教育活動を通して、自然・生物・周りの人に対する豊かな心情を養うとともに、環境を大切にすることを育てる。
- 各教科の特性を踏まえて、学習集団の編成・活用を図るなど個に応じた指導を重視する。特に、児童が喜んで楽しく学習し、自ら基礎・基本を身に付けていく授業の実現を目指して、指導方法の工夫・改善に努める。

#### イ. 道徳

- 社会の一員としての自覚を高め、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、自他を尊重する心情及び態度を育てる。
- 常に目標や希望をもち、その達成を目指して、最後まで根気強くやりとげる意志と態度を養う。

#### ウ. 特別活動

- 児童の主體的な活動を促し、諸行事や学級活動を推進する。特に集会活動の充実を図る。
- 学級活動の指導計画を見直し、内容や方法を検討し、実践力を高める。

### (2) 特色ある教育活動

- 人権尊重教育推進校として、研究活動を継続し、その充実を図る。
- 学校週五日制を月2回実施しても、学校裁量の時間を教育課程に位置付け、保護者や地域の人々とともに活動する体験的な活動を実施する。

### (3) 生活指導・進路指導

- 生活指導目標の達成を目指して、学校生活における基本的な生活習慣の定着を図るとともに、学校週五日制の月2回実施を踏まえて、地域・家庭での生活体験などの成果を学校の教育活動に生かす。
- 学級での指導を中心にしながらも、教育相談；生活指導職員会議・朝会等を通し；児童理解に努め、カウンセリング・マインドに徹した個別指導を行う。
- 一人一人の児童の能力・適性を捉え、将来を見通した個性の伸長を図る。
- 学級における係活動などを通して、自主的な活動意欲を高める。

## 6. 本年度の研究

### (1) 研究主題

「お互いを認め合い、高め合う子の育成」

### (2) 研究教科

「道徳」「社会科」他

### (3) 研究内容

#### ① 基本的方向

- 道徳・社会科他研究領域として、上記主題を追究し、本年度の重点教育目標「思いやりのある子」の具現化を図る。
- 昨年度までの研究及び課題を踏まえて実践し、定着を図るとともに、期待される児童像をさぐる。
- 人権尊重教育推進校6年目を踏まえ「一人一人を大切にしたい指導」により、思いやりのある児童を育てる。

#### ② 研究方法

- 講演及び教材研究を通して、学習指導要領の趣旨、内容の理解を深める。
- 授業研究を通して、指導内容・方法を実証していく。
- 研究推進委員会の計画・推進により、校内を三分科会に分けて進める。
- 研究教科の教材・資料図書の充実を図るとともに、教育環境の整備に努める。

## 7. 本校の特色

本校は、開校 12 年目を迎えた教職員の意欲と児童の活力にあふれる学校である。

### (1) 恵まれた自然環境

本市の北東部に位置する学区は、緑豊かな仲田緑地や、流れも清き多摩川など、美しい自然に囲まれている。また学校の前には、樹齢 100 年に達する大ケヤキやイチョウがそびえ、四季おりおりの景観が子供たちの心をはぐくんでくれる。

### (2) あいさつが上手な明るい子

本校の子供たちは、すこぶる明るく、素直である。来客者は口をそろえて、「この学校の子供たちはあいさつが上手ですね」とほめてくれる。

あいさつは、心と心を結ぶ最高の手段であり、好ましい人間関係の形成に役立つ。豊かで明るい学校生活を過ごすために、あいさつは不可欠なものであり、全校で取り組んでいる。

### (3) 研究熱心な教職員

本校では、「お互いを認め合い、高め合う子の育成」をテーマに、昨年度までの研究の成果を生かし、道徳・社会科他、を通して更に一層の飛躍・深化に努めている。

また用務員は、庭木の剪定の時期を研究したり、事務職は廉価で品質のよい物品購入に心がけ、調理員は、子どもの側に立った味付けなどを絶えず研究している。

### (4) 協力的な地域の方々

本校を取り巻く地域は、「日野宿」跡地に象徴されるように、大変歴史の古い所である。それだけに貴重な遺産や資料がたくさんある。以前、開校五周年記念の資料集を作成するため、地域の方々に資料提供を要請したところ、驚くほど多くの資料や古文書を寄せてくれ、また古老から、昔の話を十分聞かせていただいた。昨秋、十周年記念行事を地域の協力のもと実施し連携を深めた。

## 8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	中村 孝一(52.社 会)	八木 正子( 5. 生活科)	和田いさを( 53.教育方法)
2	中村 孝一(58.教育課題)		
3	岩崎 英夫(元.体 育)		
4	植松久美子( 2. 国 語)		
5	八木 正子(2. 教育課題)		
6	雨宮 宣夫(6. 教育課題)		
7	小山しおり(7. 社会科)		



学校名 日野市立日野第一中学校  
 所在地 日野市日野本町 7-7-7  
 電話 0425-81-0009・0261  
 順路 JR日野駅下車 徒歩10分  
 生徒数 男335名 女298名 計633名

校長氏名 松澤茂久

教頭氏名 石川光男

### 1. 沿革の概要

- 昭22. 4. 30 公立中学校として設置許可、日野中学校と称する。
- 昭24. 4. 1 校歌制定
- 昭29. 4. 1 校名を日野第一中学校と改称
- 昭37. 9. 17 新校舎（鉄筋防音）落成
- 昭38. 9. 9 プール落成
- 昭39. 5. 1 特別教室落成
- 昭41. 7. 1 体育館落成式
- 昭42. 11. 4 創立20周年記念式典挙行
- 昭48. 3. 10 校舎増築（普2、特別2）
- 昭52. 11. 4 30周年記念、校歌刻字の記念碑
- 昭55. 4. 1 大坂上中新設に伴い学区縮小
- 昭59. 3. 31 給食棟増築（食堂1、特別2）
- 昭59. 6. 4 学校給食開始
- 昭62. 11. 7 創立四十周年記念式挙行
- 平 2. 9. 3 校庭整備工事
- 平 3. 10. 25 柔道室改築
- 平 4. 2. 24 コンピュータ室工事

### 2. 歴代校長

氏名	年月～年月
町田 勘之助	昭22. 4～25. 9
飯塚 節三	昭25. 10～37. 3
大沢 彰	昭37. 4～40. 3
大沢 量作	昭40. 4～45. 3
安部 達郎	昭45. 4～49. 3
東 恭朝	昭49. 4～53. 3
松延 耕作	昭53. 4～57. 3
小林 節夫	昭57. 4～59. 3
奥村 節生	昭59. 4～63. 3
高橋 豊彦	昭63. 4～平元. 1
宮本 裕子	平元. 2～平6. 3
松澤 茂久	平 6. 4～現在

### 3. 地域の環境

日野市の東部、多摩川と浅川の合流する第四紀沖積層の低地に当り、水の便よく水田が発達し、甲州街道ぞいの宿場町として栄えてきた。

近年、郊外の住宅、アパート、工場、特に中小企業、家内工業、商業が多く、近郊農業も見られる。

### 4. 教育目標

(1) 一人一人を尊重し、心理と平和を求める社会の形成者として、世界に開かれた人間の育成を目指し、次の目標を定める。

- 一、自ら考え、学びつづける人（主体性）
- 一、協力し、全体につくす人（連帯性）
- 一、心豊かで、思いやりのある人（人間性）
- 一、進んで、心身をきたえる人（健康）

(2) 教育目標を達成するための基本方針

- ① 生徒一人一人の個性や能力を生かし、基礎・基本を重視した分かりやすい授業の実践と指導の工夫により、自ら学ぶ意欲と柔軟で豊かな思考力・創造力を育て、主体的に考え、判断、行動できる能力を育成する。
- ② 生徒に学級・学年・学校、さらに地域社会の一員としての自覚を促し、集団の一員としてよりよい生活を築こうとする自主・自律的態度、地域から学ぼうとする心情や人々との連帯感、郷土愛を培う。また、校内や地域の美化活動・奉仕活動から環境改善への意欲を育む。
- ③ 人権尊重の精神を培い、常に国際的視野をもち、一人一人の生徒の成長・発達と自己実現を図る人間性豊かな教育を徹底する。
- ④ 生徒が生命を尊び、健康で明るく活力のある生活を送るため、生涯にわたって運動に親しむことができるよう体育の充実を図り、健康の保持増進と体力の向上を図る能力・態度を育成する。また、性に関する理解を深めるための指導を充実する。
- ⑤ 学校5日制に伴い、指導方法の工夫・改善に努めると共に、家庭や地域社会との連

携を一層深め、地域との連帯感、地域との帰属意識を培い、開かれた学校教育を進める。

## 5. 指導の重点

### (1) 各教科、道徳、特別活動

#### ア. 各教科

- 基礎・基本を重視したわかりやすい授業の実践により、基礎学力の充実を図り、生徒自ら学ぶ意欲を培う。
- 学校5日制をふまえ、授業時数の確保と教材の精選に努める。
- 理科・保健体育科におけるティームティーチングの導入や選択教科の充実により、個に応じた指導法の工夫を進める。
- 体験学習、問題解決的学習、地域素材を生かした学習や学校図書館、視聴覚教材、教育機器を活用した学習を充実し、生徒の興味・関心・意欲を伸長させるとともに、情報を選択し活用する能力を高める。

#### イ. 道徳

- 道徳の時数確保と教育活動全体を通して、組織的・計画的・継続的な指導に努める。
- いじめや差別・偏見を排除し、人権尊重精神に基づき、思いやり、認め合い、支え合う心と態度を育てる。
- 地域や社会の一員として、社会規範を身に付け、自主的判断のもとに責任ある行動が取れる道徳的实践意欲と態度を培う。
- 他領域、特に進路指導との関連を図りながら、各学年の発達段階に応じて、生き方・在り方などの指導を充実し、豊かな心を育てる。

#### ウ. 特別活動

- 教師と生徒、生徒相互の心の触れ合いを深め、信頼関係を確立する。
- 小集団を基礎に、個人の自発性や個性を啓発し、学級集団の質を高める。
- 生徒会活動や部活動を充実させ、生徒の自主的活動力と一人一人の個性・能力の伸長を図る。
- 学校行事を通して体験的な活動を促進し、成就感が意欲につながるような指導に努め、合わせて集団への所属感を深めさせる。

### (2) その他の活動

サンフラワー中（学習・心身・環境）を合い言葉に、落ち着きと潤いのある学校生活を築くため、次の環境教育や社会性を育む教育、並びにボランティア協力校としての活動を推進する。

- 清掃・美化活動の徹底を図り、心豊かな教育環境を醸成する。
- クリーンフェスティバル、花と緑のある学校づくり、古切手・アルミ缶集め、ユニセフ募金等の体験的・勤労的・奉仕的な活動を通して、心豊かな社会性を育む。

### (3) 生活指導・進路指導

#### ア. 生活指導

- 生徒の規律ある充実した学校生活の確立と基本的な生活習慣の徹底を図り、社会の一員としての自覚を高め、社会規範を守る態度を育てる。
- 生徒指導の共通理解・共通実践に努め、職員が一枚岩となって取り組む生徒指導態勢を確立する。
- あいさつや朝会等の集会指導の充実により、集団行動の質的向上を図る。
- 教育相談室を活用し、生徒理解を深めるとともに、生徒一人一人の内面に迫る個別指導の徹底を図る。
- 保護者、地域、小学校、関係機関等と緊密な連携を図り、生徒の健全な育成に努める。

#### イ. 進路指導

- 一人一人の生徒が自己理解を深め、将来にわたる生き方を考え、主体的に進路を選択する能力

と態度を育てる。生徒進路の選択に当たっては、生徒の能力・適性・希望等に基づいて適切に助言・援助を行う。

- 3年間を見通した全体計画に基づき、組織的・計画的・継続的な指導を行う。
- 学級活動における進路指導の時間を確保し、充実に努める。
- 職場訪問・職業調べ・留学生の話聞く会・上級学校調べ・卒業生の話聞く会・高校の先生の話聞く会等体験的な学習を通して、生きた進路情報を習得させ、適切な進路選択能力を育てる。

#### 6. 本年度の研究主題

- ① 進路指導と関連した道徳教育のあり方
- ② 生徒の活力を引き出す指導のあり方

#### 7. 本校の特色

次のことを、組織的な活動のもとに推進する。

サンフラワー 一中

- 学・心・体の力
- 美しい環境

#### 8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	開 発 委 員	道徳助言研
1	松澤 茂久（59. 特 活）	石川 光男（60. 保 体）	荒 延江（61）
2	石川 光男（46. 保 体）	山田 智之（7. 美 術）	清水 肇（2）
3	吉田 俊明（63. 教育課題）		
4	岸 隆男（63. 国 語）		
5	浅野 和也（2. 教育課題）		
6	清水 肇（3. 特 活）		
7	千葉 英明（4. 教育課題）		
8	沢田 陽子（5. 英 語）		
9	菅野 武（5. 保 体）		
10	鈴木 直也（5. 保 体）		
11	山田 智之（6. 教育課題）		



学 校 名 日野市立日野第二中学校  
 所 在 地 日野市多摩平 4-5-2  
 電 話 0425-81-0056・0262  
 順 路 中央線豊田駅下車 北へ徒歩 10分  
 生 徒 数 男 291名 女 272名 計 563名

校長氏名 日 食 和 雄

教頭氏名 太 田 俊 彌

1. 沿革の概要

昭 29 年度 設立認可、開校式、入学式  
 (生徒 200 名)  
 第二期工事八教室増築落成  
 昭 31 年度 第三期工事竣工落成  
 昭 32 年度 第 1 回卒業式(卒業生 204 名)  
 昭 33 年度 校旗・校歌制定  
 昭 34 年度 産業教育研究校に指定される  
 昭 35 年度 特別教室(工作、調理、理科)  
 竣工落成  
 昭 36 年度 第二期特別教室竣工  
 産業教育研究発表会、修学旅行  
 研究発表会  
 昭 37 年度 プール竣工落成  
 昭 38 年度 保健体育研究発表会  
 昭 39 年度 普通教室 3 教室竣工、創立 10  
 周年記念式典挙行  
 昭 40 年度 体育館竣工  
 昭 41 年度 防音校舎第一期工事完成(6教室)  
 昭 42 年度 防音校舎第二期工事完成(18 教  
 室)、プール用更衣室工事完成  
 昭 43 年度 南校舎前、境栽花壇完成  
 体育倉庫と校庭用便所完成  
 昭 48 年度 創立 20 周年記念式典挙行  
 昭 49 年度 南校舎 3 階塗装。技術科教室及  
 同準備室改造整備。中庭・他整備  
 昭 50 年度 南校舎 6 教室増設、南校舎 2 階  
 塗装  
 昭 51 年度 理科室、家庭科調理室、机、床整備  
 昭 52 年度 体育館照明工事、暗幕完成  
 校舎電気配線整備  
 昭 55 年度 第二技術室の新設  
 昭 56 年度 北校舎内部塗装工事、校長室・  
 事務室の床張替え工事  
 昭 57 年度 南校舎窓枠改修工事。プールサイド  
 改修工事。体育館床塗装工事

昭 59 年度 創立 30 周年記念式典挙行  
 昭 60 年度 給食棟建設工事着工  
 昭 62 年度 給食始まる  
 南校舎内部塗装工事  
 昭 63 年度 南校舎内部塗装工事  
 体育館西側舗装工事  
 健全育成相談室設置  
 平 元 年度 南校舎二階廊下改修塗装  
 青桐祭(文化の部)市民会館で  
 挙行  
 平 2 年度 体育館、床、壁、更衣室等改修  
 被服室、理科室の床改修  
 平 3 年度 コンピューター室新設  
 平 4 年度 南校舎一階廊下天井改修  
 北校舎階段張替え工事  
 北校舎二階トイレ改修  
 平 5 年度 南校舎二階教室天井改修  
 南校舎昇降口 1.2 階戸改修  
 北校舎廊下手すり新設  
 (第二音楽室)  
 平 6 年度 南校舎一階教室天井改修  
 金工室前廊下天井改修  
 南校舎二階トイレ改修

2. 歴代校長

氏 名	
橋 本 貴 一	昭 29. 3. 1~30. 9. 30
増 山 恒	昭 30. 10. 1~41. 3. 31
飯 田 栄 一	昭 41. 4. 1~46. 3. 31
河 村 俊 一 郎	昭 46. 4. 1~48. 3. 31
飯 田 卯 吉	昭 48. 4. 1~51. 3. 31
小 林 政 之 助	昭 51. 4. 1~55. 3. 31
渡 辺 吉 彦	昭 55. 4. 1~59. 3. 31
小 林 節 夫	昭 59. 4. 1~63. 3. 31
大 野 隆 久	昭 63. 4. 1~平 6. 3. 31
日 食 和 雄	平 6. 4. 1~ 現 在

### 3. 地域の環境

学区は3,000世帯を収容する多摩平公団住宅を中心に、日野五社を中心としたサラリーマンの住宅地として発展したベッドタウンの中央に位置している。

### 4. 教育目標

人間尊重の精神を基本とし、民主的な社会の形成者として、たくましく実践力のある人間をめざし、

- (1) 健康なからだと自主的精神を養う。
- (2) お互いに尊敬し合い、奉仕の態度を育てる。
- (3) 高い知性と豊かな情操を養う。

自ら学習に励む人になろう 思いやりの心で他に尽す人になろう 進んで心身を鍛える人になろう
--

### 5. 指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア 各教科

年間指導計画を基に、指導内容の充実・精選及び、指導方法の工夫改善につとめ、基礎基本の充実を図り、ゆとりある学習を通して自主学習を促進し内発的意欲、主体的学習態度の育成を図る。

また、指導方法の改善のひとつとして、理科においてチームティーチングを実行し、授業の効果を高める。

##### イ 道徳

日常の教育活動全体を通して、組織的・計画的に内容の重点化を図り、学校生活全般において自主的判断のもと、責任ある行動がとれる豊かな道徳性の育成に努める。

また、人権尊重教育の立場から学校の教育活動全体を通して、

- ① 互いに認め合い、励まし合う態度を育む。
- ② 『人の命の尊さ』を学ばせる場面を設定する。
- ③ 偏見や差別の根絶に努める。

##### ウ 特別活動

学年・学級の諸活動を基盤に、生徒会活動など集団活動を通して、自主性・協調性・奉仕性等を養う。

特に、生徒会活動においては環境教育の一環として、リサイクル運動を發展させ、よりよい環境の創造活動に主体的に参加させる。

部活動の種類や内容の充実を図ることによって、生徒の活動意欲を促進し、学校生活の活性化を図る。

#### (2) その他の活動

小集団を基に学級・学年・生徒会の活動の中で、個々の自発性を促し、生徒集団の質を高める。行事や諸活動を充実させ、活発な活動を促進することによって生徒自身の参加の意欲を高め、主体性・協調性・創造性の伸展を図る。

地域に根ざした学校教育を推進するために、生徒が地域の自然や文化を愛し、地域から学ぼうとする心情を育む。

#### (3) 生活指導・進路指導

##### ア 生活指導

教師と生徒、生徒相互の人間関係を深めることによって、基本的生活習慣を身につけさせ、自ら正しく判断し、実践していく能力を養う。

問題行動の指導は、共通理解に基づき一致した指導を継続・徹底するとともに、ゆとりを持って自己教育力、自ら正す力の育成を図る。

上記の目的を達成させる手段として、教育相談を進め、生徒一人一人を理解することによって、指導・助言を行う。

#### イ 進路指導

教師・生徒・保護者の交流を促進し、発達段階に応じた指導をすすめ、自己の個性や適性の伸長を図り、正しい職業観を育成し自らの進路を選択できる能力を高める。

進路学習として次のことを学級活動時に行う

第1学年 …… 『自己を知る』『職業調べ』

第2学年 …… 『上級学校』

第3学年 …… 『高等学校等の受験』

#### 6. 本年度の研究主題

「人の命の尊さ」を学ばせる為の指導法の研究

#### 7. 本校の特色

日野市最大の多摩平第1公園に接し多摩平団地のほぼ中央に位置し、けやき、白かし、くぬぎ、こなら、赤松、ゆりの木等々の木々に囲まれ、自然環境は良好である。広い校庭は桜に囲まれ、体育系のクラブ活動は活発で優秀な成績を上げている。都の愛鳥モデル校にも指定されており、生徒も自ら小鳥・小動物の飼育を行い、情操面の高揚も見られる。青桐祭（運動会・文化祭）も16年目を迎え定着してきた。年2回実施される生徒会主催の球技大会、合唱祭は、学級のまとまりを強めるとともに、生徒の自主性を育てている。特に青桐祭を通して生徒の誇りと二中の特性の育成に努める。

#### 8. その他（教職員の研究歴）

内訳 No	研 究 員	開 発 委 員
1	小 島 俊 子 （6. 研究美術）	倉 橋 延 男 （5. 開発社会）
2	田 中 幸 美 （7. 研究音楽）	秋 庭 英 子 （7. 開発家庭）



学 校 名 日野市立七生中学校  
 所 在 地 日野市南平 6-7-1  
 電 話 0425-91-0174・0175  
 順 路 南平駅(京王線) 下車徒歩 8分  
 豊田駅(J R) 下車徒歩 18分  
 生 徒 数 男 272(5・3) 女 197(6・1) 計 469(11・4)  
 ( )内は心障・相談学級の生徒数

校長氏名 名塚三雄

教頭氏名 片倉俊秀

1. 沿革の概要

- 昭 22. 4. 1 学制改革により七生村立中学校を役場庁舎内に設置
- 5. 15 七生村役場を仮校舎として開校式挙行 2部授業で発足
- 昭 23. 2. 15 七生村南平 1994 番地に七生中学校敷地決定、地鎮祭を挙行
- 9. 4 新校舎完成、当日より授業開始
- 昭 32. 12. 1 P T A 結成第 1 回総会を挙行 創立十周年の記念式典及び校歌制定の発表を挙行
- 昭 33. 2. 1 日野町立七生中学校と校名変更
- 昭 37. 7. 31 プール開きを挙行
- 昭 37. ~ 39 鉄筋 3 階 3 教室・6 教室完成
- 昭 41. 7. 1 体育館落成
- 昭 42. 11. 33 創立二十周年記念式典挙行
- 昭 45. 3. 31 鉄筋防音校舎 9 教室完成
- 4 ~ 9 七生中学校に三申分校設置
- 昭 46. 3. 31 第二期防音鉄筋校舎完成
- 8. 24 プール浄化装置・更衣室完成
- 昭 47. 3. 20 観察用水槽完成
- 5. 22 訪問学級開級式
- 昭 50. 5. 22 南校舎西側(4階)増築工事完成 訪問学級教室完成
- 7. 1 地番変更日野市南平 6-7-1
- 昭 52. 11. 3 創立三十周年を祝う会挙行
- 昭 54. 9. 30 校庭、運動場改修工事完了
- 昭 57. 3. 31 社教による夜間照明工事完了
- 昭 58. 4. 1 心障学級開設(2教室改造)
- 5. 心障特別教室完成
- 昭 59. 5. 校庭南フェンス改修(歩道完成)
- 昭 59. 8. 全教室窓枠アルミサッシに交換  
・外装吹付け工事実施

- 昭 60. 3. 廊下塗装工事実施
- 5. 給食棟(厨房・食堂)完成
- 昭 61. 3. 校庭南フェンス(高)延長
- 昭 62. 9. 12 創立四十周年記念式典・祝賀会を挙行
- 平 2. 3. 訪問学級を閉鎖
- 2. 4. 相談(情障)学級を開級
- 3. 10. 体育館を改修
- 4. 3 コンピュータールーム工事完了

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
飯塚節三	昭 22. 4 ~ 昭 25. 9
増山恒	昭 25. 10 ~ 昭 30. 10
飯島一吉	昭 30. 10 ~ 昭 37. 3
木村巧	昭 37. 4 ~ 昭 40. 3
芳西幸三	昭 40. 4 ~ 昭 44. 3
羽崎一男	昭 44. 4 ~ 昭 47. 3
高橋太一	昭 47. 4 ~ 昭 51. 3
吉岡孝二郎	昭 51. 4 ~ 昭 55. 3
山本保	昭 55. 4 ~ 昭 61. 3
川崎昭三	昭 61. 4 ~ 平成元. 3
村田志信	平成元. 4 ~ 平成 4. 3
名塚三雄	平成 4. 3 ~ 現在

3. 地域の環境

学校は京王線より徒歩 8 分、中央線豊田駅より南へ 18 分、浅川に沿う静かな位置にある。学区は京王線に沿って東西に長く、平坦部と多摩丘陵からなり、自然環境に恵まれている。学区近くには、高幡不動、また多摩動物公園、平山城址等の文化施設がある。

#### 4. 教育目標

##### (1) 学校の教育目標

基本的人権を尊重し、平和で民主的な人間を育成するために、次のことを目標とする。

自主・敬愛・勤勉・責任・健康

- ・自ら学び、考え、行動しよう。
- ・責任と思いやりの心を持とう。
- ・健全な心と身体を作ろう。

##### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育活動全てにわたり人権尊重の精神を培い、生徒の個性を伸長し、心豊かでたくましく生きる生徒を育てる。
- ② 基礎的・基本的な内容を身に付けるために各教科および学年間の連携を密にして、組織的・計画的な研究を日常的に進める。
- ③ 心身障害学級との積極的な交流を図ることを通して、障害児に対する理解を深め、互いに認め合い、支え合い、励まし合う態度を育てる。
- ④ 学区小学校、諸機関との連携を深め、生徒の健全育成に努めるとともに、学校5日制に伴い、地域の人々や文化と触れ合う機会を通して、地域との連帯感、地域への帰属意識を培い、地域に開かれた学校教育を進める。
- ⑤ 生命を尊び、健康で明るく活力のある学校生活を送ることを目指して、自ら進んで健康の保持、増進や体力の向上を図る能力と態度を育てる。
- ⑥ 自主性と創造性に富む集団の育成を目指して、生徒会活動や学級での話し合い活動を積極的に推進する。
- ⑦ 教科・学級での指導を通して、自国の文化や伝統に対する理解を深め、国際的な視野に立って行動できる生徒を育てる。

##### (3) 心障学級の目標

- ① 情緒・情操豊かで、健康な身体を育てる。
- ② 一人一人の発達段階に応じて、言語による表現活動（認識）を豊かに育てる。
- ③ 生活に必要な知識や技能を学び、自分から進んで行動できる力を育てる。
- ④ 互いに命や個性を大事にし、助け合って働ける力を育てる。

##### (4) 相談学級の目標

- ① 登校のための援助を通して、生活のリズムを回復するよう努め、基本的な生活習慣を養う。
- ② 小集団指導の中で個別指導を中心として、継続してものごとに取り組む意欲を育て、豊かな人間性を養う。
- ③ 体験を豊かにし、判断力を養い、自ら行動できる自立心を養う。
- ④ 人間性を豊かにし、人権を尊重する対人関係を養い、社会性を育てる。
- ⑤ 学習に対する不安感を取り除きながら、学習の遅れを取り戻し、学習の習慣化に努める。

#### 5. 本年度指導の重点

##### (1) 各教科、道徳、特別活動

###### ア. 各教科

- ・指導内容・方法・評価の改善を通して、基礎的・基本的事項の指導を徹底し、生徒一人一人の個性の伸張を図るとともに、主体的に学ぶ意欲の向上を図る。
- ・基礎的・基本的事項を徹底し、より一層の定着を図るために、2・3学年の外国語、3学年の社会、理科、保健体育、技術家庭の授業時数は下限を超えて定める。
- ・理科においてティーム・ティーチングを導入し、個に応じた指導法の研究を進める。

###### イ. 道徳

- ・健康で、明るく、他を思いやり、互いに協力する態度を育てる。

- ・物事を正しく理解し、判断して、建設的に実践していく態度を育てることを通して、社会規範を身に付ける。

ウ. 特別活動

- ・学級活動・生徒会活動、クラブ活動を一層充実することを通して、生徒の自主的活動を積極的に援助し、一人一人の個性・能力の伸張を図る。

生徒が主体的に取り組む行事を行うことを通して、達成感・充実感を味わうよう指導する。

(2) その他の活動

- ・生徒理解を深めるための教育相談を充実し、生徒一人一人の内面を捉えることを通して、生活意欲の向上に努める。
- ・学校5日制と関連し、地域社会と結び付いた活動を充実し、地域の社会人講師を活用する。
- ・小学校、育成会との連携を通して、地域に開かれた学校教育を推進する。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- ・啓発・体験的な行事活動への取組みを通して、生徒の自主性と自治能力の向上に努める。
- ・学級を基盤として、支え合い、励まし合う集団の育成を通して、中学生として望ましい生活態度・基本的生活習慣を身に付ける指導の徹底を図る。
- ・多面的に保護者と話し合い、地域、関係機関との連携を密にして保護者とともにも生徒の個性を伸張し、健全育成に努める。

イ. 進路指導

- ・自己理解を深め、自分の特性に合った進路を選択するとともに、自ら向上し、生涯にわたって自己実現を図ろうとする態度を育てる。
- ・啓発的活動を重視し、生き方・在り方を考える指導の充実を図る。

6. 本年度の研究主題

生活指導の在り方

7. 本校の特色

- 生徒は明るく素直であり、父母も教育熱心である。PTA活動も伝統と新しさをうまく調和して意欲的に活動している。
- 研修会や授業研究等を通して、基礎学力の定着、授業の充実を図っている。
- 生徒会活動が盛んで、新入生を迎える会、三年生を送る会等の行事が、活発に行われている。
- 地区育成会や小学校とも連携して、開かれた学校づくりに努めている。

8. その他(教職員の研究歴)

内訳 /No	研 究 員	開 発 委 員	研 究 生
1	名塚 三雄(43.特活)	柳沢 美澄(56.英語)	瀬川 昭英(元.国語)
2	柳沢 美澄(55.英語)	瀬川 昭英(63.国語)	
3	瀬川 昭英(60.国語)		
4	片倉 俊秀(62.道徳)		
5	長坂 昌弘(元.音楽)		
6	岡田 洋子(元.障教)		



学 校 名 日野市立日野第三中学校  
 所 在 地 日野市程久保 650  
 電 話 0425-91-2228・2229  
 順 路 京王線高幡不動下車 百草団地行バスで  
 高幡台団地下車 徒歩7分  
 生 徒 数 男336名 女268名 計604名

校長氏名 福 島 良 樹

教頭氏名 正 留 久 巳

### 1. 沿革の概要

- 昭 45. 4. 1 日野市立七生中学校日野第三中分校として、七生中学校内で授業開始 生徒数 26 名、教職員数 12 名
- 昭 45. 10. 1 日野市立日野第三中学校開校 七生中学校内で授業 生徒数 44 名、教職員 14 名、百草、高幡の両団地を学区にする
- 昭 46. 3. 27 校舎新築工事竣工
4. 1 学区変更、程久保地区の全部三沢地区上、中を加える
7. 1 学区変更、西部百草団地を加える
10. 2 開校式を挙行 10月2日を開校記念日とする 校章・校歌を発表
- 昭 48. 1. 31 体育館工事竣工
- 昭 50. 4. 1 第二期校舎増築竣工
- 昭 54. 4. 2 第三期校舎増築竣工
- 昭 55. 10. 5 創立十周年記念式典
- 昭 59. 4. 1 学区変更、西部百草園住宅および日本信販西部百草園住宅地域を除外、三沢中学校区に移す
- 昭 59. 9. 1 第四期特別教室増築竣工 プール管理棟竣工
- 昭 62. 3. 31 プール改修工事竣工
- 平成. 8. 31 集中コントロールガス暖房工事竣工
- 平 2. 6. 22 クラブハウス竣工
- 平 2. 6. 26 校庭夜間照明施設竣工
- 平 2. 8. 13 給食棟竣工
- 平 2. 9. 28 給食開始
- 平 2. 11. 17 創立二十周年記念式典
- 平 4. 5. 20 校庭改修工事着工

- 平 4. 7. 27 体育館改修工事着工
- 平 4. 10. 3 校庭改修工事完了
- 平 4. 10. 20 体育館改修工事完了
- 平 5. 4. 26 パソコン教室工事完了

### 2. 歴代校長

氏 名	年 月 ～ 年 月
橋 本 敏 一	昭 45. 9 ～ 48. 3
松 延 耕 作	昭 48. 4 ～ 53. 3
田 中 弘 明	昭 53. 4 ～ 56. 3
長 岡 宗 次	昭 56. 4 ～ 59. 3
千 葉 廣 志	昭 59. 4 ～ 63. 3
清 水 春 海	昭 63. 4 ～ 平 3. 3
高 木 宏 文	平 3. 4 ～ 平 6. 3
福 島 良 樹	平 6. 4 ～ 現 在

### 3. 地域の環境

本校は日野市南部の多摩丘陵地帯にある。学区は住宅公団の高幡・百草の両団地、民間分譲の三井、電建の諸団地及び在来の程久保、三沢の両地区を含んだ地域である。

屋上からは眼下に浅川が流れ、その北に起伏に富み緑豊かな武蔵野台地を一望することができ、西方遙か富士の秀峰も眺められる。学区内には都立多摩動物公園、明星大学があり、付近には百草園、東電学園、帝京大学、中央大学などがあって、文教地区を形成している。

### 4. 教育目標

- (1) 人権尊重の精神を基調に国際社会に活躍できる心身共に健全な人間を育成するため次の目標を定める。「自ら判断し、責任をもって実行する人となる。」
- 自ら学び、考え工夫する人
  - 自然や人々を大切にする人
  - 自ら心身を鍛え、やりぬく人

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

- ① 教育目標を具体化した学年・学級目標を設定し、それに基づいて学年・学級経営の充実を図る。
- ② 指導方法の改善、工夫、基礎基本の重視をするため、パソコン、VTRなど視聴覚機器の利用やチームティーチング・外国人講師を導入し、生徒の自主性を啓発し、充実した学校生活をおくらせる。
- ③ 修学旅行の自主学習を始め、学年・生徒会行事・委員会の諸活動を通して、生徒の自主的実践的な特別活動を充実させるとともに、満足感のある学校生活を送らせる。
- ④ 行事の精選や授業内容の精選を図り、ゆとりのある学校生活を送らせる。
- ⑤ ティームティーチングや外国人講師の導入による効果を通し、研究・実践部門の活性化と充実を図る。

5. 本年度の指導の重点

(1) 各教科、道徳、特別活動

ア. 各教科

- 教材を基礎的・基本的な内容への一層の精選を図り、自ら学ぶ意欲を大切にし、自主的な学習を促進する。特に、T・Tの導入により基礎学力を向上させ、AETの導入においては基礎的英会話力を身につけさせるとともに、国際理解を役立たせる一助とする。
- 視覚に訴える機器、VTR・パソコンなどを活用し工夫することにより、生徒によりわかりやすい授業を展開する。
- 指導と評価の一体化により、学習意欲の増大を図る。

イ. 道徳

- 他領域との関連を図りながら豊かな心を育てる。自主的判断のもとに責任ある行動ができる生徒を育てるよう、指導内容を工夫する。豊かな体験を通して思いやりと協調性を養い、感謝の心を育てる。

ウ. 特別活動

- 学級・学年内の小集団を基本に、学校行事等に主体的に取り組み、協力し、力強く生きていく能力を育む。諸行事における班活動や、学校行事での兄弟学級の活動を通して、生徒の自主的活動の力を育てる。
- 生徒会活動に重点をおき、各委員会で重点目標を設定し、生徒の自主的・体験的な活動を重視する。また、清掃活動などを通して、勤労生産・奉仕活動の充実を図る。
- 地域の中での交流を通して、心や身体に障害のある人への正しい理解を培い、思いやりの心を育てる。

(2) その他の活動

- 落ち着きと潤いのある学校生活を送らせるため、清掃美化指導の徹底を図る。あわせて、地域環境美化につとめるため、リサイクルボックスの利用・空き缶の回収を行う。
- 諸行事において、計画の段階から生徒の参加場面を設定し、自主的・自立的な活動ができるように指導にあたる。
- 地域の小学校・養護学校との交流を図り、相互の理解を深めるため、小学校との交流会を行い、養護学校生徒を合唱祭に招く。
- 移動教室においては、校内では経験できないスポーツを体験するとともに地域では経験できない自然に親しむ機会を与える。

(3) 生活指導・進路指導

ア. 生活指導

- 自ら正しく判断することを基本に、自律ある生活態度を身につけさせる。具体的には、「時間のけじめをつける」「話を聞く態度を養う」を2本の柱として指導をする。

- 教育相談を充実させ、学校生活への適応に関する指導をする。
- 問題行動に対する指導は、全教職員の共通理解に基づき、一致した指導の徹底をめざす。

#### イ. 進路指導

- 各学年に応じた系統的指導の徹底をめざし、生き方に関わる指導を充実させる。1年の職業調べ、2年の進路指導行事、3年の卒業生の話聞く会を通して、具体的に自己の進路を考えさせる。
- 教師、生徒、保護者の緊密な交流を図り、進路情報を有効に活用し、適切な進路選択ができるようにする。

### 6. 本年度の研究課題

#### ア. 主題「個性・創造性・自主性を育てる指導の工夫」

#### イ. 研究内容

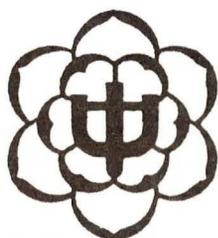
- ① 主体的に学習させる授業研究
- ② 自主、自律、思いやりの心を育てる道徳の進め方
- ③ 自主的活動を促進する生徒指導
- ④ 各学年に応じた進路指導の検討

### 7. 本校の特色

- 本校は多摩丘陵の高台に位置し、南には雑木林が接し、四季おりおりの樹木、小鳥のさえずりを楽しむことができ、自然環境に恵まれている。
- 開校25年目で、学級数は17、学区内の小学校は、潤徳小、百草台小、高幡台小、程久保小の4校ある。
- 開校以来、「自ら判断し、責任を持って実行する人となる」の教育目標の具体化をめざし、全教育活動を通じて、生徒の自主性の育成に努めている。
- 気持ちよく学習できる環境を整えるため、教室美化、掲示指導に力を注いでいる。月一回、美化デーを設定し、清掃活動の徹底に努めている。
- 学校、地域環境美化と省資源・省エネルギーのためリサイクルボックス利用、空き缶回収を行う。

### 8. その他（教職員の研究歴）

	研 究 員	開 発 委 員	そ の 他
1	福 島 良 樹（52.理）	福 島 良 樹（57.教課）	福島 良樹（61研究生、理科）
2	山 口 俊 浩（4.保体）	正 留 久 巳（62.美）	山口 俊浩（H6.海外派遣短期）
3	井 上 義 孝（5.技）		
4	正 留 久 巳（6.教課）		
5	黒 須 恵 子（7.給）		



学 校 名 日野市立日野第四中学校  
 所 在 地 日野市旭が丘 2-42  
 電 話 0425-83-3905・3906  
 順 路 中央線豊田駅下車 徒歩 17分  
 バス(長房団地行、都立科学技術大学下車 5分)  
 生 徒 数 男339名 女339名 計678名 18学級

校長氏名 高 橋 和 子

教頭氏名 酒 井 徳 行

1. 沿革の概要

- 昭 47. 5. 10 市教委に四中設立委員会設置  
 8. 21 校舎起工式(工事費19億円施工  
 小田急建設)  
 12. 7 学区決定  
 昭 48. 1. 18 屋内体育館着工  
 3. 26 都教委・第四中学校設立を認可  
 4. 1 初代校長 河村俊一郎 以下  
 教員 24 名発令・開校  
 7. 2 屋内体育館完成 使用開始  
 (工費約 4,600 万円 施工 小  
 田急建設)  
 7. 18 本校シンボル「泰山木」決定  
 8. 7 プール完成(工費 2,700 万円)  
 10. 13 校歌作詞完成  
 10. 16 校章決定、教育目標設定  
 11. 10 校歌作曲完成(寺原伸夫氏)  
 11. 16 校旗完成  
 11. 17 落成式挙行  
 11. 22 第一回開校記念日  
 昭 49. 2. 2 標準服制定  
 5. 30 保健室 冷房装置取り付け  
 7. 1 増築工事開始  
 7. 3 保健室 空気清浄装置取り付け  
 9. 6 駐車場舗装(体育館西側)  
 昭 50. 1. 8 体育倉庫、砂場完成  
 3. 8 増築部完成 校舎 3 スパン  
 機械室 工費約 1 億 6 千万円  
 施工 小田急建設  
 4. 26 テニスコート完成  
 校庭の校舎に U 字溝設置  
 昭 51. 1. 16 図書館開館  
 昭 52. 4. 1 二代校長 山口幸雄 着任

- 昭 52. 9. 13 第三期工事開始(工費 9,500 万  
 円 施工 小田急建設、年度末  
 完成)  
 昭 53. 3. 28 校庭に防球フェンス設置  
 昭 54. 5. 15 校庭東側に防球フェンス設置  
 6. 26 校庭南側に防球フェンス設置  
 昭 56. 4. 1 三代校長 花牟礼哲 着任  
 昭 58. 4. 10 学校警備、機械化となる  
 11. 21 創立十周年記念式典挙行  
 校歌碑建立・除幕  
 昭 60. 4. 1 四代校長 立川泰司 着任  
 昭 62. 1. 17 給食棟建設工事着工  
 9. 30 給食棟及びテニスコート(全天  
 候型に)改修  
 昭 63. 4. 1 五代校長 桑原和正 着任  
 5. 16 給食開始  
 平成 2. 8. 18 西側校舎外壁塗装  
 平成 3. 7. 21 東側 “  
 平成 4. 4. 1 六代校長 高橋和子 着任  
 平成 5. 10. 30 体育館改修工事終了  
 平成 5. 11. 5 開校 20 周年記念式典  
 平成 6. 9. 10 相談室完成  
 平成 7. 2. 7 健全育成研究発表会  
 平成 7. 4. 1 七代校長 松原 勇 着任

2. 歴代校長

氏 名	年 月 ~ 年 月
河 村 俊 一 郎	昭 48. 4. 1 ~ 52. 3. 31
山 口 幸 雄	昭 52. 4. 1 ~ 56. 3. 31
花 牟 礼 哲	昭 56. 4. 1 ~ 60. 3. 31
立 川 泰 司	昭 60. 4. 1 ~ 63. 3. 31
桑 原 和 正	昭 63. 4. 1 ~ 平 3. 3. 31
高 橋 和 子	平 4. 4. 1 ~ 平 7. 3. 31
松 原 勇	平 7. 4. 1 ~

### 3. 地域の環境

本校の学区は、地形的・地質的に北半分は洪積台地（日野台）、南半分の浅川ぞいの沖積低地に2分されている。台地部は2～3段の段丘状になっており、その境界は高低差10～20mの急崖になっている。

戦後にここにも都市化の波が押し寄せ、昭和33年多摩平団地入居をきっかけに、人口は急増しはじめた。平山工業団地・JR豊田電車区、多数の住宅、アパートなど、畑や雑木林をつぶして設置され、学区内の様相は最近15年ぐらいで、いちじるしく変化し、人口が急増した。

### 4. 教育目標

#### (1) 学校の教育目標

平和で民主的な国家社会の形成者として世界にひらかれた個性豊かな生徒の育成をめざし、つぎの目標をさだめます。

- 一、よく考え、自ら学ぶ人
- 一、心身を鍛え、やりぬく人
- 一、他を思いやり、責任ある行動をとる人

#### (2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

前年度までの研究の成果をふまえ、健全育成を推進する。

そのため、望ましい人間関係を育てる基盤である学級経営の充実、心豊かな生徒を育てるための道徳教育の充実、生徒理解を深め、個を生かす教育の充実、基礎・基本の徹底と意欲を高めるための指導法の改善に努める。

1. 各教科・領域及び学年の指導目標を学校教育目標との関連において明確にし、全教職員の共通理解のもとに指導にあたる。
2. 生徒の自主的活動を重視した行事、および学年・学級経営の充実をめざし、研修・実践に努める。
3. 基礎的・基本的な内容を重視する上に個に応じた指導に努めるため、上限下限の時数を示された教科については、3年保健体育を除き上限の時数とする。
4. 生徒理解を深めるため、余裕教室を教育相談室として活用するとともに諸会議の効率化を図り、学校裁量の時間を計画的に運用し日常的な教育相談活動の充実を図る。
5. 学ぶにふさわしい教育環境の整備、美化に努め、あわせて地域の自然や文化を大切にする態度を育成する。
6. 地域・家庭との連携を密にし、理解と協力を得て、教育目標の達成を図る。
7. 学校週五日制への対応については、地域・家庭に理解を得られるように配慮する。
8. 教師としての力量を高めるため、研修の充実・指導資料の収集・活用を図る。

### 5. 指導の重点

#### (1) 各教科、道徳、特別活動

##### ア. 各教科

1. 生徒の活動を生かす指導につとめ、自ら進んで学びとる学習態度を育成する。
2. 教材等の精選につとめ、基礎的・基本的な内容の指導を徹底し、生徒一人一人の能力の伸長に努める。
3. ティームティーチングなど指導法の改善を図るとともに教材や指導法の工夫によって、個を生かす指導を進める。
4. 音楽科の指導をティームティーチングにより充実させ、学校全体の情操教育の向上に役立てる。

##### イ. 道徳

1. お互いの人権を尊重し、思いやりの心を養う。
2. 物を大切にする心を養う。
3. よく考えて行動し、結果に責任を持って着実にやりぬく強い意志を養う。
4. 各学年の発達段階に応じて、生き方在り方などの指導を充実し、よりよい生き方を考えさせる。
5. 八王子東養護学校をはじめ近隣の福祉施設との交流を進め、生徒の体験を重視した人権尊重教育の推進を図る。

#### ウ. 特別活動

1. 学級経営の充実を目指し、教師と生徒、生徒の相互の心のふれ合いを深める。
2. 生徒自身が自己の役割や責任の自覚を深め、集団の一員としてよりよい集団生活を送れるよう社会性を育む。
3. 諸活動を通して、生徒の能力や個性を的確にとらえ、個を生かす場の設定と伸長に努める。
4. 学級活動と生徒会活動との関連を深めて、生徒の主体的な活動を充実する。
5. 生徒会活動や学級活動の充実を図り、生徒一人一人が満足感・充実感を得られる行事にするように努める。
6. クラブ活動は、部活動によって代替し、年間の計画のもとに実施する。

#### (2) その他の活動

充実した中学校生活を送らせるために

1. 学校行事への取り組みを通して、自主的体験的活動を重視する。
2. 生徒一人ひとりの学習や生活の悩みを解決するため、教育相談活動を充実し、生徒理解を深める。
3. 「八王子東養護学校との交流」や「旭が丘ふれあいマラソン大会」など生徒の体験を重視した人権尊重教育の推進に務める。

#### (3) 生活指導、進路指導

##### ア. 生活指導

1. 基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、家庭・地域との連携を密にし、生徒の健全育成に努める。
2. 身近な環境の清掃活動や整備に務めさせ、ものや自然を大切にす心や勤労意欲を向上させる。
3. 心身の健康安全に対する指導の充実を図り、事故防止に努めさせる。
4. 学級活動や学校行事などを通して、集団生活の意義や個人の果たす役割を理解させ、主体的に責任を果す態度を養う。
5. 一人ひとりの生徒について正しい理解を深めるため、教育相談活動を充実する。
6. 生徒による全校集会・学年集会などの企画運営を通して、集団としての資質を向上させる。
7. 引き続き校則検討委員会を設置し、学校生活のきまりを検討する。

##### イ. 進路指導

1. 3年間の系統的な指導で自己理解を図り、生徒一人一人が将来の進路を主体的に選択する能力と態度を育成する。
2. 各教科の学習活動を通して人間の生き方・在り方に触れる指導の工夫をする。
3. 図書資料等の情報を有効に活用し、主体的に進路を選択する能力の育成を図る。

#### 6. 本年度の研究主題

「豊かな人間形成をめざした指導のあり方」

#### 7. 本校の特色

- (1) 教育活動 各領域の調和を保ちながら、明るく活力ある校風を育てる。
- (2) 健全育成の推進……東京都健全育成推進校として健全育成の推進に努めた。
- (3) 父母との連携……学級・学年父母会・地域懇談会などにより、共通理解をふかめ連携を図る。
- (4) 美化・緑化の推進……清掃のゆきとどいた校舎内外の環境美化に努める。
- (5) 体験学習の推進  
・八王子東養護学校や光の家との触合いマラソン等の交流を通して、共に生きる豊かな心を育てる。

#### 8. その他（教職員の研修歴）

No.	研究員		開発委員		研究生等	
1	松原 勇	37 保健体育	村上敏雄	62 音楽	村上敏雄	51 音楽
2	斉藤 道	6 特別活動	酒井徳行	63 特別活動	酒井徳行	3 海外派遣
3	村上敏雄	47 音楽	高麗隆治	4 英語		
4	高麗隆治	63 英語				



学 校 名 日野市立三沢中学校  
 所 在 地 日野市三沢 1-17-4  
 電 話 0425-92-5017・5018  
 順 路 京王線百草園より西へ徒歩 10 分  
 高幡不動駅より東へ徒歩 12 分  
 生 徒 数 男 264 名 女 284 名 計 548 名

校長氏名 山 崎 妙 子

教頭氏名 深 山 睦 弘

1. 沿革の概要

- |             |   |             |  |
|-------------|---|-------------|--|
| 昭 51. 9. 18 | 仮称 5 中学校校舎起工式                                   | 昭 60. 4. 8  | 第 9 回入学式<br>(男 171 名 女 153 名)                    |
| 昭 52. 2. 1  | 初代校長 古川 豊発令                                     | 昭 61. 3. 20 | 第 9 回卒業式<br>(男 110 名 女 119 名)                    |
| 4. 1        | 日野市立三沢中学校開校 教頭<br>以下教職員 22 名発令                  | 3. 31       | 前庭、中庭緑化完成  |
| 4. 6        | 始業式 (2 年 156 名、3 年 147<br>名)                    | 4. 8        | 第 10 回入学式<br>(男 169 名 女 170 名)<br>24 学級 教職員 55 名 |
| 4. 7        | 第 1 回入学式 (1 年 188 名、<br>全校生徒 491 名)             | 昭 62. 3. 20 | 第 10 回卒業式<br>(男 174 名 女 169 名)                   |
| 9. 16       | 第 1 回開校記念日                                      | 4. 1        | 三代校長 綿引正己発令                                      |
| 昭 53. 3. 22 | 第 1 回卒業式 (男 80 名 女 66 名)                        | 4. 7        | 第 11 回入学式<br>(男 173 名 女 142 名)<br>23 学級 教職員 55 名 |
| 4. 7        | 第 2 回入学式 (男 109 名 女 85 名)                       | 11. 7       | 創立 10 周年記念式典                                     |
| 昭 54. 3. 19 | 第 2 回卒業式 (男 75 名 女 88 名)                        | 昭 63. 3. 18 | 第 11 回卒業式<br>(男 175 名 女 164 名)                   |
| 4. 7        | 第 3 回入学式 (男 111 名 女 91 名)                       | 4. 7        | 第 12 回入学式<br>(男 142 名 女 129 名)<br>23 学級 教職員 56 名 |
| 昭 55. 3. 18 | 第 3 回卒業式 (男 93 名 女 91 名)                        | 平元. 3. 20   | 第 12 回卒業式<br>(男 170 名 女 168 名)                   |
| 4. 8        | 第 4 回入学式 (男 107 名 女 105 名)                      | 4. 7        | 第 13 回入学式 (男 132 名 女 97 名)<br>21 学級 教職員 50 名     |
| 昭 56. 3. 20 | 第 4 回卒業式 (男 105 名 女 86 名)                       | 平 2. 3. 20  | 第 13 回卒業式<br>(男 173 名 女 142 名)                   |
| 4. 6        | 第 5 回入学式 (男 131 名 女 94 名)                       | 4. 1        | 四代校長 阿部忠志発令                                      |
| 昭 57. 3. 19 | 第 5 回卒業式 (男 108 名 女 95 名)                       | 4. 7        | 第 14 回入学式<br>(男 129 名 女 111 名)<br>18 学級 教職員 44 名 |
| 4. 1        | 二代校長 降旗経雄発令                                     | 平 3. 3. 20. | 第 14 回卒業式<br>(男 142 名 女 123 名)                   |
| 4. 7        | 第 6 回入学式<br>(男 137 名 女 108 名)                   | 4. 8        | 第 15 回入学式<br>(男 96 名 女 103 名)<br>17 学級 教職員 42 名  |
| 昭 58. 3. 19 | 第 6 回卒業式<br>(男 110 名 女 108 名)                   |             |  |
| 4. 7        | 第 7 回入学式<br>(男 107 名 女 122 名)<br>18 学級 教職員 35 名 |             |  |
| 昭 59. 3. 19 | 第 7 回卒業式 (男 130 名 女 95 名)                       |             |  |
| 4. 1        | 校舎増築、給食室完成                                      |             |  |
| 4. 7        | 第 8 回入学式<br>(男 174 名 女 161 名)                   |             |  |
| 昭 60. 3. 19 | 第 8 回卒業式<br>(男 136 名 女 102 名)                   |             |  |
| 3. 31       | 西側第二グラウンド完成                                     |             |  |

## 2. 歴代校長

氏名	年月～年月
古川 豊	昭52. 2. 1～57. 3. 31
隆 簇 経 雄	昭57. 4. 1～62. 3. 31
綿 引 正 己	昭62. 4. 1～平2. 3. 31
阿 部 忠 志	平 2. 4. 1～平5. 3. 31
山 崎 妙 子	平 5. 4. 1～現在

平 4.	3. 19	第15回卒業式(男133名 女99名)
	4. 7	第16回入学式(男108名 女86名) 18学級 教職員 42
平 5.	3. 19	第16回卒業式(男136名 女111名)
	4. 1	五代校長 山崎妙子発令
	4. 7	第17回入学式(男86名 女101名) 15学級 教職員 40
平 6.	3. 19	第17回卒業式(男97名 女106名)
	4. 7	第18回入学式(男80名 女78名) 14学級 教職員 38
平 7.	3. 20	第18回卒業式(男107名 女87名)
	4. 7	第19回入学式(男100名 女98名) 14学級 教職員 38

## 3. 地域の環境

本校は、京王線の高幡不動駅と百草園駅のほぼ中間の北側にある。学区は京王線に沿って北は浅川までの平坦部、南は多摩丘陵からなり、環境に恵まれ、高幡不動尊、百草園などの名勝がある。

## 4. 教育目標

憲法と教育基本法にのっとり、広い視野に立って平和で民主的な人間に育成することをめざして、次の目標を定める。

- ① みずから学び、真の学力を身につける人間に育てる。
- ② 心豊かで、みんなと協力できる人間に育てる。
- ③ からだをきたえ、健全な心身をもつ人間に育てる。

### ◆教育目標を達成するための基本方針

- (1) 各教科、各領域の調和とそれぞれの充実により、学習の基礎的・基本的内容の定着を図る。
- (2) 生徒と教師、生徒相互の理解を深め、一人一人を生かす指導を充実する。
- (3) 学校週五日制の拡大に伴い、指導内容の精選、指導方法の工夫に努め、現行の教育水準を維持する。
- (4) 健康・安全の指導を充実、体位、体力の向上に努めるとともに、集団の一員としての自覚ある態度を育てる。
- (5) 教育環境を整えるとともに、生徒の自主的・自治的能力の育成に努め、明るく生き生きした校風を確立する。
- (6) 保護者、地域と連携し、その役割を明確にし、一体感のある指導体勢を高め、社会の信頼に応える。

### ◆指導の重点

#### (1) 各教科

自ら学ぶ意欲を高める指導を推進する。そのために

- ア. 指導内容を精選、工夫し、基礎・基本の指導の徹底に努める。
- イ. 生徒の自主的な学習活動、体験的な学習活動、地域の教材を生かした教育活動等を重視した指導の推進に努める。
- ウ. 情報の収集や活用能力を高める指導の推進に努める。

#### (2) 道徳

- ア. 人権尊重の精神を基本に据え、自他を尊重し、認め合い、支え合い、励ましあう態度の育成に努める。
- イ. 自然をいつくしむ心を育て、心の豊かさを培うとともに、環境改善に主体的に働きかける実践力を育てる。

ウ．郷土を愛する心、地域社会の一員としての自覚を育くむ指導に努める。

(3) 特別活動

ア．望ましい集団活動を育成し、自己実現をはかる能力の向上に努める。特に、生徒会活動、学級活動の活発化とともに、学年、学級単位の活動の創意工夫に努める。

イ．自主性、自律性の向上を目指す指導の推進に努める。そのために自己理解の深化、集団の一員としての自覚の高揚、進んで生活課題の解決に取り組む態度の育成に努める。

ウ．学校行事を体験的な学習の機会として生かし、個性、創造性の伸長に努める。

(4) その他の活動

ア．校舎外の美化活動を通して、連帯感や奉仕の心を育てる。

イ．特別活動と関連させ、学年・学級の独自性を生かし、明るく楽しい学校生活を創造する意欲や態度を育てる。

ウ．社会人講師の活用を積極的に推進し、社会性や広い視野に立った国際感覚を養う。

(5) 生活指導

ア．教育相談の手法を取り入れ、教師と生徒との心の触れ合いを深め、全教職員のまとまりのある指導を徹底する。

イ．健康・安全についての理解を徹底し、規則正しい態度を身につけさせる。

ウ．進んで協力し、責任を果たす態度を育てる。

エ．集団生活のきまりを守り、明るい学校生活を送らせる。

オ．余暇を有効に利用できるようにするため、主体的に行動できる態度を育てる。

(6) 進路指導

ア．3年間を見通した進路指導を整備し、適時、適切な指導を工夫する。

イ．将来の希望や期待をもたせ、目標達成への意欲を高める。

ウ．個性、能力の理解を深め、進路選択を適切に援助する。

5. 本年度の研究主題

自ら学び、豊かな生き方を培う生徒指導（文部省指定の生徒指導総合推進校として、TT授業などの授業研究をはじめ、徹底した生徒理解にたった指導法の工夫、改善に取り組む）

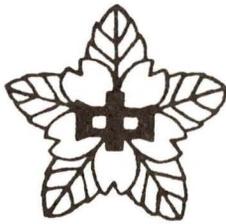
6. 本校の特色

学校長の学校経営方針（安全、安心、安定）に再びき、全教職員の協力のもと、「見える学校、聞こえる学校、開かれた学校」を目指す。文部省の指定研究校として、教職員全員がいずれかの研究部会（授業研究部、生徒理解部、地域連携部）に所属し、研究を進めている。

教職員は常に和の精神を堅持して、当面する多くの問題を解決し、教育内容の充実を図ってきた。特に、生徒一人一人の個性を伸ばし、能力を開発するために、厳しい中にも明かるく、のびやかな雰囲気大切にしている。その中で自ら考えさせ、自主的な行動のとれる生徒の育成を目指している。

7. その他（教職員の研究歴）

中央研修	開発委員	道徳助言研	研究生
石田 匡志（平6.）	深山 睦弘（61.英語）	山崎 妙子（46.47年度）	中野 秀樹（平3.社会）
	中野 秀樹（61.社会）	中野 秀樹（55年度）	
	磯部 博子（平6.国語）		



学 校 名 日野市立大坂上中学校  
 所 在 地 日野市大坂上4-17-1  
 電 話 0425-83-9755・9756・9696 FAX 0425-83-9696  
 順 路 中央線日野駅下車 徒歩12分  
 生 徒 数 男326(6) 女305(4) 計631(10)  
 ( )内 心障学級生徒数

校長氏名 谷 合 明 雄

教頭氏名 鈴 木 渉

### 1. 沿革の概要

- 昭55. 2. 1 初代 長谷川辰美校長着任  
 4. 1 日野市立大坂上中学校開校  
 教頭以下教職員37名発令  
 4. 7 始業式(2・3年449(15)名)  
 4. 8 第1回入学式 272(2)名  
 5. 15 校舎・校庭工事完成  
 6. 6 体育館工事完成  
 6. 28 プール工事完成  
 7. 12 落成式挙行  
 8. 11 生徒標準服・校章・校旗制定  
 11. 1 体育館緞帳、暗幕工事完成  
 11. 8 校歌制定 校章、校旗、校歌発表会挙行  
 昭56. 3. 9 第1回卒業式 244名  
 4. 7 第2回入学式 262(12)名  
 昭57. 3. 19 第2回卒業式 222名  
 4. 7 第3回入学式 225(7)名  
 昭58. 3. 9 第3回卒業式 292名  
 3. 31 理科室、食堂、図書室、美術室、  
 普通教室4完成  
 4. 7 第4回入学式 269(5)名  
 昭59. 3. 19 第4回卒業式 285名  
 4. 7 第5回入学式 317(6)名  
 昭60. 3. 19 第5回卒業式 257(4)名  
 4. 8 第6回入学式 284(4)名  
 昭61. 3. 20 第6回卒業式 270(5)名  
 4. 8 第7回入学式 336(5)名  
 昭62. 3. 20 第7回卒業式 320(6)名  
 4. 7 第8回入学式 307(3)名  
 昭63. 3. 18 第8回卒業式 285(4)名  
 4. 1 第2代 名塚三雄校長着任  
 4. 7 第9回入学式 278(4)名  
 平 元 3. 20 第9回卒業式 334(6)名

- 平 元 4. 7 第10回入学式 244(1)名  
 平 2. 3. 20 第10回卒業式 296(3)名  
 4. 7 第11回入学式 242(4)名  
 平 3. 3. 20 第11回卒業式 276(3)名  
 平 4. 4. 8 第12回入学式 241(3)名  
 3. 19 第12回卒業式 243(1)名  
 4. 1 第3代 伴野博夫校長着任  
 4. 7 第13回入学式 214(3)名  
 平 5. 3. 19 第13回卒業式 240(5)名  
 4. 7 第14回入学式 183(5)名  
 平 6. 3. 19 第14回卒業式 247(3)名  
 4. 7 第15回入学式 226(2)名  
 平 7. 3. 20 第15回卒業式 220(3)名  
 4. 1 第4代 谷合明雄校長着任  
 4. 7 第16回入学式 223(4)名

### 2. 歴代校長

代	氏 名	年 月～年 月
1	長谷川 辰 美	昭55. 2. 1～63. 3. 31
2	名 塚 三 雄	昭63. 4. 1～平4. 3. 31
3	伴 野 博 夫	平 4. 4. 1～平7. 3. 31
4	谷 合 明 雄	平 7. 4. 1～

### 3. 地域の環境

現在地は日野の発祥の地として知られている。  
 また、関東ローマ層の日野台地にあり、昭和11  
 年日野工場地帯の中に設立された神鋼電機(株)  
 のあと地に新設された中学校である。

学区内に日野自動車(株)をはじめ中小工場も  
 多く、また実践女子大学、日野台高校と隣接し  
 ており、教育環境は良好である。

### 4. 教育目標

広い視野に立って、進んで自己を開拓し、向  
 上しつづける人になろう。

① よく考え、進んで学ぼう。(知性)

② 思いやりの心をもち、他につくそう。(敬愛)

③ 心身を鍛え、全力でやりぬこう。(健全)

#### 特殊学級の教育目標

1. 自分で考え、判断し、自主的に行動する生徒を育成する。
2. 生徒が楽しく、意欲的に授業に参加できるよう教材研究、環境整備に努める。
3. 生徒が積極的に通常の学級の活動に参加し、多くの友達を作れるよう環境作りに努める。
4. 生活に密着した教材を提供し、より実践的な知識を身に付けられるように努める。

#### 5. 本年度の指導の重点

##### (1) 各教科、道徳、特別活動

###### ア. 各教科

- 授業規律の確立を図り、生徒一人一人が主役となるように、小集団による主体的、創造的な学習活動を通して、生徒の興味や関心を引き出す授業を展開する。
- 地域の自然や文化、歴史的事象を教材として取り入れ、実験や体験を通して、生徒が生きた知識を修得できるよう努める。
- 英語科、数学科でチームティーチングを取り入れ、生徒の個性や能力に応じた、きめ細かな指導に努める。
- 芸術教科については、生徒の創造的な活動を重視し、豊かな心と感性を培う。
- 情報教育を重視し、コンピューター設備や学校図書館の効果的な活用を図り、さまざまな情報を主体的に選択、処理、活用していく能力の育成を図る。

###### イ. 道徳

- 自らが主体的に考え、善悪の判断をきちんとつけられる正しい道徳的判断力を培う。
- 人権尊重の精神をふまえ、互いを認め合い、思いやる心を培う。
- 社会の一員としての奉仕と感謝の心を培う。
- 学校生活全体を通して、系統的に道徳の実践力を育てる。
- 年間指導計画の整備を図り、道徳時間の確保と充実に努める。

###### ウ. 特別活動

- 自主性を育て、主体的な実践活動を通して充実した学校生活を送らせる。
- 体験を重視した学校行事を通して、社会性を培い、感動や充実感を得させる。
- 歌声の響く学校づくりを通して、みずみずしい感性と豊かな心を培う。
- 心身障害学級との交流を積極的に図り、生徒、保護者、並びに全教職員の理解を深める。

##### (2) その他の活動

- 落ち着きと潤いのある学校生活の中で、喜びと生きがいを育てるために清掃美化活動の徹底を図る。
- 外国人講師等を招いて、進路指導の充実に図り、国際的視野を広げる教育の推進を図る。
- 委員会や学級の係り活動等を計画的に行うとともに、リサイクル運動を展開し、環境に配慮した望ましい行動のできる技能や判断力を育てる。
- 教師と生徒、生徒相互の好ましい人間関係を育てるよう、学年、学級の諸活動の充実に努める。
- 各種委員会の活動を活発にし、一人一人を生かす教育活動の充実に努める。
- 地域の社会人講師を招き、地区育成会との交流を深め、生徒の視野を広げるとともに、地域の教育力を学校教育の中で効果的に活用できるように努める。
- 地域の施設の利用、教育活動への参加を促し、帰属意識を高めるとともに、地域の自然や文化を大切にしようとする態度を育む。

##### (3) 生活指導・進路指導

###### ア. 生活指導

- 生徒一人一人の自ら律する態度の育成を図る。

- 規律ある学校生活の確立と基本的生活習慣の徹底を図る。
- 指導すべき事柄と方法について、職員間で十分共通理解を図り、学年や学級の枠を越えて、常に同一の歩調で指導ができるように努める。
- 教育相談やカウンセリングの手法を取り入れるために、職員の研修をふやし、生徒個々に応じた適切な指導ができるように努める。
- 言語に対する意識や関心を高め、適切な言葉づかいができるよう指導の徹底を図る。
- 生徒一人一人の環境保護に関する意識を高め、生徒会を中心としたリサイクル運動の活発化を図る。
- 不登校生徒への対応については、関係諸機関との相談や連携を図り、家庭との連絡を密に取りながら、一日も早く登校できるよう改善に努める。

#### イ. 進路指導

- 生徒が広い視野に立って、自己の能力と適性を伸ばし、目的意識を持って将来の進路を選択できるよう、きめ細かい指導の徹底を図る。
- 生涯をたくましく、目的意識を持って意欲的にきょうとする力を育てるために、3年間を通じた、系統的、計画的指導の充実を図る。
- 外国人留学生や地域の社会人講師等との交流を通し、啓発的経験を重視し、生き方、在り方を考えさせる指導の充実を図る。
- 進路選択にあたっては、生徒の能力・適性や進路希望等に基づいて、適切に助言・援助することができるよう、指導内容・方法の改善、充実に努める。

#### 6. 本年度の研究主題

生き生きと魅力ある学校をめざして —— 一人一人の生徒に目を向けた指導 ——

#### 7. 本校の特色

本校は一中と二中を母校とし、各方面の理解と協力により作られた近代的な設備の整った開校14年目の学校である。校舎内は非常に明るく、校庭には樹齢30年を超える桜、ヒマラヤスギが生え、校門には樹齢100年ともいわれる樺がそびえ、教育環境は非常に良い。日野台高校と隣接し、生徒は高校生活を窓越しに見て生活している。

開校以来、地域社会・家庭と協力して子どもの長所を生かし、本校の基礎固めに全校職員が力を結集して努力してきた。教職員の新しい校風をつくる意欲や父母の学校への期待・協力により、おちついた雰囲気のある学校となり、生徒が意欲的に活動する学校となった。58年度より学校給食が始まり396名入る食堂が完備し、各地よりの参観者がある。

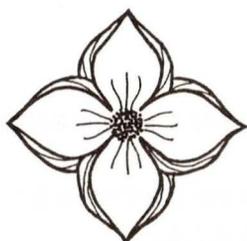
また本校は心身障害学級設置校であり、交流学习等教育内容の充実に努めている。幸いにして在学する生徒の一人一人が明るく生き生きとした姿で学んでいる。

平成六年度は、①研修会や授業研究を通じて指導技術を高め、授業の充実をはかり、②生徒会活動を重視し、計画的な指導により生徒の自浄能力と意識をさらに高め、③生活環境を全校あげて整備するとともに、家庭・地域との一層の連携を推進していく方針である。

以上のことを通じて教育目標に示された思いやりの心をもち、他につくす心情を大切にする生徒の育成を図っている。

#### 8. その他（教職員の研究歴）

内訳	研究員	開発委員	研究生	その他
1	谷合 明雄(50.道徳)	鈴木 渉(59.音楽)		佐藤至正(59.進路中央研)
2	田熊 裕(49.数学)	佐藤至正(60.技術)		鈴木 渉(H元.道徳助言)
3	渡辺やす子(H3.家庭科)	成瀬 誠(60.特活)		谷谷明雄(61.H元指導要領改訂)
4	宇田川 修(H4.心障)	木嶋 健(62.社会)		" (46.道徳資料作成協力委)
5		山田よし子(H元音楽)		
6		高橋陽子(H4.美術)		



学 校 名 日野市立平山中学校  
所 在 地 日野市平山4丁目21番地の3  
電 話 0425-93-3015  
順 路 JR中央線豊田駅下車 徒歩18分  
京王線 南平駅下車 徒歩10分  
生 徒 数 男子216名・女子188名・計404名

校長氏名 中 根 勉

教頭氏名 辻 野 良 子

### 1. 沿革の概要

- 昭55. 6.14 校舎建設工事着工  
昭56. 2. 1 初代校長 河野 寿忠着任  
3.26 校舎使用開始  
4. 1 開校 乙戸教頭以下教諭29名  
主査1名 市職員11名着任  
4. 7 第一回入学式挙行（男子137名  
女子140名 計277名 7学級）  
5. 6 市内中学校最初の完全給食開始  
5.27 プール完成  
8.21 体育館完成  
12.25 校旗完成  
昭57. 1. 7 校歌完成  
2. 6 校歌、校章発表会  
昭58. 1.24 平山中PTA規約成立  
4. 1 第二代校長 川崎 昭三着任  
昭61. 4. 1 第三代校長 高木 宏文着任  
平 元 8.31 図書室（四階）の改修完了  
平 3. 4. 1 第四代校長 北原 景昭着任  
11. 9 10周年記念式典  
平 4. 4.13 食堂建設工事完了  
平 5. 4.26 パソコン室工事完了  
平 6. 4. 1 第五代校長 中根 勉着任  
平 6. 9. 1 下水道工事完了

### 2. 歴代校長

氏 名	在 職 期 間
河 野 寿 忠	昭56. 2. 1～58. 3. 31
川 崎 昭 三	昭58. 4. 1～61. 3. 31
高 木 宏 文	昭61. 4. 1～平3. 3. 31
北 原 景 昭	平 3. 4. 1～平6. 3. 31
中 根 勉	平 6. 4. 1～現 在

### 3. 地域の環境

多摩丘陵北部に開けた低地に学校がある。校舎南側にある校庭の目先を京王線が走り、校舎北側は、堤防道路を隔てて浅川の河川敷につながっている。緑豊かで自然環境に恵まれている。

学区域は、東西の最長部分が約2.3km、南北が約1.5kmにわたり、学校は学区域の最も北東部に寄った位置にある。

近年、都市化の進行に伴い、ベッドタウンのたたずまいを濃くし、人口の急増がみられたが生徒数は昭和62年度を峠に漸減に向かっている。

保護者の教育への関心は極めて高い。

### 4. 教育目標

本校は、憲法・教育基本法の示すところに従い、学力・体力の基礎とゆたかな情操を身につけることを教育の基本とし、生涯を通じて学び続ける人間を育てることを目標とする。

1. 考え、工夫する人
1. 協力し、進んで働く人
1. 自然や人々を、大切にすること
1. 心身を鍛え、やりぬく人

## 5. 指導の重点

### (1) 各教科、道徳、特別活動

#### ア. 各教科

- 教育内容を精選し、わかりやすく、楽しい学習を展開し、個性を伸ばす指導法や教材に工夫をこらす。
- 教育機器や学校図書館の活用を通し、生徒が積極的に主体的に情報を選択する力を養うとともに、機器操作の基本を学ぶ機会を通し、情報社会への適応能力を高める。
- 地域の自然、文化を教材や教育活動に取り入れる。
- 基礎学力の充実を図り、日常の学校や家庭生活の中で、生徒が自主的に学習を進めることができるように、意欲を育てる習慣を身につけさせる。
- 体験学習を通し情操教育を充実させ豊かな感性を養う。
- 地域の教育への期待にこたえ、かつ基礎・基本の充実を図る観点から、第2学年の音楽、美術、第3学年の社会、理科、技術・家庭は上限の時間で実施する。また、外国語（英語）は、1年、2年、3年とも1時間を学校選択として履修する。

#### イ. 道徳

- 温かい人間愛を基礎とした望ましい人間関係をつくるよう、すべての人を尊重し、理解する心身の育成を図る。
- ものごとの善悪を正しく判断し、正しい事は勇気をもって実践する態度を養う。
- 全教育活動を通して、人間としての生き方についての自覚を深め道徳的実践力を育成する。

#### ウ. 特別活動

- 生徒会・クラブ・部活動・学年・学級の諸活動への積極的な参加を通して、所属意識を高めると共に連帯感の精神を養い、責任感と実行力を身につけさせる。
- 1年野外活動・2年スキー教室・3年修学旅行などを実施し、各学年の発達段階に応じた協力・思いやり・責任感等の心を育てるとともに、物事を計画的・組織的に進める能力や態度を養う。

### (2) その他の活動

- 教育相談・個人面談・進路相談の実施をおしすすめる。
- 基礎的な学力を身につけるための自主活動、補充学習・質問教室など計画的にすすめる。
- 生徒会活動を通じて、浅川の清掃活動やリサイクル活動などボランティア活動を積極的にすすめる。また、地域の福祉施設との交流を深める。

### (3) 生活指導、進路指導

#### ア. 生活指導

- 生徒が主体的に運営する集会活動などを計画的に実践し、望ましい生活集団や態度を育て、集団の質を高める指導を行う。
- 個人面談、教育相談などを通して、生徒理解を深め、教師と生徒、生徒相互の信頼関係を確立し、豊かな人間関係を育てる。
- 全教職員が一致して指導する体制をつくって、問題傾向には早期に対応策を構じ、家庭や関係諸機関との連携を密にして、全生徒の健全育成に努める。

#### イ. 進路指導

- 自己の特性を知って、その伸長に努め、適切な進路を選択できる能力を育てる。
- 個々の生徒や各学年の発達段階、特性等を考慮して、3年間を見通した計画的、系統的な指導を実施する。

6. 本年度の研究主題

「生徒の主体性を育てる指導の工夫・改善」

7. 本校の特色

開校15年目の学校で、生徒一人ひとりの個性を尊重し、生徒一人ひとりを大切にすることを基本としている。

- 生徒が自信と誇りを持って生き生きと学んでいる学校
- 生徒のために力一杯やろうとする教師のいる学校
- 生徒を取り巻く教育環境のよい、活気に満ちた学校

8. 教職員の研究歴

内訳 No	研究員	開発委員	研究生	その他
1	中根 勉 (56. 教育課程)	中根 勉 (62. 社会)	坂井悦子 (元. 理科)	中根 勉 (63. 海外派遣)
2	辻野良子 (4. 道徳)	北野一也 (4. 保体)		北野一也 (5. 海外派遣)
3	池田純二 (元. 数学)			
4	渡邊 淳 (元. 3. 英語)			



